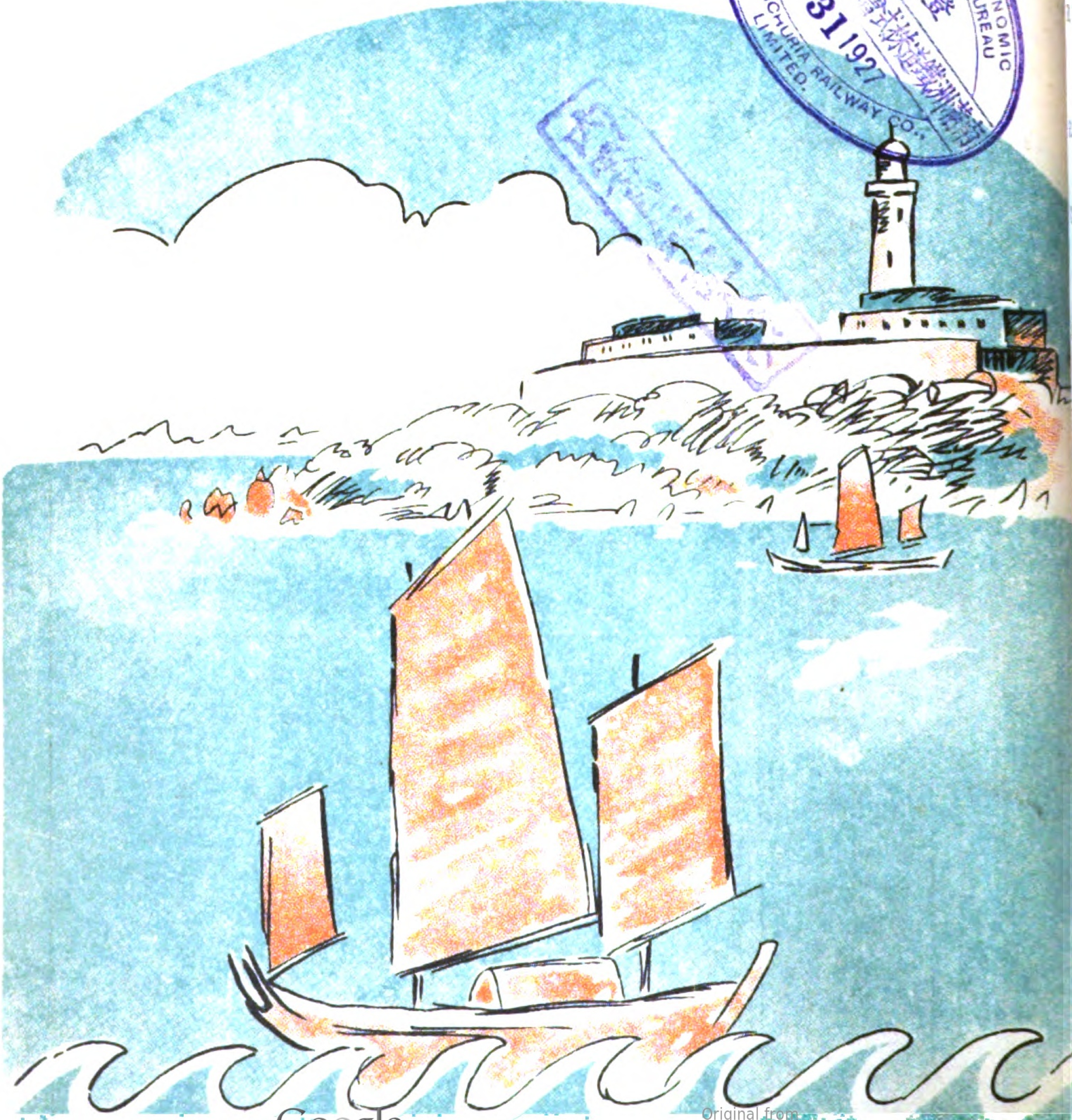
THE TAIWAN JIHO

臺灣時報

十月號

EAST ASIATIC ECONOMIC INVESTIGATION BUREAU
SOUTH MANCHURIA RAILWAY CO., LIMITED.
OC 31 1927



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺灣時報發行の趣旨

政事、時事、農事、工事、商事、學術技藝、統計等の報道評論特に臺灣に於ける統治狀態及び諸般の情況並に南支南洋に關する事項を周知せしむる爲め臺灣時報を發行す。(發行規定第一條)

臺灣時報發行所役員

評議員長　後藤文夫

評議員（以下イロハ順）

石黒英彦　大越大藏
石坂莊作　小野時雄
伊藤兼吉　簡朗山
西川利藤太　片山三郎
醫學博士 堀内次雄　吉岡荒造
富田松彦　楊吉臣
富地近思　醫學博士 高木友枝
陳鴻鳴　高橋親吉
陳中和　田村武七
林熊徵　田村藤四郎
林獻堂　田丸直之
林烈堂　高山仰
林鶴壽　武田英一
李延禧　津久井誠一郎
太田吾一　鼓包美
大竹勝一郎　津田毅一
農學博士 大島金太郎　妻木栗造

永山止米郎　近江時五郎
中田秀造　相原祐彌
宇賀四郎　赤司初太郎
草鹿砥祐吉　赤石定藏
醫學博士 倉岡彦助　坂本素魯哉
久米孝藏　佐々木紀綱
松岡富雄　櫟瀬軍之佐
牧山清砂　皿谷廣次
松本晃吉　蔡蓮舫
増永吉次郎　齋藤透
藤野幹　佐藤得太郎
小松吉久　木村久太郎
吳昌才　木村泰治
辜顯榮　許延光
古賀三千人　木下信
黃欣　三好德三郎
吳汝祥　三浦碌郎
黃春帆　白勢黎吉
後藤和佐二　徐杰夫
枝德二　平山寅次郎
遠藤所六　久宗董
鄭神寶　本山文平
後宮信太郎　鈴木重臣

編纂委員

生駒高常　原口竹次郎
猪股松之助　大澤清高
服部武彦　大竹勇

常務員

和田一次　中田榮次郎
和田博　内田隆
鎌田正威　深川繁治
横光吉規　淺野安吉
田端幸三郎　佐藤續
中瀬拙夫　水越幸一

編輯係

桑滿　眞倉民治
鷹取田一郎　安藤泰夫
泉芳德　鈴木重男
葉山石雲　伊藤憐之助

昭和二年十月十三日印刷（毎月一回）
昭和二年十月十五日發行（十五日發行）
（定價一部郵税共金三十五錢）
（廣告料　一頁金二十圓）

發行所　臺灣總督府内
臺灣時報發行所
振替貯金口座臺北二〇七〇番
電話總督府内第八九番

編輯兼發行人　臺北市東門町一五八番地
伊藤憐之助

印刷者　臺北市榮町二丁目十二番地
加藤豐吉

印刷所　臺北市京町一丁目四十三番地
小塚本店印刷工場

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

三井物產株式會社臺北臺南支店

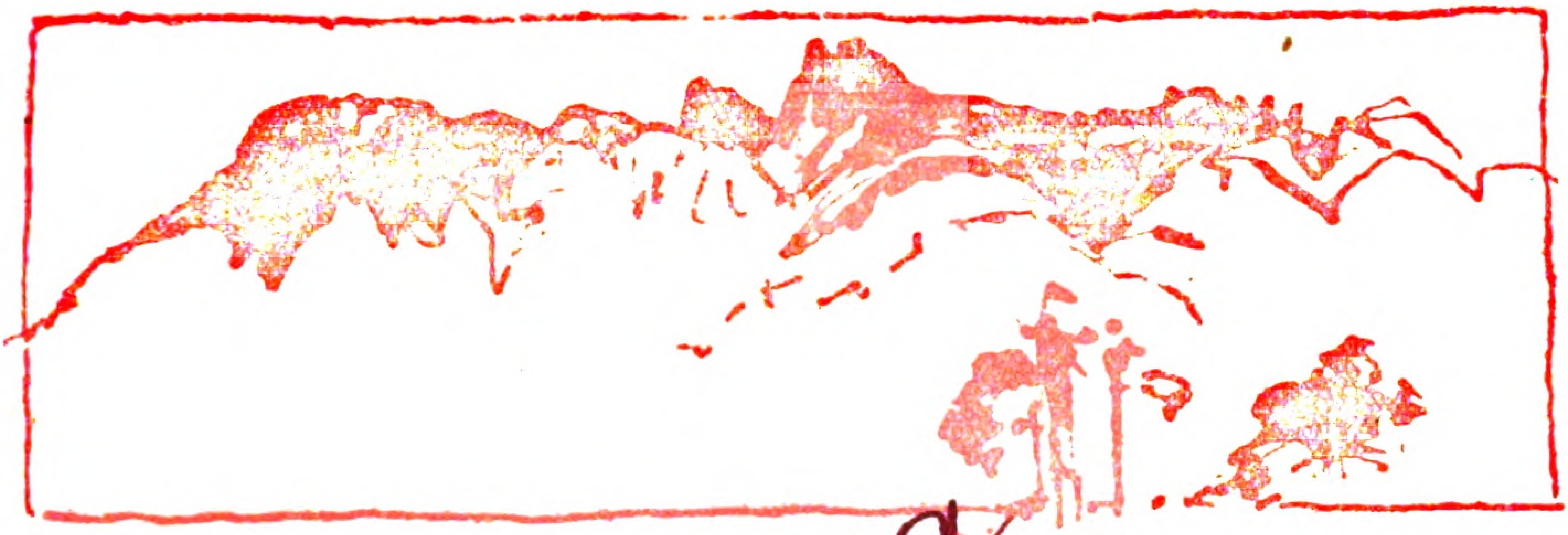
出張所、出張員

厦門　福州

基隆　高雄

臺中

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN



臺灣時報 昭和二年十月號 目次

口繪 ▼孔子祭 ▼臺南州下の震害

時言

臺灣總督府評議會の復活に就て……上山總督……一

警察會議に於ける總務長官訓示……三

警察會議に於ける警務局長訓示……七

臺灣の鑛業……高橋春吉……一一

臺南州鹽水地震に就て……市川雄一……三〇

時報

風水害御救恤　本島中南部強震　上半期本島鑛産　全島警察會議
臺銀株主總會　海軍南部油田試掘　全島野球大會　メートル法實
施着手　臺灣總督府評議會復活　三等郵便局長會議　本島受驗生
優遇　臺灣中央衛生會議　簡易保險郵便年金實施

寄書

近世に於ける植民思想竝植民運動に就て（二）……淺香末起……四一

講演

花蓮港の人は何を焚いて居るか……和田博……五〇

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

H4 D85 エ19

亞細亞から歐米へ（二）……鎌田正威……六五

說苑

臺灣に於ける民俗研究の提唱（上）……西岡英夫……七四

調査研究

支那の國民革命と國民政府（二）……井出季和太……八五

死亡生殘表の效用に就て……出淵勝郎……一〇四

英帝國領土內に於ける靱皮及葉纖維の栽培……前川昇譯……一一二

農村、市街地信用組合金融事情……泉芳德……一二五

島情

臺灣貿易統計……總督府稅關……一三三

臺灣金融統計……財務局金融課……一四〇

文苑 漢詩 俳句……一四五

臺灣日誌 人事消息 任命……一四八

支那及南洋情報……總督官房調査課……一｜四八

支那 比律賓 佛領印度支那 英領馬來 英領北ボルネオ 蘭領東印度 英領印度

支那及南洋其他海外重要記事索引……總督官房調査課……一｜八

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

大阪市高麗橋

株式會社 三十四銀行

資本金五千萬圓

各地支店
（東京、京橋（東京）、京都、神戸、兵庫、尼崎、尼崎東、西宮、姫路、
廣島、德島、阿波池田、奈良、伊丹、傳法、臺南、高雄、
（大阪市內）南天滿、雜喉場、堀江、日本橋、九條、朝日橋）

本行之特色
（銀行一般の業務の外擔保附社債信託法に依り信託事業を兼營す
事業資金部を置き工業資金の供給を爲す
外國爲替は香港上海銀行の代理店として最も便宜に取扱を爲す）

臺北支店　臺北市本町二丁目

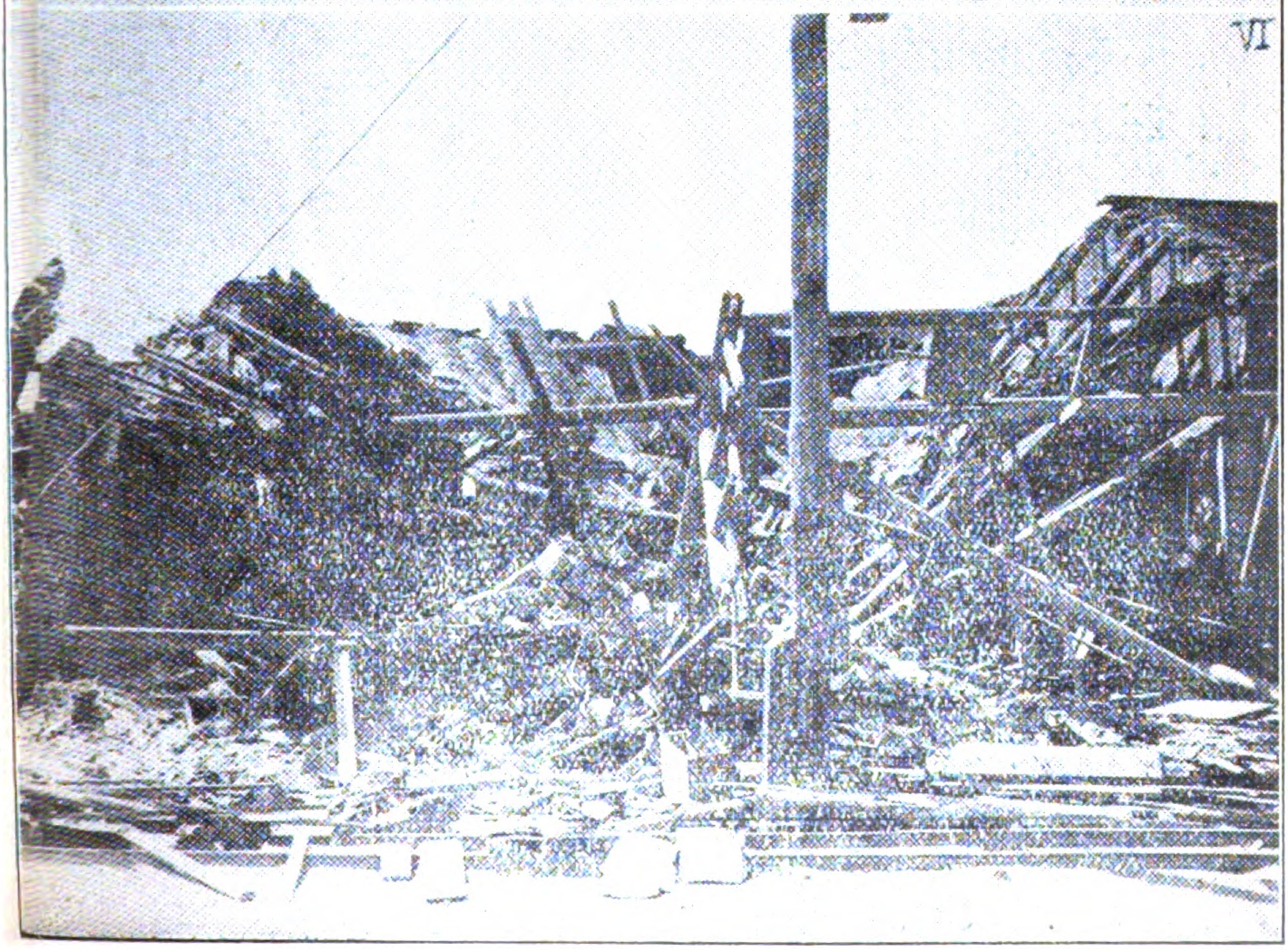
（電話三四、五六、二一九五）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

孔子祭

（九月二十二日、臺北大龍峒保安宮に於て）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN



臺南州下の震害、倒壞家屋

（臺南州鹽水地震に就て、本號記事參照）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

十月號

臺灣總督府評議會の復活に就て

臺灣總督　上山滿之進

明治二十九年法律第六十三號卽ち所謂六三法に於ては、臺灣總督は律令を發するに當り、勅令を以て其の組織を定められたる臺灣總督府評議會の議決を取る可きことを定め、其に基いて始めて臺灣總督府評議會なるものが設けられたのであるが、此の評議會の會員は凡て總督府部内の文武官に限らるゝ制であつて、謂はゞ行政部内に於て衆智を集むるの機關に過ぎなかつたのである。

此の評議會は六三法の後身たる明治三十九年法律第三十一號には其の規定なく、自然消滅に歸したのであるが、大正十年に至り、勅令を以て現在の制度の如き評議會が設置せられ、臺灣總督の諮問に應じ、臺灣に關する重要の事項に付意見

を開申せしめ、本島の進運に資すべき施政に付民意を徴するの機關となつたのである。其の從來の評議會と異なるところは、純然たる諮問機關にして議決機關にあらざること、其の關與するところは法規問題に限られざること、會員には官吏のみならず民間の學識經驗ある者を任命すること等にあるのであつて、玆に時勢の進運に應じて民意暢達の機關が新に生れた次第であつた。

右の如くにして設置せられた評議會には、爾來義務教育問題、民商法施行、訴願制度等の重要問題を附議せられ、其の中には既に實施の運に至つたものも尠からずある。然るに其の後種々の事情よりして、凡ての會員の任期滿了するも之を補充することなく、久しく中絕の狀態にあつたのであるが、今回愈々評議會員の任命を見、之に依り其の機能を發揮することが出來る樣になつたのである。此の機關の組織等に就ては、前總督に於て種々研究を遂げられた模樣であるか、自分としても、就任以來熟慮を重ねたる結果、今日の場合は現制の下に進むことを妥當なりと決し、然る上は出來る丈速に之を復活することを可なりとする考の下に、今回之が會員の任命を見た次第である。唯今回の任命に際しては、從來會員の三割弱を官吏を以て占め居たる例に依らず、其の數を出來る丈け減じ、其れ丈け民間に於ける學識經驗ある人士を增加したのであるが、之れ全く時勢の進運と島内民度の向上に順應して、評議會設置の精神を擴充せんことを期した結果に外ならぬ。是等の諸君は、云ふまでもなく何れも各地方に於ける練達堪能の士である。自分は胸襟を披いて、臺灣に關する重要の事項に付協議を遂げたいと思ふ。會員諸君も必らずや自分の意の存するところを諒とし、愼重審議時勢に適應せる方策を答へられ、本會が本島施政の圓滿なる進展に愈々益々稗益するところあるべきを深く期待するものである。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

後藤總務長官訓示

‖昭和二年九月一日　於警察會議‖

本日諸君を召集して警察會議を開きますに當りまして所懐の一端を述ぶることが出來まするのは私の洵に欣幸とする所であります。

本島の文化、産業が年を逐うて發達進歩して參りまするると共に社會人事各方面に亘つて世態が複雜となり又其の變遷の著しいのが認められるのであります、之に伴ひ警察の仕事も益々繁劇を加へ複雜多岐に亘る次第であります、此の間に處して警察官が能く安寧秩序を確保し正義正道を擁護して行くことは固より其の本來の職務ではありまするけれども限りある警察力を以て限りなく起る所の事象に當るには隨分骨の折れることであらうと思ひます、其の職責を完全に盡すと云ふことは蓋し容易の業でないのであります、警察官の苦心に對しては深く同情致す次第であります、仕事の繁劇を加へるばかりでなく一面に於ては人智の進歩と共に色々な思想の介入がありまして警察の仕事に對して昔に較ぶれば批評批判が旺んになつて、動もすれば警察官の判斷心證を迷はしたり晦したりする場合が起らんとも限らんのであります、一面に事柄は複雜になり一面に外部からの批評批判と言ふ樣な動もすれば警察官の手足を拘制せんとする樣な影響が起つて來た、而て警察の力は仲々之に伴つて充分に充實して行かない、斯う言ふ關係に在つて警察の職能を完全に遂行すると言ふことは餘程な覺悟と決心又不斷の研究と調査とを怠らずにやつて居らなければ出來ないことであらうと思ひます、比較的單純な時代に

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

警察の威力を以て警察の命令を遂行して行くと云ふことは容易なことであります、過去の時代に於ける警察官の努力苦心につきては私も聞いて洵に敬服して居ることも少くないのであります、寧ろ此の際に於ける勇氣決心と云ふものは極く單純なる勇氣と決斷氣力とがあれば足るのであります。

現代の警察の必要とする所は過去の時代に於ける警察の有つて居つた勇氣と元氣の外に尙ほ時代の變遷を能く觀て之に適應した處置を講じて行く充分な聰明を具へて居らなければならん、聰明を具へて居ると同時に今一つ必要なものは外部から種々な批評批判批難が起る此の批評批判批難に對して聞くべきものは聞き聞くべからざる所は斷乎として排除して之に動かされないと言ふ自分の確りした腹が要るのである、過去の人の有つて居つた勇氣元氣水火も恐れないと言ふ元氣の外に尙今言つた二つの要件を必要とすると言ふことが現代の警察官に取つて非常に重い責任が加はつて居る、現在内地に於きましても此の點は變りがないのでありまするが殊に本島の昨今の事情を見ますと私は特に此の警察官の責任が重く而して其の警察官の努力、警察の研究と言ふことが過去よりも一層必要であると言ふことを痛感するのであります。

尙本島に於ける警察は警察本來の使命の外に助長事務を援助し或は民衆の融和を圖り之を善導する重要な一方面を其の活動範圍に加へられて居るのであります、之は内地に於ける警察官としても或る程度の助長事務には今日も參加して居りますけれども本島の警察官が助長事務に參加し居る範圍が少くないのであります、殊に本島の行政組織發達の徑路民智の進步の狀態から推しまして今日に至る迄警察と助長行政と言ふものが頗る錯綜密接した關係になつて居ります、之が爲に警察官の仕事の分量と言ふものも頗る多いのであります、如斯變化する時勢に於て過去の警察以上の大責任大負擔を負はせられ且つ又普通内地に於ける警察以上の助長行政の事務を負擔して居る、斯う言ふ有樣でありまするからして警察の中堅に立つて警察官を指導して行かれる諸君に於かれては宜しく時勢の趨向を察し事象の推移に鑑み内には紀律の振作事務

の刷新を圖り精鋭なる警察力の涵養に努めなければならぬ、外は進んで警察官の配置警察官の運用のことを充分に考覈し種々な變化或は不時の豫測し難き事象等に應ずる準備と覺悟とが常に備つて居らなければならん、如斯して警察の運用を遺憾なき様にして戴きたいと言ふことを切に希望する次第であります。

又近頃諸種の社會運動が起りまして各地に紛議を起しつゝあると言ふことは本島としては洵に警戒を致さなければならんことであります、社會の進歩發達と共に社會上に種々な軋轢が生じて來ると言ふことは之は何れの處にも觀る現象であります、本島が獨り其の例外であると云ふ譯には參らないであらうと思ひます、本島に於て起る所の社會運動の内容を見ますれば更に複雜なる他の意義をも具へて居る點も認めなければならん單純に世間通り一片の經濟又は社會的のものであるとのみ認め難き場合もあらうと思ひます、是等の點に就ては諸君が最も詳しく事實に通じて居られるのである唯深く戒心し注意し之に處するの處置を誤らない様にしなければならん所であらうと思ひます、嚢に開催されたる地方長官會議に於きまして總督閣下から此の問題に付て大綱を御訓示になつて居ります、諸君は其の御訓示の主旨を體し部下を率ゐ平素に於ては愼重なる注意をすると共に事に臨んでは嚴正なる態度を以て是等事象に對して適正なる措置を誤らない様にして頂きたいと思ふ、之に依て以て民心の安定を圖り其の趨向を謬らしめない様に努力を願ひたい次第であります。

更に衛生行政のことに付て一言致したいのであります、本島は社會各方面の文化産業夫れ〳〵長足の進歩を致して居りますが島民の體格及其の體力が他の方面に較べて尚遜色があり島民の衛生思想の發達も未だ甚不充分なものがある。本島の衛生行政のことを大觀して見まするに外部に對しましては傳染病の發源叢窟である對岸支那及南洋の關門に當つて居る譯であります、此の傳染病が海外から襲つて行く關門を押へて之を防がなければならん、又内に在りましてはマラリア、チブスの防遏根絶を期すると言ふ様な當面に差懸つて居る問題があります、斯う言ふ状態でありまするのに拘らず世上動

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

もすれば本島の衛生狀態は逆轉しつゝあるのではないかと言ふ樣な說をなす者があるのであります、假に之を信ずることは出來ませぬけれども衛生行政の方面に於て聊か停頓して居る樣な感を世上に與へつゝあるが爲ではないかと思ひます、諸君は深く意を此の點に用ゐ國民の體力の增進發達を圖ると言ふことの效果を期するが爲に本島衛生狀態の向上に熱誠努力せられんことを希望する次第であります。

次に蕃地のことであります、近時蕃地の情況も著しく平穩となりまして蕃人の進步の跡も亦見るべきものがあるのは洵に喜ばしき現象でありますが之と同時に理蕃上の政策も一轉機を畫せんとして居るのであらうと思ひます、此の秋に當つて撫育事業に力を用ゐ彼等の教化授産に一段の努力を拂つて理蕃事業の發展を圖ると共に將來の施設計畫に關しても充分の攻究をして蕃人啓發蕃地開發の基礎を確立することに努力せられんことを希望する次第であります。

蓋し蕃地の事業と云ふものは自覺の乏しき未開の蕃族を指導して居る事柄でありますから其の間多大の困難はあることゝ思ひまするが又頗る興味も之に伴ふのであります、熱心に誠意誠心事に當つて少しも弛みがあつては不可ぬ、蕃情既に平穩なりとは申し條未だ局に當るものに弛みがありますれば何時か間隙に乘じて不穩の事態を起さないとも限らないのであります。今の狀態を安堵しては不可ない常に弛みのない氣分を以つてやると共に又一面に於ては撫育授産と云ふ仕事に一段の進步をしなければならんと思ふ、理蕃の衝に當られる人々に於ては只今申した主旨を以て精銳の氣分を絕えず振ひ起しながら理蕃の實績を擧げることに努力せられんことを切望して止まない次第であります。

尙警察事務各般のことに就きましては別に警務局長から訓示することゝなつて居ります、諮問事項其の他に付て充分に討究審議の上意見のある所は之を述べられ又互に意見の交換を行ひ以て本會議の主旨を全ふする樣にせられんことを希望する次第であります。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

本山警務局長訓示

‖昭和二年九月一日　於　警察會議‖

警察は公共の安寧を維持し社會の秩序を維持する重大なる責務を有して居つて各體の行政の中軸を爲して居る、特に本島の如き民族を異にし風俗慣習を異にし又た蕃地には未開の民族の居る新領土に於ては警察事務が甚だ複雜であり又た其の責務も一層重大である、加之近時本島の社會狀態は急速なる變化を來たし爲に警察事故の續出し事務も甚しく增加して警察機關の振作向上を一日も忽にし得ない時に於て地方廳警察の最高幹部たる諸君の責任は更に一層重きを加へて來たのである、諸君は自己の責任の重且大なることを自覺し部下警察官を指導監督し警察機能の完全なる發揮に努力せんことを切望する。

次に警察官吏は本島統治の最前線に立つて直接民衆に接觸しつゝ職務を執行するもので其の一擧一動は民衆實生活に對して直接の利害を與ふるが故に警察官吏にして紀律に緊張を缺き又た身を持するの嚴正謹直でない者があるならば決して職務執行の公正を望むことが出來ず延ては本島統治に重大なる惡影響を及ほすことゝ考へる、長官閣下の地方長官會議の訓示にもあつた通り紀律は警察官の生命である。近時警察の紀律が幾分弛んだと言ふ聲を聞くのは甚だ遺憾である紀律の維持は總ての官吏に必要であるけれども殊に警察官吏に於て特に其の必要を感ずる、紀律のない警察は一朝有事の際に何等其の用を爲さない諸君は深く心を玆に留め若し紀律を紊し統制を破るが如きものがあつたならば假藉なく之を處分する

と共に一方には適才を適所に配置し各其の責任を自覺せしめ賞罰を明にして以て紀律の振張に努められたい。

警察は權力行使の機關である熟慮の結果一旦得たる確信に向つては正義の觀念と犠牲的精神を以て之を遂行するの氣慨がなければならない、苟くも情實に捉はれ又は權勢に恐れ職務の執行を二、三にする樣な行爲があつてはならぬ、近時世態の變遷に伴つて警察官の執行力が幾分鈍ぶつたと言ふ聲を聞くが之れ又實に遺憾のことである、此の點に付て諸君の深甚なる考慮を望みたい、併乍一方職務の執行に際しては充分理解を以て之に當り溫情と懇切の態度を持たなければならぬがさらばと言つて民衆に迎合する必要なく之は特に戒めなければならぬ、職務に熱中の餘り職務執行に嚴に過ぎ酷に走ると云ふ樣なことは一般民衆の信用を博する所以ではない、嚴正の中に溫情あり寬嚴宜しきを制する樣にして戴きたい。

次に警察官は時勢と共に推移することが必要である、否寧ろ時勢よりも一歩先に進んで民衆を善導誘掖する必要がある近頃本島の文化が非常に進歩し時勢の變遷世態の推移が極めて急激なるものがあるが之に對して世上動もすれば警察官の進歩が之に伴はないと云ふ非難を爲す者がある此の非難は私も尤であると思ひ洵に心痛に堪へない、今日の臺灣は既に昨日の臺灣でなく明日の臺灣は又今日の臺灣でない、昨日の警察官の頭を以て今日の臺灣を律し、今日の警察官の頭を以て明日の臺灣の治安の維持を圖つたならば治安の維持も福利の保護も得て望むことが出來ない、故に警察官は絶えず修養し斯智識の吸收に努めて時勢に後れぬ樣にせねばならない。

警察官の教養に付いては諸君も充分督勵して居ることゝ思ふ、併しながら一般學術講習の如きに至つては動もすれば形式に流れ易く實際の效果を擧げ難いものであるから尙ほ格段の努力を必要とする、警察機關の健全なる活動を圖るには其方法一にして足らぬが就中警察官吏を教養し素質の向上を圖り能く世事に通曉せしむることが極めて必要であると感ずる總督府に於ても此點に鑑み從來屢々各種の講習講演會を開催して警察官吏の智識增進品性陶冶を圖りつゝあるのである。

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

水、火、風、震災等の慘害は啻に個人的生活の最も大なる脅威たるに止まらず社會公共の安寧を害し延いては地方の發展、大にしては國運の消長に影響を及ぼす、近代社會生活複雜になつた爲に火災事故と云ふ樣な人爲的の災害は甚だしく增加して昨年一箇年に於ける火災の事故は件數に於て一千餘件に達し死傷者の數が六十三名損害價格百三十餘萬圓の多きに達して居る、又た本島は地勢風土等の關係上風水害等天災事變に因る損害が多い、昨年一箇年間に暴風雨の襲來は五回で死者二十九名損害見積價格二百萬圓に上り直接間接に吾人の被る損害は實に莫大なるものがある、故に之が警戒豫防策の攻究は臺灣の現在の狀態に鑑みて眞に緊急の事項であると云はなければならぬ。

風水害等の天災の襲來することは人力を以て防止することは出來ない、乍併其の被害程度に於ては警防の方法如何に依つて充分に輕減することが出來る、況や火災等の如き人爲的に發生する災害に付ては警防宜しきを得たならば未然に防遏することが出來る、即ち先般成立した消防協會の使命の如きも此の目的達成の一方法に外ならない、諸君は宜しく是等自治的警防機關の指導監督に注意し又其の普及發達を助長すると共に一面に一般民衆の自覺を促し火災其の他の災害警防施設を平時の際に攻究して置いて事ある際に萬遺算なきを期する樣に努力ありたい。

社會の進歩人文の發達に伴つて各種の犯罪事件が益々增加し方法手段も亦複雜巧妙となつて來、其の犯罪の性質も次第に惡性を帶ぶる樣になつて來た、殊に近時交通機關の普及發達に伴つて犯罪は甚だしく移動的となり其の領域も亦頗る廣大になる傾向があるのみならず犯人の逃竄方法も亦た迅速巧妙になつて來て犯罪搜索の如きも數州廳に跨つて手配をする場合が頗る多い、然るに從來動もすれば各州廳間の連絡協調の上に遺憾と認めらるゝ點が少くない、各位は充分此の點に考慮し各州廳協同一致して事に當るの方針を以て搜査全局の成績を擧げる事に心懸けてもらひたい。

更に近時經濟狀態の推移思想の變遷に伴つて從來例なき犯罪事件頻々として起きて來るが其の趨勢に處し克く適當の措

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

置を誤らず社會の安寧秩序を保持することに一段の努力を拂はれたい。

本島の衛生狀態は逐年良好の成績を示して居るが尙一般島民の衛生觀念が甚だ幼稚であつてマラリヤ、チブス其他の傳染病も甚だ旺盛で之が改善向上は目下の急務とする所である、且つ本島の死亡率に就て言つても之を內地に比較すると內地は千分の二十人であるのに本島は千分の二十四人を示して居る殊に乳幼兒死亡の多いのは甚だ遺憾の事で總死亡數の五割に達する狀態であり健康治病上洵に遺憾とする所である、言ふ迄もなくマラリアの防遏は本島の保健衛生の根本をなして居りチブスの防遏も亦現在の狀況にては放置するを許さゞる狀態である、各位はマラリアの防遏チブスの撲滅に對して一段の努力あらんことを切望する。

尙過去の衛生行政は多く豫防治療の消極的衛生が其の主であつたのは之亦已むを得ぬ所であつた、乍併時勢の進運は永く消極的衛生のみに止まる事を許さず進んで積極的保健行政に努力を講じなければならぬ時機に際會した、諸君宜しく大局に著眼し豫防治療の消極的衛生と相俟て勞働衛生學校衛生或は上水下水道の普及住宅の改善其の他保健衛生各般の設備に向て深甚なる考慮を拂はれたい。

最後に理蕃事業に付て一言せんに近時蕃情は非常に平穩である。撫育の施設も次第に完備しつゝあり蕃人の生活も改善せられ將來生活の安定を見る時機が遠くはあるまいと思ふ、之は邦家の爲に誠に喜ぶべき現象であると信ずる、併し乍ら此際總務長官訓示にもある如く理蕃從事員をして平穩に馴れしめることなく常に精密なる査察を怠らず蕃地の騷擾を惹起せしむるが如きことなき樣充分なる戒愼を加へなければならぬ、尙ほ從來は蕃人の膺懲鎭撫と言つた樣な方面に力を注いで居つたが今日の如き平穩の狀態になつた上は蕃地の開發蕃人の啓發と云ふ樣な事に付て新計畫を定める時機に際會したと信ずる、總督府に於ても研究を怠らぬ心算であるが各位に於ても充分なる調査研究を進めんことを望む。（訓示大要）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺灣の鑛業

臺灣總督府技師　高橋春吉

本島に於て既に發見せられたる鑛物を學術的に分類すれば六十九種に達す。此内臺灣鑛業規則に依り現に採掘を許可せられたる鑛物は金鑛金銀銅鑛金銅鑛銅鑛水銀鑛鐵鑛砂金砂鐵硫黃燐石炭亞炭及石油の十三種にして、其鑛區總數昭和二年上半期現在にて七八一、此坪數二〇九、一五六、八二一坪に達す。就中石炭は鑛區數に於て將た坪數に於て總數の八割强を擁して第一位を占め石油銅鑛金銅鑛砂金等順次之に次ぐ。

其の分布は金屬鑛は主として本島の極北部より東部臺灣に限られ石炭は北部及中部に擴布し石油は殆んど全島に亘りて之れが產出徵候あり。就中々南部に於て最も著し、之れに由りて之れを觀るに本島の極北部より東部臺灣は卽金屬鑛物の產地帶に屬し北部を煤田地中南部を油田地として三大別することを得べし。

本島の鑛產額は領臺當時卽明治三十年頃までは草創時代のことゝて百事不整頓の折柄不取敢發布せられたる最初の日令鑛業假規則時代の許可鑛區は僅に石岩の四區に過ぎず其の他は何れも二十九年九月臺灣鑛業規則發布後の許可に係り實際稼行に從事したるは三十年にして當時鑛業明細表の屆出等も兎角不正確にして統計材料乏しく、始めて鑛業統計の發表せられしは明治三十二年六月中のことに屬す而して

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

其數字は下記の如し。

三十年	砂金	石炭	硫黃
數量	二、三九二匁	一九、二七五噸	二六三、〇〇〇斤
價額	八、八〇五圓	一〇三、四七八圓	一一、八三五圓

其後逐年顯著なる發達を成し八年以後に於ては著しき急激の發達を遂げ従來十萬圓臺の鑛産額も改隷八年後の三十四年には一〇〇萬圓を突破すること四十五萬餘圓に達せり。更に鑛區の増加と共に産額次第に遞加し四十年の産額は二、二五五、〇〇〇餘圓にして十年以前即ち明治三十年の産額に比すれば二十倍餘に上り、領臺後僅々三十年後の昨大正十四年の産額は一四、六二七、三三四圓にして實に當年の一三〇倍餘に相當し更に大正十五年二〇〇萬圓の増産して一六、七六二、二五六圓を示し尚益々増産の趨勢にありて本年上半季産額は一一、〇五五、〇六五圓に上りて之れを前年舊期に比すれば一、六七二、五八五圓の増加にして年内中には總産額は二、〇〇〇萬圓を突破すべき形勢にあり。今昨年度の産額歩合を鑛種に見るに石炭は總産額の八割八歩金銅之れに亞ぎ以下遙かに下りて石油硫黃銀砂金の順序を示せり。今之れを鑛種別に觀察する時は著しき盛衰の跡を認め得べし。總鑛産一〇〇萬圓を突破せる明治三十四年の鑛産額は一、四六二、四〇〇餘圓にして鑛種には金砂金石炭石油及硫黃の五種あり。

就中金は本島鑛業の大宗として總産額の八割を占め石炭は一割七分を産せり而して當時の金山としては金瓜石牡丹坑瑞芳の三金山にして内地鑛産額に對し四割三歩を産し、特に金瓜石は本邦金山中第一位を占め第二の佐渡金山に比すれば大なる懸隔を保ち一倍二分弱を産し牡丹坑は第十四位瑞芳は第六位に

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

あり而して其總產額は二八三貫二〇八匁價額一、一六九、六九六圓にして石炭は稼行鑛區數一四九此坪數六四、二五六、一九七坪を算せしも多くは所謂狸掘にて機械設備を有するものなかりしを以て其產額の如き最大のものも年產一萬噸を過ぎざるの狀況にして總產額六四、三一九噸此價額二四九、五七五圓なりしも漸增の趨勢は昭々たるものありき。之れより三年後の三十七年には銀の產出あり更らに二年後の四十年には始て銅の試驗的製煉に著手し七八、〇八七斤價額二八、九一二圓を產せり。砂金は明治三十四年乃至三十七年に於ては最盛時にして其最高產額六〇萬圓餘の記錄を作れり。

三十四年より十年後の四十四年の總鑛產額は三、八一一、九二六圓にして三十四年の總鑛產額の二倍六分强に相當す、鑛種は當時の五種に銀及銅の二を加へ七種となれり、金は明治三十二年以來久しく本島鑛產の首位を占めしが大正四年を全盛期とし銅も亦大正五年を全盛として爾來共に漸次衰頽を示せり、又大正二年より新たに基隆沖棉花嶼に燐鑛を三年より基隆郡平林に水銀及蘇澳郡東澳に含銅磁硫鐵鑛を四年よりは花蓮港廳下銅文蘭に銅鑛を七年より淡水港方面の海濱に砂鐵を開發し新鑛物を增加して現時の如く採掘許可鑛物十三種を數ふるに至れり。就中大正五年以降歐洲大戰の好影響に激成せられ石炭鑛業は急速なる發達となり其の隆々たる發展は金の激減を償ふて尙綽々として餘裕を存するに至れり、併し石炭も戰後財界恐慌の反動に依り九、十の兩年は各前年に比し幾分の減退を見たりしも翌年忽ち之れを挽回すると共に遂に一、〇〇〇萬圓を突破するの盛況を見るに至れり故に總鑛產價格逐年增進方の道程を辿り十一年より更に激增し昨十五年（昭和元年をも含む）は一六、七六三、二五六圓を產出せり、而して此の間石炭は大正十年を除くの外增進の一方なりしも他は何れも盛衰消長を免れずして水銀及燐鑛は大正五年に至りて共に休業し未だ復興の機運に達せず砂鐵は戰時鐵價暴騰の際企畫せられしも其の設備了

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

れる頃には著しき暴落をなしたる爲め失敗に歸し九年中を休業し翌十年より復興し多少の產出ありしも十二年下半期に至りて又中止せり。銅文蘭銅山は大正八年下半期に東澳銅山は十二年下半期より閉鑛せり時恰も船運賃の低落するありて茲に金瓜石產の金銅鑛を賣鑛製煉することの採算上利益多き時代を現出し大正十二年八月中を以て本島唯一の乾式製煉作業を休止し爾來金銅鑛を佐賀の關久原製煉所に賣鑛しつゝあるを以て十三年以後の鑛產物中には生鑛の儘移出する金銅鑛を加へたる外鑛種には變化なし。而して金、石炭に次で年一〇〇萬圓以上の產額ありしものとしては銅及金銅鑛あり是等は明治四十年始めて金瓜石鑛山に發見せられて以來產額漸增し大正五年の一三〇萬圓を最高レコードとして其後漸減歩調を辿り大正七年には六十萬圓程度に低減せしが爾來又增產歩調に轉じ十三年には百萬圓臺に上りしも未だ往時の全盛期時代の產額に恢復するに至らざるは遺憾なり。

斯くの如く臺灣鑛產の大宗は大正五年までは金なりしも翌六年より石炭之れに代り著しき懸隔を以て第一位を占め金銅之れに次ぎ以下遙に下りて石油の最高三十萬圓內外を筆頭に硫黃の大正六七年頃の最高額十三——十四萬圓を擧げ得る位にて他は言ふに足らず、銀は金銅鑛の副產物なるが故に金及金銅鑛の減產は直に銀の產額に影響す。大正元年の十三萬餘圓を記錄として年々減產して近年は一——二萬圓を算するに過ぎず、其代り燐鑛砂鐵及水銀の三種は大正二年より同十二年の間に於て三年乃至五年間若干の產額ありしが大正二年に約四萬圓同五年に約九萬圓を產出せるのみにして他は何れも一萬圓以下の微々たる產額に過ぎざるのみならず、此茲數年中にこれ以上の增產を豫想すべき何等の材料を見出し能はざるを遺憾とす。只だ獨り石油に至りては十四年末日石會社の出礦坑第三十六號井の成功以來近來相次いで良井を出して產油激增し又天然揮發油採取の設備完成に依り彼此合せて益々增產の趨勢を辿りつ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ゝありて十五年度には一五〇萬餘圓を產出して空前のレコードを作り、本年上半期は既に百四十五萬圓以上の產出を見、年内中には三百萬圓内外に上るべく本島の油田も漸く世人の注目する所となり今後に於ける一般の活躍を期待せらるゝに至れり、左に是等の主なる鑛業に就き各別に略述すべし。

砂金

砂金鑛業は本島鑛業中最古のものにして今を去る三百有餘年前倭寇時代に日本人の發見創始に掛り其の產地は今の花蓮港廳下タッキリ溪及び其の海濱にして蘭人及び鄭氏相次いで採金し其の後蕃人の採取する處となれり。次いで發見せられたるは臺北州武丹溪の砂金なるが採取の事跡明かならず、大正三年蕃人救濟の目的を以て蕃地砂金調査規定を設け同年十月より之れを施行して之れを奬勵し四年以降花蓮港廳下に於て之れを買收するの方法を取れり。大正五年藤田組亦た同地海濱に採取を試みたれ共其の產額多からず。大正九年以降は同地方に土木其の他の事業起り蕃人は主として是等の事業に從事するに至たれるを以て同年以降は同地砂金の採取は殆んど廢せられたり。

臺灣の重要砂金地たる基隆川筋の砂金は第三次の發見にして今其の年代を詳にせずと雖遙に後年のことに屬するが如し、之れ實に往昔知られたる砂金地にして爾來區域は益々擴大し進んで九分金瓜石兩山の放射谷に達し遂に今日の九分金瓜石兩鑛床の發見を誘致するに至れり。

明治二十八年本島の我が版圖に歸するや舊制に倣ひ瑞芳に砂金署を設け採金を監したりしが間もなく匪亂の爲め之れを廢し採金を嚴禁せり。然し二十九年九月鑛業規則の發布に依りて一般に採取を許可せらるゝや逐年盛況を呈し明治三十五年の產額は百六十一貫餘り此の價額六十萬圓を超過するに至りしが之れを本島砂金鑛業の全盛期として爾來產額漸次減退し明治四十年以降數年間は大なる增減なく四萬圓乃至五萬圓の間を往來し、大正三年より六年にては前年の二倍内外を增產し六年の十一萬五千餘圓に達

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

せしが之れを絕頂額とし翌七年に至りては基隆川筋の砂金は大略採盡せられしを以て激減して三萬圓となり八、九年は稍增產せるも十年以降は再び激減し十一年以降は更に減少して其の產額一萬圓にも滿たず昨十五年の產額は僅かに二貫五百四十二匁此の價額九千七百有餘圓を算せるに過ぎず。

從來は基隆川筋採金地は七堵鐵橋より上流大粗坑溪の落合に至る約五里の區間にして同橋以下は水比較的深くして未だ採取を試みざるの處女地域に屬す。

前記の外砂金賦有の地は臺北州武丹坑溪花蓮港廳下タッキリ溪新城加禮宛の三原野三機溪蔾々埔溪花蓮港海濱等あり、是等の中に採取を試みたることあるも成績擧らずして休止せるものあるも多くは全く處女地域にして何れも適當の方法に依り經營良しきを得らば大いに囑望に價するものありと思惟せらる。

金　本島の金鑛開發は實に明治二十六年(光緒十九年)九分山の金鑛發見に濫觴す翌二十七年又金瓜石の岩嶂に金鑛を發見せられ領臺後明治二十九年十月此の地附近一帶を二分して鑛區を設定し、前者は瑞芳金山後者は金瓜石金山と稱し共に明治三十一年より濕式製煉を開始し忽ち本邦有數の金山として其の名を馳するに至れり。其後明治三十四年武丹坑の溪間に豐富なる金鑛床の發見ありて武丹坑鑛區を設定し茲に三金山相鼎立して隆盛を極め俗に基隆三金山の稱あり。翌三十五年には百八餘圓を產し逐年產額を增進し、三十八年中には金瓜石鑛山に豐富なる含金銀硫砒銅鑛々床を發見せられ益々產金を增加し四十一年以降二百萬を超へ大正元年に及びしが一方武丹坑金山の鑛況漸次凋落を告げ大正二年中武丹坑金山は終に金瓜石鑛山に合併せられたり。爲めに產額の減少を來たし大正二三兩年には百萬圓臺に激減せり。然れども四年には瑞芳金山の富鑛帶に逢著するや產額激增して四百二十八貫餘此の價額二、一九三、〇〇〇餘圓を產出して最高記錄を造りしも其後歐洲大戰の影響を受け漸次減退し六年には稍回復せ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

しも七年には武丹坑の稼行廢止せられ產額又々激減し十年中稍衰勢を挽回せしが翌年より更に衰微して十五年の如きは僅かに七十九貫餘此の價額四十一萬七千餘圓を產せしに過ぎず。之れを全盛期の產額に比すれば約六分の一にして今昔の嘆なき能はざるものあり、而して此の衰頹は大正十二年八月以降金瓜石鑛山が金銅鑛の乾式製煉を廢して之れを內地に賣鑛するに起因せるは勿論なるも採掘場の漸く深底に進むに伴ひ金鑛品位の低下せると武丹坑鑛區の稼行廢止に因るものなり。

而して金の產額は現在稼行金鑛區に於て或は製煉方法の改良に依りて多少の增產を期待し得ると雖豐富なる新鑛床を發見せざる限りは當分現狀維持なるべく、唯だ東部臺灣は地質上より考察して金屬鑛物の鑛床の存在を豫想し得るが故に同地の交通が開發せられたる曉には同地方の鑛山も有利に經營せられ金屬鑛業勃興の時機の到來を豫想し得るが故に之れに伴ふて金鑛業の振興するの期あるべきを信ずるものなり。

銀　銀の鑛床は未だ發見せられず統計に表はれたる銀は凡て金及び金銅鑛製煉の副產物にして明治三十七年以前の產額は之れを粗金中に算入せられしを以て知るに由なし。三十八年以後は金及び金銅鑛の增產につれ連年增產し大正六年の如きは十三萬二千餘圓を產して最高記錄を作りしも翌七年よりは激減して五六萬圓臺に下り大正六年の六萬七千餘圓を掉尾として爾後逐年遞減し昨十五年は僅々一萬七千三百餘圓を產せしに過ぎず。

銅　本島に於ける銅鑛の發見よりすれば明治三十六年花蓮港廳下秀姑巒溪の下流奇密社に發見試掘されたるを嚆矢とすれども當時金鑛を主なる目的として銅鑛を顧みざりし爲め銅の產出を見ずして廢坑せり。其の後明治三十九年末金瓜石鑛山に於て始めて硫砒銅鑛の發見あり、四十年より製煉に著手し同年

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

十二萬三千斤價額二十四萬一千六百餘圓を產せり、之れを本島產銅の嚆矢となす。爾來逐年產額を增進し大正元年以降は百萬圓を超へ三年には三百十二萬六千斤を產して全盛を極めたり。爾來時局の影響を受け逐年減產を辿れり。是れより先き大正三年中臺北州にありては東澳富太社花蓮港廳下にありては銅文蘭臺東にありては都蘭山等に銅鑛の發見あり。東澳銅山は大正三年より著手したるも含銅品位低くして單獨稼行の價値なく單に金瓜石鑛山製煉用の煤熔劑として供給せられ銅文蘭は同四年より採掘に著手五年には小規模の製煉所を設け尻銅及銅鈹の產出あるに至れり。斯くて產地は增加し一方金瓜石にありては選鑛製煉其の他の設備に幾多の改善を施し增產を計りしに拘らず連年遞減を續けたり。而して銅價暴落の結果は大正八年中銅文蘭銅山廢業し富太は採鑛に都蘭其の他も試掘に著手したるもの小なからざりしも戰後銅商況の不振に會し何れも作業を中止し金瓜石鑛山に於ても亦鑛石の品位低下し貧鑛製煉の採算上利益多き時代を現出し遂に利益多き貧鑛製煉法を採用し十二年八月以降本島唯一の製煉所を廢し大分縣佐賀關製煉所に依託製煉に附するに至りしを以て產額益々振はず。之れが當然の結果として同年中主に製煉煤熔劑として採掘中の東澳銅山を閉鎖せり、從つて十二年八月以後の銅とは沈澱銅のみにして昨十五年產銅額は激減して二十六萬一千九百六十八圓に過ぎずして全盛期に比すれば著しき減退なり

其の他銅鑛區の設定せられたるものに臺北州富太社花蓮港廳下海鼠山銅門チャカン溪上流マリバン溪上流花溪臺東廳下富原村成廣澳キナブカ溪及都蘭山等ありて一時試掘盛に行はれ殊に富太社の如きは既に坑口に大量の鑛石を貯藏し諸事の設備成り將に實行に移らんとして東部臺灣の鑛業も漸く勃興の曙光を認めらるゝことゝなり斯業者の刮目せし處なりしが、偶々銅價の暴落に遭ひ經濟的稼行困難となり今に坑口附近に大量の鑛石を貯藏しながら採掘を開始するに至らざるは遺憾なり、其の他のものにありて

も同様相次いで試掘を中止し今や全く寂漠を感ずるに至れり。然れども東部臺灣には地質學上より考察するに或は今日まで發見せられたる幾多の銅鑛露頭の有する點よりするも銅鑛發見可能につき悲觀するに及ばざる處の形跡を見出し得るを以て同地の交通機關の不備や交通の不便等を開發せらるゝに於ては同地方の鑛山業も有利に經營せられ銅鑛業の勃興するの時機到來すべきものと信ぜらるゝが故に早晩金瓜石銅產額の減退を補ふて尙ほ餘りある產銅の期到來すべきを信ずるものなり。

金銅鑛　金瓜石鑛山に產する含金銀硫砒鑛を言ふ、元來金瓜石鑛山の製煉資料たるを以て明治四十二年までは其の價額を統計に計上したる事なかりしも、翌四十三年より只其の品位の低きものゝみを選んで煤熔劑兼用として其の姉妹山たる釜石鑛山に生鑛の儘四百二十八貫餘此の價額四萬二千餘圓を移出したるを始めとし、爾來一盛一衰を經て大正八年には十六萬四千餘圓を移出して記錄を作り十年は全く移出を缺きたるも十一年之を復興し翌十二年には生產費の膨大せると時恰も船運賃の低下したるを機とし自家製煉を廢し內地佐賀關製煉所に賣鑛するを採算上有利なりとして十二年八月中より盛に移出するに至れるを以て統計上に金及銅の減退を示せるに反し金銅鑛は頓に其產額を增加し昨十五年には百十二萬一千六百九十九圓を移出せり。

石油　舊記の示す處に依れば本島石油の產出は今を距る六十五年前蕃語通事邱苟が始めて新竹州苗栗郡出礦坑に石油を發見したるに濫觴す。

其の後光緒四年(明治九年)淸國政府は米人技師二名を聘し鑿井を開始したるも間もなく該技師の歸國により廢坑に歸せり、明治三十年五月に至り舊鑿井跡を中心として鑛區設定せられ三十七年一月臺灣石油試掘組合の此の地に試みたる第一號井の成功に依りて茲に石油鑛業は復興せられたり。其の後三十九

年一月南北石油株式會社の經營に移り四十一年十月寶田石油株式會社に轉じ大正十年十月日本石油株式會社に合併し以て今日に及べり。明治三十二年以前の產額は統計の示すべきものなく三十三、三十四の兩年には三十七石內外の產油あり其の後二箇年は產油を見ず三十七年第一號井の成功に依り此の年七百石餘の產額を見たり。爾來坑井を掘鑿すること十七坑に及び年產額三千―六千石ありしもの兎も角減產の趨勢を辿り價額亦之に伴はざるものあるなど其の成績良好ならずして經營困難を感じ既に事業を中止せんとする悲況に陷りしを以て四十二年督府は之が誘導援助の必要を認め特に補助金を下附し第十八號井を掘鑿せしめたるに大正元年十月奏功し同坑場を窮地より救ひ本坑場の面目を一新するに至れり。三十七年以來今日まで開掘四十井に餘るも空井僅に三箇所に過ぎず現今採油中のもの二十を數ふ一般に井壽に富み出油以來長きは十九年短きも十一年に及び今尙出油を繼續しつゝあり。本坑の產油は第十八號井の成功に依り大正二年より急激に增加し五年には千七百石餘の原油を採取せしが翌六年より又々漸次減退せり。大正十年寶田石油株式會社は日本石油株式會社と合併し一層鑿井に努力したる結果十一年には一萬千餘石を產して稍や囘復の兆を示せしも良井を得ず前途樂觀を許さざる形勢なりしが、大正十四年十二月第三十六號に成功し當初日產三百石を自噴して新記錄を顯し更らに十五年に入りては二十八三十五兩井の掘下に成功し續いて三十八、三十九、四十等の各井に成功し本年上半期の產額約百二十萬罎に達して空前のレコードを作れり。

是れよりき先き各油井より噴出する石油瓦斯中より揮發油採取を企劃し五十萬立方呎の瓦斯を處理するコムプレサーを据付け併せて原油中の揮發油をも採取すべきトッピング裝置を爲し何れも相當の效果を收めつゝありて本年上半期の揮發油の產額は約五十萬罎を產出せり、玆に同坑場の生氣を囘復し斯業

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

發展の基礎を固むるに至れり。現時本島に於ける採油場としては此の出礦坑一あるに過ぎざれども全島の第三紀層中殆んど到る處に其兆候を發見す而も從來試掘を行はれたるは出礦坑の外高雄州下千秋寮、深水、滾水坪、內寮、甲仙、臺南州下六堂溪、竹頭崎、新竹州下礦水地內にありて出礦坑を除き試掘井十五に過ぎず。而して千秋寮滾水坪及六堂溪に於ける其二號井に出油ありたる他は總て瓦斯の猛噴に妨げられ中止し、深水は少量の滲出油を見たるも瓦斯の發噴あり、內寮は三十六、三十七年の交桝井氏なるもの上總掘を以て出油を證せし處なりしが大正八九年に亘る海軍省の試掘に於ては不幸にして深底に僅少の瓦斯を見たるに過ぎず。甲仙油田は內寮と同時に海軍省の試掘に依りて瓦斯及石油混交層三座瓦斯層八座を突破し就中三百三間三尺の深度に於ける油座は九年五月二十六日二十石の原油を自噴し越へて二十九日二十六石を自噴したるも其の後出油の減退に依り深度三千尺に達して廢棄せられたり。竹頭崎油田の試掘は大正十年四月開始以來既に三井を了して共に深度二千尺を超越し第一號井は瓦斯層十二座第二第三の二井は瓦斯層各七層を經過し各井共三層の油層を伴隨せしも何れも湧出油量少く交通不便なる此地に於て經濟的採油に適せずと認められ財界の恢復まで中止することゝなりしが其後第四號井の試掘なきは甚だ遺憾とする所なり。

新竹州下の錦水油田(造橋油田とも言ふ)は試掘は大正二年十一月開始せられ爾來五井を掘鑿し目下第六井の掘鑿中なり。內第一號井は未曾有の大瓦斯を發噴し遂に坑壁の崩壞其他の故障に依り二號三號の兩井も亦瓦斯層に逢著せりと雖油層に達せず、而も豫定深度に達する能はずして掘進不可能に陷り第四號井は鑿器鐵管等の抑留等全然作業上の失錯を繰返し何等の成果を見ずして廢坑せられたり。只第五號井は今尙盛に瓦斯を發噴しつゝありて大正十二年三月掘鑿開始以後油層及瓦斯層八を貫きしも二千五百

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

尺內に於ける油層は何れも其の湧出油量少くして有利の採油見込立たず、然れども前記瓦斯層中深度三百六十間並に四百五十間より發噴せる瓦斯は空前の大瓦斯にして前者は當時晝夜百萬立方呎後者は十三年十月十日の噴出に掛り其量約三億立方呎と稱せられたり。當時此貴重なる瓦斯の利用を講ずるの企業家なくして半歲を送りしが此の瓦斯一千立方呎中に七合內外の揮發油を含有するを以て十四年九月より吸收式揮發油採收裝置を建設し目下一日四十石內外の揮發油を採收しつゝあり。

要するに本島に於ては石油徵候地尠なからざるのみならず現在廣袤二千八百九十餘萬坪の鑛區と延長二百二十四里に亘る天與の資源を擁し其の兆候の顯著なる地域は二百箇所を越へ尙調查を進むるに於ては其の地區の增加すべきは疑なき所なり。然るに其狀勢を顧みるに領臺後三十年間に試掘の行はれたるは僅に九箇所に過ぎず遲々たりと言ふ可きか而も一も空井なきにも拘はらず一井を以て廢棄せられたる處多し。之を要するに臺灣の油田は其の一端を試掘されたるに過ぎずして其の殆んど全部が斯業の上より見て處女地域と言ふを憚らず故に臺灣油田の發展は今後に俟つべきもの甚だ多し。

因に本島の含油層は一般に軟質砂岩にして今日まで判明せるもの六層を算し現在出油中の坑井の位置は海拔二百十八米乃至五百米の地域に於て深度二百八十米乃至九百六十米に於て採油す。油質はパラフイン系に屬しボーメ三十七度乃至四十一度を有する良質原油にして赤褐色透明なり。揮發油及固形パラフインの含有量多きこと內地に於て之に類するもの少し特に固形パラフインに於て然りとなす。此の點ジヤバ、ボルネオ產原油に良く類似せり只一大缺點とすべきは芳香族化合物に富むを以て本原油より普通一般の製油法にて製造したる燈油は點燈の際油煙多くして燈火として良好ならず。

石炭　本島の石炭採掘は舊記の示す處に依れば今より二百數年前蘭人が基隆淡水方面に占據の時代

より行はれし處なるも龍脈說の迷信等に捉はれ屢々採掘を禁止せるを以て一興一廢遂に成績の見るべきものなく其後又日清戰爭に禍ひされ領臺當時は全く頹廢に歸せり。

產額は改隷の當時にありては年額一萬五、六千噸內外に過ぎざりしも明治二十九年九月鑛業規則發布され一般に鑛業の出願を許可さるゝに至り年々增產の經路を辿り三十九年には十萬噸を越へ四十二年には約十八萬二千噸に達し島內消費高に稍や追從するを得たり今當時の產額と島內需用額との關係を見るに次の如し。

年度	產額	島內需炭額
明治四十一年	一五三、〇九九噸	一八四、九八五噸
明治四十二年	一八一、九五六噸	二一七、二六〇噸
明治四十三年	二二九、八〇二噸	二七九、九六〇噸

是れより先き四十一年には縱貫鐵道の全通せるあり一方一般產業の發達亦著しく從つて船舶の出入多く或は製糖工場の新設等に依り四十三年より島內の需要炭激增したるに伴ひ年々急速の進步を呈し大正四年までは年額四、五萬噸宛の增產を見るに至れり。然りと雖需要の增加は主として南部地方に起れるを以て海陸運賃の不廉は內地炭及八重山炭若くは撫順炭等の移輸入に委せざるを得ざるの狀勢なりしを以て四十二年の頃より釀成せられたる採炭設備改善の機運は逐年成熟して狸掘の廢止機械設備の炭山增加せしに拘らず大正四年までは本島の產炭は島內の消費高に追隨する能はざる狀勢にありしが、大正五年に至り歐洲大戰の影響を受け香港を始め南支南洋內地其の他に石炭の供給不足を告ぐるや玆に新販路を開拓するに及び多年の潛勢力を發揮し一躍して十四萬餘噸を增加して五十一萬餘噸を產し六年以降は團體的企業組織に依り稍や大規模の採炭計畫の實行に移れるもの多く斯業は益々長足の發達を遂げ新規著

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

手の炭山増加し年額二十萬噸内外の増産を示し、八年には宜蘭線の開通せるありて此の方面よりの基隆港への搬出を順調ならしめ或は對岸爲替の累進的好勢を持續せる等のため十五萬乃至三十萬噸の激増を示し八年には百萬噸を越ゆるに至れり。而も五年以降の發展は極めて急激にして翌六年よりは金に代りて本島鑛業の首位を占むるに至れり。十一年には前年に比し銀相場稍昂騰し且つ需要旺盛に向ひ又内地に於ける採炭制限等の爲め本島炭の出廻り活況を呈し前年に比し約三十二萬噸價額二百二十五萬餘圓を増加して此の價額一千五十一萬餘圓に達し總産額の八割四分を占め益々増進の趨勢を示せり。十三年には百五十萬を突破し昨十四年の産額は百七十萬四千五百餘噸此の價額百二十九萬八千七百六十八圓にして之を十年前の産出に比すれば數量に於て四倍五分價額に於て八倍八分に當れり。更らに領臺當時の明治三十年の産額に比すれば數量に於て約九十四倍價額に於て百二十六倍一分に相當せり而して本年上半期の産額は九十四萬七千六百噸にして年内中には二百萬噸に近からんとするの趨勢にあり。

次に價格につきて之れを見るに領臺當時より三十三年までは十萬圓臺を三十四年より四十年までは二十五萬圓乃至四十八萬圓臺を産出せるものが、四十一年には五十萬圓を突破するに至りしも尚微々たるものなりしに、大正二年には百二十二萬圓を突破し更らに六年以降にありては時局の影響を受け炭價の昂騰を來たしたる爲め六年には前年に比して一躍百萬圓を増加し爾來三十萬圓乃至二百六十萬圓を増加し十一年には一千萬圓を越ゆるの盛況を呈せり。十四年には千二百九十九萬八千七百六十八圓を産して十五年前の大正元年に比すれば價格に於て十三倍強に達し本島總鑛産價額の約九割を占むるに至れり尚昨十五年には一千三百二十九萬八千九百十三圓を産せり之れを最近十箇年の増産の割合を見るに毎年四分六厘强に相當せり。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

更らに本島に於ける石炭の消化を見るに島內消費と島外消費に二大別せられ更らに島外消費には海外輸出と內地移出の二つに分かる改隷後產業未だ興らず運輸機關備はらざりし時にありては淸朝時代の遺習を受け南支方面に輸出せしものありと雖產額少なく輸出量の如き微々たるものなりしが、明治三十二年以來八重山炭が基隆港を中繼として輸出せらるゝに至り漸增して四十二年には焚炭を合せて三萬五千噸に上り四年には六萬七千噸餘に及べり當時本島の產炭地は石炭需用の中心たる南部地方を距ること遠く故に運賃關係より之れを八重山炭及其の他內地炭又は撫順炭の蹂躪に委して販路を他に求めざるを得ざりしを以て其產出高も自然制限せられ島內消費高に追隨する能はざりしに、五年歐洲大戰の影響に依り內地に於ける各種工業の勃興は九洲炭の供給難を生じ、遂に其勢力範圍たる南支南洋の市場に其輸出を減退せると外國炭も亦同轍を踏むの形勢に陷りたる機運に乘じ本島炭の移輸出を計りたる爲め島內消費炭を超過し八重山炭を合して輸出七萬八千餘噸船用炭四萬八千餘噸計十二萬六千餘噸を海外に排出せり。爾來島內の需用には大なる變化なきも輸出は爾來急激なる發展を遂げ八年には兩者を合して五十七萬九千餘噸此價額九百五十五萬四千餘圓を輸出し本島輸出品中の首位を占め、翌九年には千九十四萬圓十年には八百二十八萬五千圓を輸出して引續き首位を保ちしが十一、十二の兩年は戰後反動せる財界の十分なる整理案定を見るに至らざりし爲に南支南洋方面に於ける石炭の供給潤澤となり著しく減少して七百三十萬圓內外に降りて茶に一籌を輸したりと雖尙第二位を降らず昨十四年は一千萬圓近くの輸出を見たりと雖尙第一位に上り得ざりしも砂糖の遙か上位にあり。元來本島に於ける輸出總額は三千萬圓乃至四千八百萬圓にして茶石炭樟腦及砂糖を以て四大輸出品となす、而して石炭は現時第二位を占め價額總輸出額の五分の一强に相當し本島經濟界に及しつゝある影響の尠なからざるは吾人の注目に價すべ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

し。

硫黃　硫黃鑛業は本島鑛業の始祖にして大屯火山彙の硫黃は已に西班牙人の占據時代に於て採製に著手せられしと云ふ。產地は本島の北端に於て蟠結せる大屯火山彙の山側に限られ就中北投硫黃は溫泉と共に古來著名のものに屬す。鑛床分散的なるを以て規模何れも小なるのみならず時價に著しき變動あるを常とするを以て產額と價格とは常に市況に制せらるゝを以て其產額と價額は一盛一衰あり。而して產額に於ては明治三十七年は往年の記錄にして大正十二年は最近の記錄なり共に五百萬斤を越へ他は概ね二百萬斤乃至四百萬斤內外にして唯だ大正五六年の兩年には歐洲大戰の影響を受け五百萬斤近くを產出せり。價格に於ては明治四十二年の五萬三千五百九十九圓は往年の記錄にして二年に於て之れを超過して六萬三千圓近くを產出せるの外四年までは五萬圓を越へたるものなし。五、六の兩年は前記の理由に依り五年には十四萬餘圓を六年には十三萬六千餘圓に達して新記錄を作り、爾來大體に於て漸減の趨勢を辿り昨十四年は粗鑛四百二十六萬六千六百二十六斤精鑛九十九萬九千二百七十五斤此總價額六萬六千七十五圓を產せり。用途は島內にありては肥料會社に於て其大部分を使用せられ精品は主として南支へ輸出せらる。

以上の外本島には既述せる如く鐵、水銀及燐鑛等あるも是等は現時休業中にして重要ならざるを以て後日の機會に讓り今は之れを省略することゝなせり。

結論　既に述べしが如く本島鑛業中石炭は鑛區數に於て將た坪數に於て總數の殆んど八割を擁して第一位を占め、石油金銅鐵銅鑛金砂金等順次之れに亞げり。而して鑛業に投資せる額は石炭鑛業會社及金銅鑛業會社を併せ其數二十三(石油は日本石油株式會社のみなるを以て除外す)資本金二千六百八十五

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

萬圓、拂込額一千七百五十一萬圓に達す、尙此外煉鑛會社又は個人等より出資せる額は八百萬圓以上に達す。鑛物の輸出としては殆んど石炭のみにして其額外資を輸入する一千萬圓を超過し本島經濟界に貢献する處決して鮮少ならず、而して本島炭の將來と需給關係を豫測するに島內消費七十萬噸、移出二十萬噸、バンカー三十萬噸計百二十萬噸內外は大體動かざる處なるも唯殘る輸出が問題にして之れが五十萬噸に上れば總積出高百七十萬噸となり之れが六十萬噸に達すれば總積出高百八十萬噸となる譯にして而も島內消費炭は四圍の狀況より考察して急激に增加するとも思はれず、即本島炭積出の多少を決する換言せば本島炭の出炭額を左右する最大原因は輸出の好不況に有り而して本島炭の輸出先は南支南洋が主向地なるが故に是等の地方との商況は政爭、爲替の騰落、排日等に依り好況常ならざるものあれども最近四・五年の統計に依れば五十萬噸を下らずして寧ろ增加の趨勢にあり。又島內消費量は目下島民一人一箇年〇・一九噸にして右は世界の大勢に鑑み本島炭の需要は當然增加すべき運命にあるべきものと思料せらる彼此四圍の事情を考察する時は本島炭は當然漸次增加の趨勢にあり。

石油の產額は從來年產額二萬石內外に過ぎずと雖油帶を擁する背斜軸は約三十條の多きを數へ其延長二百二十五里餘に達し而も其兆候顯著なるに領臺後三十年間に試掘を行はれたるは僅に九箇所に過ぎずして未だ其一端を試掘されたるに過ぎずして其全部が斯業の上より見て處女地域に屬する未知數なるも、曩に造橋に於て本邦に比類を見ざる大瓦斯の噴出を見最近また出礦坑に於て本邦に於て有數の油井を出すに及び、玆に愈々臺灣油田の有望なる事を事實に證明するに至り、而も產油豫想地域は全面積の過半を占め地質上石油埋藏に極めて有利にして將來本邦のボルネオなりと期待せらる。蓋し石油は將來に於ける本島鑛業を支配すべき光明に充てるものと言ふ可し。然りと雖石油掘鑿は現今の科學程度にあ

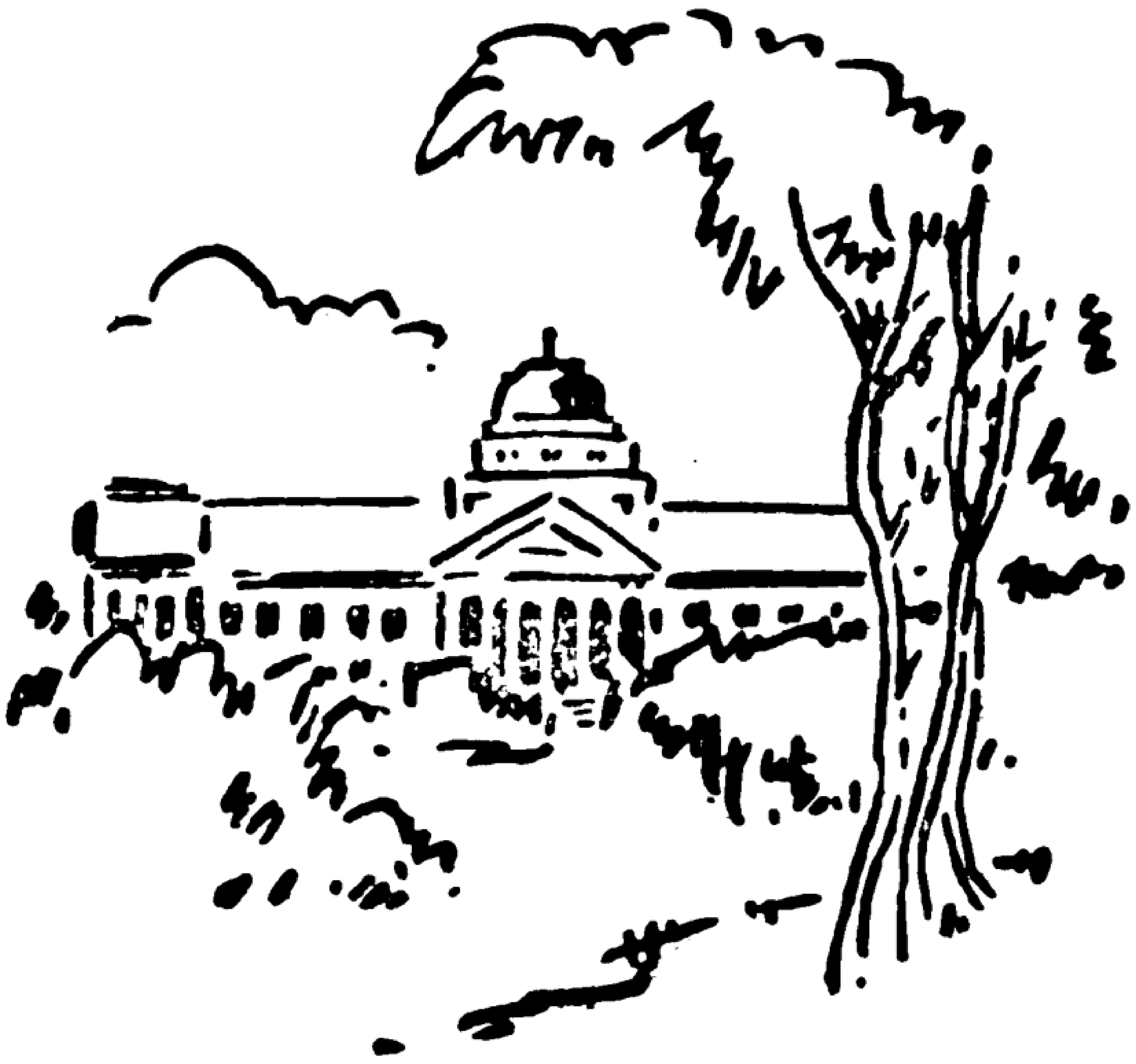
Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

りては一種の投機事業と見做さるゝ程度に多大の犧牲と負擔とを要するが故に、假に相當の成績を收め得たりとするも收支計算上著しき成績を收め得たりとするも收支計算上著しき成績を得る能はず。殊に本島の如く地表の踏査さへ容易ならざるものあるに況んや是等の土地に地下數千尺を掘鑿するの艱難は實に意想の外にして之れに要する費用の如きも實に莫大のものなり、殊に本島の石油事業は其の生產費に於て其の生產條件に於て內地に比し甚だ不利の狀態にある爲めに之れに拂ふ當業者の犧牲は決して尠しとせず、宜べなり本島出礦坑油田が今日の如く其の眞價を認めらるゝに至りし迄には日本石油會社が過去二十餘年間に亘り不屈不撓不斷の隱忍持久の努力と約五百萬圓の巨額を投資したる賜物に外ならず更に見逃すべからざることは出礦坑が曩に產油著しく減少し將に閉場せんとしたる時指導獎勵なかりしなば蓋し廢業の悲運に陷り今日の眞價を知るべからず。而も臺灣油田の今日ある所以のものは當時の鑛務課長福留技師が指導獎勵其の良しきを得たる賜物たらずんばあらず。

今や時勢の進運と國際關係は悠々として自然の成功を待つ能はざる狀勢に傾きつゝあるを以て、一日も速に油田開發の積極的政策を確立し之れが實現に著手すべきことを高唱して止まず。蓋し本事業の性質上其の成功には幾多の年月を要し決して盜細的起業的に容易に其目的を達し得るべきに非らざればなり故に本島油田開發の起業熱勃興せる此の時機を逸する事なく試掘を獎勵して企業家の奮起を促し大に之れを獎勵助長して開發し促進を計らんこと熱望に堪へざる處なり。

其の他の鑛物にありて新に良好なる新鑛床の發見せられざる限りは現狀維持なる可く近き將來に於て大なる期待を望むべからず。然れども本島全面積の約三分の二を包擁する蕃界の地は鑛業には今尙ほ全くの處女區域に屬し、而も是等の區域は地質的方面より考察するも或は從來の調査研究の結果より推察

するも經營的價値を有する鑛床の賦有し得るを推定し得るものあるを以て鑛山地質的智識の進むに連れ同地の交通の開通せられたる曉には同地方の鑛山業は有利に經營せられ鑛業の開發せらるゝ時機あるべきを以て金銅其の他の金屬鑛物は現在以上に期待し得べし。願くは一日も早く蕃界地方天與の富源を開發せられんこと熱望に堪へざるなり。



臺南州鹽水地震に就いて

臺灣總督府技師　市川雄一

一　緒言
二　臺南測候所觀測
三　被害狀況
四　地質
五　地體構造
六　結論

一、緒言

昭和二年八月二十五日午前二時九分五秒臺南州新營郡鹽水街附近を中心として激震起り臺南州下一市七郡及高雄州下の一部に亘りて近年稀なる震害を與へたり。

本地方は古來地震の多き所にして就中明治三十七年三月十七日、嘉義を中心とせる大震の如きは尙未だ人心に新なるところなり。

本島は全般に亘りて地震頻繁なるが特にこの西南部地方に於て震災多きはその地體構造が地震帶を形成することゝ地質が沖積期卽ち現今沈積生成せる軟弱なる砂土層なる上に土民家屋の多くが土确造の危險建築なるとに因るものとす。故に地體構造と震源との關係を審かにし地盤の強弱と被害狀態との關係を明かにして將來に備ふるは緊要の事とす。本島に於ける地質調査事業は此の目的に向つても亦著々其の歩を進めつゝあるものにして、本文の趣旨は震害を防止する上に於て地質及地體構造を十分顧慮すべきを說かんとするに在り。

二、臺南測候所觀測

昭和二年八月二十五日午前二時九分五秒發震、初期微動五秒、主要動週期二秒三に對し最大震幅三十粍以上、繼續一分七秒、總震動時四十二分五十五秒、震源地は本震及同月二十八日迄の餘震八回の觀測に依り臺南市より三十六粁(約九里)北北東卽ち鹽水街の北五粁の地點とす。比較的小範圍のものにして、臺中、恆春、澎湖は弱震、臺北は人體に感ずる微震なり。震幅は臺南測候所地震計の限度三十粍を突破せる如き極めて大なるに拘らず、震害の程度比較的尠く震域小なりしは震動の週期緩大なりしに因る。

三、被害狀況

被害區域は臺南市及新豐、新化、曾文、新營、嘉義、北港、東石の七郡並に高雄州下の一部なるが新營、新化、曾文の三郡下の被害甚しく就中震源地附近なる鹽水街は最も大なり。

鹽水は戶數一、三〇七戶、人口五、九三六人なるが、被害住家二四四戶、非住家一二にしてその中全壞家屋四六、死傷者

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

三二その中死亡者九なり、伊藤街長の談に依れば被害家屋の中全部取壊を要するもの一四、改築を要するもの四四戸大破修繕を要するもの六〇戸なり。之等の被害家屋は主に同街東側一帶にして死傷者もこの一帶に多く出せり、此の部分は特に地盤の軟弱なる地域にして詳しくは後節に記すことゝす。

岸内鹽水港製糖株式會社工場は鹽水街の一部なるも被害殆どなく、その北方八掌溪岸附近一帶は河流曲折し地盤軟弱なる爲河岸道路上數十箇所に大小龜裂を生じ、鹽水港南畑中及び同溪岸に噴泥箇所多く、新營郡役所の調査に依れば噴泥の箇所實に三二〇箇所に及ぶ。鹽水街の東約一里なる新營街は煙突の折壞の外被害輕微なり。

新化街北方數町なる、臺灣製糖株式會社工場の自作耕地及道路附近一帶處々に龜裂を生じ約五十中歩に亘りて處々泥水を噴出し排水溝に三尺の增水をなし、一日にして減水せり。又敷設せる鐵道線路(十六磅)の一箇所接續部より彎曲し約一尺を短縮し、且つ附近の板橋(長さ一四尺幅九尺)は南二〇度東の方向に約一尺移動せり。又工場の煉瓦建築は處々に龜裂を生じ、社宅の南北に面する壁は損傷多く受けたり。

嘉義街に於ては郡役所その他處に被害を受けたるも大ならず。嘉義ホテルの北東南西に面する塀の一角が倒れ又庭の石燈籠の北東に倒れたるものあり、何れも震源の方向を示すものとす。

被害の狀況を觀るに震源に近きもの必しも被害程度大なりと一定し難く、高雄州下に及んで點々被害の散點するは特にこの地方の地盤の甚だ軟弱なるを指示するものなり。

余の調査當時即ち九月一日までに判明せる臺南州保安課の調査に依る被害數は次の如し、但しその後多少の變更ありしものと信ず。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

種別	單位	臺南	新豐	新化	曾文	新營	嘉義	北港	東石	計
住家 全壞	戶	一	六	九	一〇	五六	三	—	二五	一一〇
住家 半壞	同	二	一五	三〇	一二	三四	六	—	三九	一三八
住家 大破	同	—	—	五六	三二	二〇七	—	—	六〇	三五五
住家 小破	同	一	一五	一三八	二一	一二五	三八	—	—	三三八
非住家 全壞	棟	—	一一	二〇	一〇	一六	三	—	一四	七四
非住家 半壞	同	—	一三	六	一	二四	二	一	一二	五八
非住家 大破	同	—	—	一〇	七	一九	二	一	一七	五六
非住家 小破	同	—	一	四三	三一	一五	一五	—	—	一〇五
本島人 死亡	人	—	一	一	—	九	—	—	—	一一
本島人 重傷	同	—	一	三	—	八	三	—	四	一九
本島人 輕傷	同	二	二	五	五	一五	一	—	九	三九
內地人 輕傷	人	—	—	—	—	—	一	—	一	二

被害最モ大ナル新營郡鹽水街ノ內

鹽水

戶數 一、三〇七

住家	全壞	半壞	大破	小破	計
	四五	一三	九四	九二	二四四

非住家	全壞	半壞	大破	小破	計
	一	—	七	四	一二

人口 五、九三六

死傷者	死亡	重傷	輕傷	計
男	七	五	一〇	二二
女	二	三	五	一〇
計	九	八	一五	三二

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

四、地質

地震區域は本島西南部平野に屬し沖積期沈積の灰色乃至灰青色の粘土に細粒の砂を混ずる地層よりなる。之は南部一帶の低山地を構成する青色頁岩に富む所謂南部第三紀層より由來したるものにして更にその根源は高山地帶をなす粘板岩に在るは明かなり。

本島脊梁山脈を形成する海拔一萬尺を越ゆる連嶺の兩斜面は急傾斜にして西斜面は比較的緩なりと雖も尚二十餘里にして海水面に至る。加之熱帶的風土は強雨を齎して流水を激増するのみならず表土を洗ひ爲に山骨裸々として森林の繁生を妨げ流水の破壊及運搬の能力を極度に高め夥しき泥、砂、礫を下流に運び去る。而して西斜面の麓邊は斷層に因りて低落せるものにして且つ之が軟弱なる第三紀最上部層より成る爲め水蝕を蒙りて容易に低平地を作りたる結果茲に流水はその流勢を激減して建設的に變じ運び來れる土砂礫を沈積するに至れり。北部より中部に亘り山地帶の縁邊を點綴する一聯の所謂洪積期礫層の臺地は斯くして發達せるものにして、中部及南部に沖積平野の特に發達するは流水が泥土を運び容易に低平なる分布をなせると潮流は附近の海岸にその沈積を助け漸次陸地を形成し西海岸一帶の地殼上昇運動は更にこの平野の擴大を促すものとす。その結果海岸線は次第に西方に遷移し臺南市街地鹽水街等が海岸なりしは僅かに二三百年以前の事實なり。

斯く西南部平野は極めて新しき生成にして地質軟弱なる上に河川は散流して一帶に浸潤し地震に對して最も弱き地域をなす。斯くの如き地方に於ては特に地盤の強弱に就て考慮すべきものにして本回の震害を觀るに多く特に弱き地盤をなす部分に被害大なりしを知るなり。

鹽水街が震害最も甚しかりしは、一は震源附近なると、一は地盤の最も弱きことに因るものにして、鹽水街の家屋のみ

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

が特に他より危険建築なりしものに非るなり。同街は四邊水流に圍繞され東方より來る二條の水流は同街東邊に當つて曲折しこの部分の地盤が特に弱めらる。同街の被害がこの部分に甚しく死傷者の殆ど全部がこゝに生じたるなり。

又善化庄臺灣製糖工場及その附近の地面に龜裂を生じ泥水を湧出せる箇所は曾文溪の蛇行をなせる處にして帶水量多く地盤の特に著しく弱き部分にして臺南市水源地輸入口の如き又容易に地盤の軟弱きことを知るべき箇所なり。

五、地體構造

地震の原因は火山活動に伴ふもの、地下深處の化學的物理的變化に因るもの、地表近き部分の斷層に基くもの等種々複雜なれども多くの場合既に存在する斷層面に沿ふて地盤が移動せる結果地震を起すものにして震源は地表に近く存するものとす。故に地震帶は大なる斷層線に一致す。

臺灣に於ける地體構造を觀るに第三紀層より第四紀當初に於て地殼運動を受けて烈しく褶曲し所々に大斷層を生じ錯雜せる地體構造を呈す。その主要斷層を擧ぐれば臺東花蓮港を通ずる縱谷野に沿ふ東部斷層、宜蘭平野の北西緣より濁水溪谷に沿ひ埔里東部を過ぎて南走する中央斷層、西部の第三紀層よりなる山地帶と平地との境界附近に南北に通ずる一聯の斷層線及び花蓮港と玉里との中間と嘉義附近とを結んで本島を横斷する斷層なり。故大森博士の所謂地震帶は此の西部を縱走するものと中央を横斷するものとの二大斷層線に略一致するものなり。

西部一帶の地震はこの縱走する斷層に因るものにして、西南部平野に特に頻繁にして被害大なるは上述二大斷層が平野に於て交叉する結果にして、又沖積平野なることが震害を大ならしむる一大原因なり。

東部に於て地震の頻繁なるは東部斷層に伴ひて山脈地帶及海底が尙處々に變動を續くる爲にして被害の比較的少きは片岩系及第三紀層の堅硬なる地層より成る結果なり。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

六、結論

此度の地震は震幅大なりしと雖も週期大なる爲め震害大ならず、震域も殆ど臺南州下の平野地帶に限らるゝ小範圍にすぎず。倒壞家屋多く死傷者を多數出せりといふも特に地盤の弱かりし部分と家屋が土确造の既に危險建築なりしものとに限らるゝなり。

西部平野一帶は最も軟弱なる地盤なれども其の間又自ら強弱の差違あれば土木建築の諸事業を企つるに地質及び地體の構造を十分考慮して將來の計を樹つるに如かず。就中河川の附近に於ては特に顧慮を必要とす。

從來臺灣は地質調査事業振はずその地質及地體構造につきては未だ十分明かならず、一般亦之を無視して企畫するの傾向あるは甚だ遺憾にして道路、隧道、橋梁、堰堤、その他苟くも地盤の強弱を云々すべき土木建築をなすに於て地質及地體構造を考慮して地震のみならずその他の天災に十分耐へ得る計劃を缺くべからざるなり。

尙玆に附言したきは測候所の設備の充實なり、測候所の使命は産業學術その他吾人生活上今日に於て之を必要とするのみならず實に將來に對して的確貴重なる資料を供給し人類文化の發達に貢獻すべきものなるに、臺南の如き本島主要の都市に於ける測候所として現在の設備は餘りに貧弱なるを痛感するなり。速かに玆に一段のより多き努力を拂はれんことを希望して止まざるなり。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

時報

風水害御救恤

天皇皇后兩陛下におかせられては、七月中旬本島を襲つた暴風雨の被害尠からざるを聞し召され、御內帑金中より金八千圓御下賜の御沙汰を賜つた。天恩の洪大、全島民の恐懼感激に堪へざるところである。

本島中南部の强震

本島中南部は九月二十五日午前一時突如强震に襲はれ、震源地鹽水街を始め臺南高雄兩州下は多大の災害を被つた。

上山總督は直ちに竹屋秘書官を震災各地に派して罹災者を慰問せしめ、田中首相からは總督兩州知事宛震災見舞の電報があつた。

上半期中本島鑛產

總督府調査、本年上半期中に所ける本島の鑛產價格は、一千百五萬五千六十五圓にして、前年同期に比し百六十七萬二千五百八十圓を增加した。がその內譯を示せば左の通りである。

鑛種	數量	價格
金	七二、七四一匁	三七〇、二〇八圓
砂金	一、三九三	五、二七一
銀	九六、〇四三	一二、八三〇
沈澱銅	八五、五二九斤	九四、九三七
金銅鑛	八、七五四、一三四	五六八、三九二
石炭	九四七、六〇〇瓲	八、五二八、四〇〇
石油(原油)	七二、五五三、二四八斤	一、四〇〇、二七三
天然揮發油	二、四八四	五五、一九四
硫黃粗	三七七、二三三斤	三、〇七一
硫黃精	八〇四、二一二	一六、四八九
計		一一、〇五五、〇六五

右の內石炭は引續き南支、南洋輸出及船舶への供給旺盛なるのみならず、移出、島內消費亦增加し、採掘盛んで、本期は九十四萬七千六百噸の產出あり、價格八百五十二萬圓を計上し、本島總鑛產額の七割七分を占めてゐる。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

石油及揮發油は產油地出礦坑に於て第三十六號井の大噴油以來成功井相次で興り、出油俄に激增しつゝある。天然瓦斯の噴出亦猛烈にして瓦斯中の揮發油採取少なからず、本期は原油揮發油を合せて百四十五萬五千四百六十七圓を產し空前の盛況であつた。

之を要するに本期は金の增產と石炭の好況、石油井の成功等喜ぶべき現象を呈し前述の如く百六十七萬餘圓の增產を見るに至つた。

全島警察會議

總督府の全島警察會議は九月一、二の兩日總督府會議室に於て開かれ、全島各州警察部長、各廳警務課長其他出席、總督府からは本山警務局長以下各關係課長其他列席し、その第一日には後藤總務長官、本山警務局長の訓示があり、日程に從つて二日間にわたり熱心に協議したが、特に上山總督後藤總務長官は兩日共臨席して頗る熱心に各州廳の意見を聽取された。

臺灣銀行株主總會

臺灣銀行整理案を決定すべき同行の株主總會は九月一日午後二時東京支店に於て開かれた。島田頭取議長席に著き、本島金融界の推移と臺灣銀行の整理について述べ永遠の利害に鑑み整理案に贊成されたしとはかり、添田監查役は今回の整理は全く已むを得ない旨を述べ、多數を以て原案全部を可決して同五時半萬歲聲裡に散會した。

海軍油田試堀

東電の報ずる所によれば、海軍省に於ては明年度豫算に百萬圓を計上し、豫算通過の上は本島南部油田にボーリングを決行する筈である。海軍省のボーリング著手は明年度豫算案が通過せねば實現出來ないが、幸にしてそれが實現され豫期の好結果を奏するに於ては我產業の發展上一新天地を開拓するであらうと。

全島野球大會

體育協會主催の第一回全島野球大會は九月十、十一日の兩日圓山グラウンドに於て舉行され、臺北、新竹、臺中、臺南、高雄の五團體參加して非常な盛況を呈した。

因に體育協會に於ては今後每年九月にこれを舉行すると。

メートル法實施著手

殖產局に於ては愈々メートル法の實施に著手し、地方廳と協力の上、先づ差當り左の如き方法により出來得るだけ速に之を實行することゝなつた。

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

一、各地の購買結合をしてその配給する日用品中米穀を初とし砂糖、茶、味噌などの比較的行ひ易き商品より漸次メートル法に依らしむること

二、官公署に於ける物品の受拂は速かにメートル法に依らしむること、その他主なる工場會社等も成るべく之に準ぜしむること

三、特産地物品交易所に於ける物品の交易は速かにメートル法によらしむること

尚ほこれ等の外に公設市場並に市内主要商品に漸次及ぼすと共に、封緘せる包裝商品には成るべくメートル法による量目を表記せしむるやうにする筈であるが、殖産局度量衡所では右各項實施と同時にメートル法の觀念を一般に普及せしむるため、新舊斤量對照表、若くは簡單なパンフレットを頒布して大いにこれが宣傳に努むると。

臺灣總督府評議會復活

臺灣總督府評議會は久しく中絶して居つたが、去る九月十五日新に評議會員の任命あり、十月三日第五回の評議會を開會することゝなつた。臺灣總督府評議會は重要なる事項につき總督の諮問に應じて意見を開申せしめ、本島の進運に資すべき施政につき民意を徴する機關であつて、該機關の組織等については前總督以來種々研究を遂げられたやうであるが、上山總督は就任以來各方面から熟慮された結果今回その復活を見るに至つた。

因に今回任命された評議會々員は左記諸氏で、官制により會長には總督、副會長に總務長官就任。同時に幹事、通譯、書記の任命があつた。

臺灣總督府評議會々員

高等法院長 相原祐彌	内務局長 豐田勝藏
高木友枝	島田茂
赤石定藏	三好德三郎
林熊徵	吳昌才
顏國年	黃純青
小畑勇吉	簡朗山
坂本素魯哉	辜顯榮
松岡富雄	李崇禮
荒卷鐵之助	鈴木重臣
黃欣	鄭沙棠
古賀三千人	平山寅次郎
藍高川	陳啓貞

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

三等郵便局長會議

第十九回三等郵便局長會議は九月二十、二十一日の兩日遞信部會議室に開催され、全島三等郵便局長百二十五名出席遞信部から木下交通局總長其他列席、第一日は午前八時より開會し木下總長の訓示があつて議事に入り建義案の審議を爲し、第二日も午前八時開會、協議事項其他議案全部について協議を重ね戸水遞信部長代理の演述、議長の挨拶があつて會議を終了した。

本島内受驗生優遇

全島專門學校長會議は九月二十日總督府會議室に於て開かれ、各專門學校長竝に石黑文教局長以下各關係官出席、上山總督は「專門學校は本島文化の源泉であり、其の成績如何は本島統治に影響するところ少からず」とて本島の開發に專門教育の貢獻したる事實を述べ、本島獨特の天惠を益々發揚するよう工夫を凝らし新機軸の案出に努むるやうにと懇切なる訓示を爲し、直ちに諮問案「專門教育の振興につき今後の施設方案如何」につき各學校長の答申があり尚ほ二十二日も打合會を開いたが、各學校の入學試驗を別々にすること竝に入學に就ては本島出身者を優遇することに意見一致したと。

臺灣中央衛生會議

臺灣中央衛生會は九月二十六日午前九時から總督府會議室に開會、後藤會長以下各委員幹事出席後藤會長の挨拶あり、後左記事項を審議決定した。

一、藥劑師法施行勅令案
二、種痘法施行勅令案
三、臺灣藥品取締令案
四、腸チフス豫防法

簡保郵便年金實施

簡易保險及郵便年金は、愈々十月一日から本島に實施せられ、島内各郵便局は遞信省の委託を受け、簡易保險及び郵便年金の事務を取扱ふことゝなつた。

簡易保險は内地に於ては實施後既に十一箇年を經過し、今日加入者一千餘萬金額十三億に達し、郵便年金は昨年から實施され、いづれも相當の成績を示して居る。然るに本島に於ては戸籍法なく、内臺人間の死亡率の相違其他種々の事情があつて同時に實施することが出來なかつたが、今回一大英斷を以て兩者共内地同樣同規定の下に實施することゝなつた。

（以上九月二十五日記）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

近世に於ける植民思想並に植民運動の發展に就いて（二）

臺北高等商業學校教授　淺香末起

（七）

露西亞は十六世紀より十九世紀の前半まで陸續きの廣漠たるシベリアの原野に東方及南方に向つて領土を擴張するに從つて、國民が自然的に移住植民をしたのであるが、十九世紀の中葉より數十年間に中央アジアに於ける國民の急速なる發展と滿洲の占領の結果斯くの如き自然的膨張は積極的に國權伸長の意識の下に行はるゝ國家の植民政策に基く發展と變つた。シベリアを荒廢不毛より救ひて之を開拓し數百萬の人口と之に伴ふ文化とを植えつけたことは、露西亞の人類文化に對する一大貢獻であつたが、更に之より南下し東漸して滿洲及ペルシア、アフガニスタンに及ぶに至つて帝國主義の色彩を帶

び來りの經濟的植民よりも政治的又は軍事的植民に變形したため、滿洲に於ては日本、ペルシア、アフガンスタンに於ては英國と衝突するに至り、前者は日露戰爭により頓挫し、後者は英國との間の勢力範圍取極めにより解決された。歐洲戰後舊帝政露西亞は全く崩壞し、其植民政策も變化し、勞農露西亞は其國家及社會觀より全然新しき方法により世界政策を行つて居る。卽領土又は植民的保護及有形的勢力範圍を擴張してこゝに植民を行ふことを止め、其包懷せる主義思想を世界に向つて殊に各國の植民地となれる地方に向つて宣傳することになり、積極的に他國の人心思想に變革を及ぼし、此方面より其經濟的竝に文化的勢力を植えつけると共に、政治的にも亦其等の國人をして自發的に露西亞の勢力を引き入れさせる樣に努力して居る。

此メンタル・ムーヴメントは全く新しき形式に於ける世界政策であつて從來の植民による世界政策の如く外形的に華々しきを缺くだけ其奧底に潛む根强さは大なるものと思はれる。然も此方法は勞農露西亞としては最も巧妙にして效果大なる世界革命運動の戰術である。蓋し今日の資本主義組織は資本主義國の本國に於ては安定して居るが本國のみを對象としては原料の供給及生產物の販路の制限上資本主義の大規模生產方法は全く成立し得ない。植民地或は之に準ずべき地方を利用することは本國の資本主義成立に取つては絕對不可缺の要件である。然も植民地準植民地卽資本主義後進地方それ自身に於ては經濟組織は資本主義的に固定して居ない。故に資本主義に對して戰線を張るならば先づ植民地或は準植民地に精銳なる先鋒を送り此地方を資本主義國に對して反抗せしめることにより資本主義の糧道を斷つことが最良の戰略であると看做されて居る。まことに植民地や準植民地に於ける資本主義と社會主義の兩運動の勝敗如何は將來の世界の社會組織經濟組織の運命を賭するものである。

（八）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

伊太利も獨逸と共に國内の統一遲れたるため近代の列國植民運動には立遲れの氣味があつた。同國は十九世紀を通じて多數の移民を海外に送り又統一前には多くの有能の士を外國にやり、外國國旗の下に其國のために植民的活動をさせたのであるが、統一後始めて自ら植民地を獲得せんとしたが既に取殘されたる土地少く大なる效果を擧ぐることが出來なかつた。千八百八十五年領土獲得の手始めとして紅海岸にマッサワを取り、此處を基點として廣大なるアビシニア國を保護となさんと試みたが其反抗を受け千八百九十六年アドワに於ける伊太利軍の敗戰のため、遂に同國は此野望を棄て海岸地帶のエリトレアを植民地とし、更に南方ソマリランドの一部分を取るに過ぎなかつた。斯くて植民地獲得に焦慮した伊太利は千九百十一年土耳古に對して無名の師を起し、アフリカの地中海岸に在るトリポリを奪取したが、是等の土地は何れも徒に面積大なるのみであつて、大部分不毛の地に屬し、伊太利の世界政策遂行及人口問題緩和には殆んど效果無く、植民國としての伊太利は其地位高くない。伊太利が歐洲戰爭の結果墺匈國より得たるトレンチノ及びコーストランド等は本國一の部と見るべきであつて植民地たる性質を有しない。

（九）

上述の如く列强に於て前世紀中葉後新に植民熱が勃興したが、其當時まで既に世界の重要部分に牢固として拔くべからざる根底ある多數の植民地を打建てゝ居た英國も此新風潮に乘じて、第一に既得の植民地の統治の改良と其牢固なる結合に努力すると共に第二に世界各地に散在する重要植民地を連絡し其防禦を固め交通を容易ならしむべき重要點の經略に努めた。

加奈陀に於ては千八百六十七年に英領北亞米利加聯邦を組織して統一ある牢固なる統治機關を作り、之に自由自治を與へたが、之が今日のドミニオン・オヴ・カナダの前身である。印度に於ては千八百五十七年―五十八年に亘りたる大叛亂の

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

結果東印度會社は解散して英政府の直接統治に移り、英國は之を其植民地中最も重要なるものとして心血を注いで統治をして居る。千九百十九年の印度統治法は更に英國の印度統治に一大躍進の機を與へた。濠洲に於ける多くの植民地も十九世紀後半に至り次第に内容充實し來つて、千九百年コンモンウエルス・オヴ・オーストラリアの名稱の下に全濠洲を打つて一丸とする自治植民地となつた。南阿は英國が本國と東洋の植民地とを連絡する重要地點として千八百六年喜望峯を和蘭より奪取して以來次第に勢力を植えつけたが、和蘭人の後援を受くるブーア人との間に爭ひ絶へず徹底せる植民政策を施すに苦心したが、後千八百八十年頃より英傑セシル・ローズの活動は英國の南阿植民地經略に多大の便宜を與へ遂に千九百十年愈々完全なる南阿聯合を見、喜望峯植民地、ナタル、トランスバール、オレンジ河植民地を以てユニオン・オヴ・サウスアフリカを組織した。

斯くの如く英國は各植民地の内政を鞏固にすると共に、千八百八十七年からは屢々植民地會議を開き、千九百七年よりは英帝國會議と改稱して其權限を擴張し植民地相互間及植民地母國間の政治的及經濟的利益の增進に努めて居る。大植民地を連絡する根據植民地としては早く領有せしジブラルタル、マルタ、アデン、シンガポールに積極的施設をすると共に、一方埃及に勢力を扶殖することにより地中海と印度洋を連絡する要地たるスエズ運河を佛蘭西の支配より奪ひて自己の覇權を確保し、且千八百五十六年印度洋より紅海に入る要地たるペリム島を、千八百七十六年ソコトラ島、同じく七十八年には地中海東部にある小亞細亞に對する要地キプロスを土耳古より奪ひて英本國と東洋との交通路は確實に掌握された。

阿弗利加大陸に於て英國は先づ勢力を占めたる埃及を基點としてナイル河を遡つてスダン地方に勢力を扶殖し、且千八百八十年より九十五年に亘つてケニヤ、ウガンダに保護權を獲得し、更に歐洲戰後獨領東アフリカが英國の委任統治に歸

してから英國の多年の宿望たる南阿と埃及とを繫ぐアフリカ南北縱貫交通路は完全に英國の掌握する處となつた。加之メソポタミアが英國の委任統治となり、且露西亞が波斯より手を引き英國の此國に於ける勢力の確立されたこと、竝に緬甸の獲得及暹羅に對する英國の勢力扶殖の成功は英植民の至寶たる印度の防禦を一層鞏固ならしめ英國の植民政策は對外的にも對内的にも完備の域に到達しつゝある。

（一〇）

葡萄牙と西班牙とは近世の初期に於ける最初の世界的植民運動に於ては殆んど當時の世界の總ての植民地を占有し、かの有名なる千四百九十三年の法王アレキサンダー六世の教書に基き大西洋上のアゾール島より西方百海里の海上を兩極に連結する一線を境とし（後二百七十里西方に變更）其西方は西班牙、東方は葡萄牙が將來發見せらるべき土地の主權者となる事となつてからブラジルを除く南北亞米利加は西班牙の奪取するに任せられ、印度、阿弗利加、馬來群島等に於ては葡萄牙が先取權を得兩者は其區域内に於ては恰も無人の野を行くが如く領土を擴めたが、其植民政策が餘りに搾取主義に陷つたことゝ、和、英、佛等の新興植民國の活動により、次第に植民地を失ひ、葡萄牙は千八百二十二年其最大の植民地ブラジルの獨立により、其植民國としての地位を失脚し、阿弗利加にアンゴラ及モザンビクを有する外は印度の沿岸に少許の土地と支那に澳門及東印度群島中のチモール島の半を保つに過ぎない。然も何れも積極的に開發せず唯十五、六世紀に亘る祖先の覇業の跡を偲ばしむるのみである。

西班牙は十九世紀に至り葡萄牙よりも一層大なる植民地を失つた。先づ千八百十七年より二十四年にかけ中央及南亞米利加植民地の大半を獨立せられ、然も西印度及東印度に於て尚相當に殘つて居る植民地を統治する道を誤り遂に千八百九十八年の米西戰爭によつて玖馬、ポルトーリコ、非律賓群島及グアムを米國に割讓し且カロリン、パラウ、マリアナ諸島

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

を獨逸に奪りて植民國家たる地位を失墜し、今日は唯西阿弗利加の沿岸にリオ・デ・オロ及カナリー群島並にモロッコの一部を植民地とせるに過ぎない、然もモロッコの西班牙領では近時リフ族の反抗絶えず、佛國の援助により現在一時鎭靜して居るが西班牙の植民地統治能力は列國の疑ふ處となつて居る。

和蘭は第十六世紀より十七八世紀にかけ東印度諸島を始め馬來半島、錫蘭、南阿を領有したときの如き植民的活動は次第に衰へ、英國のために後三者を奪はれたが、其最も重要なる植民地たる東印度に於ては十九世紀を通じて次第に他國の勢力を追拂ひて完全に之が主權を確保し、之が行政を改良し、且經濟的にも從來の搾取主義を捨てゝ積極的に富源の培養及開發、土人の經濟狀態の改善に努力したゝめ葡萄牙、西班牙の如く植民國家たる地位を失ふことなく依然として有力なる植民國の班に列して居る。

（二）

亞米利加合衆國の獨立及領土擴張は理想的の發展を遂げたる植民地の落付くべき歸趨を明にしたものであり、且曾て他國の植民地であつた合衆國が假令偶發的の結果によるもの多きにしても海外に植民地を領有するに至つた事實は植民地も進んで植民國となり得る事の實證である。最初合衆國が十三州の聯邦を作つた後北方南方及特に西方に向け行つた領土の擴張も植民的活動ではあつたが、斯くて得たる領土其物は植民地ではなく、最初之をテリトリーとなし、次いで各々一の州として完全に聯邦の一部として取扱ふに至つた。十三州獨立の當初千七百九十六年のワシントンの敎書は合衆國の國是を通商關係に置き政治關係の如きは成るべく立入らざることゝ定め、爾來此方針を繼承し千八百二十二年にはモンロウ大統領の敎書により具體的に此國是を中外に宣明し南北アメリカに對する既存の政治關係に對して列强の干渉すべきことを拒否した。此敎書に基きかのナポレオン三世がメキシコに野望を逞しうせんとしたとき之を排除し、露西亞がアラスカを

取りてオレゴン地方に勢力を扶殖し來つたときには七百二十萬弗にて之を買收した。然るに十九世紀後半の列國に於ける植民熱勃興に伴ひ合衆國もモンロー主義を擴張して海外に手を延すに至り、先づ千八百九十八年布哇を併合し、次いで米西戰爭の結果、玖馬、ポルト・リコ、非律賓、グアムを獲得し、千九百年には英獨との條約によりサモア群島の大部分を得た、千九百六年以來玖馬は名義上獨立國となつて居るが其實權は完全に米國が握つて居る。千九百十四年にはパナマ運河開通し其兩岸五哩に對してパナマ共和國より獨占無期限の使用權を得、千九百十七年には丁抹領西印度たるヴアージンアイランドを買收した。

米國は其本土が面積頗る大、且天產豐富な土地であつて全人口を養つて綽々たる餘裕あり植民地を獲得して之を開發することによつて國家經濟を立てゝ行かねばならない理由は少しもなく、同國植民地は戰爭の結果に基く偶發的のものか、或は國防上又は通商貿易上の必要なる根據地たる價値を有するに過ぎない。從て國防上の施設以外に多大の經費を投じ積極的に經濟的開發をなすことを反つて荷厄介とする感がある。非律賓の如きは其好適例である。然も尙米國が之を手離し得ないのは第三國が之に勢力を及ぼすを恐るゝ結果であつて經濟上之を必要不可缺のものとするためではない。此點が米國の植民地の特徵である。

次に日本の植民地について簡單に述べよう。我國の植民地領有は植民地領有其れ自身を目的としてなしたる活動の結果ではなく、我國が其存立の必要上並に國家的正義維持のため已むを得ずして起したる戰爭の偶發的結果である朝鮮の如きは一見此例に當て嵌らない樣であるが、朝鮮領有の最初は日露戰爭の結果我國が露西亞の勢力に代つて此處に保護權を得たる事實に基くものであつて、之が完全に我國の植民地となつたのも日露戰爭の結果であると云ひ得る。我國の植民的發展は此點に於て英獨等と其形式を異にし、先づ國民の内に抑へ難き熱望が個人的の海外發展となり、其後より國力の作用

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

が發揮せられたのではなく、先づ國力が不可避的の原因より發動して植民地の地馴らしをなし御膳立をなし、其後より國民が發展して行つたのである。

尚我國の植民地其物の特徴とする處は領有の始めより相當の文化を有する多數の土著民族が占據して居る點であつて、伊太利の如く植民地が不毛の土地と云ふわけでなく、豐饒な土地ではあるけれども、本國の人口問題經濟問題解決に對し決定的の解決手段を與ふる力なき點は伊太利と酷似して居る。即ち我植民地の總面積は植民國中最も狹いにも拘らず其中に包含する人口は英、佛、蘭に次ぎ世界第四位である。故に我國に在りては植民政策の問題よりも移民政策の問題が差當つては一層切迫せる問題として論議せられて居る。

（二）

上に述べ來つた如く十九世紀の後半より今世紀の二十年までに至る約半世紀間は實に列國帝國主義が全世界に跋扈跳梁を擅にした時代である。然も千九百十四年より十八年にかけての世界戰爭は實に全世界を物質的並に精神的に改鑄する鎔鑛爐となり、帝國主義を葬ふ挽歌となつた。實に新しき時代の門出に於て植民政策は三つの顯著なる特徴を示して居る。

第一はドミニオン（廣義のドミニオンであつて英國の自治植民地即濠洲、加奈陀、新西蘭、愛蘭、南阿等を指す）の發展が國家構成の一の新しき形式となつたことである。此ドミニオン運動は十八世紀より前世紀の初めにかけての南北亞米利加の獨立運動と異つて母國より獨立せず反つて其間の關係を益々密接ならしめ乍ら然も實際に於ては獨立國と殆んど異らざる統治形態を有せるものであつて、將來の植民地運動の向ふべき歸趨を暗示して居る。

第二は埃及の獨立によつて始めて一の具體的實例を與へられた有色人種の白色人種よりの分離である。今後暫くは此兩者の各種の葛藤紛糾は世界歴史の多くの部分を占むるであらう。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

第三は勞農露國の新社會構成であつて本國の社會主義化が異人種より成れる植民地をも社會主義化し、然も依然露西亞人を盟主として新しき形式に於ける聯邦的結合を維持し、更に力を此聯邦外に延して全世界に於ける植民地の分離運動を援助し煽動し、之により資本主義の統制を打破せんとして居る。

是等の各種の傾向は何れも植民地を中心として發現し植民地問題は一部の學者の云ふが如く前世紀の遺物とならずして反つて益々新世紀の指導的要素となりつゝある。實に今日植民地統治の失敗は單に其植民地を失ふのみの損害ではなく、植民地を統治せる國家其物の存在興廢如何に關係を持つに至つたのである。外形的には假令植民地問題は世界を通じて沈滞せるが如きも其内には數種の非具體的の問題が愈々激しく發火し延燒しつゝあるのが窺はれるのである。(完)

(前號、四三頁三行、プレヴオスト・パラドールは、プレヴオ・パラドールの誤)

花蓮港の人は何を焚て居るか

花蓮港　和田　博

私は結論より申上る、花蓮港の住民は一體、何物を燃して炊爨保溫の目的を達して居るか、廳下の人口七萬一千人、一年を通じて焚きつゝあるもの、過去に燒燼したもの、將來に燃燒せんとするもの、是等の燃料は果して何物か………何處より採取し、何處より採取せんとするか。

廳下の廣袤三百方里、山地は其の八割七分を占め、面積實に二百六十一方里、四十一萬四千七百五十五甲と計算される此の廣大なる山地の内に、若干甲の民有林を有するが、土地臺帳の證明する處、殆んど全く官有地にして、民有林なしと云ふも過言ではない、一畝の民有林を有せずして、炊爨保溫に不自由なき住民は幸福である。

上に愛民授產の仁政あり、官に破邪顯正の實權あり、富源の開拓涵養も、仁政の一にして、官物官地の保管取締も亦其の務の一なり、而して此の兩刀を手にし治國平天下の大策を行はんとする者、其の緩急輕重を考察商量し、以て大聖旨に副はなければならない、要は衣食足りて禮節を知るが如く、授くるに道を以てし、生民をして其處を得せしめ、而して後に禮節を匡さゞるべからず、徒に取締を嚴にし、科するに刑戮を以てするは非なり、プロメテオスの火食を教てより以來一日として燃料なく生活し得る者はない、又古來、水を治めんとする者は、先づ須く山を治めよ、林政は實に治國の根本なりと、申されあるにあらずや。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

上、消費量

一體廳下の人口は七萬一千三百七十九人、一萬五千二百十三戸である、其の一日の燃料果して若干量を必要とするや、一箇年間を通算せる其の總量は果して若干量に達するや、廳下の産米十一萬一千百九十三石、移入米七千石、是等は飯米となり酒となり菓子となると云ふも、火力を藉らざるものはあるまい、製糖に製酒に其の他の工業に、火力を使用しないものはない、是等の燃料の總計數量は、果して若干量を必要とするや、從來の統計によれば、一箇年の總消費量薪、二千七百六十七萬四千四百斤と計算されてある。

又廳下には内地人本島人蕃人と雜居して居るが、此の三者の生活は、文化の程度に相違はあるが、三者何れも火を用ふる事は勿論である、其の火を用ゆるに當りては、三者の内何人が一番燃料を多量に必要とするか、之を實際に徵するに、燃料の多寡は、生活の文化的なるや否やに比例する樣である、竈の裝置、居間の仕切、都會に住む人と、田舍に住む人、等により其の消費量に大なる關係があり、正確に計算する事は困難であるが、然し住民中内地人は比較的少量の消費者で、本島人之に次ぎ、蕃人之に次ぐ順序であらう、而して住民の大半は蕃人で、次は本島人次は内地人の順序であるから、最大量の消費者は、大多數を占めて居る蕃人である、然る以上其消費量は、豫想外に多額に上るものと看做さなければならない、本島人は内地人風に、火鉢に火を入れて居間居間に据込む習慣がないから、寧ろ内地人の方が、本島人よりも多量に、消費するらしくも考へられるが、事實は左樣でもない、火鉢よりも竈の構造と鍋の種類より判斷し、且つ日に三度沸蒸したものを食用に供し、熱湯を以て食器を洗ふ習慣より見れば、本島人の使用量は、遙かに内地人よりも多量であると觀測されて居る、支那の南越地方乃ち、浙江の平原にありては、薪炭を得る事は困難であるから、日常の炊爨には、多く藁と野草とを使用する、從て其の竈の構造は、煙突のある懷の廣くして深き、偉大なるものを使用して居る、炊夫は左

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

手にフの字形の、柄の長き火かきを持ち、右手に薪を持ち、隨て投じ隨て焚く、乃ち火かきを動かして、火勢を熾にすると同時に、更に新しき薪を投ずるのである、故に炊夫は竈の側を離れず、炊夫の側には薪は山と積れてある、又澎湖島の農家に於ては、牛糞に芝草を混じ、神戸の瓦煎餅の如きものを造り、壁に貼付して乾燥せしめ、牛芝と稱して燃料の補助として居る、當地の本島人は牛芝などは知らない、薪炭のみを豐かに使用して居る、而も竈は大にして、南越の平野に見る如きものである、又蕃屋には、板敷の床はない、蕃人は藤を以て床を張り詰め、恰も粗末なる籐を床として居るが如き有樣であるが、其の室は大廣間で仕切はない、此の大廣間の一隅に、約四尺四方の平爐を切り、爐の中央に手頃なる長方形の石を鼎立せしめ、上に鍋をのせる仕組である、而も燃料は薪より外に使用せぬ、草などを焚く仕組にはなつて居らぬ、而して鍋には蓋の用意がない、鍋に蓋のあるのと無いのとは、燃料の多寡に關係が深い、我は玆に一つの挿話を有して居る。

花蓮港には地球の鍋がある、秀吉が聚樂第か二條の城かの落成祝賀の日、其の祝宴に列せる、徳川加藤福島小西の諸豪を始め、列坐の豪傑共に向て、今日の祝賀宴中、火と云ふ詞を使用してはならない、若禁を犯す者あらば、嚴に咎あるべしと申渡した、列坐の末席に控て居りし、お伽に入りの曾呂利新左衛門は、此の時靜々と秀吉の前に進み、微臣參殿に當り、中道にして木の鍋を見たり、豈天下の怪事にあらずやと告ぐ、秀吉眉をひそめ、シテ、ソノ、鍋には矢張火を焚くかと聞く、新左衛門として殿下罰金をと請求せりと云ふ、木の鍋に一本參らせられたる秀吉、我輩の所謂地球の鍋を聽かば果して如何、今より地球の鍋を說明すべし。

蕃人が旅行する時、又川狩する時、海岸や溪畔に於て、屢々試る例であるが、彼等の一人が官木を官林より盜伐し、熾なる焚火をする、拳大の小石を拾ふて火中に投ずる、其の數約二十位、火益々熾に焚へ、火中の小石火熱して赤く、爛と

して火となる、恰も燠の如し、彼等の一人は更に地球上に、五六升の水を貯ふるに足る穴を堀る、更に又彼等の一人は、大なる芭蕉の葉を切り來りて、烈火にあぶり其の柔軟なるを待つて、穴中に敷巧に穴の内面を包み、水の漏れざる樣、土の表はれざる樣、巧みなる鍋形の裝置を行ふ、而して後穴中に清水を貯ふ、かくして準備漸くなるもの丶如し、此の時同志の一組は、海中より躍出で、手に手に獲物を持ち蝟集し來り、穴乃ち鍋を圍み、或者は鮑を投じ、或者は蝦を投じ、或者は海草、或者は貝類、蟹を投ずるものあり、雜魚を投ずるものあり、雜魚多くは潑剌として穴中に浮遊す、火焚きの任に當れる一人は、青竹を盜伐して火箸とし、火中より赤化せる火石を挾みて穴中の清水に投ず、ズフーと音して泡沫を上け石水中に沈む、かくして燠石を投ずること十四五に及び、水漸くにして沸騰し、火石二十に及ぶ頃、適當の食鹽を投ず穴中の百物悉く煮え、鮮新の滋香芬々として上る、料理全くなる、欣々然たる同志は、手に手に木の葉を持來りて鍋を四方より圍み、スプーンの代用として且笑ひ且喰ふ、小生も又是等の友人に伍して、其の御福わけに預る、鮮新の滋味眞に天下の珍なり、生は名付て地球の鍋料理と云ふ閑話休題、小生は地球鍋と、其の料理とを説明する事は、本意ではない、然し此料理のために、驚くべき多量の燃料を要する事を告け、而も此の料理は當時に行はれ、其の厨人は廳下住民の、最大多數者なる事を告け、推して以て、廳下の燃料は夥しき多量に上るべしとの推斷を仰を得ば、生は更に冗漫なる説明を慎む事とする、尚工業用として、目下計算されある消費量の總高は、三千七百九十萬六千斤と申されてある。

以上多量の燃料は、果して何處より採取し來るや、是生の疑問とする處であります。

中、供給力

廳下の山地面積、四十一四千萬七百五十五甲であるが、右の内何程の民有林があるか、土地臺帳の證明する處によれば

民有林調

支廳名	民有林	部落有林	社寺林	計
花蓮支廳	二六九甲	—甲	—甲	二六九甲
玉里支廳	三	—	—	三
研海支廳	—	—	—	—
計	二七二	—	—	二七二

全廳下を通じて、民有林の數、僅かに二百七十二甲に過ぎない、豈驚くべき事實でないか、之を內地の例に見るに、內地の山岳地方にありては、苟も人類の生存する限り、村落の存在する限り、必ず民有林がある、寧ろ豐かなる民有林がありて、住民が其の御蔭により、薪に切り炭を燒いて、之を都會に送り、生活の資として居る、保安林以外の國有林を、人里附近に見る事は、珍しき方に屬する、此の狀態は統計の上に歷然と證據立てられて居る、乃ち國有林の統計七百七十四萬九千百七町步に對し、民有林は實に九百六十二萬三千百三町步である、此の外に四百三十二萬八千七百八十一町步の公有林と十三萬二千二百九十八町步の社寺林とがある、此の公有林中には、廣大なる部落有林が含まれて居る、又社寺林も特別の使命を帶びて居る、風致林などを除きたる以外は、薪炭材として、市場に搬出されるべき、多量の燃料が蓄へられて居る、如斯豐かなる民有林があるに係らず、尙且燃料が不足で、石炭、木炭、電氣瓦斯によりて補はれて居る、當地方の日常生活には、石炭木炭を使用せず電氣瓦斯を以て燃料の不足を補はず、たゞ單に薪と炭とによりてのみ、炊爨保溫の目的を遂して居る、而して尙且廳下全體を通じて、民有林の面積、僅かに二百七十二甲に過ぎずと云ふに至りては、豈驚くべき事實でないか、花蓮港の住民は何を焚て居るかとの疑問は、正に當然起るべき疑問ではあるまいか、若し人ありて驚には及ばぬ、廣大なる官有林より多量の燃料を、年々歲々拂下て居ると抗辯するならば、私は更に最近三箇年に於ける、拂

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

下高を吟味する。

最近三年間薪用として拂下たる數量調

年別＼支廳	花蓮	玉里	研海	計
大正十三年	三、六二三、二〇〇斤	一、六二八、七〇〇斤	六八八、〇五〇斤	五、九二八、九五〇斤
大正十四年	三、四三八、四〇〇	一、五七二、三五〇	六四三、八〇〇	五、六五四、四五〇
大正十五年	四、三二九、七〇〇	一、九七二、四〇〇、	八一五、五〇〇	七、一〇六、六〇〇
平均	—	—	—	六、二三〇、〇〇〇

右表の通りであるが、過去三箇年を累計せる一箇年間の平均拂下總額は、六百二十三萬斤である、前掲住民一箇年間の消費總量は二千七百六十七萬四千四百斤と申され、工業用燃料高は、三千七百九十萬斤と計算せられある以上、合計總量は實に六千五百五十八萬四百斤に上る筈である、而して一方拂下高は、僅かに六百二十三萬斤であるならば、此の拂下以外の數量乃ち、五千九百三十五萬四百斤は、何處より供給するか、出所依然として不明である、而も此の拂下高は、工業用燃料の約六分の一に相當するのみである、工業用にすら六分の一を供給するのみであるから一般民衆に對しては、全々供給して居らぬとの計算となる。

最も此の夥しき額は、悉く官有林より、盜伐したものとは申さない、廳下の誇りとするに足る二百七十二甲の民有林より供給するものあり、又土地開墾のため拂下られたる土地の形上もあり、製材の殘材もあり、流木があり、伐下られたる山林の除伐枝拂もあり、又製糖用には、多量のバガスもあり、皆々官有林より盜伐せしものとは申さない、然し五千九百三十五萬斤と云ふ巨額全部が、以上掲げた流木其の他によりて、供給されあるとは認められない、公平に云ふならば、其

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

の大部分は乍遺憾、民衆各自の山林より、伐採搬出せるものとは、認められないと申さねばならぬ、過去及現在に亘り、計算上以上の疑問は、到底說明する事は出來まい、依然として花蓮港の住民は、何を焚いて居るかとの疑問は存在する譯である。

將來の燃料てふ問題に對して、當局並に廳下の民衆は、如何なる用意があるか、將來に備ふる燃料問題は、造林を目的とする土地の豫約拂下又は貸下により、窺ふ事は出來る筈である、此の二つの事業は目下如何なる狀態に進展しつゝありや、之を檢查して更に驚くべき事實に逢著した、乃ち廳下に於ては、玉里支廳下に九十五甲十五二〇絲の豫約拂下地あるのみ、造林地の貸下として花蓮港支廳下に保安林百三十七甲九三八二絲あるのみ、此の以外に官行造林五百八十一甲あり其の他には造林地はない、此の愕然たる事實は、現在民有林の僅少なる驚に比し、更に一層の驚きを、將來に覺へるものではないか、此の驚くべき事實に直面したものは、獨り我輩のみには限らない、誰でも花蓮港の住民は、將來何物を焚かんとする乎との疑問を懷かずには居られまい、其不用意と無頓著に對し、慄然として恐れ且つ戰くのは當然の事である。

更に又、山と川との關係に就て、一度思を拂ふものがあつたならば、更に一層の恐怖を覺えるであらう、廳下の地勢は今更說明する迄もない、治山乃ち治水なる事も、早く世人の唱導する處である、萬里橋農場の流失、木瓜三笠の沃野の流失、是等は世人の記憶に新たなる慘害である、一雨每に良田は決潰流失し、石礫の曠野が漸次に增加しつゝある事は、公認せられある廳下の重大事である、其の對策に就ても、林政の上より土木の上より、度々講究され何れも焦眉の急と看做されて居る、特に最近我々在住者に對し、覺醒を促したる人に、總督府の矢田貝囑託がある、矢田貝氏は題して「東部臺灣の治水と產業」と云ふ、氏の所說を聽くに、中央山脈に近づくに從ひ基岩は古代層に屬し而も甚だ急峻なるが故に、實際降雨に際して、暫くにも雨量を保有し得るものは、只平地に近き比較的緩斜の山岳と、之れに密生する濶葉樹とによりて

形成せられる、原生林の御蔭であると申されてある、然るに此の尊き原生林は、年々高山蕃人のために、惜氣もなく濫伐濫墾せられる、官は進歩せる理蕃政策なりと稱して奬勵する、平地に定住せる人々のためには、歳々五千九百萬斤に近き樹木は伐採せられる、而して一面造林の實行せらるるもの僅かに九十五甲に過ぎないと云ふ、かくして年を閲する事、今後五年十年に及ばゞ、廳下の治山治水は、果して如何なる狀態に陷るや、坐して産業の振興を說くも、豈徒爾ならずとせずや、吾人は在住者の無自覺を責める前に、先以て吾人の自覺を促すべき時期ではあるまいか、今にして思ふ、殖産局は多大の費用を投じて、米崙及び鯉魚山の山脚に造林し、範を民衆に示して居る、此の模範により、鄕人は須く、大なる敎訓を會得すべきである、雲烟過眼此造林の使命と意義とに、注意を拂はぬと云ふ事があつたならば、是鄕人の不注意ではあるまいか。

下、林野取締

一國一州の政治を司り、行政の衝に當る者、其の職務の執行に當り、活きた政治、活きた行政を行はんとするための氣苦勞は一通りではあるまい、御規則一點張融通の利かない、石部堅吉式の遣方は、往々にして世人の嘲笑を買ふものである、社會の實情に適せる、人情の機微に觸れる妙味ある方策は、世人は舉りて讃美する、然し此の遣方とか方策とか云ふものは、其の政治家行政官の、位置の高下により、程度に相違あるは勿論だが、行政官のあまり高からざる階級に於ては下世話に云ふ所謂手心とか手加減とか申されるものであらう、此の手心とか手加減とか妙味ありとか妙味なしとか云ふ事は、實は獨り上長官に丈け許されたる、申さば政治行政の奧の手であつて、我々下僚には許されず又必要のないものである、若しも我々下僚にも此の奧の手を許すならば、其の弊害の及ぶ處、恐るべきものがあらう、別して職務に金錢上の利害が伴ふ場合、其の第一線に立て民衆に接觸する下僚にも、此の奧の手を許されたとしたならば、恐るべき弊害の醸され

る事は、想像するに難からない、故に我々下僚は謹而、左顧右眄を避け、法規の命ずる處に準據し、忠實に公平に嚴正に迅速に、其の職務の執行に當るべきである、若我々の働きが、不幸にして社會の實情に適せず、人情に戻る事ありとするも、其處には賢明にして妙味ある奧の手を心得て居る上司があるから、自分等の不備を緩和して呉れる事となる、我々はたゞ法規の命ずる正道を堂々濶歩すべきである、特に林務關係の職員の如きは實に然りとする。

兎も角廳下には五千九百萬斤に近き、出所不明の薪がある筈である、一體此の薪は、何人の手により何處より搬出されるものであらうか、職務に忠實なる我々には、忠實なれば忠實なる丈、深き疑問を懷かずには居られない、或る一人の森林主事が、林野取締に從事して居る折柄、一人の官林盜伐者を發見した、森林主事は盜伐者に告げるに、官木を必要とせば、別に拂下の方法あり、宜敷成規の手續を踏み、許可を得たる後、伐採に着手すべきであると敎ふ、盜伐者の答は、拂下願書は最早半年前に提出してある、其の後度々催促するも聽許せられず、一方必要は急に迫りたるため、已むを得ず許可前伐採したものだと云ふ。

此の場合、私は盜伐者の申分に同情せぬではないが、又一面、我々林務關係者の立場にも同情して貰ひたい、此の盜伐者の口上によれば、官吏の怠慢が基であるとの口吻である、少くとも事務の澁滯が主因であるとの主張である、換言すれば役人が犯人を製造したと申立てるのである、我々は果して怠慢であらうが、我々の職務は常に、山間僻地交通不便、マラリヤ、毒蟲を踏みて現業に從事して居る者である、一事件を處理するにも、伐木の調査に引渡に、搬出の檢査に、數度に亘る立會調査、立會檢査を遂げ、やゝもすると誘惑に陷り易き難關を切り拔け、公平に親切に而も迅速に、處理進行する勞苦は、實に他に類例を見ざる繁雜にして苦勞の多い勤めである、私は皮肉ながら、自分等の事務の分量を隣接臺北州に比較して見たい、先づ第一に取締の面積に於て、我が廳下は臺北州に比し十三萬甲以上も廣い、主副産物の處分高に於ても

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺北州よりは十三年度の統計によれば三萬五千圓以上の多くの收入を上げて居る筈である、而も定員は六人對二十二人である、私は盗伐者の云ふが如く、怠慢であるとは思料しない。

　先づ以上の如き性質の事務を、以上の如き定員を以て、精限り根限り働ても、手が廻りかねて、中には受付てから半年位の願書はあるかも知れない、然し其れが直に犯罪の原因となりて、民衆の怨府となると云ふならば、官は更に定員を增加して、朝饗暮炊の燃料に事かゝさぬ樣、オイソレと何時でも拂下られる樣に、深山の役人を配置せねばならぬ、而も其の役人の數は、廳下七萬一千人の要求する、五千九百萬斤の拂下に、手不足なき程の充實せる役人を、常時に用意して置かねばならない、乃ち犯罪人の主張を理由あるものと認められるならば、直に彼等に滿足を與へ、彼等をしてかりそめにも罪を犯す事のない樣に國家の機關を充實する事は、國家の務として當然の事である、然し如此事は果して行はれべき事であらうか、私は百尺竿頭更に一歩を進め、拂下に要する役人の定員增加し拂下に手不足なき用意をするよりも、國家は先づ官有地の拂下を敢行し、民行造林を奬勵し、永遠に亘る根本策を、解決するの賢なるに如かずと思料す如何。

　先程の盗伐者は、森林主事の面前に於て、尚盗伐の手を休めない、臆面もなく續行して居る、職務に忠實なる森林主事は、忠實に職務を執行するより外に途はない、如此にして法院に送りたるもの過去三年に亘り左記の通りである、而して其の結果も亦左の通である。

　本表による以上の犯罪人は、內地人と本島人丈である、最大量の需要者で、最大多數を占める、蕃人中に一人の盗伐者を出さざるは注意すべきである。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

森林犯罪

年別	罪名	處分別	人員 内地人	人員 本島人	人員 計
大正十三年	盗伐	處分ノ要ナシ	—	八	八
	同	證據不充分	—	四	四
	同	科料	—	二	二
	同	起訴猶豫	一	—	一
計			一	一四	一五
大正十四年	盗伐	處分ノ要ナシ	—	二	二
	同	科料	—	一	一
	盗伐	罰金	—	一	一
	失火	科料	一	—	一
	盗伐	懲役及罰金 但利ノ執行猶豫	一	二	三
	同	懲役及罰金	二	二	四
計			四	八	一二
大正十五年	盗伐	處分ノ要ナシ	—	一	一
	同	證據不充分	三	一	四
	同	起訴猶豫	三	二	五
	同	罰金	二	—	二
	同	懲役及罰金又ハ科料併科 但シ利ノ執行猶豫	四	四	八
計			一二	八	二〇

先日の盗伐者は、再び森林主事の前に立て、「私は只今宜蘭法院より歸來したものであるが、公明なる檢察官より、處分の要なしとの申渡を受けたり、先日來貴官の拂はれたる數々の御手數に對し、深く感謝の意を表する…………」

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

と告ぐ。

此人は敢て役人を侮辱する考へない、たゞ自分の考を卒直に申出たに過ぎない、而も今現に盗伐中と云ふ譯でもないから、森林主事は默して此の無罪者の面を、凝視するより外に術はない、如此民衆に對し本年三月、林務主任者打合せ會に際し、總督府より御諮問に預りたる。

林務主任會議諮問案

森林犯罪の如く社會的被害觀念比較的薄弱なるものに對しては刑事訴訟上便宜主義に則り處分せらるゝ場合頗る多きは統計の明示する所なるに鑑み公訴の見込なき事件に就ては事件送致前國の被れる損害額を辨償せしめ公訴の有無に拘らず財産上の補償を爲さしむることは刑政上の立場より觀るも好果を齎すべく思料す

との御諮問であるが、好果を齎すべく思料せらるゝのは御上の方で、犯罪人は思料しては居らぬ、林務關係者は、御上の御趣旨を奉じ、國の被れる損害を辨償せしめんため、財産上の補償を爲さしめんとするも、盗伐者は一揖して、御懸念には及ばぬ、自分は法廷に於ける同情ある判決に信頼する、自分は見られる通、赤貧洗ふが如く、補償すべき一物なしと申立てる、公訴も見込はない、公訴に附帶せる私訴は勿論見込はない、國として損害を別途に訴ふるも、其の效果や推して知るべきである、況や多數善良なる出願人のために、今や全力を致し、尚且手不足なる場合に於ておや、まして況や此の一人の盗伐者の罪を匡すよりも、更に數人の幸福を増進すべき、切實なる事情に迫られ居る場合に於ておや、森林主事の此の盗伐者より酬ゐられた、此の冷笑は吾人林務關係者の將來に亘り、正直に職務を行はんとする上に、如何なる影響を與ふるものであらう乎。

手加減手心は我々には必要でない、我々は正直に職務を實行せんとするものである、此の循吏たる我々をして、忍び難

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

き冷笑を餘儀なくせしめ、條理の許さゞる羽目に陷らしむると云ふ事は、其處には講究を要する大なる缺陷があると思ふ又一面盜伐者にも泥棒の五分の理以外に、同情すべき事情の介在するを認容せねばならぬ、如此にして双方を苦しき立場に立たしむる事は、勿論國家の希望する處でない、然るにも係らず、國家は苦しき兩者の藻がきにより、往々にして希望せざる不利益を遺される事がある、此の國家の蒙る不利益は軈て、兩者を通じて社會一般に不利益を誘致する事となるであらう、冒頭に於て提言せる、授くるに道を以てし、生民をして其處を得せしめよと云ふは、乃ち此點に立脚したものである。

授くるに道を以てする第一の方法は、官有地の拂下を敢行するにあり、生民をして其處を得せしめんには、生民の必要とする燃料を造林せしむるにあり、此の造林は軈て治山の基となり、治水の策此より講ぜられるに至るであらう。

官有地の拂下方策、民行造林の奬勵方法、是等適切にして緊要なる方策方法は、既に久しき以前に於て、總督府並に廳兩當局に於て愼重審議を重ねられ、最早成案ありと漏れ承はりて居る、我々は其の實顯の一日も早からん事を切望する。

玆に私をして、一の希望を附言するを許されたい、乃ち造林を目的とする土地拂下の取締に付てゞある。

現在土地の拂下は内務局の主管である、民行造林の奬勵は、殖産局の主管である、兩者の御趣旨に基き、地方廳は鋭意御趣旨の徹底に努力するものであるが、往々にして左の如き例を見る。

造林を目的として土地を拂下げる、此の造林の主眼は、最早樹齡を過ぎたる老朽木を陶汰し、優良樹種を直播して、更新せんとする計畫である、老朽木の陶汰は、凡庸にして且老齡、最早其の職務に堪えざる、尸位素餐の徒を馘首して、年少氣鋭の英才を拔擢せんとするに似て、素より當然である、然し其の陶汰を行ふに當り、老齡なるの故を以て一律平等に馘首する事は、考慮を要する點である、更新を名として、老朽木を陶汰する場合、之を一律平等に皆伐する事は林相を根本

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

的に破壊するものである、更新可なりと雖も、山の皮を一皮むき、赤裸々として之に種子を直播するが如きは、恐れ且つ慎むべき事に属する、而も東部臺灣の山脚地方に、此の更新方法を講ずるが如きは、無謀の甚だしきものにして由々敷大事を惹起する。

土地の拂下官は拂下にのみ専念である、而も更新てふ美名は、此の拂下を敢行せしむるに、一層勇敢たらしむ、されど内務局の役人は所詮土地本位の役人に外ならない、土地の處分に就ては、意見があり主張があり又執著もあるであらうが、造林とか牧畜とか園藝とか養魚とか云ふ問題に付ては、先づ門外漢と看做さなければならない、此の門外漢が成功とか不成功とかを、素人目で判定すると云ふ事は、あまり正當な話ではない、能ふべくんば造林とか牧畜とか云ふ技術に就ては、技術上の意見と親切とを有する殖産局の當務者に於て、檢査又は指導すると云ふ事は一層合理的である、指定木の價格の算定の如きも其の例である、然し是等は現在の制度に於ては許されざる空論である。

廳下に於て最も兇暴を逞ふする、チヤカン溪の溪畔に、鬱蒼たる平地林があつた、此の平地林は最早伐採期に達して居る、更新を理由として拂下を出願したものがあつた、續て拂下は許可せられ、平地林は皆伐せられ、有用樹の播種は實行せられ、土地の所有權は附與せられた、然るに突如として形勢一變し、造林地は忽ち蕉園と變じ、今一本の有用樹を發見せぬ、私の附言して拂下の取締を嚴重にせんと主張するは此の點である、第一密林を赤裸にする起業方法を不可なりと認む、第二に部分檢査を勵行せしや否を吟味する、單なる開墾にありては、資金さへも倍加すれば、二年分を一年間に開墾する事は出來る、植樹は資金の豐富王者の權威を以てしても、二年分を一年間に生長せしむる事は出來ない、第三に成功檢査の確否を詮議する、以上は取締を要する諸點である、以上を完備する事は、拂下の目的に副ふ所以である、我等は其の完成を見屆けた上ならでは所有權は附與せられぬと思ふ、此處までは官の力により勵行する事が出來るが、此以上は出

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

來ない、所有權を附與した以上、其の所有權に制限を加ふるにあらざれば、所有者の意志を牽制する事は出來ない、幼樹を切り倒し片端より蔗園とされても、文句を申入れる事は出來ない、然し起業者と雖も、算盤玉を無視する事は出來ない營利を目的とすればする程、採算上損失となるべき事業の變更はせぬ筈である、如何に製糖は有利なりとするも造林が完成して、此儘一定年を經過せば、豫期の收入を上げ得べき勝算歴々見込充分なる場合に於て、尙且之を伐採して蔗園とするが如き事はない筈と思ふ、前に揭げた實例の如きは前記の三要點を無視し、老木の皆伐により製糖燃料を獲得したであらう、指定木の拂下價格は、單なる官有木の拂下よりも低廉なる場合であらう、部分檢査と成功檢査とはソレは申譯計りのものであつたであらう、兎も角所有權を附與する當時、造林よりも蔗園の方が、有利なりと採上算結論される程不確實のものであつたか爲に、造林であるべき拂下地は、一朝にして蔗園を變化したものであらう。

林政の衝に當る者、此處に大なる注意を拂ふべきである、兇暴なるチヤカン溪の溪底は、年々著しく隆起し、左岸乃ち溪口方面の鐵道はスイッチバックを餘儀なくする程隆起して居る、若しも此の兇暴者が、頭を横に振りて右岸の方乃ち林田方面に向ふならば、其の災害實に恐るべきものがあらう、殷鑑遠からず彼の馬太鞍溪を見よ、馬太鞍溪の横溢は、馬太鞍の沃野をして、今日の石礫々たる曠野に變ぜしめたるにあらずや、如此場合を想像する時、右岸よりも低き地勢にある造林地を蔗園に變更したる事は、必らずしも賢明にして有利なる方法とは申されまい、又拂下當時に於ける官の期待も必ずや、造林を主として思ひ此處にありし事は疑ふ餘地はない、私は林政に趣味と責任とを有する者をして、土地處分者の處分したる土地の成效檢査を行はしむるを以て、合理なりと主張する者である、私は再び此處に富源の開發涵養も仁政の一にして、官地官物の保管取締も亦其の務の一なる所以を繰返し、以て本篇の終とする。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

亞細亞から歐米へ（二）

鎌田正威

亞細亞で一年經つて仕舞つた。夫れから歐羅巴に這入つた、順序はコンスタンチノーブルからユーゴースラビヤ、伊太利のトリエストを經えてベスビヤス火山の噴火に依つて有名なポンペイを視、瑞西に出て、國際聯盟の狀況を知り、リヨンの近くのオヨナックス、專賣局の樟腦を買入れるセルロイド會社を視て、巴里に行き、巴里の樟腦會社を視て、倫敦に行つたのであります。

倫敦に著いた翌日から、あのストライキが始まつたのであります。自分は英國の鐵工業、石炭工業を見たいと思つたのでありますが、石炭のストライキが始まつて、石炭工業を視る譯に行かぬ。ストライキも何時止むか判らぬ。三箇月經つ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ても止まぬので斷念致しました。

つぎにベルジュームを視、和蘭に一箇月費した、と云ふのは和蘭は、南洋の本國であります。和蘭が何う云ふ狀況であるかと云ふことを知るのは、南洋を視察する上に非常に重要のものである。内地から行つた人と、臺灣から行つた者とは、和蘭の國に對して、注目する處が非常に違ふと思ふ。恰度一箇月和蘭に居りました。

夫れより獨逸に行きました、ハンブルグを視て、ベルリンに參りました。此處へエルスナーが來て居ります。エルスナーの母親が病氣をして居るので其の見舞旁々ロクエンゲル村に行きまして、一週間ばかり滯在しましたが、非常な優遇を受けて溫泉場などに行つて見ました。獨逸人は此の溫泉を色々の方面に利用して居るのにつく〴〵感心したのであります。

日本は溫泉が非常に多いのでありますが、獨逸人であると、現在の溫泉を優に十倍も利用すると思ふのであります。瓦斯で空氣を淸淨にして、肺病患者等に極めて良いと云ふことにする、而かも冷泉を炭酸瓦斯で沸して溫泉にして居るのであります。

又醫療上に關しても、色々の設備をして居るのであります。一々申上ぐることは出來ぬが、非常に巧妙に利用して居ります。醫療上に關してばかりでも十倍も有效に利用して居ると云ふことを感じたのであります。

日本の溫泉に比較致しますと、貧弱であるが、設備の良いと云ふことは、日本以上の溫泉場の樣に見受けたのであります。

夫れより、オーストリアのブタペストからプラーグを經てワルソーと莫斯科に一箇月ばかり滯在してフインランド、瑞典を見て又露西亞に這入りました。露西亞は酒の專賣であります、フインランドは禁酒國であります。併し事實は非常に

酒の輸入を行つて居ります。瑞典も酒の專賣をして居りますので、其の瑞典の專賣を視ました。それから更にノルエーデンマークを通りまして、倫敦に歸りました。其の時は、ストライキも止んで居りましたので、アームストロング鐵工場を視察しました。夫れよりグラスゴーのウイスキーの工場を視ました。ウイスキーの話は別に致しますが非常にウイスキーの味は旨いものでありました。

スコツトランドは山國でありまして、花崗岩の岩間より出て來る清水でウイスキーを造る、この水が非常に良い、と云ふのは、病菌が少ないのであります。夫れから、ウイスキーに香りを付ける爲めに、石炭を燃やす。下で燃やすと、上にキルクがありまして、良い香ひが付くのであります。

ジヨニーウオーカーのウイスキーの工場は仲々大規模であります。各國工場からウイスキーを買入れますが、香りに各々特色があります。其の特色あるものを、旨く配合するのでありますが、其の配合には一つの技術が要ります。各國工場から買入れるウイスキーを旨く配合して賣り出すのであります。調合する工合で三年以上經過しなければ出來ないと云ふことであります。レツドラベルは八年間、ブラツクラベルは十二年間も貯藏して居ります。ウイスキーには一種の趣味を有つて居るのであります。岩間の清水と申しますと、如何にもウイスキーが旨いやうな氣がするのであります。

夫れよりグラスゴー、アイルランド、ダブリンを經てマンチエスターに行きその邊の各工場を見ました。あの邊に行きますと態々自分の工場を見せる爲めに色々の設備をして居ります。特別に工場を參觀すると案内料を取つて居ります。天井に通り道を作つて、其の通り道から下を見る樣になつて、作業の妨害にならぬ樣な設備をして其の工場を見せる箇所が澤山あります。

亞米利加の工場などもさうであります。有名なシカゴの專賣工場、華盛頓の印刷工場も特別に案内するのは廣告の意味

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

があると思ふのであります。

臺灣の專賣局で損失も構はずに工場を見せて居るのは、一つは樟腦の廣告をする爲めに樟腦工場を開放して居るのであります。外國は夫れ以上に行つて居る樣であります。夫れだけ一方に於て絕對に秘密にして居る。獨逸の人造樟腦工場なども見せて貰はうと思つたが、人造樟腦工場を見せて吳れずに、其の代りにダビインの工場を見せて吳れたのでありました。僕も强いて見せて吳れとは言はなかつたのであります。日本でも人造樟腦は是非共作らなければならぬが、日本人の意志と能力は決して獨逸人に劣るものではない。僕が見たから日本人が出來る樣になつたなどゝ言はれることになると非常に工合が悪いので、遠慮したのであります。强いて見せて吳れと言はないので、樟腦以外の工場を開放して見せて吳れたのであります。

獨逸では人造絹絲工場は快く見せて吳れたのであります。人造絹絲の工場を視ることは初から要求したのであります。相當の紹介さへ持つて居ると大抵の處は見せて吳れるのであります。

夫れから、英國は各所に石炭が出ますが特にカーヂフの石炭の坑に這入つて見ました。

歐羅巴で一年經ちまして、今度は米國に這入つてまづ紐育に著いたのであります。紐育には杉本君が居りますし、其他に三井の島田君、又三井物産の人で、臺灣に居つたことのある人も大部居ります。心安い氣分で紐育を案内してもらひましたヒラデルヒヤ、華盛頓、ボストン、此のコダックのフヰルム會社では日本の樟腦を使つて、フヰルムの製造をして居ります。

夫れからナイヤガラの瀧を見、デトロイト、シカゴ、セントルイスからロスアンゼルスと旅程をすゝめ桑港を立ちまして、三月三十一日に横濱に著いたのであります。

此處で文明と水利事業、器械のこと等に就いて申し度いと思ひます。私共が學校で敎へられたことは、文明の發生地は非常に天然の資源が豐富であつて、あらゆる事物の研究に餘裕綽々である。其の餘裕を以て、色々のことを研究する。研究する結果文明が作られると云ふことを聽いたのであります。

今度、其の文明の發生地である地方に參りましたが、印度はガンヂス河の流域は地味が豐沃で、總ての作物は殆ど無肥料で出來るのであります。併し地味が豐沃だけでは文明は作らない。地味が豐沃で無肥料で作物が出來るのが文明と致しますれば、南洋の如きは何處よりも優れて居る。其の南洋諸島に文明が興らなければならぬが、事實は頗る野蠻國であります。此の文明の興ると云ふことは、何に依るかと考へて見ますると、二つの手を無限に働かすべしと云ふことであります。ガンヂス河の水は神聖であるとして居りますが、今日灌漑排水の途を講じなければ、ガンヂス河の水は利用が出來ないのであります。又チグリスの如きも水利事業を興さなければ、利用が出來ない。又灌漑排水をするには相當の測量をしなければならぬ。土木事業も興さなければならぬ。數學の智識も要ります。機械に關する智識も要ります。茲に於て機械が發達すれば數學が發達する。元來地味が豐沃のみでは文明は興らない。水利事業を興して所謂灌漑排水の途を講ずるに及んで茲に文明が興るのであります。支那の文明は楊子江の流域に興つたのであります。卽ち人爲を以て天然を左右すると云ふところに文明が興るのであります。歐羅巴に行きますと、天然資源は非常に少ない。益々人爲を以て盛にしなければならぬと云ふことを感ずるのであります。

今日獨逸が空中から窒素肥料を採ると云ふことは、無から有を生ずるもので、之が歐羅巴の文明であります。何程働いても、何も出來ないと云ふ様な北極には文明は興らないが、普通の處では働けば文明が興る。之が要素は二つの手であります。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

私は以前土木局に居つた關係で、築港と云ふことには、非常の興味を有つて居ります。築港もカルカッタの築港、孟買の築港、倫敦、アントワープ、ハンブルグ、アムステルダム、の築港等あります。私は注意をして視たのでありますが、其の結論として、歐羅巴の築港は、天然の地形でなくして總て人爲的の築港であると云ふことを見たのであります。臺灣に於ては、地形が非常に惡く、天然の良港が無い。唯基隆、高雄のみでありますが之も天然のものでは無い、歐羅巴の築港を視るに及んで、天然の地形の如きは問題じや無い。如何に天然の地形が惡くても築港が出來ると云ふことを發見したのであります。

最初に視ましたカルカッタの築港に就て申しますと、港門を作つて陸地内に大きな船舶の泊り所を作るのであります。干滿の差が甚だしいので、港門を作つて調節して、水準を同じにして此處に船を繋いで置くのであります。總て人爲であります。

又和蘭、ベルジユーム、の築港を視たのでありますが、此處の海岸は九十九里ヶ濱の如く、又臺灣の西海岸の様で、砂山を作る、此處に如何にして築港するかと申しますと、此處に防波堤を作るのであります。併し荒浪の爲めに始終破壞されるので、此處にレールを敷きまして鐵道に依つてブロックを持つて來まして、起重機で此處に沈下する。而して此處に小さい防波堤を作るのであります。そして港を作ると云ふことになるのであります。

臺灣の東海岸は特に浪が高く、急に深くなると云ふことでありますから、國家としては何とかして、花蓮港、臺東に築港しなければならぬと思ひますが、決して困難では無いと思ふのであります。天然の地形を恐れることは無い。唯金の問題であります。勿論金は要ります。併し金も亦相當工面すれば出來ぬことは無い。

東海岸に相當の築港をし、至る處に漁港を作ると云ふことは、臺灣の開發上必要のことであります。天然の良港が無いと

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

云ふことは、人間に與へて吳れた力を以て、先づ天然を征服せよと云ふことである。之れが文明であります。

元來我々は極樂に住んで居る。天然自然が極樂を我々に作つて吳れた。我々は其の極樂に住んで居るのであります。其の極樂を作るには何としたら宜いかと云ふことを考へて見ると、極樂を作るには……樹木を植え、涼しい風を吹かせて山海の珍味を眺める。其處に極樂は出來ませう。或は山に登り、河に遊び、色々變つた景色を見ると云ふことも、極樂でありませう。各人の要求は千變萬化であります。其の千變萬化の慾望を滿たすには如何にしたら宜いかと申しますと、人間は二つの手を與へられたと云ふのは之に依て物を作る爲めであります。我々は現に何でも作る力を持つて居る。之を利用したならば、何でも出來る樣になつて居るのであります。現に此の二つの手を働かして、此の世界が出來て居る。此の着物も出來て居る。此の家も二つの手の働きでなくては出來るものでない。斯の如く二つの手を働かしたならば如何なる立派なものと雖も出來るのであります。

人間は元來裸で生れたものであります。動物は羽毛を持つて生れて居る。孔雀とか虎とか我々文明人から云ふと、如何にも羨ましいのであります。天然に羽とか毛を持つて居ると、幸福と考へるが、實は人間が裸で生れて來たと云ふことは材は何程でも使へ、而して何物でも作れと云ふことであります。此の着物も自分で作れと云ふことであります。實際裸で生れたと云ふことは我々としては幸福であると思はなければならぬのであります。

鳥や獸は單に一つの羽、一つの毛のみであるが、人間は春夏秋冬に依つて或は洋服を着ると思ふと和服と代へる。而して如何に千變萬化の人間の慾望を滿足させるか知れない。現在の人間の作る着物は、孔雀の羽よりも、虎の皮よりも立派なものである。唯人間に作ることの出來ないものは人間の能力であつて、是は總て神の賜である。之を利用して、二つの手を利用すると、極樂淨土を作ることが出來るのであります。是が卽ち、文明であります。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

倫、印度、埃及の文明、今日の歐羅巴の文明も、總て此の二つの手を働かして出來たものであつて、二つの手を働かせずしては極樂淨土を作ることは困難であると思ふのであります。

四、印度教の推勢と人の生死問題。

印度は宗教國であります。何萬年前から開けたかは判らないが、印度人は十年、五年、山に這入り、難業苦業して悟りを開かんとして或は金を首にぶら下げる、木の上に坐る、或は半身を土中に埋める。色々の難業苦業をして居る。是は悟りを開く爲めである。印度の芝居を見ますと、……印度の芝居には必ず神が現れて來る。神の力に依て彼等は色々幸福となり、不幸となるのでありまして、印度の芝居に神樣が居ないと、芝居にならないのであります左程に印度は宗教國であります。其の印度に於て、人を葬むる場合は何うするかと云ひますと、ガンヂス河の水は神聖として居るので、其のガンヂス河に死骸を流して仕舞ふ。而して墓は作らない。なぜかと申しますと、元々人間と云ふものは天地萬有が作つたものである。夫れであるから、人が死んで今や天地萬有に還らんとして居る。魂は既に宇宙に還つて居る。此の肉體は何でもないものである。只今迄は尊き靈魂が宿つて居つたのである。夫れであるから、此の神聖なる河に流して仕舞ふと云ふのであります。是は實に徹底した印度人の思想であります。我々の肉體と云ふものには天地萬有が循環して居るのであります。循環して居る故に皆樣も我々も亦草木も同體のものである。同じものであります。

私が今此の水を飲みます、身體に這入りますと、最早や私になつて居る。是が又發散し、宇宙に還る。始終循環して居るのであります。是が人間の狀態であります。

例へて云ふと瀧の樣なものであります、此處に華嚴の瀧があると假定致します。而して滔々と水が流れて居る。恰度人間は此の瀧と同じであります。瀧の本質は何かと云ふと水であります。水が無ければ岩だけで瀧ではない其の水は始終流

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

れて變らない。而已ならず、又發散して蒸氣となり雲となり、又雨となつて落ちて來る。是は太平洋の水と共通した水であります。我々の身體も此の瀧の樣なものであります。我々が食物を執りますと、精神が鮮明りしますが、腹が空いて夫れが段々強くなると精神が朦朧となる。例へば瀧の水が無くなつたと同じであります。

宇宙の精神が我々の食物となつて、始終我々の精神に働いて居るのであります。我々の生死は何かと云ふと我々は毎日生きたり死んだりして居る。瀧の水の流れて居るのは生であり、水の盡きるのは死である。我々も毎日食物を執つて毎日死んで居る。最後に殘つたものは死骸であつて誠に尊いものと言はなければならぬ。印度人が死骸を燒却せずして、神聖なるガンヂス河に流すと云ふことは、非常に興味ある、非常に重大の問題である。是は事實であります。御互に此の簡單なる事實に眼を閉ぢて見ないで居るのであります。（續く）

（講演速記文責在記者）

臺灣に於ける民俗研究の提唱

塘翠　西岡英夫

民俗の研究は興味多く有意義

民俗を研究するのは、頗る興味多く趣味の深いものであることは多々記述するまでもないが、この研究が一面民族乃至國民狹く云へば一地方民の眞相を解し爲政者に資する所が尠くないし、人類文化の進展に稗益する所蓋し大なるもので、爲政者としては民と接觸する上に、この理解が與つて力あるにのであると云ひ得る。既に地球上人類が生存活動する以上、自然界の力に支配され、幾星霜を經過し發達しつゝある間に、幾多の民族は各自亦其處に幾多共通點を有するにも拘らず、その間決して同一の道程を辿つて進まず、その赴く所に從つて進んだ結果は、今日觀るが如き各民族の差異點が存在し、それがその民族の表現する特色となつて認められるに至つたのである。民族の發生が從令同一であつて、恁く差異點が認めらるゝ所以のものは、時代の變遷、人智の進達に歸因するもので、その證例は民族が今日保持する風俗言語慣習は無論のこと、その他彼等の心理的動作、卽ち人情的氣風や傳說口碑童話民謠等の文藝演劇舞踊の類に就いても、これを認めることが出來る、これは今更に一々實例に就いて記述せずとも、卑近な例は日本人たる我大和民族のそれと、南洋に生存する所謂南洋地方の民族とを、恁うした總ての方面から比較考査すると、其處に恁うした事實が明白に立證されるではあるまいか、民族に對する研究の興味多き事由も、自ら了知し得らるゝと考へる。これは國民にも一地方民でも然うである。

近時我國に於ても漸く恁うした方面の研究が唱道され民俗學の考究とか、鄕土の研究とか云ふ一種の民俗に就いての研鑽が盛にならうとしつゝあるが、これは畢竟前述の事實の攻究に過ぎないもので、云はゞ民俗に關する諸事項をば、學問的に研究しやうと云ふのである。而も民俗學とか鄕土とか云ふ言葉こそ、近時世上の專攻篤孝家に依つて口にされるけれども、これは泰西に於ける斯道の人の名づけた名稱で、その研究の如き、我國に於ては學問的に盛に研究こそ致されなかつたもの丶、古い文獻に就いて調べると既に幾多の研究結果が發表されて居るのである。かの各地に於ける風土記とか世相記とか、さては繁昌記の類も然うであるし、何々物語と云つた傳記口碑を集めたものなぞが即ちこれである。唯だ恁うした方面の研究は、從來特種の研究家か、好事家の手に依つて攻究されて、他の研究に比して著しく行はれなかつた故に、これまで餘り世人の注意を惹かなかつたらしい、それが漸く近時文化の進展に伴ひ、これが研究を學問的に行はんとする機運に到來したので、從つて世上識者の注意するところとなつたのである、殊に最近地方色なる言を聞くが、この地方色こそ、鄕土が示すこの地方特獨の色彩、即ちその鄕土に生活する民族が保有する、他の鄕土のそれとは全く異つた、色彩を示すもので、この地方色の研究は、民俗に對する研究であるとも云ひ得るのである。この意味からして云へば、民俗に對する研究は、民族を御し政を施して治世すべき任務にある爲政者は、對手たる民族の總てを理解せねばならない、彼等の心情や彼等の風俗慣習、その他彼等を支配し、彼等が示す世相等、彼等特有の事項を考究するの必要なことは論を俟たぬところで、これが考究の結果その資料を參考して、彼等に臨めば已が任務を遂行する上にその功果や實に大なるものがあると信ずる、殊に臺灣の如き植民地に於ては、學問的にこれを考究して一層興味多く有意義であるのみでなく、植民地に爲政者として臨む者には、是非ともこの任務遂行上これが研究を等閑に附してはならないと思ふ。

國民性の研究と云ふことは、これも可なり以前から唱道せられて居ることで、民族の研究と云ふことよりも以前にこれが研究せられ、現今も相當これが研究に力を致されて居る、然し國民性の研究と云ひ、民俗の研究と云ひ、兩者は一つは民族と云ふ大なるものに就いての研究で、國民性の研究と云ふのは民族中の國民のそれに就いて研究すると云ふのであるから、畢竟するに兩者の研究は、研究すべきも

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

のが、廣いものと狹いものと云ふに過ぎない。卽ち民族の中には幾多の國民が含まれて居るので、民族と云ふ人類の一集團中から、その一部分の人類が、何れの時代に何かの動機で、各自思ふ所に辿り着き、其處に國なる集團を構成し、平和と幸福とに滿足すべく團結して一國を構成し、互に生存競爭を試みつゝ今日に及んだもので、その長い歲月の間に於ける、氣候風土や山川草木等の自然界の現象に支配影響を受けつゝ彼等が生存條件に適する人文的發達を遂げ、又た遂げつゝある結果が、其處に一國民性を現示するに至つたもので、彼等同民族である以上共通相似の點は、それぐ\幾多認めらるゝが、またその彼等を個々別々に觀察すると、彼等特有の點が認められる。それであるから民族と云ひ國民と云つたところで、對手は人類なのだから、更に廣きを求むれば人類に對する研究で民俗の研究と同樣に興味多く必要事であると云はねばならない、これと同論法で國民性の研究も亦然りであると云ひ得る、殊に國民性の研究は一國民に對しての研究なので、民俗の研究よりはその研究の結果が、我等に直接的なものであることは明白である以上、或は民俗の研究よりも更に功果が多大で參考に資する所があると思ふ、恁く考へると、他の民族を包擁し、他の國民の或者を新附の民とする植民地の、恁うした民族、恁うした新附の民に就いての研究は、興味も多く有意義で而も重要なものだと云ふことが出來る、殊に我臺灣でも、臺灣人と稱する支那民族で嘗ては淸國民であつた新附の民と、臺灣人より既に先住し、現に山地に原始的生活を營む生蕃人に對する、恁うした民俗の研究は、必らずや興味あり有意義で重要なものであると信ずる、

臺灣の理解と民俗研究の必要

臺灣が我植民地として、我版圖内に存在する以上その地に生活を營む臺灣人と生蕃人とに對する恁うした方面の研究は、現今でも果して充分行はれて居るであらうかと云ふと、甚だ遺憾ながら充分とは云ひ難い尤も、臺灣と云ふ土地、海遠く隔てた我日本內地とは、氣候風土から動植物等の自然界の現象にも大きな差異があつて、異鄕の地と稱せらるゝ通り、全然別天地の觀があり、其處に生活する臺灣人は南方支那民族の子孫で生蕃人はまたこれとは全く異つた南洋系の民族の子孫であるから、我等大和民族の子孫たる日本人とは、言語風俗慣習何れも無論同一でない、正に臺灣が示す民俗や自然界の現象は、その所謂地方色なる

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ものを表示して居て、我等大和民族の耳目に入る總てが、珍奇極まるものばかりで、これに接して誰か異驚しないものがあらう。其處が臺灣の臺灣たる所で、地方色として示す特有な之等は、民俗學上好個の研究資料で、これに就いての研究は興味が多いと云ふべきである。唯だ臺灣は珍しい異郷の地、我植民地の一つであるとのみで、その珍しい異郷の地であることのみでは、我等臺灣在住者は滿足すべきものでなからうと思ふ、一歩進んで民俗學から將又た郷土研究の上から、出來る丈けの研究をして臺灣の事情を明白にし、恁うした研究から臺灣の宣傳が試みたいものと考へる。

臺灣に活動する我等大和民族は、何と云つても土著の人々を對手にせねばならないし、包藏する天惠に依つて開發をせねばならない、それには臺灣土著の人々の間に存し傳へられてある、風俗慣習言語その他の民俗に就いては充分理解せねば、兎角の活動も失敗に歸すること多く、母國人としての活動の要件は、一つに民俗の研究結果を基礎としてでなければ充効功果を收め得ないと斷定する。殊に彼等土著民を對手として政を施す爲政者に於ては一層こうした感が強く思はれる。卑俗の言にもこう云ふことを聞く、即ち知らない土地で一旗擧げるには、先づその土地の事情を理解し、その土地の人々の氣風や行事を明かにしなければ失敗するとこれは實に眞理である、活動しやうと決して未知の地に踏み込む以上」、こうした決心と覺悟を以て、先づこうした方面の研究に着手しないと、思はざるの失敗を招くもので、こうした事例は、今茲に記述するまでもなく可なり多數である。尤もこの卑俗な言は、誰しもよく云ひまた考へぬではないが、領臺當時は兵馬倥偬の際で、渡來する人々も只だ一攫千金のみを夢想して、濡手に粟の攫み取り、金儲がころ〳〵轉がつて居ることのみを思ふて一向眞面目に考へ活動する者もなく、得れば散じて植民地として臺灣の開發なんては餘り思ふ者が多くなかつたやうであるだから然うした連中は、少數の成功者を出したのみで多くは失敗したと云ふ事實が存じ傳へられて居る。それでも臺灣の統治に就いては着々成功し、漸次舊態を一變して文化向上、領臺三十餘年の今日では、成功した植民地として中外に稱讃の辭を以て迎へられて居る、從つてもう今日では領臺當時の如き事實は、決して見られないばかりか、眞面目に考へてから充分の用意を整へ、眞の臺灣を理解し眞の臺灣土著の民俗その他を會得してでないと、活動して

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

も思はぬ過失を招くのは必定であると信ずる、此處に於て大に民俗學の上から、又た鄕土と云ふものゝ上から、臺灣を考究するの必要を更めて叫ぶのである。

既に行はれた民俗の研究調査

民俗學の上から乃至は鄕土研究と云つた上から臺灣を考究するのは寧ろ在臺內地人の一任務であると思ふ、今更にこれが結果に就いて云々するを要しまい、然れば今日まで臺灣にこうした方面の考究が行はれて居なかつたかと云ふと、全然行はれて居ないとは云はぬ既に領臺前に於てもこれが行はれて居たが、それは甚だ不振であつた、卽ち過去の臺灣を考察すると幾多こうした方面の古い文獻があつてこの文獻に依つて、支那人や歐米の學者や篤學の士が染手した調査研究の結果が發表され、我等一部の斯道考究の徒に、好個の資料を提供して居る、然し殘念なことには、この古い文獻中には今日隨分散逸したものも多く、又た領臺當時の混雜が禍を作つて、現存の書類は餘り存在せず、唯だ係歷書物があつたと、唯だ書名のみが殘り傳へられて居るのも尠くない、從つて今日に於ては折角好個の參考資料となるべきものも、容易に閱讀されない始末、又た一方民俗中には時代の變遷と共に滅失したものもあるから、一寸研究も難しい、殊に生蕃人に關しては、餘りに多く行はれて居ないと云つて可い、これは畢竟するに生蕃人が、臺灣人の祖先たる南方支那民族の移住に因り、漸次中央山脈の山地に追ひ込まれ、其處に彼等は安住地を求め、他の民族とは殆んど沒交渉に、山奧深く捿息して彼等は彼等自身の天地を構へ、今日猶原始時生活狀態を持續しつゝある一方、南洋系蕃族の通有性たる馘首を敢て行ふ等、他の民族の侵入を嚴重に監視防禦して居るので、こうした方面の調査研究に著手するのが容易でなかつたからである。從つて支那人乃至歐米人の手に發表された蕃人の事情は、全く蕃人中支那人乃至歐米人と何等かの事情で接觸した一部の蕃人に對しての研究調査に過ぎないので、從つてその發表した調査研究は甚だ不完全なものであるのは已むを得ない。

領臺後今日に至るまで、我日本人の手に依つてのこうした方面の調査考究は、領臺後臺灣の諸政が漸く整ひ、諸般の施政が行はれて、島內の物情が鎭靜に歸してからで、帝國大學その他の各學者が、その各專門的調査の目的を以て渡來したものも多くあつたが、何せまだ充分調査考究を遂ぐるに便でなかつた故に、その結果は時々內地に於いて

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

刊行さるゝ專門雜誌に發表された位で、纒まつた著書は餘りなかつたやうである、殊に民俗學の上からの調査考究はこの時には餘り行はれずに終つた。その後、法院職員の有志に依つて、臺灣慣習研究會が組織され、機關雜誌「臺灣慣習記事」と云ふ月刊雜誌が發行された、この會の目的は法院の職員即ち判官や檢察官が、その職務遂行上の參考に資する爲にと研究調査を行つたもので、この臺灣慣習記事に發表された調査研究の事項は、正に民俗學の研究上にも、鄉土研究の上にも得難い資料が多くあるが今はこの會も廢止され、刊行の雜誌も散逸して全部完きを手に入れやうとするのは容易でない、實に惜しいものである。恁る機運から漸次臺灣でも民俗學とか鄉土研究とか云ふ難しい名稱の下でなく、或は個人的に篤學の士が考究調査に從はれ、或は學校とか官署とかの手でも時々調査研究を行つて資料を蒐集してこれを發表したことがある。殊に臺灣臨時舊慣調査會なるものが、總督府に設けられ、故岡松參太郎博士の主管の下に、組織的に舊慣の調査に從はれ、この結果は幾多浩翰の報告書と在つて發表されて居る、然しこれは同じ舊慣を調査研究されたのでも、この目的が臺灣人に適用すべき法律を作成する基礎的資料の調査研究で、我等が今唱導する民俗學とか鄉土研究とかの類のとは、聊か趣きを異にし、目的も全然に相違して居る、從つて法律的の見地からのもので、云はゞ舊慣法の調査であると云ひ得るから我等の如き民俗學より、或は鄉土研究の立場からは、この報告書はまづ別種と見做すべきであらう、それには友人片岡巖氏の調査研究に成つた「臺灣風俗志」こそが、今日に於ては好個の資料であり、權威ある發表であると思ふ。同じ舊慣調査會の事業として蕃族の調査も行はれたが、これは完成に至らず、舊慣調査會が廢止されたから、未完の儘になつて居る、これは實に殘念なことである。然し友人佐山氏の發表した調査報告は、我等が希望する民俗學上より見ての好調査だと云ひ得やう、尙蕃人に關しては、以前の蕃務本署に於ける調査、かの「蕃族一斑」の如き調査報告類は好個の産物である、それにしても蕃通として知られた畏友森丙牛氏の長逝が、實に痛惜に堪えないものである。これは聊か目的が違ふと云ふものゝ、友人小林李坪氏の偏に成る「臺灣歳時記」なる小册子は、元來俳句を作る人々の爲め臺灣の季題その他に就いて、俳材となるべき、重なる事項や動植物を説明したもので、俳句を作る人の爲めに編したものだが、これも名は歳時記とは云へ、臺灣の地方色を

說明したものであるから、確に好い調査發表物だと思ふ、但しもうこの書は絶版で、なか／＼容易に手に入れ悪い。恁う云ふ工合に、我等内地人でも今日までは、相當に恁うした方面の調査考究に從事された篤學の士はあるが、而も何れも大成されて居ないのを遺憾とする。

臺灣の民俗研究と文獻の數々

臺灣に於て行はれた民俗の研究調査は、實は專門的に行はれたもの尠く、即ち異鄉の地である、植民地であるとして、將又た其處に生活する民族、乃至一地方民としての事情等に於て、彼我相異れるものがあるので、これを調査研究して、臺灣は如何なる土地であるか、臺灣人や生蕃人は如何なる生活を營み、如何なる世相を示して居るかに就いて總括的に發表したもので、土俗のみに就いての研究調査、即ち民俗學から云ふ研究調査は餘り行はれて居ない、最も今日まで發表された文獻中には無論この一部には民俗の研究調査が幾分行はれてこの結果が發表されて居るが、決してこれが主となつて居ない、而してこうした文獻中にある民俗の研究調査事項の發表されたものは、奇なりとし異なりとして、その見聞が發表されて居るから、民俗學と云ふ上からしては充分でない、これはその發表された時代、今日所謂民俗學と云ふものが唱へられ、研究されて居なかつたからでもあらう、されば今日まで發表された臺灣に關する文獻中、殊に詩人の手に成つた遊草とか、何々雜記とか云つた詩文中には、反つてこの民俗に關することが可なり多いやうである。但しこうした文人墨客の筆に成つたものには所謂詩人の目に映じ感興を惹いた類のものであるが、それが悉く民俗學上から觀て資料として好個のものであるとは云ひ得ない、其處に筆者がこうした風流の士であり、詩文がこうした人々の作と云ふことを考へてから、これを翫味しなければならないと思ふ。

以上は多く領臺前の所謂古文書に就いての考察だが、領臺後に於ても我國の學者篤學者の手に成つた臺灣に關する文獻も可なり多くある、然しこれも多くは臺灣と云ふものゝ事情を記述したもので、一般的の研究調査で、特に民俗のみのものは尠い、これは臺灣と云ふ新領土と云ふを研究すると云ふ目的の下に研究調査をしたからで、こうした文獻が公にされた當時は、領臺後餘り歲月を閱して居ない時分であつたから、特に民俗と云ふ一專門的の事項のみの調査研究よりも、臺灣と云ふものに對し、總括的に一般事項

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

に亘っての調査研究が行はれたものと思はれる、それで幾多の文献に就いては「臺灣慣習記事」と「臺灣風俗志」がまづこの民俗學上より研究發表であらうと云ひ得る、但し「臺灣慣習記事」は一研究會の機關雜誌で單行本でなく、記載事項も斷篇ものや、短いものも多くある、その他に就いては寡聞これを聞かない。

生蕃人に就いては、領臺前には臺灣人に接觸した彼等に對して篤學者等がその事情を調査研究したもので、その他は旅行者が珍しい奇異なものとしてこの民俗をば旅行記中に取つたものが多い、けれどもその範圍は極めて狹く、全體の蕃人には無論及んで居ない、領臺後に於ては我總督府の理蕃政策を遂行する上に於て、それ〴〵調査研究が行はれ現にこれが續行されて居るが、生蕃人に對する調査研究は、一つに理蕃に從事する督府官廳の手に多くこれまで行はれ文献もあつて好個の資料が提供されて居る、この研究調査は一部の生蕃人に限つてゞなく、全部の生蕃人に對して行はれ、且つ民俗に對しての研究調査が多く發表されて居る卽ち臺灣人に對しての研究調査が發表された文献は多く、歷史地理等のものと共に幾分民俗の事項が記述されて居るが、生蕃人に對しては、歷史も地理もなく、全く民俗のが多いのが、他と異る點とも見られる、「蕃族一斑」なぞは好個の參考資料である、その他臺灣臨時舊慣調査會の手になつた「蕃族調査報告」の如きは、實に得難い文献であると云ふべきである。何と云つても生蕃人の居住する地は、山奥で交通甚だ不便だし、原始的生活を營む彼等を對手にしての研究調査は、未だ完全しないのは已むを得ない、理蕃の功果ある今日に於ても尙然りであるから、領臺前に於ては一層不便と危險であつたから、研究調査も一局部に限られ、不完全なのは無理もなく、淸國政府も臺灣の蕃人は化外の民とか云つて、別物扱にして居た位だから、研究調査なんぞ行ひ得ないと云ふも當然であらう。

歐米人のこうした方面の研究は、相當行はれて居るが、何しろ支那の一屬島であつたし、今は日本の一領土であるから、廣い世界から觀ると實に僅少な天地である、從つて旅行家とか專門家乃至は好事篤學の士の手に成つた臺灣關係の文献があるが、これとて彼等國人中には異鄕の地を紹介した書位にしか思はれなかつた、最近こそ交通が至便になり、歐米人の往來が頻繁になり、時々これが著書は刊行されるが當今は支那や蒙古西藏と云つた方面の、この研究調査が漸く盛に行はれて來たので、餘り臺灣に關する斷道

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

の研究が發表されない、而も歐米人の發表ですらも同じく臺灣と云ふもの丶全般的の發表で、特に民俗と云ふのではない、これは前と同じ理由に他ならないのである。

知られた和漢洋の主要の文獻

領臺前に於ける支那人の手に成つた文獻中、臺灣民俗に就いての研究調査が發表され、資料となり得べきものは、何と云つても府誌縣志と采訪册記略の類であると思ふ、府誌は乾隆十一年の臺灣府誌(二十五卷)で其後府誌稿(十卷)「重修府誌」(二十卷)新修府誌(二十六卷)があり、今では新修府誌があるばかり、而もこの原版木は先年燒失したさうで臺灣には餘り存しない、廳志としては、同治九年に「淡水廳志」十六卷、光緒十九年に「澎湖廳志」十五卷、道光十二年「噶瑪蘭廳志」八卷が刊行されてある、縣志としては雍正二年「諸羅縣志」十二卷、康熙十六年「臺灣縣志」十卷が刊行され、他に重修縣志(八卷)、「新修縣志」(八卷)がある、道光十二年に「彰化縣志」十二卷「鳳山縣志」十二卷が康熙五十八年に刊行されたが、またこの以外に刊行年月不詳の「新竹縣志」、と「苗栗縣志」とがある。その他采訪册即ち調査書類としては光緒二年「雲林采訪册」八卷が刊行された外に、「臺東采訪册」「恒春采訪册」「嘉義采訪册」「臺灣采訪册」「恒春采訪册」「埔里社采訪册」等があるが、「雲林采訪册」以外の書は、今では餘り見受けない、散逸したのであらう、「臺灣記錄」七十卷が乾隆五十三年に康熙六十一年に「蕃俗六考」が刊行されて居るし、「赤嵌筆談」とか「臺灣外記」と云つた書も刊行されて居る、詩集としては、陳夢林の「游臺詩」張湄「瀛壖百詠」とか、孫元衡の「赤嵌集」とか、東游詩草(揚廷理)などの詩文中には民俗が寫されてある、記略として前記の「臺灣記略」以外に、「海上記略」が康熙三十六年に「平臺記略」が雍正元年に公にされて居るし、「東平記略」「東槎記略」四卷が道光九年に「澎湖記略」十二卷が乾隆三十二年に公にされ道光八年に「續澎湖記略」が著されて居る。

而してこれ等の漢籍即ち領臺前の著書文獻は、多く散逸したり、版本が失はれたりして殘餘の僅少部が本島に存ずるものでなか〳〵珍重なものである、それに就ても、先年臺灣經世新報社が「臺灣全誌」の名目の下に、府誌縣志を蒐集し、校訂を嚴にして、これを活字版に附して覆刻されたことは、この勞の多大にして巨費を投ぜられての努力は、

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

この古文書の普及と存置との意味からその功績は偉大なもので、研究者流には好個の資料を提供されたもので、頗る有意味な擧で感謝せずには居られない、全く臺灣經世新報社の好意と努力とに依つて、古文書が永久的に閲讀せられ、斯界に貢獻することが蓋し大なるものと思ふ、今更に我等は同社に敬意を表し感謝を捧ぐるものである。と云ふものゝ各方面の事項を著したもので、民俗はその中に記述されて居るに過ぎない、三十一年の石坂莊作氏の「臺灣踏査實記」や伊能氏の「臺灣蕃人事情」やは資料とすべきもので、その後から今日までの著書中で、民俗のことを取扱つたものは、手島氏の「臺灣慣習大要」、伊能氏の「臺灣志」小林氏の「臺灣歳時記」「大日本百科辭典」吉田東伍博士の「大日本地名辭書」臺灣總督府民政部「蕃人事情」「理蕃概要「蕃族一斑」武内氏の「臺灣」上下二册、臺灣臨時舊慣査會の報告及蕃族調査報告書、佐山大西兩氏の「生蕃傳説集」、杉山靖憲氏「臺灣名勝舊蹟誌」片岡巖氏の「臺灣風俗誌」平澤平七氏の「臺灣の歌謠と名著梗概」等があるが、勿論これは一部を記したに過ぎないのである。

我邦の人の手になつた臺灣に關する書籍中で、民俗を幾分でも取扱つたものは、德川時代に於ては正しい書物ではないが寛文元年に「異國高砂卷」があり、天保十一年に「鄭芝徴書」があり、その他「長崎夜話」や「海外異傳」「華夷變態」と云つた著書がある、これは支那人若くば臺灣から歸來した人の話を記述したものであるから、研究調査の結果と云ふことに就いては覺束ない、領臺前明治初期に「和爾模沙島」「長崎實錄」なぞが著述されたが、領臺當初幾年間には可なり臺灣に關する著書が刊行された、明治二十八年に參謀本部で著述した「臺灣志」海軍々令部の「臺灣記略」（明治二十七年）民友社の「臺灣」なぞもその類で、小川琢治氏の「臺灣諸島誌」もあつて、他にも可なり刊行されて居ることは勿論で寡聞これを記述するを得ない。

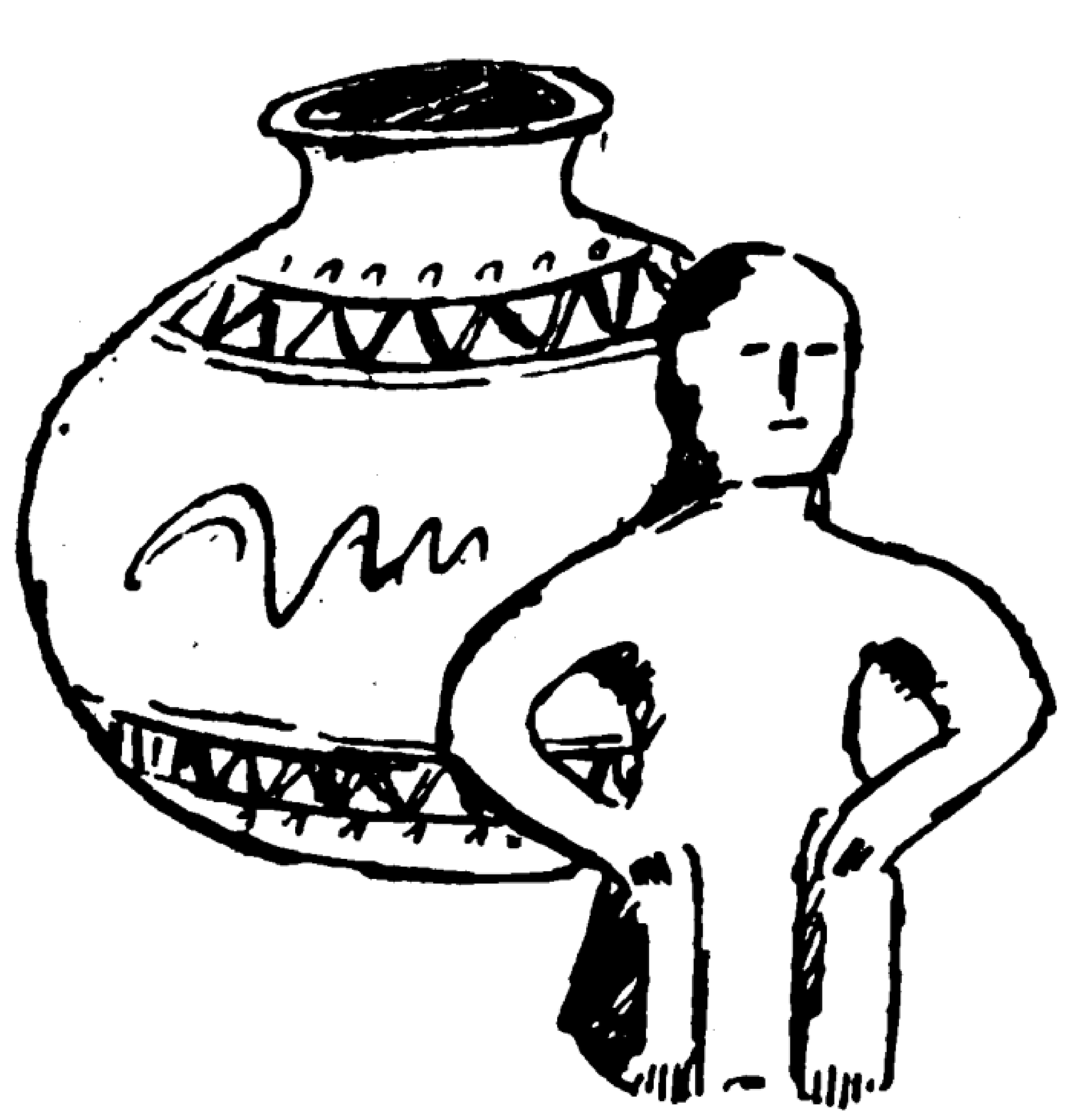
歐米人の著書もまづ民俗そのものを主としたものでは無論なく、民俗のことはその記述中に入れてある、これも相當多いらしいが、散逸したものもあるので、完全に蒐集することが出來ない、それで唯だ參考に書名を二三記述して置くことゝしやう、古いところでは Candidius G……… A short account of the Island of Formosa. (1637). Rlaporth……Description de Formosa (1822). Stephen, E……Island of Formosa (1837) Biernatzki……Die Insel Formosa (1851) Ditto……… Notes on Formosa (1684) Hosicalx Report on the Island

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

Formosa (1868) J. Davidson……The Island of Formosa past & present (1903) A. Wallce……The Island Life 等であるが、その他にも勿論多い、然しかうした文獻も圖書館以外には餘り存じない者ばかり。何れも珍書として扱はれて居るから、一寸見られないばかりか、これも書名のみ存じて臺灣にないのが尠くない。

臺灣總督府の圖書館には可なり、かうした文獻が所藏されて居るが、何れも珍書として扱はれて居る、然しかうした方面の古い文獻が、臺灣人の手に在りつゝある間に、種々の事情の下に散逸せないとも限らないことを考へると、圖書館のこの努力を多としなければならないし、研究者は大にこれを利用すべきである、それにしてかうした意味から、圖書館と臺灣經世新報社の功を思はずには居られない、以上この項に於て記述した書名はその主なるものと、寡聞の我等がその書名だけでも知つて居るものなぞの中から、繁を避けて研究者が參考に供し、一面に於ては斯る古い文獻があつて、それが斯の如くの狀態になつて、或は散逸し或は保存されて居ることを述べて置くのである、尚隱れたる所に珍書ありと云ふこともあるので、今後誰人の手に依つて如何なる書が發見さるゝかは豫想し難いが、かうした新發見で斯界の人々を喜ばせ稗益する所があるものと信ずる、それで參考に斯く書名を記して置くことにした。

（未　完）



Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

支那の國民革命と國民政府（二）

總督府稅關　井出季和太

第三　國民革命運動發達の近因

支那の國民革命運動が支那固有の文化の影響を蒙つて居ることは如上歴史的背景に於て述べた所であるが是等素因に相對して最近直接の影響を與へたものは少くない、今其顯著のものを列擧せば左の如くである。

一、革命後軍閥の流弊

辛亥革命は滅滿興漢を直接の目的として幾千年來の定制であつた王朝を倒し民主共和制の民國を作つたが、元より一般民衆の自覺に出たものでなく清朝積弱の大勢が又有力の一原因をなし、民國初年から動亂が已まないで、袁世凱の如き奸

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

雄が皇帝慾を出した爲に反袁革命を惹起した。孫文一派が多數の小帝王を生んだ稱した通り、大小軍閥か各地に割據し地盤爭をしたり成り上りの軍閥か勝手に誅求を事とし私兵を養ふ爲に、民衆は假令無氣力であつても尙歷世の禮治又は德治を主義として居る前淸帝世の時代を優りとした位であるから、國民革命運動の大綱領の一は軍閥打倒であつたのである。

二、歐洲戰爭後の世界思潮

歐洲戰爭後世界の新思想は各種の方面に亘つて支那人を覺醒した、就中一九一九年の巴里會議及一九二一、二年の華府會議はウィルソンの民族自決を始めとし、弱少民族の解放獨立や自由平等の思想を熾ならしめたのである。

三、諸國の革命運動

露、獨最近の國家革命以外に歐洲戰爭後英國の壓迫に反抗し起つた一九二一、二年土國ケマルパジャの革命、同じく英國の干涉を蒙り政變を引起した一九二三年ペルシャのリザハンの革命、多年英國の侵略を受け來つた歐戰終熄後屢次勃興したアフガニスタンの革命、其他印度埃及朝鮮比島安南爪哇モロッコ等、植民地の獨立運動等は多くはソヴヱート露西亞の援助を受け又は感化を蒙つて、帝國主義に對し被壓迫民族の新運動として擡頭したのである。

四、露國の對支策

勞農露西亞は革命後反帝國主義被壓迫民族の聯合宣戰を標榜し、歐米及印度等の失敗を支那で取り返すことにし、支那に對し精神上物質上多大の援助をした。先づ以て帝政時代に締結した不平等條約を自發的に取消し、一九二四年五月露支協定を締結し、曩に一九二一年に平等條約を締結した獨逸と同樣對等の協商國となしたのである。

一方第三インターナショナルの活動に依つて支那に共產主義を扶植し、共產黨を組織し、支那の革命運動を促進せしめ

たのである。

五、最近頻發せる渉外事件

支那國民革命運動の表現として近年勃發した排外事件は、又國民革命運動促進の結果であると同時に重大原因をなすものである。殊に一九一五年五月の我邦強要の所謂二十一條問題及一九一九年五月の山東問題は排日運動を激發し、次て一九二五年二月の排日運動から引繼いた五月三十日の事件及同年六月二十三日沙面の衝突事件は、排英を中心とする反帝國主義の國民革命を、急速に、廣汎に傳播したのである。

第四　支那國民革命運動の解析

支那は古代から革命があり革命の是認されたことは前に述べた通りであるが、王朝の確立された後には革命を罪惡視し、現に清朝時代でも民主共和說を唱ふる者をは恰も亂臣賊子同樣に考へた。然るに日清戰爭後清朝積弱の餘、一般に弊政改革の必要を感じ、康有爲の變法自彊論などが出て、次て日露戰爭後は更に革命論が熾になり、孫文及其他革命黨の崛起となり、光緒三十四年には憲法準備清單の如き改革案を見、之に基いて同年各省諮議局が開かれ、翌年又資政院が設けられ、革命論の如きは公々然と主張さるる樣になり遂に辛亥革命に至つたのである。

革命の業成つて既に十六年を經過し、就中南方革命運動の進行から國民革命軍の組織に及び、革命思想は一般的に行き渡り、世人は革命の標語を救世濟民の義に解する樣になつた。今支那革命、殊に國民革命の實情を明にせんが爲に、現代支那人の革命に關する解釋を揭ぐることゝするが孫文の目的とした革命の實體は即ち孫文の所說全部に亘り、其中心は三民主義を指すに外ならぬ、之が詳細は後に孫文思想の中に之を叙說することにする。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

一、革命の意義

革命の意義に關しては、李石曾は「革命は人群演進の自然にして、時に息むことなく、相共に終始し、其常にして久しければ則ち進化と曰ひ、其變じて驟かなれば則ち革命と曰ふ。此二者は互に表裡をなし、須臾も離ることは出來ぬ。故に人群の革命を言ふ者は亦必ず人群の進化を考ふ、廣義の革命を以て之を言へば猶ほ人類の進化のこと、中國革命を以て之を言へば猶ほ人の個體進化の如く、人類の進化は期長く、人の個體變化は期短し、然し其簡繁精粗と層序繼承とは固より相似て居り、革命も亦然り、世界人類革命の演進今に迄ぶ、數千年亦簡より繁に至りて愈精層序繼承して爽はぬ生物と異ることがない」と云ひ、朱謙之は其革命哲學中に於て、革命の目的は舊環境を打破して進化的光明の前途に進向するとし即ち革命には破壞的方法と建設的方法とあるとする。

蔣介石は、革命は救國家救人民救自己救子孫と云ひ、其他革命運動は人民一切の痛苦を解除すること、又は一幕流血的慘劇民衆の解放を求むるの方式であり、或は福國利民などゝ云ふて居るものがある。星期評論中には眞正革命を論じて、「進步的革命、即ち是れ民生主義に合する精神的革命である」とか「民衆を以て基本隊伍とし主力軍隊とし決して是れ軍人革命でも政客革命でもない」と云ひ、又は眞正革命は是れ社會的であつて個人的でない、科學的であつて空想的でない、無我的であつて自私的でない、人を水火より救ふことで人を危厄に陷ることでない、罪惡を剷除し罪惡を助長せずに人類の幸福を謀り、人類に禍害を加へぬ互助博愛的で、掠奪殘殺的でない、階級を消滅して階級を創造しない、資本を廢除し資本を集中しない、是れ制度消滅的であつて制度改良的でない、政治廢除であつて專制變相的でない、眞正の革命が實現する社會は是れ自由平等互助的の社會であつて、是れ馬克思列寧盧布等が想像し到る所の社會ではないと說いて居る。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

二、國民革命と社會革命

支那現代の國民革命は孫文の三民主義を基本とし國民黨の黨綱を實現するのであり、國家の獨立自主、民族の自由平等を期することゝ云はるゝも、孫文思想に對すると同樣に其解釋には左右兩傾があり、廣狹區々に分れて居り、自ら國民革命又は社會革命に關する意見にも一致せぬものもある。先づ孫文の國民革命に關する主張を見んに「國民革命の目的は獨立自由の國家を造成するのである、國家及民衆の利益を擁護することで其內容は本黨及第一次全國代表大會の宣言に詳述した三民主義を基本とするに在る」と云ひ(北上宣言)、更に中國々民黨第二次全國代表大會宣言中には「中國々民革命は、中國より之を言へば中國民族自ら解放を求むる爲にし、世界より之を言へば一大部分人類の自ら解放を求むる爲にする。故に中國の國民革命は、實に世界革命の一部分であり、中國人民が國民革命に從事するは決して孤軍轉戰でない。蘇俄の如き、世界上一切の植民地半殖民地的民族の如き、帝國主義本國內の被壓迫民衆の如き、皆中國の革命民衆であり同一戰線に立つ者である」と說き、又「革命は中國一切政治上社會上舊染の汚を掃除し、一莊嚴華麗の新民國を再造し、民の所有とし民の所治とし民の所享とする」と述べて居る(軍人精神敎育論)。

汪精衞は「國民革命は國家の自由平等を救るに在り」と云ひ又「本黨唱導する所の國民革命は三民主義を根據とし帝國主義を打倒し、卽ち全世界一切の被壓迫民族の敵人である帝國主義を打倒し、中國の自由平等を求むると同時に又全世界一切の被壓迫民族の自由平等を求むるに在るとする。而して革命は、一、民衆的であり、二、民衆を喚起し民衆自己の利益の爲にし、三、民衆の利益を得ることに在る。故に國民革命を行はねば、一、民族主義よりせば中國民族は自主する能はず、二、民權主義よりせば次植民地の地位に淪み、三、民生主義よりせば國家の財政經濟は皆帝國主義の操縱を受くると云ひ(汪精衞講演集第一輯)、又他の論文中には「總理の全民革命を主張するは、一方面には固より大多數農工民衆の利益を

基礎とするが、他方面には又其他階級の利益を忘れぬときは、獨り總理の信徒であるばかりでなく、熱心之が主張を實行せば、即ちマルクスの信徒である」、「胡漢民先生モスコーよりの來信に依れば、第三國際東方部の談話を述べ即ち是れ中國現在の國民革命を主張し、知識階級實業階級の參加を要求し、我邦は民衆の爲に革命をなすと同時に、民衆をして革命に參加せしめ、革命の利益を民衆に歸せしむる、是れが必要の理論及方法で、共產派でも好い、非共產派でも亦好い、如果實際に工作せば唯一逕一條の路ある」と云ふて居る。

革命種別の上から國民革命の地位を考察せんに、汪精衞の手に成つたと云ふ明治三十九年東京で開催した中國革命同盟會の革命方略には、「國體民生尙民と變革し、則ち自由平等博愛となす、故に前代には英雄革命であるが、今日は國民革命とする。所謂國民革命は一國の人皆自由平等博愛の精神あり、即ち皆革命の責任がある」と述べ、孫文は「今日の革命は古代の革命と同じくない、中國古代には固より之を行ふべきものがあり、湯武革命の如き帝國革命であり、今の革命は人民革命である。此種革命は乃ち本總統三十年前に提倡した所であつて、此革命主義、即ち三民主義である。一は民族主義二は民權主義、三は民生主義とし、第一の主義は種族革命で他種民族を排除し自己民族を發揚し完全獨立の民族國家を組織するに在る。第二の主義は政治革命で人民直接政權に參與し、簡言せば選擧權、罷官權、複決權、創制權の如く、人民の直接に行ふもので代議制度下の民權ではない。第三の主義は社會革命、即ち經濟革命で社會上の財產を平均分配すべく一般資本家が壟斷しないのである」と說いて居る(軍人精神教育論)。

邵翼如は、其中國革命運動及其背景中に、革命運動を三種に分ち、第一を政治革命とし、イ、對外的には民族の獨立を期することゝし、ロ、對內的には國內階級自由解放又は平等を目的とすることゝし、米佛等の例を示し、第二には社會革命とし、社會教育、宗教、貧富階級不平等々の矯正を計ることゝし、第三は經濟革命とし、工業の發生に伴ひ手工業者、小資

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

本家等の保護をなすが如く、經濟組織の不良から起る弊害を改むることゝし、是等三種の革命も相對的關係に在ることを論じて居る。

朱謙之は、其革命哲學中に於て、革命の歷史的發達を四期に分ち、第一は宗教革命で僧侶的命を革むことゝし、第二は政治革命で貴族の命を革むことゝし、第三は社會革命でイ、中產階級の命を革むことゝし、次でロ、勞働階級の命を革むことゝし居る。

更に共產派又は左傾派等の所說を見んに、陳獨秀は、民族運動の歷史的發達を三期に分ち、第一は宗法社會時代の封建貴族的民族運動、卽ち資本主義國家主義前の民族運動で、當期には血族宗教等の色采ある封建貴族の爭鬪があつた農業時代である。第二は軍國社會時代の資產階級的民族運動、卽ち資本主義前半期的民族運動で、當期は商工業發展時代である第三は帝國主義時代の植民地的民族運動、卽ち現代資本主義末期的民族運動で、當期は階級聯合的で被壓迫民族反抗時代であると云ひ、更に革命の種別からして、第一は宗法封建社會崩壞時である資本階級の民主革命とし、第二は資產階級崩壞時である無產階級の革命とし、第三は一種特別形式の革命、卽ち植民地或は半植民地の國民革命とし、國民革命には、イ、對內的民主革命、ロ、對外的民族革命の二方面があるとし(陳白虛國民革命)、又陳獨秀は機關誌嚮導等に於て、國民革命は民族革命、民主革命兩個の意義を包含し、外國帝國主義及國內半封建勢力を打倒する。共產黨が政權を取得せば卽ち是れ無產階級革命時代のことで、國民革命時代に在つては這類の問題を發生しない。現在は國民革命時代であつて無產階級革命及專制時代ではない、現在は當に資產階級が民主政治を需要するばかりでなく、無產階級も亦民主政治を需要する。國民革命成功後の建設時期には、必ず是れ革命的民主的民衆政權であつて、是れ無產階級專政ではない。並に是れ工農政府でもない。その時の革命的民主的民衆政權の下に中國の資本主義は當然發展起來を要する、又はその時に在れば眞正の中

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

國資本主義は能く自由發展をなし、吾人はユートピア的社會主義ではないと云ひ、或は中國民族革命全部の意義は是れ各階級革命の民衆起來して、帝國主義と軍閥とを推翻し、以て自ら解放を求むる。尤も是れ一般農工平民の切迫した困苦を解除するのであると說明して居る。

次に孫文の大同主義に共鳴して革命を分類論述して居るものは、李石曾や甘乃光である。

李石曾は革命の發達を左の如く分つて居る。

第一層　君主革命或は宮廷革命或は專政革命

第二層　民權革命或は國家革命或は政治革命

第三層　階級革命或は財產階級或は經濟革命

第四層　民生革命或は社會革命或は大同革命

世界革命中、例へば湯武革命又は蘇俄專制等は第一層序に入り、制度改變佛米及支那辛亥等民權革命は第二層序に入り民族革命も同樣である。階級鬪爭レイニン試行のマルクス主義の蘇俄革命は第三層序に入り、孫中山の民生革命は第四層序に入る。而して武漢共產運動は第三層序の革命であり、上海の護黨運動（吾稚暉の民國十六年三月唱出する所に係り卽ち國民黨を衞護し僞共產黨を抵制することゝす）は第四層序の革命である。是れ全民革命で三民主義中民生時の革命である。國民黨の革命は卽ち全民革命で階級奮鬪ではない、卽ち民族民種を開始の方法とし、全民々生を究竟の目的とする三民主義は、固々種々革命の性質を包容し、其宜しき所に從つて適當の應用があり、世界革命と中國革命とは環境大に異るも、一致共同の點は、卽ち同じく馬派に反對することである、世界革命の歐西馬克思、列寧式の革命は馬の第三國際と共に皆變象である加重の專治政體又は帝國主義であつて實に反革命派の尤もなる者であるが故に、必ず將に代ゆるに濟會

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

東派の自由互助の革命中、且つ蒲派の潜勢力を以てすべく已に積極で普徧の進行があつた。中國革命の實施に關し俄化も亦革命の動作である。吾人は必ず光復三民主義に依つて之に代へんとする、之れ又現今世界革命と中國革命と共同趨勢の表現であると述べて居る。

如上全民革命に對して階級革命を說き革命を二種に分つものあるが、全民革命は現今支那の國民革命で、完全に政治上の鬪爭であり、全國的人民が一致し、外族の侵害を打倒し、一封建軍閥を推翻し、一國民經濟の地位を改善するのである是等鬪爭を領導するは是れ國民黨である。階級革命は從前露國で行はれた社會革命であり、是れ完全經濟上の鬪爭で、無產階級に依り、私有制度を打破するのである。又之を領導するのは是れ共產黨もある(王器民黃行政治報告)。

甘乃光は「孫文主義の終極目的は決して國民革命でない、國民革命は民族主義の成功に過ぎぬ。中山先生が「民生主義は卽ち社會主義であり又共產主義と名くる大同主義である」と云ふ義は、孫文主義終極の目的は、社會革命に依り資本制度打破の民生主義でありとし、又孫文主義は、一、社會運動より政治運動へ、二、黨を以て國を立つ、三、國民革命より社會革命へ、四、民生主義は卽ち大同主義である。民生主義の全體的實現には必ず兩種の過程を經過することを要する。第一は卽ち民族革命(卽國民革命)とし、第二は卽ち社會革命とする、現在は民族革命の時期である」と云ひ、或は「國民革命の成功は是れ民族社會の建設であるが、社會革命の成功は是れ民生社會の建設である。孫文主義は國民革命より社會革命に到り、卽ち是れ國民革命成功後に民族社會を建設し、以て社會革命成功後に民生社會も建設せらる」。「現在我等の國家は民族革命の時期故に、現在は國內の被壓迫階級を領導し、帝國主義軍閥及一切の封建制度宗法制度を打倒するに在る。民族革命後各階級自己鬪爭を發生せしむる時に、眞正の孫文主義者は必ず最も壓迫を受くる階級を領導し民生社會を作る、階級的存在を消滅し全民政治を實現する、民族社會建設後、我等應さる民生社會の建設を準備する。我等民族革命時に在

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

つては大多數農工階級の利益を擁護することを準備する。卽ち民族革命成功時に、我等は已に民生社會建設の基礎を準備する」。「孫文主義の建設に兩箇の社會がある、一は民族社會とし、一は民生社會とする。民族社會建設中に我等は國家資本を發達せしめ、資本相當發達後に又資本節制をなし、更に資本制度的行動を打破する。中山先生「民生主義社會主義又は共産主義と名く」は、是れ兩箇時代を包む」と述べて居る（甘乃光國民黨主張眞相論、國民黨幾箇の根本問題、孫文主義之理論與實際）。

三、國民革命の效果

支那南方の國民革命は、民衆を基本とした革命の主義があり、革命運動指導の領袖があり、嚴密な組織を有したこと及び宣傳に努力したことは、帝政時代の舊式革命と全然赴を異にしたが、外國の蘇俄を利用して功罪共に莫大の影響を受け又受けつゝあること、並に老大國の新民族運動であることに依つて、自ら歐米の革命と其破壞的又は建設的部分に於て、著しい相違があり其效果も同じくないのである。

前淸未曾有の大亂であつた太平天國の革命は最も組織的で大規模であつたが、迷信を利用し民衆を殘害した叛亂に過ぎぬ。義和團は扶淸滅洋を目的としたが、同じく迷信に依つて外人を戕害した匪亂であり、幾千年來の帝政を打倒し民主共和制を創設するに至つた辛亥革命は、世界事情の影響を受け、從前の動亂と固より其面目を改めたことは事實であるが、民衆は革命に對して何等理解力なく、又好感もなかつたばかりでなく、武昌起義の際に黎元洪の如きすら砲聲に恐れて私邸の床下に匿れたのを引出されて、革命黨の本尊に祭り上げられたのである。各省都督も皆舊式の滿朝官僚で革命精神などには全然諒解がなかつたのである。然るに現今の新國民革命は、少とも國家並に民衆の利益を目的とした民族運動であり、又社會革命の一部を實施し又は之が準備に著手して居るのである。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

國民黨の目的として居る國民革命の內容を大別すれば、第一に破壞的方面には對外的に帝國主義打倒運動と對內的に軍閥打破運動とある。第二に建設的方面には將來の建設計畫として概略は孫文所述四部の書中に說いてある事項の實現を期する。一部は孫文學說、即ち心理建設、二部は民權初步、即ち社會建設、三部は實業計畫、即ち物質建設及四部は三民主義、五權憲法、地方政府、中央政府、外交政策、國防計畫等を包む國家建設とする。但國家建設には三民主義五權憲法の講演及建國大綱があり、心理建設は民族革命の決心を促成すべく、社會建設は民權革命の能力を養成すべく、物質建設は民生革命の方法を確定すべく、而して國家建設は前記三種建設の結晶體である。孫文の革命的動因は全く三民主義に存するが故に、孫文自身も「三民主義就是救國主義」と說くが如く、自ら心理建設、社會建設及び物質建設三部の書を集合し總稱して之を建國方略と稱するものである。是等內容の事項並に國民黨々綱に定めて居る事項で、適法に又は不法に其目的を達成したものも少くはない。就中對外的には彼等が不平等條約の取消又は破棄と稱して居るものに其事實がある。例へば租界の取消、裁判權、敎育權の恢復、鐵道の獲得、鹽稅の押收、鹽務監督權の奪回、關稅の加徵、海關管理權の侵蝕等其例甚だ多い。孫文を始として殆んど大多數の支那人は、不平等條約殊に協定關稅の存在を以て、支那國民經濟未發達の唯一の原因とのみ思考し居るが、今日迄農業國として天然の資源に富む支那にとつては、五分輕稅の存在は或程度迄自由貿易國と等しい機能を發揮した利益のある方面を閑却して居ると同時に、其他經濟上政治上幾多重大原因の存在をは無視して居るのである。而して彼等の排外運動は世界帝國時代の迷夢から覺醒せずに、自ら近代國家の確立しない過程中に孵化され、愛國的精神の反映でないに依つて聲は大であるに反し力は小である。到底彼等の豫期するが如くに短日月に效果を收め樣とすることは困難であるばかりでなく危險である。

次に對內的には軍閥其他帝國主義の工具であるとする、土豪劣紳買辦等の打倒策は如何なりしや、軍閥としては巨頭吳

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

佩孚一派を失脚せしめたが、北方軍閥は固より、一時國民革命軍の支配下に屬した舊式軍閥も、一部例外の外は其實質を改めぬ。分裂後、殊に革命前と大差ないものが多い。但し民衆運動の勃興するに及んでは、從來軍閥の採つた樣な封建的專制を以てしては、其地位を保つことが出來ぬことを知つて、今年春北方軍閥や孫傳芳の徒が民主的施政方針を發表したのは亦國民革命運動の影響を受くる所があつた爲である。

地主資本家等の有産階級に對する農民工人等無産階級の反抗運動は、廣東方面に在つても一昨年以來發達し來つて、工會を中心に又農民協會の活動を見るに至つたが、殊に是等運動が激烈となつたのは昨年末漢口に革命政府が創立して以來からである。其運動は、共産派が加擔した爲に革命の名を藉りて、切りに工業家資本家又は地主の財産を沒收したり、良民を殺害して無智の勞働者が暴狀を働く、所謂赤化情態を現出したのである。然れども是等情態を以て直に共産制が實現さるゝと云ふことは出來ぬ。支那の無産階級である農民や工人其他一般民衆は、極めて無智で又我利心に富んで居り、革命思想などに諒解を有する者は殆んどないと稱しても可いのである。民衆中革命運動に自覺あるものは、四億中の五十萬內外の學生と、自由職業者商人等の一部に過ぎないのである。且つ支那人の性質が平和的であり妥協的であり又打算的であることや、國情が眞劍に血を流して爭ふ程の目的物が存在せぬことは、革命運動が露佛等のそれに比して微溫的であるわけだ。露西亞革命の如きは、一九一八年から一九二〇年迄三箇年を通じ、非常裁判所で死刑に處せられたものは公式統計に依れば百九十四萬五千八百八人とし、軍警農民が其約七割を占めて居る、革命初年の一九一七年から一九二一年迄を通せば、三百萬人に上るとする實地は一千二、三百萬人に達すと云はれて居る。之に對して這次支那の革命運動では、恰も蘇俄の爲にクロパトキンや其他名士が犧牲となつた樣に、湖南では六十七才の鴻儒葉德輝が共産派の爲に富藏の書籍を焚かれた上に其身は殺害されたり、又八十才の名醫易巖泉が殺されたりしたのは惡むべきであるが、其他多くの革命戰爭

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

で犧牲となつたものを除外せば、土地の廣汎に比して其數は極めて寡少で、自ら歐洲の革命の如くに敢て恐怖時代を現出せずに、一般の民衆は朝に軍閥を送り夕に革命軍を迎ふるも、朝に革命軍を送り夕に軍閥を迎ふとも同じことで、掠奪に遭はない限りは何れにも無關心で恰も無節操の女郎の樣である。

四、支那の國情と共産制

支那には共産制が實施され得るや否や、又は實施して利益ありや否や、或は支那は既に赤化して居るや否や等の議論がある。支那の國情から見て、又今日迄七、八年間の經驗に徵して、支那には共産主義は適切でない、露國の對支赤化政策は失敗に終つたと云ふ方が通說である。蓋し蘇俄の勢力に依つて支那に共産黨が成立した當時から、支那青年の共産主義を渴仰するものが漸次增加し、實際に罷業其他の勞働運動の熾盛を見るに至つたのである。

當初中國共産黨の首領陳獨秀の如きは「共産主義が實を結ぶ支那こそ、國家觀念に災さるることなしに、直に共産社會に入るべく惠まれた大衆である」とか、「支那人は直に共産主義社會に投じて、其苦痛を感じないだけの素地を十分持つて居る。此民衆をして愛國者たらしめ偏狹の國家主義者たらしむることは不可能事である」と云ふて居る。汪精衛も支那には兩年で共産を實行し得るが如く云ふた。而して支那と露國とは同じく農業國で、人民は無知であり、工業が發達せずに大資本家と云ふものがないのに、露國は共産革命に成功したから支那も亦共産主義國家となり得る可能性があるとする。固より露國は無産階級專制のマルキシズムを宗旨とする現今の世界唯一の共産主義的國家、又は赤色國家であり、資本主義的靈魂である私有財産制度の毀滅を目的としたが、尚試驗中に屬し、今日新經濟政策に依り國家資本主義を脫しない。現に私人企業が尚大部を占めて居る Farbman の著 "After lenin" (p.p133-4-5) に依れば小賣商業の九十二パーセントは私人に屬し、卸賣商業市場等を合算せば二十八萬八百五十箇の中、組合の分が八千八十四箇私人の分二十六萬六千三十一箇に

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

對し、國有の分は僅かに六千七百三十六箇に過ぎない情態である。まして支那は露國に比較し遙かに老衰した民族でもあるが上に、尙固有の文化を存し、一方には露國の無産階級を財物視した貴族階級や、宗教的國權がないから同一の速度を以て共産革命が旗を掲ぐると云ふことはあり得ない、が前に歴史的背景にも述べた通り支那には、古來から新舊兩思想が存在して居り、今日と雖も革命運動に伴ひ萠芽して居つた共産主義的思想は、露國の赤化運動に共鳴し獨り中國共産黨の黨員や共産主義青年團の團員數が或は二三萬人位には增加して居ると云はるゝの外に、華府會議當時東洋問題に關する專門家の言明に依れば支那に在るソヴィートの共鳴者數は百萬に達し（多くは武裝した）今月（昨年十月頃）は既に三百萬位には增加したと云はる如くに注意すべき情勢に在る（Constitutional Defence league, The Constitutionalist Vol I, No. 6, p. p 184）。然れども現在支那では共産化の可能を否定する材料の方が多い樣である。左に其主要の事情を綜合して叙説する。

一、支那には古來（少くとも三代を除くの外）特權を有する貴族階級がなく、人は皆自由平等であり、又社會組織としては家族團體又は職業的組合があり、自治機關を組成して居つたから、自ら階級鬪爭が發生しなかつた。卽ち支那人のデモクラチックであることは一般に認められた所で、モースは家族的デモクラットと云ひ、セントジョーニス大學の敎授マックネーアは英米人と比して、「英人は政治上には米人よりもデモクラチックであるが、米人は社會上には英人よりもデモクラチックである、支那人は社會上には米人よりは勿論英人よりも一層デモクラチックであると評して居る。」（Mac Nair, China's New Nationalism and other Essays p.p.114-5）

二、支那人は古來政治上社會上の諸原因からして國家的公共的觀念に乏しく、又道敎の感化を受くることが深く且つ大いなるものがあり、一種の宿命觀を持し利己的で自由主義無政府主義の傾向を有する民族である。一時は新思想に感染し外部の運動に雷同する樣に見えるが、實際は反對に他を同化し包容する隱忍性と保守的堅實性を有して居る。昨年九月十

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

七月の上海の「ノースチャイナデーリニュース」紙に同記者も「支那人は「ソヴィート」の思想及「ソヴィート」の詭計に捉はるには想本的にあまりに健全であり、あまりに保守的である」と云ふて居る。

三、古來井田法の遺意からして限田制の主張及同種政策が行はれ、又宗法家族制度の下に財產の分割相續に依つて大地主の發生を防止した。現今一家名の下には相當の大地主があれども皆各戶に分割されて居る。又固より省に依り地方に依つて同異はあるが、概して小地主や小農を以て占めて居る。丁文江の計算に依れば、露國には耕地二十億畝（一畝百八十坪）あり一人平均二十畝に當るが、支那には農耕地僅かに九億畝あり一人平均は二畝しかないから、如何にして共產を實施すべきやと論じて居る。（民國十四年十月三十一日晨報社會週刊第五號）

四、現在國民經濟幼稚未熟であつて未だ眞正の資本家と稱すべきものがない、即ち共產主義時代の到來前に資本主義時代を經過するを要する。又資本主義時代にも達しないから、勞資爭議は勿論貧富不平均より來る階級鬪爭も起きない。馬寅初は、支那現在の大患は產業不振でなく資本の缺乏である、現に實業經營にも倶に遊資に苦んで居る。尚之を併せて平均せんとする共產主義の如きは露國の前車既に殷鑑遠からずと述べ、孫文も「中國は地大物博でも全國に一千萬以上の資本家は百餘人に過ぎぬ、即ち中國には資本家はない」、「中國人は都て貧て大富的階級がなく中國人の所謂貧富不均は貧的階級中に在るに過ぎぬ、中國の大資本家を外國の資本家に比ふれば一個の小貧に過ぎぬ」と述べ、北京清華學院長の曹雲祥は、支那デモクラシーの原因と云ふ論文中に、支那人は全體として政治上經濟上竝に外交上の通り語さえを理解出來ぬ又「コムミユニズム」の理法にも無感覺である。或る賢明の財政家は、支那が若し共產主義を實行するとせば共富の分頭額は僅かに二十元に過ぎないと云ふた（Chinese Social and political Science Review Vol XI, pp.67-8）。

如上の事情に依つて出來て居る支那民族のことであるから、容易に外來の思想や慣習又は制度に化され得べきもので

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

なく、共産主義などに對しても既に免疫性に這入つて居ると稱せられるわけである。一方支那の社會革命論者の主張には露國は資本制度が幼稚で平民と貴族との爭が行はれ、勞農階級は地主牧師軍閥官僚等の壓迫を蒙つて居たのをレーニン一派が其貴族政治を破壞し去つた。即ち資本主義階級の發生を經ずに社會革命を遂行した樣に、支那の現情は、歐米資本家以上の官僚軍閥なる特有の資本家の跋扈があるに依つて、政治革命の道程中に兼ねて是等階級を撲滅する社會革命を決行することあるが、露國と支那との國情には前述の如く著しい差があるに依つて同一に論ずることは出來ぬ。乃ち之に對して劉勉己は反共産的理由及主張と云ふ論文に下の如く述べて居る（民國十四年十月二十八日晨報正帳）。

中國が共産を根本的に損傷し得ぬ理由は

イ、今日の中國は政治革命問題で社會革命問題ではない。

中國の今日は社會上有産階級が無産階級を搾取する問題はなく、乃ち是れ政治上土匪式軍閥及其附産的政蠹財棍が政權武力を利用し、全國の有業階級を壓迫し或は凌削する問題である。故に中國今日の國民革命的意義は、是れ外國式の有業階級の鬪爭ではない、乃ち全國有業階級が土匪式主權者軍閥に對する宣戰である。這は是れ政治革命で社會革命ではない、共産を損傷する者は赤色の有無に論なく、都て是れ社會革命を提倡する。今日の中國に在つては是れ對病下藥的でない。

ロ、中國には只流氓式の資本主義がある。

外國式の社會主義或は共産主義的運動は、是れ資本主義の反動的必然の結果であるが、中國は産業大革命を經過しないで生産技術交通狀況は都て尚極めて幼稚の時期にあり、兼ねて國外帝國主義の束縛及陵削力ある爲に、國民經濟の發展は益々難く、眼前の産業制度は資本主義を離ること尚遼遠である。誠に然り年來國中資本家類似の階級が増々多くなり

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

流氓式の公司銀行が各地に林立したが、其實彼等は都て是れ軍閥及國外帝國主義の勢力に伏り假冒撞騙平民を搾取し、並に經濟組織上顚撲不破的實力があることなく、這類の虚偽資本主義的制度を想像せば只軍閥を打破し、政治を修明せば一紙命令し全部撤銷に難なく九牛の力を用ゆるに及はぬ、何んぞ社會化を實行せんや、眼前中國の社會的深變は實は外國眞正の資本主義者、即ち帝國主義者の朘削及壓迫に在り、我等當然擧國一致と彼等の長期奮鬪とを要する、這の大部分は是れ對外問題で共産の提倡とは何等の關係もない。

ハ、人類の進化より見れば政治革命は皆社會革命に先んづ。歐米の革命は皆許多流血を經過し民衆最後の勝利時代に到達したのだ。彼等現時の普通選擧は盡く擴張を事り、法律の平等は極度に躋り、需求する所は只經濟上の平等がある。彼等目前の政治問題も其背影は都て是れ社會問題である、故に社會革命は早晩免ない。中國の情形は正に之と反し、中華民族數千年の政治史は、國民から看れば、只「興亡敗道」の四字あるのみだ。民國虚しく十四年を度り光復した所のものは是れ排滿興漢の種族革命に過ぎぬ。又外國式市民運動に基く政治革命を想像するに、始終還た曾て實現せぬ。這れ眞に中華國民目前に迫り解決を待つべき大問題である。今日の黨人は立つて前線に在つて軍閥に反對し、政治革命を促成しないで反つて每に軍閥の政治勢力を借り、社會革命を實現するを求む。彼等の動機を論せば是れ眞に社會革命とするが、也た是れ南轅北轍して目的に達到することは出來ぬ。

如上共産の提倡に反對するの事由を述べた後に更に政治問題社會問題を主張し、第一は激進的徹底的に軍閥に對す政治革命を實行し、第二には中國今日は共産主義を提倡することを用ゐぬ、即ち平利的共産主義も必要がなく、赤色的共産主義の如きは累を爲すものである、故に我が經濟政策は當然社會政策を脫せぬ、然して我は勞資協調的溫情社會政策をも主

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

張せぬ、我只一箇の激進的社會政策を要求すると説いて居る。

斯る事情の下に在るが故に、曩にヨッフェが廣東に在つて孫文に語る所に依れば、支那にて理想的に共産主義を實行するには二百年では尚不足すると云ひ、ボロヂンも、支那文明は歐洲に比して二百年も後れて居り、國内に職工一萬以上の工場、即ち共産主義を實行するに適當の工場は一もないと云ふた。尚前記の如く共産可能論を唱へた陳獨秀の如きも、本年四月上海で呉稚暉の問に對して、レーニン式共産主義を行ふには二十年と答へた。而して今日國民黨は左右何れの派を問はずに、現在の支那は國民革命の時期で社會革命の時期でないとして、勞働者の暴動を取締つて居り、共産黨と雖も其黨綱には同樣の方針に基いて軍閥打破を目標として居る。最も孫文の如きは將來工業の發達、資本家の發生を見越して、「現在は大資本家の弊なきも將來實業發達せば社會革命問題を發生する、今日も既に大資本家發生の端は固より、上海廣州等の土地値段の景勝に依つて知ることが出來る。歐米今日は貧富の不均を患ふが吾人の好教訓である、不均の病根は土地資本兩問題から來る故に民生主義を唱道する。近來歐米の經濟潮流日々侵來し各種制度の變動があり大影響を受く、就中土地問題に然り、是等に對して豫防策を講ずべきである」と云ふ風に注意を喚起して居る。

尚支那共産化の事由として露國を引合に出すことの當らぬは前に述べた通りであるが、世往々に支那の中に在つて最も無知未開の蒙古の赤化を例證に擧ぐることを見る。外蒙古は一九二一年の革命と同時に獨立を宣言し、蘇俄は之を承認し侵略政策に基いた舊露蒙條約を改訂し、又同年國民黨の成立以來逐次赤化し、一九二四年には名實共に共和政體を成立した。而して同年の露支協定には、外蒙古は尚支那の一部である旨を承認されてあるが、事實は支那から獨立した自治的共和國であると同時に、露國の勢力範圍に屬しボリシェウィキィの赤化種が能く實を結ぶ試驗國の一である。蒙古の如き未だ農業國にも進まぬ游牧を業とする原始的民族が、何故に生産工業の道程を踏まずに一足飛に共産制を實行する様になつ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

つたかと云はゞ、相當の事由が存して、支那本國と同視されないことを注目すべきである。其重要の條件を舉ぐれば、一、固有の文化を持たぬ無智民族の白紙である頭腦には獨り共產主義に限らずに如何なる新思想も或る程度迄は浸潤することが出來るし、又如何なる制度も移植することが可能である。孫文も、共產制度は原人時代に在つては既に實行されて居た、又南洋土人にも其例があると云ふが如くに、蒙古人は只蘇俄に依つて、速成に敎化され、組織化されたゞけの差がある。二、土地が廣く人口が少く、且游牧民のことであるから土地私有の觀念が薄く、自ら生產及財貨共有分配の分頭額が比較的豐富である。三、對內的には王公及貴族に當る喇嘛僧の秕政專橫があり、對外的には支那政府の壓迫や、從來露國の侵略策に依つて反抗氣分を惹起した處を、蘇俄が之を利用し煽動して政治革命並に社會革命を達成させたのである。從將來は如何に成行くか、彼等が多少自覺反省の地位に進めば、本土の支那人同樣に、逆に反露思想反赤運動の發生を見るの機會あるべく、現在も既に稍々其兆候を呈しつゝある。（一九二七、九、一稿）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

死亡生殘表の效用に就て

臺灣總督府囑託　出淵勝郎

死亡生殘表の編成は、國民の生命に關する研究の一にして、行政上、企業上及學術上の用途甚だ廣汎なり。然り而して本島の如き熱帶圈に屬し、衛生狀態不良にして、住民の健康甚だ可ならざるものある地域に於ては、死亡生殘表の編成は各般研究資料として最急務の統計事業たるを信ずるなり。

現今人口問題喧しく、又近く本島に郵便年金制度及簡易保險制度實施の聲高く、更に內地に於ては簡易小兒保險制度實施せらんとし、殊に最近本島の地方廳に於ける社會係は、本島兒童保護に關し、産婆の普及及其の改良の急務を絕叫せられつゝある等、死亡生殘表の編成は、是等施設の羅針盤として此際速に其筋の完成を切望して止まざる所なり。

今、産婆普及問題に關する社會事業家の意見を聞けば概ね次の如し。

「歐米社會事業中、最近に於て主力を傾到し居るものは、兒童並に母性の保護事業なり。卽ち國家の富强を圖らんには第二國民たるべき兒童と、之を産する母性とを保護することの緊要事たるは勿論なり。抑も國民の改善は、小兒の改善にあり。小兒の改善より着手するを最捷徑とす。然るに我國に於ける乳兒死亡率を歐米に比すれば其の率甚だ高く、頗る遜色あり。就中我臺灣は著しく高率を認むるは、氣候風土等の不利なる地理的關係に影響せらるゝものならんが、他に重大なる原因の存するは、蓋し本島に於ては文化の程度低く、育兒に關する衛生思想の缺如するものならん。思ふに

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

本島の姙産婦は、産婆の介補に待つを忘み在來の先生媽と稱する本島舊來の取上婆に依頼するの慣行を脫せず。而も其の先生媽なるものは、眼に一丁字なき無智の徒にして、僅に經驗に依りて從事する爲め、其取扱や、不潔且つ迷信に捕はれ、消毒藥を使用せず。甚しきは生兒の臍帶緊紮に際し、古紙を使用し、又は竹刀を以て切斷する等の爲め、往々破傷風菌の侵入を受けて斃亡する者多く、又其の殘存者も發育の健全を缺くは洵に慨然たらざるを得ざる所なり。」云々

以上陳述せし如く人口問題、幼兒保護問題其他の研究上唯一の參考資料たる死亡生殘表は、當局に於ても、夙に其の編成の急務を認められ、數年前より計畫を進められ居る處に屬し。目下鋭意編成を急がれ居る由にて、本年內には公表せらるゝ豫定なりと聞けり。依て豫め本表の梗概を說明し置くは無益の業に非ざるべしと信じ、以下少しく說述して識者の高教を仰ぐ。

抑も死亡生殘表とは國民の生命に關する研究の一にして、統計上其の應用極めて廣く、人口統計中に於て、最要の部分に屬するものとす。故に歐米文明國としては、殆ど之なきはなし。我國に於ても亦二、三の編成せられたるもののなきに非らず。今其の模範的なる明治四十四年內閣統計局公刊に係る矢野恒太氏編「日本人の生命に關する研究」第一章「邦人の生命に關する智識」なる一節と同書の目次を摘錄すれば次の如し。（內容の一部を示して大體の說明資料とす）

第一章　邦人の命數に關する知識

統計學者若くは生命保險學者を除きては、日本人は其命數のことを知るもの甚多からざる如し、余も多少命數に關する知識を有せりと見たる人が余に向て發する質問は、大抵「日本人の生命は平均何年なりや」といふ質問にして殆所謂萬口一如なり、之に對へて「余の最近の調査によれば男子は四十三歳九分七厘女子は四十四歳八分五厘なり」といへば、次に出る質問は「西洋人と比べてドーデス」にして「西洋人も種々なり、英か、佛か、米か、獨か、其男子か、其女子か」と反

問すれば、復問ふ能はざるを常とす。

余が今日迄の經驗によれば、何人の質問も此外に出でずしかも此質問は解決せざるべからざる必要ありて出で來れる有意味の質問にはあらずして、善意に考ふるも「お愛想的」にして、惡意に考ふれば「素見的」なり。偶々裁判所に於て損害賠償の計算上、人の生命を知る必要あり。之が鑑定を命ぜられしことも一再に非ずと雖大抵「何歳の日本人（男女さへも區別せぬがあり）は平均尚ほ何年の壽を有するや、位の質問に過ぎず。是に對しては「これ／＼の調査に據れば何年何箇月位なり」と答ふる外はなけれども、例へば電車が三十歳の土方を轢殺したる事實ありとせよ、之に伴ふ損害賠償の問題とすれば、此土方が六十歳迄は今日同樣の賃金を得れども、其の以上生存すれば六十五歳迄は自身の生活費以上を得る能はず、六十五歳以上は却て家族の厄介となるべしなどと假定して此男の所得と所費とを利率と、生存率と、死亡率を以て割引して算出せざれば、損害の額は定むべからざるものに非ずや。是とても假定には相違なけれども、唯總に三十歳の男子は平均尚ほ何年の餘命を有するかを聞き、之に今日の所得を乘じて損害の額を定むるが如きは、決して適當の事にあらず。然れども之を計算することは勿論此の如き事を考ふるにも少しは命數に關する知識を具備せざるべからず。

左の質問の如きは最よく遭遇すべく思はるれども未だ曾て之を受けしことなし。

一、國家が給付の約束を爲せる恩給扶助料等何歳位の男子に若干、何歳位の女子に若干あり、利率を他の國債と同一に見て國家は之が爲に幾何の負債を有するや。

二、日本の男子は就學より中學卒業迄に何割何分、大學卒業までに何割何分死するや。

三、何千人女工あり、年齢十六歳より二十五歳迄なり、毎年幾人の死亡者を出すべきや。

四、何歳の男子と、何歳の女子が結婚して其金婚式を擧ぐべき偶中率（チャンス）は幾何なりや。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

五、何歳の女子に對し若干の年金を與ふる約あり、一時に之を拂はざるべからざる事情を生ぜりとせば金利を五分と見て幾何を支拂ふべきや。

六、十五歳に達したる日本男子が、六十五歳迄働き得るものとして、平均一人の生産的生命は何年なりや、而して其養育費敎育費との關係は如何、十五歳以下と六十六歳以上の消費的生命との關係如何。

此の如き有要なる少くとも有意味なる問題は數限りもなく存在すれども、悲哉如此問題は全然閑却せれしものと認むるの外なし。

日本人が平均何年の命數を有するかといふ質問が、何故にお愛想的素見的無意味なる質問なるかといふことに就て少しく說明を試むべし、幷は初生第一日第二日などゝいふ時は、人の最多く死する時にして、其一、二日を生き延ぶれは其平均命數は遙に初生時の平均命數より延長するものにして、死產より引續き盛に人の死亡する最中に其平均命數を調べて、抑何に用ひんとするか、他國のそれと比較して小兒の死亡の多寡を見ること等には用ふべからざるにはあらざれどもそれには初生兒の平均命數のみにては用をなさず、且此目的の爲には初生兒の死亡率を知る方遙に簡單にして且明瞭なり。今度の調査に依れば日本男子の總平均命數は四十三年九分七厘なれども、生後五日目迄生き延たる男子の平均命數は四十五年二分七厘となり、十日目に至れば四十六年四分三厘となり、一箇月に至れは四十七年六分五厘、一箇年目に至れば五十一年一分一厘となり、三年目は最高點にして五十二年四分一厘となり、四年目には五十二年三分一厘に減じ、それより年齢と共に漸々減少するのみにして滿六歳の男子は五十一年三分一厘、滿七歳の男子は五十年六分〇厘となるが故に就學男子の平均命數は凡そ五十一年にして、滿二十歳の壯丁が四十年三分五厘の餘命を有することゝなるなり、如此次第のものなるが故に單に國民の平均命數を問ふことは大抵無用の質問と見て大なる誤に非ず。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

日本人の生命に關する研究

目次

第一章 邦人の命數に關する知識
第二章 新死亡表
第一 死亡率及死亡逆率
附厄年の辨可死數、標準人口
第二 生存率及生存逆率
第三 死力及死亡係數（中央死亡率）
第四 生殘表（死亡表）
第五 折半命數及平均命數
附尋常命數
第六 年金
第三章 比較
第四章 材料
第五章 計算
第六章 新死亡表の價値
附錄 三會社經驗死亡表
（以上）

抑も生命保險の今日の發達は全く生命保險の補助的科學の進步に依れり。從來生命保險は賭博なりと稱せられたる如く其保險料の計算には、何等據るべき基礎學理の存することなく、漫然從業者各自の臆測に因りたるものなりき。然るに今

日に於ては收入する保險料と、支拂ふべき保險金との間には完全なる數理上の連鎖ありて、其の計算には具體的基礎を有するに至れるは、本題の死亡生殘表の創案せられたるに負ふ所のもの深大なりしを知るべきなり。

今、死亡生殘表が實際如何にして編入せらるゝやを述べん。卽ち此表を編成せんには、靜態、動態に關する人口統計資料なかるべからず。而して其の材料として必要なるものは概ね左の如し。

一、或る一定の社會に於ける各年齡者の數

二、各年齡者中一年に死亡したるものゝ數

三、各年齡人員に就き一年中に脫出又は編入したるものゝ數

又本表編成に就ては、古來種々の方法行はれたりしも、大別して次の三種とす。

一、一社會の死亡者の年齡別のみを材料とするもの（ハレー氏法）

二、一社會に生存せる者の年齡別のみを以て材料とするもの（生數表）

三、年齡別の生存者數と其死亡者數との關係を材料とするもの（改良法）

右の三方法中、第一及第二法には、少しく不完全なるものあるを發見し、十九世紀に入りて此死亡表の改良法を案出したるはデパルシュー氏なりとす。氏は主としてトンチン組合、僧尼組合等の材料によりて之を編成したるものにして、其の學理的にして、實際に應用するの價値充分なることハレー氏一派のものより傑出せるものなりと言ふ。次に世界に存在する死亡生殘表に就き其の主なるものを列記して參考に資すべし。

記

一六六二年　「グラント」氏表

一六七一年　「ウヰツテ」氏表

一六九三年　「ハレー」氏表

一七四六年　「デパルシュー」氏表

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

一七八〇年　「プライス」氏表
一八〇六年　「グェルヒアル」氏表
一八一五年　「カーライル」氏表
一八二三年　「フィンレーソン」氏表
一八四三年　十七會社表
一八六五年　「フハール」氏表
一八六八年　米國經驗表
一八六九年　英國二十會社表
一八七〇年　米國三十會社表
一八八三年　獨逸二十三會社表
一八九五年　佛國會社表

我國に於ては未だ其數多からざれども旣に左の如きものあり。

明治二十二年　藤澤氏表
明治二十三年　人見氏表
明治二十七年　楠　氏表
明治三　十　年　森村氏表
明治四十三年　日本三會社表
明治四十四年　矢野氏表

因に「日本三會社表」は我國に於ける、初めての保險會社の經驗死亡表にして、明治、帝國、日本三大生命保險會社が各社創立より明治四十年に至る間に契約せし被保險人四十有八萬人につき、明治生命保險會社海老原介太郞氏が三會社の依囑を受け、明治四十一年多くの助手と巨萬の費用を以て、三箇年以上の心血を注ぎて完成せられたる我國保險史上に特筆すべき重要産物たるものなり、

又「矢野氏表」は、內閣統計局囑託矢野恒太氏が、明治三十一年以來心血を注ぎて明治四十四年に至り完成せられたる我國に於ける具體的生命表にして我國統計史上特筆すべき模範的計數なり。　（昭和二年八月稿）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

英帝國領土内に於ける 靱皮及葉纖維の栽培（二）

前川 昇 譯

第二編 葉纖維

第一章 マニラ・ヘムプ

マニラ・ヘムプは、バナナ族又はプランテン族植物に屬する Musa textilis の鞘狀の葉柄から採れる。殆んど比島のみの產で、斯業獨占の地步を固める爲めに、一九二六年該種子の輸出を禁止する法律が比島立法府を通過した。外國へ移植する計劃は始終行はれてゐるが、一向に成功した例が無い。一八二二年ベンゴールに該植物を栽培し、一八五九年にはマドウラスに試作をしたが、二回共何れも滿足な成績を得なかつた。一八七三年アンダマン島に試驗的栽培をした結果、此の地方には非常に好適する植物と云ふことが知れた。併し同島での植物栽培、纖維の加工業は未だ幼稚で決して重要なものではなく、只僅かに注意が拂はれてゐるに過ぎない。

又北ボルネオ、ニウ・ギニヤ、馬來聯邦州及び西印度諸島に栽培の計劃が創まり、此の他小規模な栽培試驗はセイロン、フキジイ、ソロモン島及び他の英帝國領内の諸地方に行はれた。

北ボルネオ——試作の結果、北ボルネオではマニラ・ヘムプが火山地帶の土壤によく成長するが、他の地上では禁

うで無いと云ふことが判つた。現に其の栽培は小規模であるが、一九二五年の收量に就いて、北ボルネオでも、尤に此島の輸出数量に匹敵し得る産額を舉げることが出来るといふ有望な報告が發表されてゐる。然るにボルネオ栽培業者は、護謨栽培業より有利なる關係からマニラ・ヘムプの栽培に餘り興味を持つて居らない。併し一エステートは可なりの成績を以て小量栽培して居る。近き將來に於て、此の地方にはマニラ・ヘムプ栽培を專業とする一會社が創立されるであらうと思はれる。

ニウ・ギニア——現在ニウ・ギニアではマニラ・ヘムプの栽培を計劃中である。斯業奬勵の爲め、パプア領又はニウ・ギニア産の繊維で直接濠洲（自國内消費用）へ輸入するものに對して噸當り六磅の輸出奬勵金を規定する法律が一九二六年の初期に通過をした。

馬來聯邦州——最近セルダン（Serdang）の官營試驗栽培場でMusa textilisの試作が行はれたが、其の結果商業的に此の栽培事業が妥當と云ふ迄には行つて居らない。

第二章　バナナ及プランテン繊維

マニラ・ヘムプの他、繊維性葉鞘を帶びる數種類のMusa種がある。是等の中一番多いのが普通實芭蕉と云ふものである。併し乍ら、此種の繊維は通例マニラ・ヘムプよりも遙かに質弱く、從つて綱索の製造には割合價値が尠い。果實の收穫後切倒して放棄したる儘のバナナ莖が澤山にあつた所を見ると、是等は多分繊維の製作に供されたものであらう。併し此の際、他の綱索繊維例へばマニラ・ヘムプ及びサイザル・ヘムプの如き市價が低落して居る時には、實芭蕉の繊維も非常に安價なもので、到底採算上引合ふものでないことを始終心掛けて置かねばならぬ。

英領西アフリカ各地のバナナ及プランテン繊維の見本は當研究所に寄附してゐるが、大部分マニラ・ヘムプよりは品質

不良で、地方的需要を滿すに過ぎないと見られて居る。

ケンヤ植民地には、數地方に野生のバナナ（學名 Musa Livingstoniana）一種があつて、品質優美な纎維を産出して居る。當研究所で試驗した纎維の見本は質強く、マニラ・ヘムプの特上品と同一と看做されてゐる。

又タンガニーカに産する M. Ensete, M. ulugurensis の二纎維を試驗の結果、是等には頗る有望なる特長があり、マニラ・ヘムプの上級品と同價値と見られてゐる。

第三章　シサル・ヘムプ

綱索用纎維として著名なシサル・ヘムプ（又はサイザル・ヘムプ）は或る種の龍舌蘭(アガーブ)の葉片から採取したものである。此の名稱は、最初ユカタン、メキシコ産の纎維、主に A. fourcroydes, Lem. (A. rigida, Miller, var. elongata, Jacobi) の葉片から摘出したものを指してゐたけれども、普通に今では Agave sisalana の製品に限られて居る。取り分け、メキシコ纎維は弘く一般に「ヘネケン」又は「メキシカン・シサル」の名稱で區別されてゐる。

眞正シサル・ヘムプは中央アメリカの原産であるが、現今では兩半球の熱帶圏内に屬する大半の諸國に移植せられてゐる。

今英帝國領土内で、頗る重大な地位を占める樣になつたシサル栽培業の發達は、一に現世紀間に目論まれた企業の所産によるものである。斯業勃興の爲め拂はれた努力に就いては、曩に一九二四年四月ブラッセルに擧行された第六回萬國護謨、其他熱帶産物及類似工業展覽會に關聯して開かれた會議に發表された一論文中に掲載されてゐる。本論文は一九二四年本誌第二十二巻第一號に全文公刊されてゐる。其れ故、玆には本問題に關して出來得る限り簡明に叙述せんとするのである。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

シサル・ヘムプの試作は大様次に述ぶる様な英領諸國の各地方に行はれた。卽ちアフリカでは、タンガニーカ領、ケンヤ植民地、ウガンダ、ニヤサランド、ザンジバル、モリチユース、ニゼリヤ、シエラ・レオーネ、ゴールド・コースト、南阿聯邦、南・西アフリカ及ローデシヤ、又アジヤでは、印度、錫蘭、馬來聯邦州及北ボルネオ、西印度諸島及米大陸では、バハマス、ジヤメイカ、カイマン島、カイコス島、アンテイガ、英領ギアナ、英領ホンデイユラス、濠洲では、クヰーンズランド、北部領域（ノーザン・テリトリー）、パプア、ソロモン島及フヰジー。是等の各地方に於ける試作の結果、並に斯業の現況と將來に關する概評は同論文に附加せる部分に就いて參照せられたい。從つて、本章には、實際上商業的に纖維の取引を開始してゐる國々のみに就いて記述することゝする。

第一節　タンガニーカ領

シサル・ヘムプは、一八九三年獨領東アフリカ（現在のタンガニーカ）に移植された。同年獨逸東アフリカ會社はフロリダより苗一千本を注文したが、運送の途中生殘つたものは其の中僅かに六十二本であつた。是等の苗はキコウ（Kikogwe）栽培場で愼重に養成され、爾來年々培養增加の結果、一八九八年には忽ち六萬三千本に達した。翌一八九九年には纖維摘出用の機械が輸入された。一九〇〇年初期迄に十五萬本の苗があり、就中四千本は三年以上を經過したものでいつでも刈取れるものとなつてゐた。始めて輸出を見たのは一九〇〇年の事で、其の數量は七噸半であつた。此の後、斯業は素破らしき勢を以て發展し、一九一二年シサル・ヘムプ植付總面積は實に六一、一六二英反に及んで、翌一九一三年には二〇、八三五噸の輸出を示した。

其の後、大戰による影響を受け、一九二〇年英國移管後、多數の優良栽培地は非常に廢頽した。戰後は次第に恢復して來て、一九二四、二五年には輸出額は夫れ〲一八、四二八噸、一八、二七六噸を算するに至つた。一九二五年の植付面

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

積は約一〇九、〇〇〇英反で、今後産額の増加することは火を睹るよりも明かである。今では標準品等が定つてゐて、此の政策は取引上輸入業者の信頼を増すのに尠からず利便を與へてゐる。

タンガニーカ産シサル・ヘムプは、品質優良なるが故に、相場も最高値を呼び、通例メキシコ産シサルの相場を超えること、凡そ十パセントを唱へて居る。

第二節　ケンヤ植民地

英領東アフリカ(今のケンヤ植民地)にシサル・ヘムプの始めて栽培されたのは一九〇三年で、最初試験的にはナイロビ地方、後他の地方に行はれた。成績頗る良好で、奨勵の結果斯業は次第に盛大となつた。海岸地栽培のものは高地栽培のものに比して纎維豐富而も品質優美であるが、一英反當り收量は却つて高地の方多く且つ又生産費安である。一九一三年栽植面積約七千英反、一九一六—一七年約一萬五千英反、一九二五年には五二、八五二英反以上になつた。纎維の産額は同様の比率で増加してゐて、輸出數量は一九一三—一四年一、〇七三噸、一九一六—一七年三、四二一噸、一九二五年には一四、三六三噸に達した。

當地産シサル・ヘムプ大部分は英本國に輸出される。近年組織並に勞働者管理法に改良が施され、工場製産能力増大の結果、生産費は著しく縮少された。是等の要因は運賃の低下と相俟つて、纎維の市價が割合低い場合にも有利に事業を繼續し得る根據となつた。農務局は倫敦ヘムプ協會を通じて市場向きの標準品を設定する樣盡力して居る。

斯の如く、ケンヤにはシサル・ヘムプの栽培に好適する廣大なる土地があるが、將來の發展は一に資本の流入と勞働者の供給如何によるのである。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

第三節　ニヤサランド

シサル・ヘムプはニヤサランド各地の粗い砂質土壤によく繁茂してゐるが、同保護領内各地の高所にある試驗區域では海拔二千五百呎以下の高地が最も好成績を擧げてゐる。目下商業的に經營中であるが、今後は益々有望と思はれる。

一九二五年現在栽培面積四、八一三英反、此の中三、六九三英反は下部シャイヤ地方、ルオ地方には一、一一三英反がある。一九二四、二五年の纖維輸出量は各々七九九噸、七八四噸に及んだ。

第四節　ゴールド・コースト

シサルの栽培試驗は目下ゴールド・コースト政府によつて施行中である。獨逸のトーゴーランド占有中シサル・ヘムプの大規模栽培場が設けられて、就中其の二者は此の後英國の領有となつた。是等の栽培場は非常な好成績を擧げたので、一九二〇年現在此の地方にむざ〳〵殘されて居る乾燥平原に有利に栽培出來得るか否かを證明する目的を以て、アックラ（Accra）の西方數哩の地域一千英反に亘つて植付を始めることに決定した。此の栽培地は將來勃興せんとする事業の中心が次第に作物の眞價を認めるに連れて地方農民によつて着手せらるゝものとして始められたものである。最近一中央工場が新式の纖維摘出機械を以て設置された。政府は資金の支出が復活し、企業を續行する資格ありと認めたる時、始めて栽培地及び機械類を土人酋長の手に讓渡すべくより〳〵協議中である。始めて一九二五—二六年收穫された面積は六五四英反で、此の中三二二英反は第二回分として切斷された。而して纖維の生産額は二四七噸に上つて居る。

地方農民は特に政府栽培園附近にシサル・ヘムプ植付の奬勵を受け、栽培上に關する忠言と補助は自由自在に提與せらるゝ。此の地方には此種の栽培に適する土地弘く、畢竟大々的となるであらうと看取されてゐる。然る中一私營事業會社より現在の工場地近傍に約四千英反の租借地を得ることを條件として官營栽培園を買收すると云ふオッファーを受けた。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

此の要求に對しては前記土地所有の問題に關して酋長に照介中である爲め、該商約は尚ほ進捗中と惟はれる。

第五節　セイロン

數年間シサル・ヘムプはセイロン農務局の手によつて、北・中央州、マハ・イルパラマ試驗所で栽培が行はれた。一九一八年本試驗所は閉鎖となり、其の後試驗を繼續し栽培を擴張する意圖の下に特殊の條件を以て皇領地二・二〇〇英反のコンセツションの特許を受けるシンヂケートが組織された。作業著手は一九一九年で、爾來進步の跡顯著である。事業の繁榮を豫見し得る理由あり、從つて若し豫期通りの成績を得るならば、植民地內の乾燥地帶に於て現在は未著手であるが、シサル・ヘムプに全然好適すると思はれる大面積が橫はつて居る爲め必然斯業は大發展を遂げるであらう。

一九一八年來農務局はアヌラダプラ(Anuradhapura)及び纖維を摘出する小型の工場が設けられた北・中央州內にもシサルの栽培地を持つて居る。同局は又ジヤフナ(Jaffna)及ハムバントタ(Hambantota)即ち島の極北・極南の兩地點で小規模の栽培試驗を行つて居る。

一九二五年シサル・ヘムプは一七一噸程錫蘭より輸出された。

第六節　バハマス

シサル・ヘムプは永くバハマスの風土に馴されてゐるが、組織的栽培に有價値なものとして顧みられなかつた所、一八八八年時の總督サー・アムブローズ・シア(Sir Ambrose Shea)が始めて纖維工業の設置を奬勵する策を採つたのである。次の數年間數箇の大規模會社が廣大な土地を買收して、シサル・アガーヴの植付をした。斯の事業は急速に進展して、一九一六年の輸出量三、七三九噸は最大數字を示してゐる。近年の輸出額は年々一千噸乃至二千噸に上る。其の大部分は北米合衆國に送り込まれてゐる。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

シサル・ヘムプの生産額はバハマス島の産業に寄與する所多く、本農作物の旱魃に抵抗性がある爲め他の作物の不凶なる場合屢々島民の財政的援助に大いに與つて力あつたのである。

第七節　ジャメイカ

一九一七年ジャメイカ政府は島内にシサルの栽培を發展せしむる計畫を樹立した。シサルの栽培園はリテイツ(Lititz)即ち他の作物の植付には不用と見られてゐる土地に起されて、同園の北端に工場が建設された。夫れ故私人の所有に屬する接壤地にはシサル・ヘムプが植付けられ、工場に賣却される葉は共同計算の下に行はれて居る。

一九二三年リテイツの植付面積は一、一四一英反に上つた。工場には英國製の機械を据付け、同年に作業を開始し、製産纖維の五十噸を有利な價段で賣却をした。一九二五年には一一三噸を製造した。リテイツの如き草原地帶に良纖維の産出可能なることは明かである。斯くて、新興産業はリテイツ地方民を裨益すること多く、將來旱魃の候に非常な困苦を免るゝことを得せしむるであらう。

第四章　モリチユース・ヘムプ

モリチユース・ヘムプ(又はモーリシヤス・ヘムプ)學名(Furcraea gigantea)はアガーヴ即ち Amaryllidaceae 科と同一族である。弘く熱帶アメリカに産して、其の後印度、セイロン、ナタル、ニヤサランド、ケンヤ植民地、ウガンダ、ロデーシヤ、西アフリカ、モリチユース、セント・ヘレナ、西印度諸島、濠洲、フキジー及他の諸國へと移入されたのである。

此の纖維は、恐らく其他の國々に容易に生産されること無論であるが、主としてモリチユース島に可なり多く産出せらるゝ。

モリチユース——モリチユースでは「佩羅木(ペローテ)」と稱へられて、一七九〇年頃裝飾用庭園植物として南米から此の島に

始めて輸入を見たものであると云ひ傳へられて居る。一八三七年には數地方に植付けられゐて、餘り顧みられなかつたが、聽て不毛の地や棄却された砂糖園一帶に擴げられて、遂に一八七二年には纎維の利用を考究せざるを得ざる程夥多なものとなつた。後一八七五年に始めて事業が目論まれて、其れが現在に及んで繼續されてゐるのである。今では島內隈なく栽培されて、植付總面積凡そ二萬英反に亘ると推算される。

一九二四年斯業改良法を協議する爲めに任命された委員會は、纎維生産業者に對して作物の加工、級付、其他市場賣捌に關する一の組合を組織すると同時に宜しくモリチユース・ヘムプの標準品を決定すべしと推言した。政府は中央級別・荷造工場の建設費には前貸しをし、猶又農務局長は標準物査定の意圖を以て取引商人との間に協定を進めて居る。

作物を栽培するに當つて、モリチユースでは、一端植付を了した後は葉の刈入を終る迄殆んど注意が要らない。相場が好く、又他の條件も有利な場合に收穫が行はれるけれども、左も無ければ畑は其儘手を附けられずに殘されるのである。此の制度が行はれてゐる證據は、年々纎維の輸出量が著しく相異するのでも說明される。一九一六―二五年に至る過去十年間に於ける輸出が一九二一年には約三百噸、一九一九年二、五〇〇噸を計上して、年平均約一、二〇〇噸を示して居る。

南阿聯邦――四十年程前、ナタルに始めて Furcraea gigantea が輸入されて、爾來沿岸地に沿ふて擴がつたものである。ポート・シエプストン (Port Shepstone) 近郊に大々的に栽培計畫が行はれたのは約二十年前の事であつた。栽培園が設けられて、移住者に對しては小區域栽培法を奬勵し、新築された工場には所要の器械が備付けられた。後栽培園は忽諸に附せられたが、一九〇六年に復舊して新式器械が据付けられた。現今では約一千英反の栽培面積から年々二百噸乃至三百噸の生産があつて、南阿の製造業者の用途となつてゐる。當地方では今後發展の見込があると云つても差支へない。

ニヤサランド――モリチユース・ヘムプはニヤサランドに好く繁茂して、保護領全帶に亘つて二、九〇〇呎の高地

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

にまで良質の纖維が産出してゐる。數年前ブランタイヤ (Blantyre) 地方に栽培園が設けられ、少量の輸出纖維が生産せられた。

第五章　ニウ・ジーランド・ヘムプ

此のヘムプは百合科 (Liliaceae) の一に屬する Phormium tenax の葉から穫れる。一七六八—一七七一年クック大佐 Captain Cook) が南洋旅行中に發見したもので、之れによつて歐羅巴人の着目する所となつたのである。大佐は、これからは土人等の被服用とする細い絹絲狀の纖維を産出するものだと云つて居る。原産地ニウ・ジーランドでは大面積に亘つて繁殖してゐるが、又ノーフォーク島及他の濠洲の地方にも發見される。尙セント・ヘレナ、ナタル、南方印度の如き英國の屬國に數多分布せられる。又アイルランドの南部にも輸入されたり、スコツトランドの南北海岸からコーンウォールへの大英國の數地方に發見される。シシリー島には海水の浸入を防禦する爲め植附けられ、又オークニイ島にも栽培されてゐる。

現在商業的に纖維を供給してゐる地方はセント・ヘレナ産の少量を除いて殆んど全部ニウ・ジーランドからと云つてもよい。

第一節　ニウ・ジーランド

ニウ・ジーランドで Phormium 纖維が可なり大量に取引されたのは前世紀の初期であつた。一八二八年の輸出量は六〇噸、一八三〇年八四一噸、翌一八三一年には一、〇六二噸を算へた。次いで一八三二年ニウ・ジーランド・ヘムプを原料として綱索を製造する工場がグリムズビー (Grimsby) に設立された、而も諸結果共に好良と惟はれたけれども或る特殊の理由の爲めに失敗に歸して終つた。

悉く手力によつて摘出される纖維は依然として少量輸出せらるゝ。一八六〇年ワイカト (Waikato) 及び他の内奥地域が

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

土人の騷擾によつて綱を要る爲め、纖維の生産額がオークランドの北部種族に限られて、輸出量は僅か二噸に激減した。其の時歐人勞働者を使つて有利に纖維を摘出し得る機械を案出する計劃が起つた。丁度此の時白色綱に對する需要が一方急に殖えたが、他方に於いてマニラ・ヘムプの供給は潤澤に行はれなかつた。畢竟之れはニウ・ジーランド・ヘムプの價格騰貴を促した許りでは無く、其の結果高値を呼んだ相場は勢ひ綠色葉から纖維を製造するに適當なる機械を發明する刺戟材となつた。依つて、玆に數種類の器械の發明となり、輸出貿易は頓に增進し、一八六四－七六年に至る輸出總額は二六、四三四噸に昇つた。

ニウ・ジーランド農務局は、斯業奬勵の爲め、現在使用中の機械又は製造工程に改良を施し、大いに生産費の低減を圖つて、生産物を改良又は精製纖維の産量を增加すると思はれる機械或は方法に對して幾回も賞與金を下附してゐた。而しならず、屑ヘムプの利用法考案者にも賞與金が提供せられた。此の結果、打麻屑物を市場に持出し得べき粗麻に變化するもの、纖維を精洗したり整理をする爲各種の機械に改良が行はれた。

然るにニウ・ジーランド・ヘムプに一樣性を缺くと云ふ綱索製造業者の苦言によつて、同一な分類法で買はれ、又同一の港から積出された小包が色彩、加工法を異にする爲め、政府は一九〇一年一切の輸出ヘムプに對して强制的級別を行ふ事務所の設置を規定せる法律を通過した。爾來漸に品質は向上し、商人の信用を確保するに至つた。此の級別制度は後刻屑麻に迄及ぼされて、今も尚實行されてゐる。

斯くて、一九一六－二〇年間ニウジーランドよりの年平均輸出量は、纖維約二三、五〇〇噸、粗麻三、〇〇〇噸を計上したが、一九二一年には一朝纖維九、六四三噸、粗麻一、五三四噸に減じてゐる。此の著しい現象は取りも直さず一九二〇年に蔓延した葉の黃色病に基づくもので、之れが爲めにフォーミアム(Phormium)の沼地は五千英反程放棄せられたさうで

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ある。其の後又改良が行はれ、次第々々に輸出は增加し、遂に一九二五年には纖維一六、四〇八噸、粗麻三、五一五噸を示した。該黄色病は今では殆んど發見されなくなつてゐる。

第二節　セント・ヘレナ

此の地方には Phormium tenax が稍々大區域に栽植せられて、一八七六—八〇年間盛んに栽培を見、一八七九年には六一五梱の輸出があつた。纖維を摘出する一工場が設立されたが、栽培園から數哩離れて居る關係上運送費が利益の總てに喰入つてゐる有樣である。一九〇五年該事業再興の計劃が企てられたが、一は所要資金の吸收困難なると、購入したる機械が一向不成績なる爲め成功を納めること不可能であつた。併し其の後政府の補助と、ニウ・ジーランド專門家の指導を受けて恢復をした。即ち一九〇八年政府によつて纖維工場が設けられ、爾今規則的に纖維の摘出用に使役されてゐる。他に私人經營に係る工場も設立されて、現在作業中のもの六、使用人員三百、即ち全人口の約十分の一に相等してゐる。一九二四年官營亞麻工場がセント・ヘレナ會社(有限責任)と稱する一倫敦會社に讓渡された。而して翌一九二五年には纖維九四三噸、粗麻四二噸のレコードを示して居る。又數年前綱索の製造を目的とする工場が始められて、一九二四年にはロープ、コード、撚絲が總額三十二噸程輸出せられた。

第三節　南アフリカ

最近の報告によれば、北部ナタルのニウキヤスル市所有地の境界に Phormium tenax が植栽されて、二千乃至三千英反の土地が此の栽培に向けられんとしてゐる。栽培用吸芽はセント・ヘレナから取寄せられて、栽培管理は同島から派遣された政廳專門家の下に行はれてゐる。本作物が刈取らるゝ迄には今後三年を要するであらう。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

第四節　英本國

英國内で、凡そニウ・ジーランド・ヘムプの栽培が成功するであらうと思はれる所は、コーンウォール及デボンの地方、スコットランドの西部、アイルランドの南部・西南部及北西部であると、キウ植物園當事者が云つてゐる。數年前、スコットランドの南北部には可なり大規模に栽培されて、非常に有望な結果を擧げたのである。又アイルランドのケリー郡(Co. Kerry)でも大々的に栽植が行はれて、試驗の結果商業的にも巧く栽培出來ることが判つた。併し乍ら、兩者何れも創業の機運には向つてゐない。

第六章　ボーストウリング・ヘムプ

綱索製造用に適し、ちとせらん(Bowstring hemp)の別名ある纖維を産出するSansevieria(學名百合科 Liliaceae)に屬する葉の種類は實に澤山にある。熱帶アフリカに多く、又セイロン、印度、蘭領東印度、支那の各地にも産する。此の纖維は種屬に於てシザル・ヘムプに類似してゐるが、製品の特長は大いに異なるものがある。

ケンヤ植民地には野生として數種類のものが大面積に亘つて繁殖してゐて、一九〇五年頃にS. Ehrenbergiiの纖維を剝皮する事業がヴォイ(Voi)の近傍に起つて、製品は多量に輸出された。併し、此の後、此の種纖維の加工は衰微して、シサル・ヘムプの栽培に注意が拂はれる樣になつた。

Sansevieria Ehrenbergiiの纖維はソマリランドの土人によつて剝皮されて、是れは駱駝用のロープの製作に使用されてゐる。同地方には多量に野生してゐて、一九〇七年機械力によつて纖維の加工をなす一倫敦會社が組織された。纖維の加工に適當する機械を据付けるに非常な面倒のあつた後、會社は始めて商業的規模の下に作業を開始せんとするや、時恰も同地方内部に擾亂起れる爲め、從業員は海岸地方に歸還せざるを得ず、遂に一切の材料は遺棄されて終つたのである。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

第七章　其他の葉纖維

葉纖維の項を終るに際して、今日迄英帝國內の何れの國にも商業的規模に加工された事の無い細くて強い或る纖維に就いて略述することゝする。是等は卽ち鳳梨科（Bromeliaceae）に屬するパイナップル及び他の植物並に或種の棕櫚、殊にアフリカ油椰子の葉の纖維である。

パイナップル纖維は亞麻の代用品として役立つと思はれる細く強く、且つ白色の光澤あるもので、比島及臺灣では土人によつて手力で剝皮されてゐる。比律賓では、土人等が國內消費用の美麗なる絹狀の纖維を製造する。臺灣產の纖維は支那に輸出せられ、其處では特に細い織物の布帛用に使用されて居る。手力に基づく纖維の加工は迂遠な遣り方で、一に勞銀安き國々のみに行ふことが出來る。

パイナップル科（卽ち Bromeliaceae）に屬する他の植物の葉からは、前同樣細くて強い纖維を產してゐる。是等の中には西印度諸島、英領ギアナで"Crowa"纖維、英領ホンヂユラスの「絹草」と呼ばれてゐるものがある。就中後者は曾て數年前馬來聯邦州に於て栽培に著手された、所謂"Arghan"纖維と同一と云はれてゐる。

西アフリカ油椰子（學名 Elaeis guineensis）の小葉は、同地方の土人によつて魚釣絲及び細引の製作に使はれる强靱且つ品質良き細纖維を產する。其の少量は終始市場に現れるが、手力による生產費は中々高價な爲め、低廉な土人の勞力を得る利益はあるが、法外な値段で製品を加工することは不可能とされてゐる。

是等の纖維か、手力による土人勞働者よりも更に迅速なる方法によつて商業的規模に生產出來る迄輸出用品を得ることは不可能である。總て優良なる纖維で相當の値段を以て多量に出廻るならば常に需要に應じ得ることは確實と思はれる。現今は、發明の能ある天才家が纖維の剝皮に好適する方法又は機械を考案するに最も良い機會である。要するに、問題は難事業であるが、若し其れが解決すれば尤に收支相償ひ得ると云ふものである。（Bulletin of the Imperial Institute. Vol. XXV, No 1 & 2. 1927）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

農村、市街地信用組合金融事情

泉　芳　德

本島に産業組合法施行以來既に十四年只管之が普及發達に努めたる結果昭和元年末現在に於て總數三百五十を算するに至り産業並に經濟の發達に貢献したること尠からず。

今之が種類別分布狀態を示せば、

州廳名	信	信販	信購	信利	信販購	信販利	信購利	信販購利	販	購	利	販購	販利	購利	販購利	計
臺北	三一	—	七	一	一	一	六	五	—	四	一	—	二	—	三	七一
新竹	四三	—	一	—	—	五	—	—	二	一	一	四	二	—	一	六〇
臺中	四六	—	四	七	—	一	七	三	一	七	—	—	—	—	—	七六
臺南	五五	—	三	—	二	—	五	五	—	六	—	一	—	一	一	七九
高雄	三二	—	一	二	三	—	二	一	—	四	一	—	—	—	一	四七
臺東	三	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一	—	—	—	—	四
花蓮港	五	—	—	—	—	—	—	—	—	一	—	—	二	—	—	八
澎湖	四	一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	五
計	二一九	一	一六	一〇	六	七	二〇	一四	三	二三	四	五	六	一	一五	三五〇

にして信用組合最も多數を占め山間僻地と雖も殆んどこれなきはなく地方唯一の庶民金融機關として活動し地方産業の開

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

發に資し併せて貯蓄心の涵養に努むること大なり。

之が事業の分量を示せば左の如し、

組合數	二九三
組合員數	一六八、九三七
出資口數	六五四、一五〇
出資總額	二一、五八七、八一〇円
拂込濟出資金	一一、四一六、九四二
準備金其他積立金	六、一七一、一五七
貯金	二七、九七七、九九三
借入金	一、八二九、〇八三
貸付金	三五、一四一、〇四三
餘裕金	一一、六二六、五二八
剩餘金	二、三一八、九四六

今之を農村信用組合及市街地信用組合に分ちて其の金融事情を調査するに左の如し。

農村信用組合

市街地信用組合を除きたる信用組合（兼營組合を含む）の組合總數二百七十三の中二百七十一に付調査したるものにして、之に依て表はれたる組合の金融狀態を見るに、其の資金に於て一組合平均十二萬四千四十圓にして其の中自己資金

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

(拂込濟出資金準備金其他の積立金)は四〇%にして他より得たる資金(貯金、借入金)は六〇%を占むる狀態なり。又其の運用に於ては右資金中貸付金七六、八%、預金二二、八%其の他が〇、四%を占む。

金利は

貯金の平均利率　最高　三錢八厘　最低七厘

貸付金の平均利率　最高　六錢　最低一錢

借入金の平均利率　最高　五錢　最低一錢四厘

今此の内容を左の三項に分ち説明す。

組合の資金

資金の運用

金　利

一、組合の資金

組合の資金を拂込濟出資金、準備金其他の積立金、借入金、貯金の四種に區別して之を見るに、二百七十一組合の總金額は三千三百六十一萬四千九百一圓にして其の内容は

拂込濟出資金	八、七一五、五五七圓
準備金其他積立金	四、七六〇、四二二
貯　金	一八、四五四、五一五
借入金	一、六八四、四〇七

にして一組合平均十二萬四千四十圓に達す。此の內貯金及借入金は六〇%を占め、拂込濟出資金、準備金其他積立金は四〇%に過ぎず。一組合平均の割合を示せば左の如し

一組合平均

種別	金額	一組合平均資金總計に對する割合
拂込濟出資金	三二、一六一円	二五、九
準備金	一二、〇六七	九、七
其他積立金	五、四九九	四、四
自己資金合計	四九、七二七	四〇、〇
貯金	六八、〇九八	五四、八
借入金	六、二一五	五、二
他より得たる資金合計	七四、三一三	六〇、〇
一組合平均資金總計	一二四、〇四〇	一〇〇、〇

之に依つて見るときは一組合平均資金總計中自己資金は四〇%にして、他より得たる資金は六〇%なり。又自己資金中大部分を占むるものは拂込濟出資金にして二五%九を占め、準備金は之に次ぐ。他より得たる資金に在りては貯金其の大部分を占め五四%八なり。

更に之を各地方別に見るときは

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

	拂込済出資金	準備金	其他積立金	計	借入金	一組合平均
臺北	一、一三六、〇一一	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
新竹	一、〇九六、七九三	四五九、五四六	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
臺中	二、九〇九、八七一	一、一四一、〇三一	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
臺南	二、〇四六、一〇一	七七〇、八五一	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
高雄	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
澎湖	一五六、三六六	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
臺東	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
花蓮港	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

	拂込済出資金 金額	拂込済出資金 [illegible]	準備金 金額	準備金 同	其他積立金 金額	其他積立金 同	[illegible] 金額	計 金額	借入金 金額	[illegible] 金額	[illegible] 金額
臺北	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
新竹	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
臺中	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

臺南	三三、〇〇三	三〇・〇	一三、四三三	一二・三	五、八六〇	五・三	五一、二九五	四六・六	五五、三四〇	五〇・一	三、六五一	三・三	五八、九九一	五三・四	一一〇、二八六	一〇〇
高雄	三〇、〇五〇	二八・九	一三、九一九	一三・四	四、九三七	四・七	四七、九〇六	四六・〇	四八、三四七	四六・四	七、八七八	七・六	五六、一二五	五四・〇	一〇四、〇三一	一〇〇
澎湖	三一、八四七	三八・一	一〇、五五九	一二・六	三、五四八	四・三	四五、九五四	五四・九	二五、三六二	三〇・三	一二、三五二	一四・八	三七、七一四	四五・一	八三、六六八	一〇〇
臺東	一三、一四七	四三・一	八、四四九	二九・三	一、〇三〇	三・六	二二、六二六	七五・〇	二、一四二	七・四	五、一〇〇	一七・六	七、二四二	二五・〇	二八、八六八	一〇〇
花蓮港	二六、七六〇	三三・五	八、〇〇九	一〇・〇	三、八四二	四・八	三八、六一一	四八・三	一五、三三九	一九・三	二五、九四九	三三・五	四一、二七八	五一・七	七九、八八九	一〇〇

にして更に一組合平均の自己資金の大なるもの及他より得たる資金の大なるもの等表示すれば左の如し

自己資金ノ多キ州廳

順位	州廳	自己資金一組合平均總額	一組合資金總計に對する%
一	臺中	六九、九五〇	三三、六
二	臺南	五一、二九五	四六、六
三	高雄	四七、九〇六	四六、〇
四	澎湖	四五、九五四	五四、九
五	花蓮港	三八、六一一	四八、三
六	新竹	三七、〇四六	四六、八
七	臺北	三五、四五六	三六、〇
八	臺東	二一、六二六	七五、〇

他ヨリ得タル資金ノ多キ州廳

順位	州廳	他より得たる資金一組合平均總額	一組合資金總計に對する%
一	臺中	一三八、〇七四	六六、四
二	臺北	六三、一三八	六四、〇
三	臺南	五八、九九一	五三、四
四	高雄	五六、一二五	五四、〇
五	新竹	四二、〇六六	五三、二
六	花蓮港	四一、二七八	五一、七
七	澎湖	三七、七一四	四五、一
八	臺東	七、二四二	二五、〇

右表に依れば一組合平均の自己資金の大なるは臺中にして臺南、高雄、澎湖等之に次ぎ、他より得たる資金の大なるは臺中にして臺北、臺南、高雄等之に次ぐ。故に大體に於て貯金の多き地方に在りては自然他より得たる資金大にして自己資金小なる割合なり。

更に自己資金の多き州廳に付貯金の順位を示せば左の如し、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

州廳	一組合平均自己資金額	自己資金多きものゝ順位	一組合平均貯金額	貯金高の順位	自己資金の貯金高に對する%
臺中	六九、九五〇	一	一三四、二九六	一	五二・一
臺南	五一、三九五	二	五五、四四〇	二	九二・七
高雄	四七、九〇六	三	四八、三四七	四	九九・一
澎湖	四五、九五四	四	二五、三六三	六	一八一・三
花蓮港	三八、六二一	五	一五、三三九	七	二五一・九
新竹	三七、〇四六	六	三五、七七三	五	一〇三・六
臺北	三五、四五六	七	五三、六六六	三	六六・一
臺東	二一、六三六	八	二、一四三	八	一、〇〇九・六

（未完）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

島情

臺灣貿易統計（昭和二年八月）

臺灣總督府稅關

◆貿易額比較

（其ノ一）

外國貿易	二年八月	十五年八月	二年累計	十五年累計	増減（・）
輸出	三、六二七、二〇二円	四、六五七、一二八円	二七、六三一、二九一円	三一、六〇八、二〇三円	・三、九七六、九一二円
輸入	五、一七九、二六七	三、七三三、三三九	四六、三三六、三七五	四二、五三一、〇一八	三、八〇五、三五七
計	八、八〇六、四六九	八、三九〇、四六七	七三、九六七、六六六	七四、一三九、二二一	・一七一、五五五
輸出（入）超過	（入）一、五五二、〇六五	九二三、七八九	（入）一八、七〇五、〇八四	（入）一〇、九二二、八一五	—

（其ノ二）

內地貿易	二年八月	十五年八月	二年累計	十五年累計	増減（・）
移出	一〇、七二九、〇〇二円	一三、〇五七、九八一円	一五三、五三七、七八一円	一五九、二八五、五八〇円	・五、七四七、七九九円
移入	一〇、〇五三、八四六	九、八一五、〇五四	七五、〇二一、一六三	七七、六二七、四一九	・二、六〇六、二五六
計	二〇、七八二、八四八	二二、八七三、〇三五	二二八、五五八、九四四	二三六、九一二、九九九	・八、三五四、〇五五
移出（入）超過	六七五、一五六	三、二四二、九二七	七八、五一六、六一八	八一、六五八、一六一	—

◆輸出

品目	単位	八月 数量	八月 価額	二年累計 数量	二年累計 価額	十五年累計 数量	十五年累計 価額	増減（●） 数量	増減（●） 価額
石炭	噸	三〇、三七四	三三八、〇七〇円	三九四、七四一	四、三八九、四三六円	五〇四、〇九七	五、六七五、三三〇円	●一〇九、三五六	●一、三八五、九〇四円
包種茶	斤	六四九、三七〇	四七五、八五七	五、一三〇、〇三五	三、八一三、三九七	五、五〇〇、四〇八	四、三一六、一三一	●三七〇、三七三	●四〇三、八二四
烏龍茶	同	二、四九八、〇一〇	一、六八〇、七六五	四、四八九、三七六	二、九九七、八四〇	三、五九一、四七一	二、六一九、三七二	八九七、八〇五	三七八、五六八
綿織物	碼	六五六、八三八	五三、七〇八	七、四三〇、八八八	一、五三九、四八九	一、三六〇、五七七	三、三九六、六三〇	●五、一七四、八六九	●一、七六七、一二一
鹹魚及乾魚	斤	七四七、八一六	一三三、〇九一	一九、三九四、六六〇	三、三四五、七六三	四、七一三、七九七	九九四、六五〇	一四、六八〇、八六三	一、三五一、一一三
砂糖	同	一、三三八、九九三	一三七、三三三	一七、五五四、七一七	二、三九〇、四五六	一七、三〇〇、七一五	二、四一六、〇〇七	三五四、〇〇二	●一三五、五五一
酒精	升	四〇六、七〇〇	一三六、四八八	四、一一三、三六〇	一、三〇一、八〇八	三、五四五、七八〇	一、一九四、三九七	五六七、四八〇	一〇七、四一一
樟脳	斤	九四、五〇〇	九八、〇三九	八、七一五、八〇〇	九一三、三三四	九一三、一一三	一、五五七、三三八	●一九六、三三三	●六四三、九〇四
鹽	同	二四九、八五一	九八、六五四	三、〇五六、九七八	一、三三〇、四七九	五、三七七、〇七三	一、五八五、四一四	●三三〇、〇九五	●三五四、九四五
セメント	同	一、九三四、三三三	三五、六九八	二八、七九六、七六九	七五二、八四二	六三、六九八、八〇七	一、三七〇、〇四七	●二四、九〇二、〇〇八	●六一六、三〇五
絹及絹綿織物	碼	一、八〇八	一、六七六	七四三、〇九〇	四六一、六六二	七四六、一九〇	四五八、七三三	●三、一〇〇	三、九四〇
貝柱	斤	四六、二五〇	四七、四三四	三五七、〇四〇	四三六、二一八	三三四、三六三	四三三、四七六	三二、六七七	●七、三五八
苧麻	同	一二八、三〇三	三五、四五九	一、一八三、六七七	四〇九、〇一八	九七四、〇六一	三七〇、二〇三	二〇九、六一六	三八、八一五
紙	同	二三六、六六六	三三、七三四	二、三九〇、五九八	一九三、三四五	三、九六八、三九三	三三四、八九七	●一、六七五、六九五	●一四一、六一三
芭蕉實	同	四五五、〇一〇	一九、一五二	三、三三三、三〇一	一三六、〇四九	五、九六九、三八九	三三五、〇九六	●二、七四七、一八八	●一九、〇四七
其他諸品		—	三三三、〇六四	—	四、四三九、四六四	—	四、七五〇、七三三	—	●三一一、二六八
計		—	三、六三七、三〇一	—	二七、六三一、三九一	—	三二、六〇八、三〇三	—	●四、九七六、九一三

◆輸入

品目	単位	八月 数量	八月 価額(円)	二年累計 数量	二年累計 価額(円)	十五年累計 数量	十五年累計 価額	増減(・) 数量	増減(・) 価額(円)
大豆油糟	斤	二四、三二一、一三〇	一、〇一〇、二八五	二一〇、一七〇、九六六	九、〇一二、五六五	一七五、二二二、九四六	九、一九〇、七五六	三四、九四八、〇二〇	・一七八、一九一
米(籾共)	同	一〇、二二四、六五六	八一八、〇二三	一七五、三九九、四五九	一三、六八四、八五八	八七、七八三、六七〇	八、二三〇、九六八	八七、六一五、七八九	五、四五三、八九〇
硫酸アンモニウム	同	一六、八七四、七一五	一、三八六、八〇六	五三、八四三、三四一	四、一四九、二六九	四〇、三二六、八四三	三、九一〇、九七一	一三、五一六、四九八	二三八、二九八
砂糖	同	一九二、二三一	一七、七七二	三〇、一八六、九三四	二、八一五、〇二一	二五、三三五、三一〇	三、一五二、三一〇	四、八五一、六二四	・三三七、二八九
大豆	同	二、三九六、九二一	一四一、〇六七	四〇、三一九、四四三	一、七八七、〇六六	七三、四九七、八二五	二、三二七、八三二	・三三、一七八、三八二	・五四〇、七六六
カンニー斑	箇	—	—	二、四〇一、六八九	一、一六四、六七九	二、四八二、九九九	一、七三三、五〇六	・八一、三一〇	・五六八、八二七
木材	立方尺	二五五、一六七	一八四、四三七	二、六五九、八〇一	一、八一七、一三七	一、八四二、五九六	一、二八九、四五八	八一七、二〇五	五二七、六七九
煙油	ガロン	四五四、三四〇	三三七、五五七	三、一九五、三〇九	一、〇一八、三六六	二、四三五、九六三	七〇〇、〇二八	七五九、三四六	三一八、三三八
鹹魚	斤	一四、六九七	一、九〇一	一、三二八、五四五	一〇〇、四九九	一〇、八七三、九三六	七五九、九九七	・九、五四五、三九一	・六五九、四九八
小麦	同	七八一、三六九	五八、六七九	二、〇五三、七六七	七六三、三五〇	七五九、一〇五	六八七、一八六	一、二九四、六六二	七六、一六四
阿片	同	—	—	二、五〇〇	二一七、〇〇〇	二三、二三三	八七六、三九五	・二〇、七三三	・六五九、三九五
包蓆	枚	三四九、六〇〇	三八、九一三	二、九四一、五〇二	三三三、一六三	三、三二〇、三二〇	六九四、九六八	・三七八、八一八	・三六一、八〇五
葉煙草	斤	二〇、八四七	二三、三六二	一、八三九、九七四	七七六、一三四	一、一七六、三九九	六一五、九〇九	六六三、五七五	一六〇、二二五
纖	同	一、〇四六、一〇九	三八、一四八	六、六九三、四〇六	五二九、八八一	五、一〇三、八二三	四九三、五六九	一、五八九、五八三	三六、三一二
繰綿	同	四九、二四三	二四、一三〇	二九九、八九〇	一二七、七一一	四三九、四三〇	二一九、七〇七	・一三九、五四〇	・九一、九九六
黄麻	同	三、一〇〇	四〇〇	三七八、八九九	五三、五一三	二、四三七、六四三	四二四、三三五	・二、〇五八、七四四	・三七〇、八二二
禮拝紙	同	一二二、三六五	二六、三六五	一、一三〇、三三七	二六三、五六七	一、〇六五、九九一	三〇一、二六三	六四、三四六	・三七、六九六
石炭	噸	五、七〇〇	一六三、八〇五	一九、八九九	四七〇、一九六	七、九六八	一五六、六〇一	一一、九三一	三一三、五九五
苧麻布	方碼	三八、七〇八	二〇、三一八	九三六、一六六	二〇四、〇八八	一、一四〇、一四二	二九二、七五三	・二〇三、九七六	・八八、六六五
毛織物	同	一、三二〇	二、三二六	一四三、三五五	一六八、九九九	一六八、五五七	二三七、八一六	・二五、二〇二	・六八、八一七
綿織物	同	七、二七〇	六二、三六七	三六七、〇四八	二四六、五三三	三六二、八七七	二八六、七七九	四、一七一	・四〇、二四六
陶磁器		—	九、六二四	—	一三三、九八六	—	二一三、九五二	—	・七九、九六六
原油及重油	ガロン	一八、六九七	三、六九九	九四九、一〇一	一九〇、三五七	八四四、七一一	一九〇、二二九	一〇四、三九〇	一二八

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

品目		八月 數量	八月 價額	二年累計 數量	二年累計 價額	十五年累計 數量	十五年累計 價額	增減(●) 數量	增減(●) 價額
揮發油	同	二五、七九九	二、八七二	一五四、二二〇	一三八、七九二	一七三、九三二	一七九、二五六	●一九、七二二	●四〇、四六四
唐紙	斤	二三〇、五五九	一八、六一四	一、三七二、八四七	一一〇、三五一	二、〇〇九、〇〇〇	一九〇、七二三	●六三六、一五三	●八〇、三六一
綠豆	同	五三四、七一五	三五、九四一	二、六〇二、一五七	一六八、五二四	二、三八七、三一八	一九七、九四三	二一四、八三九	●二九、四一九
錫	同	七、九一四	一四、五七二	九二、三七三	一六五、一一三	七八、三八六	一四〇、七八一	一三、九八七	二四、三三二
豆素麵	同	四四、四二七	二三、〇〇六	三七二、九七三	一〇三、二三六	三九二、九四一	一三三、三五〇	●一九、九六八	●三〇、一一四
胡麻子	同	一六二、八五七	三〇、三五九	五六四、五六二	一〇一、五五一	四四〇、二八六	七七、二三三	一二四、二七六	二四、三一八
パラフイン、ワックス	同	—	—	一四八、七六〇	三三、六三一	二四四、六一〇	六三、八三六	●九五、八五〇	●三〇、二〇五
其他諸品		—	九四二、四七一	—	五、四七〇、五一九	—	四、六四四、四〇八	—	八二六、一一一
計		—	五、一七九、三六七	—	四六、三三六、三七五	—	四三、五三二、〇一八	—	二、八〇五、三五七

◎移出

品目		八月 數量	八月 價額	二年累計 數量	二年累計 價額	十五年累計 數量	十五年累計 價額	增減(●) 數量	增減(●) 價額
砂糖	斤	五、二八一、八五〇	七六三、三三七	六四八、三三〇、一六一	九〇、六六五、七七四	七三三、六六三、四六三	九六、二三五、〇四二	●八五、三三三、三〇二	●五、五六九、二六八
米	同	六六、一二六、七二四	六、八〇〇、六一〇	三四八、二六一、四六一	三六、一〇八、二九五	二九〇、四九九、〇〇四	三三、八二〇、三四五	五七、七六二、四五七	二、二八七、九五〇
芭蕉實	同	一三、三〇〇、二九〇	七一八、八九八	一一三、八二三、九四九	六、七九九、五三九	一三一、七三九、一一八	八、四四六、四九七	●一七、九一五、一六九	●一、六四六、九五八
酒精	升	四八〇、九四〇	二五九、二六一	四、六二七、五九〇	二、四三五、五八六	五、七二六、四〇〇	三、〇八七、八六二	●一、〇九八、八一〇	●六五二、二七六
木材	立方尺	五五、〇二五	八八、九八四	九二九、六一七	二、〇三三、〇五五	九三三、一四二	二、二五五、九六四	三、五二五	●二二二、九〇九
樟腦油	斤	四九八、五一〇	一七五、四五二	三、五六〇、三二一	一、三三四、〇〇七	四、一五〇、九〇一	二、一五六、一七二	●五九〇、五八〇	●八二二、一六五
鰹節	同	一九二、八六三	三三三、五〇四	九二六、二二五	八六九、六八七	一、〇五七、七四四	一、一二五、四五四	●一三一、五一九	●二五五、七六七
模造パナマ帽子	個	一六五、〇〇〇	七九、九〇〇	一、四六三、三三〇	六七四、四一〇	二、八一〇、六〇〇	一、〇〇八、六五五	●一、三四七、二七〇	●三三四、二四五
鳳梨罐詰	打	一三三、七〇七	四八四、四四七	六五七、三三四	二、四八三、〇〇六	四〇三、八三三	一、四五四、八一七	二五三、五〇一	一、〇二八、一八九
樟腦	斤	四、六八七	九、一一九	三八四、八六五	五八八、六二一	六七九、三四二	一、二八五、五一九	●二九四、四七七	●六九六、八九八
鹽	同	一〇、七四五、八八二	一四八、二五二	六六、六二五、八六六	九四九、二九四	五一、八六四、一〇二	一、〇〇九、七四〇	一四、七六一、七六四	●六〇、四四六

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

品目	八月 數量	八月 價額	二年累計 數量	二年累計 價額	十五年累計 數量	十五年累計 價額	增減(・) 數量	增減(・) 價額
石炭 噸	一三、五六四	一三四、五六一	九四、二一三	一、〇四五、四一三	九六、六二一	九八二、四二一	・二、四〇八	六二、九九二
食鹽 斤	六七〇、〇〇〇	四〇、七五〇	五七、四〇二、三九〇	五一四、一八二	七五、三三六、六四〇	五八六、〇三一	・一七、九三四、二五〇	・七一、八四九
鮮魚介 同	—	—	二、七三四、〇四五	八一〇、〇五〇	一、九〇三、五四八	五八一、四三〇	八三〇、四九七	二二八、六二〇
切乾藷 同	五、四三四、八〇〇	二一六、三九五	三三、二八〇、一五〇	一、三四三、九八七	一〇、七五六、二〇〇	四六二、七一一	二二、五二三、九五〇	八八一、二七六
其他諸品	—	五九五、五三二	—	四、八七二、八七五	—	四、七八六、九二〇	—	八五、九五五
計	—	一〇、七二九、〇〇二	—	一五三、五三七、七八一	—	一五九、二八五、五八〇	—	・五、七四七、七九九

◆移入

品目	八月 數量	八月 價額	二年累計 數量	二年累計 價額	十五年累計 數量	十五年累計 價額	增減(・) 數量	增減(・) 價額
絹及絹織物	—	円 九七五、三五五	—	円 八、七三八、九八六	—	円 一二、四七三、四六三	—	円 ・三、七三四、四七七
鐵 斤	一〇、九七七、三四二	九四一、五〇八	五五、〇五四、四四七	五、三八五、一五〇	三九、五三四、一〇三	四、四七〇、九四一	一五、五二〇、三四四	九一四、二〇九
鹹乾魚 同	六〇〇、四五三	一三六、三三〇	三〇、七四五、一六三	三、八二五、三九一	一五、一二二、一九一	三、〇三一、〇七九	一五、六二二、九七二	七九四、三一二
肥料 同	一四、五八〇、七〇八	六五一、四三六	六三、〇二三、九七〇	二、七九三、八五四	五二、一三五、四四二	二、五〇八、九一四	一〇、八八八、五二八	二八四、九四〇
小麥粉 同	二六、七八三、七〇三	三一五、六一一	一七、三五〇、二五三	二、〇〇三、六〇五	二〇、三五一、〇七四	二、四九〇、三九五	・三、〇〇〇、八二一	・四八六、七九〇
木材 立方尺	二一八、一七九	三五九、七七一	二、〇五三、七九四	二、三七七、七七五	一、八五六、〇四三	二、二二四、一一八	一九六、七五一	一五三、六五七
紙	—	一九九、一四〇	—	一、八七五、七三三	—	二、〇〇二、六七〇	—	・一二六、九三七
鉛 斤	四三六、九九〇	一六六、七六六	三、〇八六、六三九	一、三三七、〇八〇	六、七八一、八四四	二、〇〇九、一〇〇	・三、六九五、二〇五	・六七二、〇二〇
鐵製品	—	二七五、一八六	—	二、〇八四、〇六八	—	一、六三五、二八四	—	四四八、七八四
麥酒 打	四五、〇五六	二九、〇五八	四一三、六〇二	二、〇八六、〇一六	四一二、三九三	一、九四九、九三二	一、二〇九	一三六、〇八四
紙卷煙草 千箇	一〇三、五八〇	二三九、二七二	五四七、八六〇	一、二六八、六一〇	五七三、七一〇	一、三四五、五九二	・二五、八五〇	・七六、九八二
綿類	—	一〇三、三七七	—	一、〇四五、〇〇五	—	一、四〇二、三六八	—	・三五七、三六三
各種ノ罐詰	—	一三九、七九三	—	一、三五八、三九九	—	一、三六〇、〇一六	—	・一、六一七
カンニー罐 箇	五一四、五五〇	二四五、八三八	二、三五三、五五〇	一、〇五五、四〇九	二、六四四、〇〇〇	一、五五九、六八四	・二九〇、四五〇	・五〇四、二七五

清酒	打	七,八〇〇	七一,五三〇	七九,八六九	七九,二二四	六七,八六九	六二七,〇〇五	一三,〇〇〇	一二三,〇〇九
メリヤス肌衣		—	二四,七三二	—	五四二,五七七	—	六〇一,〇〇七	—	・五八四,二七〇
自轉車同部分品及附屬品		—	一二四,一八八	—	九五七,一二一	—	九九九,〇三四	—	・四一,九一三
毛織物		—	八五,〇五三	—	三九六,一二三	—	五〇三,〇六八	—	・一〇五,九四六
燐寸	哥	二九,八六六	八五,〇二三	一,〇九二,九三八	七八六,四七一	九九二,七六三	七五八,一八五	・一〇一,一七五	二八,二八六
菓子類		—	九二,四四二	—	五九八,九八三	—	六三三,二三五	—	・三三,三五二
麥	石	一〇,四五二	三〇七,九七七	三九,〇三四	七七七,一九七	三八,四三四	六三九,〇二一	一〇,六〇〇	一四八,一七六
製帽原料		—	三三,一八一	—	三五七,九〇六	—	六六九,四三一	—	・三二一,七〇六
米	石	一,一三一	四七,二〇一	三一,一七六	四七,五〇三	一八,〇〇六	六七四,四六一	・五,八三〇	・二四六,九九九
陶磁器		—	七六,八六九	—	六二一,四五一	—	五四一,八五五	—	六九,六六六
砂糖	斤	三八六,八五五	六二三,六二三	一,九五八,七六六	四六〇,六五四	一,七九九,六九八	四六六,四六四	三九九,〇六八	二四〇,〇七〇
石鹸		—	七五,八八〇	—	五四七,七四五	—	五六一,九九一	—	・一三,八四七
醬油	石	八九七	四九,九四九	七,七三一	四五三,三六九	七,四四八	四五五,一一五	三八三	一,七四六
燈油及輕油	ガロン	一二五,三二〇	五四,一五六	九二三,〇一五	四四七,九五二	一,一〇五,四九〇	五八三,九九二	・一七三,四七五	・一三四,六四〇
仕組板		—	九一,三二〇	—	四九八,〇二六	—	五五一,二七三	—	・五四,三三七
自動車同部分品及附屬品		—	六九,五五九	—	五六九,五一九	—	四三三,九五八	—	一四六,五六一
其他諸品		—	三,七二八,九八六	—	二六,八三三,五五三	—	二七,六六九,六六六	—	一,一九三,八九七
計		—	一〇,〇五三,八四六	—	七五,〇二一,一六三	—	七七,六六七,四一九	—	・二,六〇六,二五六

◆港別貿易額（其ノ一）

港別	輸出	輸入	計	二年累計	十五年累計	增減（−）
基隆	一,〇七四,七七三円	二,二七二,一一〇円	三,三四六,八八三円	四一,四一四,八八二円	三九,八四八,三三五円	一,五六六,五五七円
臺北	二一六,五三三	一一五,〇一四	三三一,五四六	八三三,三三四	八四三,八二六	・一一,四八二

淡水	四八,五八五	一二五,一二一	一七三,七〇六	二,四八七,四六六	二,二三六,九〇六	二五〇,五六〇
安平	—	六三,三四一	六三,三四一	一,一〇七,五三九	一,一六七,六九四	•六〇,一五五
高雄	三一七,五五六	二,五五一,一四一	二,八六八,六九七	一九,七五四,六九五	二一,四五二,一八四	•一,六九七,四八九
其他諸港	二一,〇六七	五四,六三〇	七五,六九七	八八〇,七九〇	一,〇〇〇,二八六	•一一九,四九六
計	三,六二七,二〇二	五,一七九,二六七	八,八〇六,四六九	七三,九六七,六六六	七四,一三九,二三一	•一七一,五六五

（其ノ二）

港別	移出	移入	計	二年累計	十五年累計	増減(−)
基隆	七,六八二,一五七円	六,五九五,九六八円	一四,二七八,一二五円	二一,八〇〇,九三二円	二八,三三四,六六九円	•六,五三三,七三七円
臺北	—	—	—	—	—	—
淡水	—	—	—	三〇,〇〇〇	六〇,〇〇〇	•三〇,〇〇〇
安平	二,四四六	四三八,三二九	四四〇,七七五	六九九,〇七五	八三一,六三九	•一三二,五六四
高雄	三,〇〇四,七九九	二,九六七,八四八	五,九七二,六四七	一〇,八八六,三四九	一〇,九〇九,九三三	•二三,五八四
其他諸港	四〇,七五〇	五一,六四一	九二,三九一	一,三三九,五七八	一,三六八,一〇九	•二八,五三一
計	一〇,七二九,〇〇二	一〇,〇五三,八四六	二〇,七八二,八四八	三八,五五八,九九四	三九,三九二,九九九	•八三四,〇〇五

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

金融統計

財務局金融課

◈銀行預金貸出金殘高表

昭和二年七月末島内各銀行預金貸出金殘高左の如し

種類	金額	種類	金額	種類	金額
公金預金	五、〇九〇、〇八八円	預金手形	一、八六七、六七七円	證書貸付	二五、一七〇、〇一九円
當座預金	一三、五八五、三九五	日本銀行預金	二四、四四四、〇六六	手形貸付	四三、四〇一、二〇〇
特別當座預金	四三、二七九、三七九	貯蓄預金	六、一二三、八七七	當座貸越	三、二四一、二三二
通知預金	一、六九七、四八七	合計	一二一、五四五、二八八	割引手形	一〇三、九二二、三六〇
定期預金	二三、〇三二、三四七	前月	一二四、一五八、八一〇	荷付爲替手形	一六、四八七、五七五
別段預金	二、四二四、九七二	前年同月	九九、六六六、五四八	利付爲替手形	七七、八八〇

種類	金額
買入外國爲替	七〇六、四一七円
日本勧業銀行貸付	四七、三八六、三九八
貯蓄銀行貸付	一、三八五、一四四
合計	二四一、六八八、二一五
前月	二四三、二八三、五一四
前年同月	二四八、〇三五、四七八

備考　日本勧業銀行貸付には臺灣銀行取扱の代理貸付を含む

之を地方別に示せば左の如し

州廳別	預金	貸出金	州廳別	預金	貸出金
臺北州	七三、八四三、七七四円	一二八、五一四、六二三円	澎湖廳	四五八、三二一円	一三一、八四四円
新竹州	四、五三二、六三二	二〇、一三六、四九八	臺東廳	三五三、一五二	二、八三三、八一六
臺中州	一五、三〇一、九四八	三三、〇一三、三一九	花蓮港廳	一、〇八二、五九九	一、一九〇、九五七
臺南州	一八、〇〇一、二一〇	四九、二五一、一六四	合計	一二一、五四五、二八八	二四一、六八八、二一五
高雄州	七、九七二、六五二	一六、五〇六、九九四			

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

市街地信用組合事業一覽表（昭和二年七月末日現在）

（其ノ一）

州廳別＼種別	組合數	組合員數	出資口數	資産：未拂込出資金	貸付金	土地建物什器	有價證券	預ヶ金	假拂金	手形割引	其他	現金	計
臺北	九	六,三五一	四六,三六八	七八四,六二一円	五,二一五,六九九円	一四七,〇八一円	九八九,七三〇円	一,二〇七,一四七円	八,三六四円	一四五,六八七円	一三三,八二一円	四〇,一三一円	七,九五二,〇三六円
新竹	二	一,一四九	一〇,三九〇	七,〇三六	八九〇,〇〇九	二四,四八四	五〇	四六,八一九	六六九	—	—	五,一九〇	一,三五四,三三〇
臺中	二	一,一一五	四,七三八	九九〇	七五五,一四二	三三,三一七	三八,一四六	三八二,六〇〇	一,七七二	—	—	三三,七七四	一,一七五,一四五
臺南	六	三,一五七	三一,六七二	二三,一八九	二,三〇三,三三九	六七,八七五	一〇八,六九九	五三二,九九四	三,六八〇	五二一,九八六	二一,二九二	四三,一七六	三,六七四,三三三
高雄	一	三三〇	一,二二八	六五五	一七五,四四一	三一,六七八	一四,五六一	五五,七六九	—	—	—	七〇	二七八,一七五
澎湖	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
臺東	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
花蓮港	一	一九五	四,四二五	—	二九一,七七一	四,三三七	—	一八,五三五	一,四四九	三九,四六一	—	五〇六	三五六,〇四二
合計	一三	一三,一九七	八八,八二一	二〇〇,三三三	九,七〇〇,三九五	二九四,六六四	一,一五二,一七八	二,三〇三,八五五	一四,八六六	六九七,一三五	一五五,一五三	九二,三四九	一四,八八九,八九二
前月末合計	一三	一三,一五六	八八,五八七	二〇四,七五五	九,六四四,八二三	二八三,五五二	一,一六九,六六一	二,二五四,二三三	二一,四二四	六七五,〇八二	一五五,九一七	一一二,九五四	一四,七九〇,八五五
△は減	—	四一	二三四	△四,四二二	五五,五七二	一一,一一二	△一八,四八二	四九,六二二	△六,五五八	二〇,〇五三	△七六四	△二〇,六〇五	九九,〇三六

（其ノ二）

州廳別＼種別	負債：出資金	貯金	準備金	各種積立金	未拂配當金	借入金	假受入金	其他	剰餘金	計
臺北	一,五〇七,七三〇円	五,二八一,二〇三円	五六〇,五〇五円	一六四,一二四円	一二,五八二円	二一七,九二四円	一三,六七七円	三三三,九六六円	一七二,一〇三円	七,九五二,〇三六円
新竹	二〇七,三八五	八九四,五一三	二三,九六六	七六,六五〇	一,五五八	二〇,〇〇〇	七,〇八二	五六〇	二四,五三一	一,三五四,三三〇

臺中	二三六、九〇〇	七〇三、八七一	二〇、七九八	六七、六七八	一、九八一	―	一〇、七六八	―	三三、一四六	一、一七五、一四五
臺南	八二三、三四〇	二、三三八、六三〇	二七五、九一四	七三、七三七	一、七三三	二三、八四三	五、九四一	二七、二八九	一二四、八九〇	三、六七四、二三三
高雄	六〇、九〇〇	三一四、二六一	二三五	―	―	―	―	―	二、七八八	二七八、一七五
澎湖	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―
臺東	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―
花蓮港	八八、五〇〇	一七一、九九〇	四七、二三〇	二〇、七八三	―	一七、〇〇〇	二、九七六	―	七、五七一	三五六、〇四二
合計	二、九四六、六五五	九、六九四、四七一	一、一二六、六三〇	四〇二、九八四	一六、六五六	二六七、七六八	四〇、四四八	五一、二四六	三六五、〇三一	一四、八八九、八九一
前月末合計	二、八九一、〇〇五	九、六一二、三九五	一、一二六、五三二	四〇九、六三六	二〇、五九九	二九七、六五五	三二、七〇〇	六八、一一二	三〇四、七七七	一四、七九〇、三八五
△は減	五五、六五〇	八二、〇七六	九八	△六、六五一	△三、九四三	△二九、八八七	七、七四八	△一六、八六六	六〇、二五四	九九、五〇六

(其ノ三)

種別 / 州廳別	貯金内譯				貸付金利率			貯金利率			借入金利率			預ケ金利率			手形割引歩合		
	組合員貯金	第一條第三項貯金	第一條第四項貯金	計	最高	普通	最低	最高	普通	最低	最高	普通	最低	最高	普通	最低	最高	普通	最低
	円	円	円	円	厘	厘	厘	厘	厘	厘	厘	厘	厘	厘	厘	厘	厘	厘	厘
臺北	一、七四〇、八〇三	一、九八二、九五四	一、五五七、四四五	五、二八一、二〇三	三八	三五	二六	三〇	一五	七	二三	二三	一八	二一	一三	六	三六	二四	二二
新竹	三七六、〇九四	三八一、八二一	一三六、六〇六	八九四、五一三	三七	三三	三〇	三〇	一六	一〇	二七	二七	二三	一八	一四	八	―	―	―
臺中	一五二、一〇五	四八七、七〇〇	六四、〇六六	七〇三、八七一	三六	三〇	二八	二一	一三	七	―	―	―	二〇	一三	七	―	―	―
臺南	一、一〇四、五九二	九一〇、三三七	三一四、〇〇〇	二、三二八、六三〇	四二	三五	二八	三六	一八	一〇	二二	二三	一五	二一	一五	八	三六	二二	二〇
高雄	一八六、七五四	七五、四五六	五二、〇五〇	三一四、二六一	四六	四六	三五	二二	一八	一八	―	―	―	二〇	一三	七	―	―	―
澎湖	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―
臺東	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―
花蓮港	七五、四一四	五一、二七二	四五、三〇二	一七一、九九〇	三七	三七	三五	二二	一八	一八	二四	二三	二三	一七	一七	一四	二七	二七	二七
合計	三、六三五、五八四	三、八八九、四一四	二、一六九、四七一	九、六九四、四七一	四六	三七	二六	三六	一八	七	二二	二二	一五	二一	一三	六	二七	二四	二〇
前月末合計	三、六七二、一一三	三、九〇二、六〇七	二、〇三六、六七三	九、六一二、三九五	四六	三七	二五	三〇	一八	七	二二	二二	一八	二一	一三	六	二七	二四	二〇
△は減	△三六、五二九	△一三、一九三	一三二、七九八	八二、〇七六	―	―	一	六	―	―	―	―	△三	一	―	―	―	―	―

◈臺北物價指數表（昭和二年八月末）

品目		本月	前月	前年同月
白米	(一)	二四一・七七	二四四・一八	二六一・六三
玄米	(一)	一五〇・〇〇	一五七・八九	二〇九・二一
清酒		三三一・四三	三三一・四三	三三一・四三
麥酒		一七三・〇〇	一七三・〇〇	一七三・〇〇
紅酒		三三六・三三	三三六・三三	三三六・三三
澤庵漬	(一)	二三三・三三	二四〇・七四	二三三・六七
小麥粉		一六三・七七	一六三・七七	一五八・四九
砂糖	(十)	一五四・三三	一五一・六〇	一三六・二四
鰹節	(一)	一九三・六六	一九七・四二	二三八・五九
味噌		一三三・八四	一三三・八四	一四九・三三
醬油		一三八・六三	一三八・六三	一五〇・〇〇
鷄卵		二〇〇・〇〇	二〇〇・〇〇	二三三・八五
火油	(一)	一三〇・五一	一三〇・七六	一四八・七二
鹽		一四〇・九一	一四〇・九一	一四〇・九一
煙草		一八〇・〇〇	一八〇・〇〇	一八〇・〇〇
烏龍茶	(十)	八五・六八	八三・四九	九四・九七
包種茶		一三一・〇四	一三一・〇四	一三七・九三
白木綿	(十)	一四三・八五	一三八・八八	一七四・六〇

品目		本月	前月	前年同月
綿布		一三六・五〇	一三六・五〇	一四六・九八
洋紙		一六九・三六	一六九・三六	一八三・六〇
日本紙		二三八・八八	二三八・八八	二三三・三三
杉板		一六六・六六	一六六・六六	一六六・六六
杉材		一七五・〇〇	一七五・〇〇	一八七・五〇
洋鐵	(一)	一四三・二〇	一四七・三六	一五七・八九
鉛	(一)	一三一・二五	一三七・五〇	一五六・二五
銅	(一)	一三六・九三	一三八・五七	一三三・六五
煉瓦		二三六・〇八	二三六・〇八	二〇八・七〇
日本瓦		一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇
板硝子		一二二・五〇	一二二・五〇	一三一・二五
セメント		一七三・五三	一七三・五三	一八五・二九
燐寸		二一三・二四	二一三・二四	二三七・一六
石油	(十)	一五三・六八	一五〇・〇〇	一四一・八一
石炭		一七〇・〇〇	一七〇・〇〇	一五〇・〇〇
木炭	(一)	二五三・三三	二五四・〇〇	二六〇・〇〇
薪	(一)	二五七・一四	二六四・二八	二七一・四三
平均	(一)	一七五・九七	一七七・五〇	一八四・六六

備考　本表は大正三年七月の物價を一〇〇として計算せり(十)印は騰貴(一)印は下落を示す

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

州廳別										
臺中	二三六,九〇〇	七〇三,八七三	一三〇,七九八	六七,六七八	一,九八一	—	一〇,七六八	—	三二,一四六	一,一七五,一四五
臺南	八〇三,二四〇	二,二三八,六三〇	三七五,九一四	七三,七三七	一,七三三	三,八四三	五,九四二	二七,三六九	一二四,八九〇	三,六七四,二三二
高雄	六〇,九〇〇	二二四,三六一	一二五	—	—	—	—	—	二,七八八	二七八,一七五
澎湖	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
臺東	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
花蓮港	八八,五〇〇	一七一,九九〇	四七,三三〇	二〇,七八三	—	一七,〇〇〇	二,九七六	—	七,五七一	三五六,〇四三
合計	二,九三四,六五五	九,六九四,四七一	一,一三六,六三〇	四〇三,九八四	一六,六五六	二六七,七六八	四〇,四四八	五一,三四六	三六五,〇三一	一四,八八九,八九二
前月末合計	二,九一九,〇三五	九,六二一,三九五	一,一三六,五三二	四〇九,六三六	二〇,五九九	二九七,六三六	三二,七〇〇	六八,二一三	三〇四,七三七	一四,七九〇,三八五
△は減	一五,六二〇	七三,〇七六	九八	△六,六五一	△三,九四三	△二九,八六七	七,七四八	△一六,八六六	六〇,二九四	九九,五〇六

(其ノ三)

州廳別＼種別	貯金内譯 組合員貯金	貯金内譯 第一條第三項貯金	貯金内譯 第一條第四項貯金	貯金内譯 計	貸付金利率 最高	貸付金利率 普通	貸付金利率 最低	貯金利率 最高	貯金利率 普通	貯金利率 最低	借入金利率 最高	借入金利率 普通	借入金利率 最低	預ケ金利率 最高	預ケ金利率 普通	預ケ金利率 最低	手形割引歩合 最高	手形割引歩合 普通	手形割引歩合 最低
臺北	一,七四〇,八二三円	一,九八二,九三四円	一,五五七,四四五円	五,二八一,二〇二円	二八厘	二五厘	二六厘	二〇厘	一五厘	七厘	三三厘	二三厘	一八厘	二一厘	一三厘	六厘	二六厘	二四厘	二二厘
新竹	三七六,〇九四	三八一,八一三	一三六,六〇六	八九四,五一三	三七	三三	三〇	三〇	一六	一〇	二七	二七	二三	一八	一四	八	—	—	—
臺中	一五二,一〇五	四八七,七〇〇	六四,〇六六	七〇三,八七一	三六	三〇	二八	二一	一三	七	—	—	—	二〇	一三	七	—	—	—
臺南	一,一〇四,二九三	九一〇,三三七	三一四,〇〇〇	二,三二八,六三〇	四三	三五	二八	三六	一八	一〇	二三	二三	一五	二三	一五	八	二六	二三	二〇
高雄	一八六,七五四	七五,四五六	五二,〇五〇	三一四,二六一	四六	四六	三五	三三	一八	一八	—	—	—	二〇	一三	七	—	—	—
澎湖	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
臺東	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
花蓮港	七五,四一四	五一,二七三	四五,三〇三	一七一,九九〇	三七	三七	三五	三三	一八	一八	二四	二三	二三	一七	一七	一四	二七	二七	二七
合計	三,六三五,五八四	三,八八九,四二四	二,一六九,四七一	九,六九四,四七一	四六	三七	二六	三六	一八	七	三三	二三	一五	二三	一三	六	二七	二四	二〇
前月末合計	三,六七二,一二四	三,九〇三,六〇七	二,〇六六,七二二	九,六二一,三九五	四六	三七	二五	三〇	一八	七	三三	二三	一八	二一	一三	六	二七	二四	二〇
△は減	△三六,五二九	△一三,一九二	一三三,七九八	七三,〇七六	—	—	一	六	—	—	—	—	△三	一	—	—	—	—	—

◈臺北物價指數表（昭和二年八月末）

品目		本月	前月	前年同月
白米	(−)	二四一・二七	二四四・一八	二六一・六三
玄米	(−)	一五〇・〇〇	一五七・八九	二〇九・二一
清酒		三二一・四二	三二一・四二	三二一・四二
麥酒		一七二・〇〇	一七二・〇〇	一七二・〇〇
紅酒		三三五・三三	三三五・三三	三三五・三三
澤庵漬	(−)	二三二・二三	二四〇・七四	二二三・六七
小麥粉		一六三・七七	一六三・七七	一五八・四九
砂糖	(十)	一五四・三三	一五一・六〇	一二六・二四
鰹節	(−)	一九三・二六	一九七・四二	二二八・五九
味噌		一三三・八四	一三三・八四	一四九・二三
醤油		一三八・六三	一三八・六三	一五〇・〇〇
鶏卵		二〇〇・〇〇	二〇〇・〇〇	二二二・八五
火油	(−)	一三〇・五一	一三〇・七六	一四八・七二
鹽		一四〇・九一	一四〇・九一	一四〇・九一
煙草		一八〇・〇〇	一八〇・〇〇	一八〇・〇〇
烏龍茶	(十)	八五・六八	八三・四九	九四・九七
包種茶		一三一・〇四	一三一・〇四	一三七・九三
白木綿	(十)	一四二・八五	一三八・八八	一七四・六〇

品目		本月	前月	前年同月
綿布		一二六・五〇	一二六・五〇	一四六・九八
洋紙		一六九・三六	一六九・三六	一八二・六〇
日本紙		二三八・八八	二三八・八八	二三三・三三
杉板		一六六・六六	一六六・六六	一六六・六六
杉材		一七五・〇〇	一七五・〇〇	一八七・五〇
洋鐵	(−)	一四二・一〇	一四七・二六	一五七・八九
鉛	(−)	一三一・二五	一三七・五〇	一五六・二五
銅	(−)	一二六・九三	一二八・五七	一二三・六五
煉瓦		二二六・〇八	二二六・〇八	二〇八・七〇
日本瓦		一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇
板硝子		一一二・五〇	一一二・五〇	一二一・二五
セメント		一七三・五三	一七三・五三	一八五・二九
燐寸		二二二・二四	二二二・二四	二二七・一六
石油	(十)	一五三・六八	一五〇・〇〇	一四一・八一
石炭		一七〇・〇〇	一七〇・〇〇	一五〇・〇〇
木炭	(−)	二五三・三三	二五四・〇〇	二六〇・〇〇
薪	(−)	二五七・一四	二六四・二八	二七一・四二
平均	(−)	一七五・九七	一七七・五〇	一八四・六六

備考　本表は大正三年七月の物價を一〇〇として計算せり（十）印は騰貴（一）印は下落を示す

□平均指數五箇年對照表

月次	昭和二年	昭和元年 大正十五年	十四年	十三年	十二年
一月	一七八・四〇	一九〇・七九	二〇三・二三	一九一・八一	一九一・六四
二月	一七八・八三	一九〇・九五	二〇三・三〇	一九一・九四	一九五・三二
三月	一七八・三九	一八八・二一	二〇〇・六〇	一九一・三三	一九六・〇六
四月	一七七・三七	一八八・三五	二〇〇・三三	一九一・五九	一九六・〇一
五月	一七七・六四	一八六・〇二	一九三・五〇	一九四・一六	一九五・二七
六月	一七八・二七	一八五・二〇	一九二・八七	一九二・七六	一九五・〇七

月次	昭和二年	昭和元年 大正十五年	十四年	十三年	十二年
七月	一七七・五〇	一八五・二一	一八五・一〇	一九一・六一	一九〇・八六
八月	一七五・九七	一八四・六六	一九五・二七	一九三・九二	一九〇・五六
九月	—	一八三・二五	一九五・六三	一九八・三〇	一九三・〇四
十月	—	一八三・五四	一九三・三八	二〇二・四一	一九〇・三三
十一月	—	一八一・五九	一九三・一六	二〇五・〇三	一九二・三八
十二月	—	一八〇・〇七	一八九・七四	二〇三・三三	一九三・六六

□各年月ヲ一〇〇トセル本月平均指數

基礎年月	二年五月	十五年六月	十四年六月	十三年六月	十二年六月
本月平均	九九・一三	九五・二九	九〇・二	九〇・七四	九二・三四

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

漢詩

蔗菴督憲見贈爛心木所製一机賦謝

國分青厓

臺灣有名木。木理自成文。新製机遺我。可無詩報君。平生感風義。坐臥挹清芬。寂寞一宮宅。騁神南島雲。

石川柳城翁新築捉月菴有詩見示卽次韻呈政

阪本蘋園

東山新起好亭臺。三面扇窗迎月開。最是酒醒鐙炧處。松風謖々夜深來。

中秋寄懷臺灣諸友

藤波千溪

去年賞月漢江干。扇港今年思百端。白露中天丹桂墜。黑潮萬里碧雲殘。臨風嘯詠遙窮目。異地東南隔倚闌。身跡悠々作萍水。明年何處復相看。

中秋

爽氣西來秋正中。一如心鏡點塵空。團々月滿三千界。落々星稀十二宮。惟有虬龍舞幽壑。不敎魑魅出深叢。誰家入破笛聲起。吹送桂花枝上風。

贈潤菴詞長

小松天籟

主持筆政老成人。報紙朝々說道眞。一把華旨橫議掃。蓬瀛何可傚三民。

丁卯古曆中秋偶括

雲宿山腰我倚欄。一天無翳月丸々。良宵若箇何虛過。杯酌清光取次乾。

寄懷藤波千溪先生

魏潤菴

聞道香爐宅。移居扇港濱。遙吟詩寄我。又値節懷人。明月中秋好。清詞幼婦新。重遊如可約。掃石近松筠。

Digitized by Google   Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

中秋夜次韻二首竝寄

秋人秋月本相干。人在中庭月上端。衣薄難勝宵露重。園荒猶未晚花殘。劫餘書卷嗟何補。望裏江湖思欲闌。賴有新詩堪慰藉。吟成把示遞傳看。

團圓皓魄正秋中。盡歛浮雲現碧空。閃々一條銀漢水。沈々終古廣寒宮。藥何擣兎憐孤影。竹乍驚厖過短叢。墻外大觀山對峙。照人團坐若屛風。

劍潭寺二首　劉篁邨

自擲延平三尺劍。龍光夜々斗牛騰。我來何處英雄覓。潭水無言獨起稜。

朱家王氣已銷傾。無復寒潭拭劍聲。惟有寺僧多感慨。如來不說々延平。

丁卯初秋渡臺船中口占　西川萱南

南飛萬里逐秋鴻。鼉浪連天海氣濛。忽有風師披夕霧。星河爛射舵樓紅。

週甲自詠二首　鄧盛輝

容易年華屆杖鄉。纔過六十次重陽。庸材老愈增庸朽。不及黃花晚節香。

皓首推敲悔既遲。騷壇筆陣勉驅馳。五千軍馬羣爭掃。慙我常須指使時。

夢見小泉盜泉　猪口鳳菴

墜地如人去似仙。魂兮合住大羅天。入吾夢裡無多子。三十年來一盜泉。

人間小住謫神仙。緣盡飄然去上天。昨夜分明來入夢。一甌贈我玉霄泉。

丁卯古中秋

一年第一可憐宵。故滅燈檠茗椀澆。月脇游雲如舞鶴。載吾詩思上層霄。

旭岡曉望　李遂初

一望山光接水光。關門曉日勝斜陽。獨憐廢壘秋風裡。憑弔當年古戰場。

中秋對月思前賢　伊藤壺溪

簞瓢陋巷不知憂。遵道乘桴絕技求。皓白此心堪對月。風清二十一回秋。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

俳句

孕江選

門川の上げ藻の匂ひ秋晴るゝ　住吾

鯊釣や暮風立ちし眞菰原　同

秋の燈に見れば眼赤き守宮かな　同

押花の色の移りや秋燈　同

媽祖廟や皆赤蠟の秋燈　素山

一岩を領して鯊を釣りにけり　同

舟揺れて我影失せぬ鯊を釣る　同

一山の杉の穂立や秋晴るゝ　同

秋の燈に散らかるものや句座のあと　靜雪

上ミ下モに鯊釣見ゆる渡舟かな　同

秋晴やかたまり見ゆる濱榕樹　同

鯊を釣る甘蔗畑裾の砂川に　同

鯊釣やからくれないの夕景色　紫川

秋日和大橋渡る人見ゆる　同

鯊釣や麓暮れたる川明り　同

たまく\〵歸北して

なつかしき大屯仰ぐ秋日かな　同

秋晴の大王椰子の並木かな　みさく

秋の日や甘蔗の葉風の遠移り　同

秋の燈や話もなくて飲むばかり　同

秋燈や誰も來ぬ夜のホ句いぢり　同

鯊釣や竿置き慣れし岩の窪　不二居

煉瓦塀渡り居る兒や秋晴るゝ　同

鯊釣るやくはへ煙草の消えしまゝ　同

小包に妻忙はしなや秋燈下　同

我が庭やカンナの叢のあるばかり　巨洲

網干竿月の濱邊に幾はしり　同

サボテンの人に似て立つ今日の月　同

城壁に人現はれぬ夏の月　同

流し元せゝる家鴨や秋の晝　みどり女

子を寐せてひとくつろぎや緣凉み　同

厨衣のほころび縫ひつ日向ぼこ　同

春芝居來てゐる筈の夫いづこ　同

鯊舟に芥流るゝ汐となり　孕江

鯊釣や汐満ちきりし杭がしら　同

移り來て秋燈ことに明るけれ（轉居）　同

秋晴やへくそかづらのもぶれ咲き　同

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺灣日誌

自八月二十一日
至九月二十日

八月

▼二十一日
・蘇澳築港促成の爲地方民大會を開く
▼二十二日
・臺中州農事講習會を開く
・埔里實業協會創立大會
▼二十四日
・臺中州女教員講習會開催
・總督府昭和三年度豫算會議を開く
・臺南州消防講習會を行ふ
▼二十五日
・臺南州新營郡方面激震被害尠からず
▼二十六日
・暴風雨罹災救恤御下賜金を賜ふ
・臺北商工會稅制整理請願提出
・桃園聯合業佃會發會
▼二十七日
・臺北州教育講習會開催
・臺灣日日新報主催臺灣八景投票審査發表
▼二十八日
・全島水泳大會臺南に擧行
▼三十日
・臺南州視學會議を開く
・總督府人口食糧調査委員會を開く
・港灣打合會基隆に開かる

九月

▼一　日
・全島警察會議開催總督臨場
・社會事業講習會開かる
▼二　日
・宜蘭消防組記念演習會を行ふ
▼五　日
・第七回全島視學講習會を開く
▼六　日
・人口食糧調査會總督府に開かる
・臺北州産業組合講習會を行ふ
▼十　日
・內親王御誕生遊さる
・全島野球大會圓山運動場に擧行
▼十一日
・富田財務局長總督府明年度豫算書携帶上京す
▼十五日
・總督府評議員二十四名任命さる
▼十六日
・臺北州及高雄州郡守會議を開く
▼十八日
・專門學校對抗陸上競技會擧行
▼十九日
・臺北州警察課長會議を催す
▼二十日
・全島三等郵便局長會議を開く

人事消息

山田督府技師　八月二十四日東アフリカへ出發
梅本督府技師　同上
吉田廣島高師校長　八月二十五日來臺
竹內廈門副領事　同上
コックス博士　同日布哇より來臺
フラウエー博士　同上
松方正熊氏　八月二十七日來臺
武田高商校長　八月三十日歸臺
峯憲兵司令官　同日來臺
深川遞信部長　九月一日上京
阿部帝大教授　九月四日來臺

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

福士文部事務官　同上
片山工務課長　九月六日上京
平山寅次郎氏　九月七日來臺
山中圖書館長　同日來臺著任
富田財務局長　九月十一日上京
小川運輸課長、九月十八日大連へ
古賀三千人氏　九月十九日歸臺
坂本素魯哉氏　同上
島田臺銀頭取　九月二十二日來臺

任命

昭和二年府報　自第百八十號至第二百四號

○八月二十日
臺灣土木技師ニ任ス　石黑弘毅

○八月一日
(各通)
臺灣總督府內務局長　豐田勝藏
臺北州知事　三浦碌郎
臺灣總督府殖産局長　高橋親吉
教科書調査會委員ヲ命ス

○八月二十日
臺灣土木技師　石黑弘毅
臺北市土木技師ニ補ス
(各通)
臺灣總督府臺北醫學專門學校長　堀內次雄
臺灣總督府法院檢察官　上內恒三郎
臺灣總督府臺北高等商業學校教授　新里榮造
第一回社會事業講習會講師ヲ命ス

○八月二十二日
臺灣總督府事務官　一戸二郎
事務官和田一次缺勤中法務課長代理ヲ命ス

○八月二十四日
任臺灣總督府地方技師　高雄州技手　三田鎌次郎

○八月二十二日
臺灣總督府交通局技師　堀口勉一郎
歐米各地へ出張ヲ命ス

○八月二十四日
臺灣總督府事務官　小林光政
上京ノ序ヲ以テ靜岡縣下へ出張ヲ命ス
臺灣總督府交通局技師　堀口勉一郎
上京ヲ命ス
臺灣總督府地方技師　三田鎌次郎
臺中州勤務ヲ命ス

○八月二十四日
臺灣總督府事務官　野口敏治
事務官坂口主稅缺勤中文敎局社會課長代理ヲ命ス
臺灣總督府視學官　山口重知
事務官坂口主稅缺勤中博物館長代理ヲ命ス
臺灣總督府視學官　土性善九郎
事務官坂口主稅缺勤中成德學院長代理ヲ命ス
臺灣總督府結核療養所醫官　後藤俊郎
松山療養所長梅木英太郎不在中代理ヲ命ス

○八月二十六日
臺灣總督府技師　井手薫
東京府下へ出張ヲ命ス
臺灣總督府事務官　中田榮次郎
上京ヲ命ス
臺灣總督府地方技師　宮上龜七
東京、大阪、兵庫、長崎、愛媛、高知ノ二府四縣下へ出張ヲ命ス

○八月二十九日
臺灣總督府交通局參事　深川繁治
東京、熊本ノ兩遞信局管內へ出張ヲ命ス
臺灣總督府地方警視　今澤正秋
東京、宮城、山梨、福岡ノ各府縣へ出張ヲ命ス

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

○八月三十日
臺灣總督府技手 永島文太郎
任臺灣總督府技師
山中樵
任臺灣總督府圖書館長
判事 坂元義文
任臺灣總督府法院檢察官
臺灣總督府臺北高等學校敎授 瀨邊惠鎧
兼任臺灣總督府中央研究所技師

○八月三十日
臺灣總督府技師 永島文太郎
總督官房會計課勤務ヲ命ス
臺灣總督府法院檢察官 坂元義文
補臺中地方法院檢察官
臺灣總督府醫院醫長兼臺灣總督府臺北醫學專門學校敎授 加納芳次
文官分限令第十一條第一項第四號ニ依リ休職ヲ命ス

○八月三十一日
臺灣總督府技師 永島文太郎
依願免本官

○八月三十一日
臺灣總督府法院檢察官 菅元生
補臺北地方法院新竹支部檢察官
臺灣總督府法院檢察官 中山孝一
補臺南地方法院嘉義支部檢察官
臺灣總督府法院檢察官 林藤香
補臺中地方法院檢察官

○九月一日
臺灣總督府警視 木原圓次
臺地調査委員會幹事ヲ命ス

○八月二十九日
臺灣總督府在外研究員 楠井隆一
在留國中米國ヲ追加ス

○八月三十日
臺灣總督府視學官 若槻道隆
圖書館長山中樵不在中代理ヲ命ス
臺灣總督府視學官 若槻道隆
圖書館長事務取扱ヲ免ス

○九月三日
(各通)
臺灣總督府財務局長 富田松彦
臺灣總督府地方理事官 菱村彦十郎
上京ヲ命ス
臺灣總督府技師 森三郎
支那福州ヨリ東京、京都、石川ノ各府縣下ヘ出張ヲ命ス

○九月三日
久保朝二
任臺灣總督府醫院醫長

○九月三日
臺灣總督府醫院醫長 久保朝二
高雄醫院長ヲ命ス

○九月五日
臺灣總督府法院判官 伴野喜四郎
法院判官懲戒委員ヲ命ス
臺灣總督府法院判官 緒方淸纘
法院判官豫備懲戒委員ヲ命ス

○九月五日
臺灣總督府屬陸軍步兵少尉 戶田淸三
任臺灣總督府視學官
公莊勝二郎
臺灣土木技師ニ任ス

○八月二十九日
臺灣電力株式會社理事 永田隼之助
臺灣電力株式會社理事ヲ免ス

○九月二日
(各通)
大越大藏
山中義信
臺灣電力株式會社理事ヲ命ス

○九月五日
臺灣總督府視學官 戶田淸三

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

文敎局督學室勤務ヲ命ス
臺灣土木技師 公莊勝二郎
任臺南市土木技師

○九月三日

臺灣總督府醫院醫官 渡邊四郎
高雄醫院長久保朝二不在中代理ヲ命ス

臺灣總督府醫院醫官 渡邊四郎
高雄醫院長事務取扱ヲ免ス

臺灣總督府事務官 中田榮次郎
上京ノ序ヲ以テ大阪、廣島ノ各府縣下ヘ出張ヲ命ス

臺灣總督府圖書館長 山中樵
赴任ノ途次上京ヲ命ス

○九月五日

臺灣總督府交通局技師 片山活三
上京ヲ命ス

臺灣衛生技師 安部貞次
東京大分ノ各府縣下ヘ出張ヲ命ス

○九月八日

臺灣總督府圖書館長 山中樵
第一回社會事業講習會講師ヲ命ス

臺灣總督府醫院醫官 秋山爲夫
東京、京都、大阪、愛知ノ各府縣下ヘ出張ヲ命ス

○九月十日

領事兼臺灣總督府事務官 內田五郎
免兼官

和田一郎
任臺灣總督府法院判官

臺灣總督府結核療養所醫官 後藤俊郎
任臺灣總督府醫院醫官

臺灣總督府醫院醫官 今田資一
任臺灣總督府結核療養所醫官

○九月十日

臺灣總督府法院判官 和田一郎
補臺南地方法院單獨部判官兼臺南地方法院合議部判官

臺灣總督府醫院醫官 後藤俊郎
基隆醫院勤務ヲ命ス

臺灣總督府結核療養所醫官 今田資一
松山療養所勤務ヲ命ス

○九月十一日

臺灣總督府事務官 辰野龜男
財務局長宮田松彥不在中代理ヲ命ス

臺灣總督府圖書館長 山中樵
第七回視學講習會講師ヲ命ス

○九月十日

臺灣總督府結核療養所醫官 今田資一
松山療養所長梅本英太郎不在中代理ヲ命ス

○九月九日

臺灣總督府技師 松岡冬樹
一時歸府ヲ命ス

○九月十五日

（各通）

臺灣總督府高等法院長 相原祐彌
臺灣總督府內務局長 豐田勝藏
從三位勳二等 高木友枝
正五位勳六等 島田茂
赤石定藏
三好德三郎
勳四等 林熊徵
吳昌才
顏國年
黃純靑
小畑勇吉
勳六等 簡朗山
坂本素魯哉
勳三等 辜顯榮
松岡富雄
李崇禮
正五位勳四等 荒卷鐵之助
鈴木重臣

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

黃　　欣
鄭　沙　棠
古賀三千人
平山寅次郎
勳六等　藍　高　川
陳　啓　貞

臺灣總督府評議會員ヲ命ス
（各通）

臺灣總督府事務官　生　駒　高　常
同　水　越　幸　一
同　一　戸　二　郎

臺灣總督府評議會幹事ヲ命ス

臺灣總督府法院通譯　中　間　小　二　郎

臺灣總督府評議會通譯ヲ命ス

○九月十四日

臺灣總督府交通局技師　片　山　活　三

上京ノ序ヲ以テ新潟縣下ヘ出張ヲ命ス

○九月十六日

休職臺灣總督府地方理事官

園　部　　薫

依願免本官

○九月十四日

臺灣總督府交通局參事　小　川　嘉　一

朝鮮竝南滿洲及關東州ヘ出張ヲ命ス

○九月十六日

臺灣總督府典獄　本　多　理　三　郎

東京、大阪、靜岡、廣島、福岡ノ二府三縣下ヘ出張ヲ命ス

○九月十九日

岩　切　辰　雄

任臺灣總督府法院檢察官

○九月十九日

臺灣總督府法院檢察官　岩　切　辰　雄

補臺南地方法院嘉義支部檢察官

○九月二十日

臺灣總督府事務官　尾　佐　竹　　堅

警務局衞生課勤務ヲ命ス

○九月二十日
（各通）

臺灣總督府殖産局長　高　橋　親　吉

臺灣總督府技師　鈴　木　進　一　郎

上京ヲ命ス

○九月二十一日

臺灣總督府地方技師　穴　澤　顯　治

臺灣中央衞生會臨時委員ヲ命ス

○九月二十一日

臺灣總督府事務官　中　瀨　拙　夫

殖産局長高橋親吉不在中代理ヲ命ス

○九月二十二日

臺灣總督府事務官　中　田　榮　次　郎

株式會社臺灣銀行監理官富田松彥不在中代理ヲ命ス

臺灣總督府警務局長　本　山　次　平

東京、大阪、新潟ノ各府縣下ヘ出張ヲ命ス

臺灣總督府州事務官　增　田　秀　吉

長崎、福岡ノ二縣下竝支那上海、福州、廈門、汕頭、廣東、澳門及英領香港ヘ出張ヲ命ス

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

支那及南洋情報

臺灣總督官房調查課

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

目次

支那

孫軍急進の破綻……一
孫軍北退後戰局の新觀察……一
孫傳芳縱談中の戰局……二
武漢・南京・上海各要人の新政府建立……三
共産軍の方向轉換……六
天門會匪の慘虐は馮の指金……八
馮・靳兩軍の現狀……八
廣東情報……一一
江蘇の棉産情態調査……一三

比律賓

總督代理の第七回比島立法部に與へたる教書(二)……一八

佛領印度支那

印度支那雜報……二三
印度支那主要輸出入市場調査……二五

英領馬來

一九二六年のジョホール概況……二六
印度人勞働者の一九二六年度狀況……二八
一九二六年度馬來聯邦州貿易……二九
護謨價の下落と護謨株の消長……三一

英領北ボルネオ

英領北ボルネオ農業統計要覽……三三

蘭領東印度

爪哇マヅラに於ける古々椰子物産の生産輸出入及消長(一)……二五
蘭領東印度に於ける油椰子竝に土人護謨栽培業……三五

英領印度

印度に於けるラツクに就て……四五

情報

支那

□孫軍急進の破綻

孫傳芳軍が浦口を占領して南京攻略を決定した時、其の中心として蚌埠に據り後方の守備を鞏固にすべきであつた。然るに地盤關係の問題に累はされムヤミな前進を續けた爲め、後方の守備を弛めたのは孫軍破綻の大原因である。之に反し武漢軍の前進が蚌埠地方を目標としたのは亦間に乘じて敵地に入らんとするもので當然の策戰である。

若し武漢軍が豫定の計畫に依つて進行を繼續せんには山東軍は之に對し急に迎へ戰はねばならなくなつて、かゝる狀態下の交戰にては北軍の不利は甚しい。若し果して北軍が其の地盤の安全を期したならば、必ず山東を鞏固にするは前提とし、少くとも孫傳芳軍をして蚌埠以北に集中し、徐州を以て中心とし、これによつて側面から襲來する武漢軍に備へて、其の南京攻略の野心を放棄させねばならない。若し孫傳芳軍が急進に過ぎ、たとひ一時は南京を占領し、甚しきは上海まで其の掌握に歸するに至つたとしても、一朝武漢軍が東下して江寧の南軍と共同動作を取るに至らば、上海・南京の一時占領は今後何の意義も爲さないのみならず又更に孫傳芳軍をして自滅の地に陷ゐらしめるであらう。故に直隷山東聯軍の爲めに計るに、苟も孫軍にして尙ほ撤退せざらんか。其の撤退せないまゝにし自己の軍は力めて山東の地盤を鞏固にするを圖つて、河南を進取するの念を放棄し、力を消極的防備に致すを萬全の策とすべし。されど若し津浦沿線に於て武漢軍の進展を見るに至らば時期已に晩きに失し、之を萬全の策とは謂ひ難からん。之を要するに一時已に平穩の觀を呈した江北の戰局も、孫軍の暴進妄取に累はされ再び不穩の空氣を釀成するに至らん。（九月四日—順天時報某軍事專門家の談）

□孫軍北退後戰局の新觀察

孫傳芳軍北退の後、各方面の觀測を綜合するに略ぼ次の如し。「前に奉天派幹部は孫傳芳の南京攻略に對し深く之を否とし幾度も之を勸阻したところであるが、今回孫軍が渡江失敗の後、却つて冒險的行動を愼み從前の如き地盤的野心を見合せ、全力を以て現在戰局に對應することゝなつた。是を以て今後の戰局は却つて甚だ喜ぶべき形勢を示すに至り、孫軍が江南を抛棄して急速に北退を開始したのは極めて得策であると謂はれる。」

「又大局上より之を觀測するに、一時孫軍の猛進に因つて津浦線後路の防務は最も懸念すべきのみならず、しかも孫軍が再び徹底的に江南に在つて成功すれば山東軍と孫軍との聯絡は反つて斷絶して、殊に非常の損失を蒙るの虞がある。しかるに今や不幸の幸にして孫軍は未だかゝる大損失を蒙らざる間に江南攻略の計を斷念し其の主力を蚌埠方面に移したので、徐州から蚌埠方面までの不安的形勢を一掃し又武漢南京聯合軍の北上に對し、亦十分に防戰の準備を爲すを得る譯である。然るに目下の最も注目すべきものは馮玉祥の態度である。蓋し武漢南京兩派の彼に對する感情は皆甚だ惡しく、其の朝變暮改の變節は大に兩派の信用を失つて居る。故に彼等が果して能く合作するや否やは頗る疑問に屬するが、しかも馮玉祥の戰局に參加すると否とは北方に於ける影響極めて大である。若し馮が北伐に參加せば北軍は須く全力を傾注して作戰を愼重にし、首として直隷山東軍を嚴重に約束し、それをして徒らに野心を逞しうせざらしむべし。又馮が南方に加入せざるときは彼の現勢は依然として亦發展する所なからん。此の時彼は未だ退いて陝西に入らざる前に在りて須く主力を河南の西部に集中して形勢を觀望しつゝ、其の獨特の策略を弄して將來の根據地を謀るべく思はる。之を要するに馮が南北兩軍の戰線に加入せざれば、北軍は孫軍の北退神速に因つて亦危機を免かれたるも、今後尚ほ馮軍相當の牽制を受くべきである。

（九月六日―順天時報）

□孫傳芳縱談中の戰局

孫氏は九月十六日午前、北京東城王佐胡同なる王占元宅に在り某社記者に對し其の問に答へて曰く、津浦線正面にては徐州以南更に正式の國民黨軍なきも、其の殘軍が土匪と聯合して地方の治安を擾亂しつゝあるは余の聞ける所なり。只余は軍備を整ふること已に數日に及ぶ。急に再び黨軍と一と勝負を爭はんと願ひ居るも、奈何せん彼等氣已に餒えて敢て北進せざるを。余が蚌埠を離れし時我が軍の最前線は徐州以南に在り。余出發の時已に前方の事務を鄭俊彦總司令に託して處置せしむることゝしたり。故に其の後は如何なりしかは言ふ能はざるも要するに徐州附近に最前線はある筈なり。又江北の情形は如何といふに、現に海州以東は仍ほ我が軍の主管する所に

して大變動はなし。又渡江の役蔣軍の死亡は未だ調査を經ざるも約少數に非ざるは事實ならん。我が軍前後に受けし損失は確に一萬人以上なりき。最も今回の渡江は地盤問題の爲めならず、實に江蘇の父老連が桑の苛法に苦み速に來つて救濟を懇請せること一再ならざるを以て冒險的に出でざるを得ざりしなり。然るに未だ江を渡らざる前已に其の必勝を操り難きを知れるも、志民を救ふに在れば何の勞をか辭せん。現に江北に返ると雖も區々の心實に江蘇父老に對し大に氣の毒の感に打たれつゝある。又隴海線方面は南軍の擔任區域にして余の知る能はざる所なるが、河南は某邑より開封に至るまで所有村落は皆廢墟となり土匪充滿すれば、居民は啻に糊口する能はざるのみならず、且つ逃るゝに地なく、燒くべきの薪もなく、情形悽慘にして聞くもの自ら涙を落すのみ。江蘇が蔣軍に占領せられしより以來一切誅求苛歛の政のみにて民怨沸騰せり。更に日數を經ば必ず河南の二の難を演出するに至らん。我が軍渡江の前には南軍の徐州に在るもの確かに七萬人あり。然るに余は四個師團に滿たざるの軍隊を以て之を壓迫し彼等をして風を望みて逃れしめたるは、一は人民愛戴の結果なりとは云ふものゝ、第一は指揮官の措置裕如たるに由れり。然るに今回の渡江に失敗せしは各指揮官の責に任ずべきなりと思ふ。次に又南京の實情を觀るに、已に民窮し財盡きて久しからざるに第二の河南を現出せん。今回蔣介石が其の職を離るゝや、事前確に一千一百萬元を佛國へ爲替を組み、其の夫人は米國に留學するに米國旗の支拂票二百萬元を攜へ行けり。此の外楊虎が上海にて事に任ずる四十五日間に已に六百萬元を徵收し去れり。國民黨人が我等を攻擊するに貪官汚吏の口號を用ひ居るが、畢竟何れが之に相當すべきかは上海に到りしものゝ能く知悉する所ならん。終りに臨み我が軍每月の軍餉はといふに、八十萬元づゝを支拂ふ譯にて、其の財源は直隸山東中央の三方面の負擔に歸す。余の軍隊は安民を以て主と爲すものなれば決して地方に就いて籌餉することなし云々と。

□武漢・南京・上海各要人の新政府建立

九江會議と譚氏大元帥　過般の九江會議には馮玉祥軍參謀長劉驥も列席して「（一）武漢派は近く南京に移り、武漢派中心の合同政府を樹立すること。（二）譚延闓氏を南方の大元帥に推薦す。（三）馮玉祥・閻錫山の提携成れるを以て山西軍は山西省境たる娘子關を根據として奉天軍の京漢線南下を阻止す。（四）武漢軍は南京に入り津浦線より北伐を繼續す。（五）武漢派は目下武勝關以北を馮の地盤とし、襄陽を根據として馮軍系の方振武を駐防に任じ、一切何方面にかける干涉を爲さず」との各項を決定したり。

（九月二日—北京・上海・電）

南京會議前の一波瀾　武漢要人の來滬して南京派要人と會見の結

果は餘り良好ならざるに似たり。聞く孫科・譚延闓が胡漢民と會晤せる際、胡は武漢派が前に共産派と聯絡せし一事に對し痛く攻撃を加へて謂ふ、武漢派は現在果して完全に共産派との關係を脫離せしや否やは尙ほ疑はし。若し南京派をして南京に在りて別に政府を組織せざらしめば、今日の神州は如何の現象を呈せしぞや。武漢派は應に叛逆罪を以て黨の制裁を受くべきなり。されば實に會議を召集するの資格なしと。胡氏がかく語れる際は聲色倶に厲しく、さすがの孫譚も默するの外なかりしといふ。

北伐軍事仍ほ進展せず、要するに在滬南京派要人の武漢方面に對する眞意は頗る懷疑的にて、殊に武漢派と共産派との關係に於て毫も釋然たる能はざるものあり。しかのみならず唐生智軍の江西に在るや常に地盤を攫取するを以て事とせるに、汪兆銘は泰然として動かず、先づ徐謙・顧孟餘の徒をして堂々として南京に入らしめ、恰も凱旋將軍の如く然るものあり。如上の二事は已に南京派をして不快の感あらしむるに足る。故に胡氏の復職は目下は望まれざる勢なり。但し今後の南京武漢合作の問題は應に武漢派讓步の程度如何に視て定まるべきなり。されば南京派の何應欽は北軍に對する戰爭に於ては已に消極的態度を取り、移に津浦線方面はたゞ之を武漢派及武漢派と接近せる李宗仁軍に擔任せしめ、只揚州方面に向つて若干の兵力を調動せるのみにて、彼自身は津浦線方面の戰事に參加するの模樣なし。故に北伐の發[illegible]なるも南京は未だ何の發展あるを知らず。

（九月八日—上海電）

南京特別委員會の兩政府併合手續　九月十五日南京なる中央黨部擧行の中央執行監察委員臨時會議は譚延闓座長となり深更に及びて散會し、翌十六日午後二時後に中央特別委員會の成立式を擧行し、各委員は宣誓の上就職し、次で第一回會議を開き、「（一）南京・武漢・上海の中央黨部・武漢南京兩政府・中央政治會議の過去及將來の併合方法並に其の手續（二）中國々民黨を鞏固にし完全なる統一方法を講ず。（三）積極的に第三回全國代表大會を準備し黨國永久の方針を解決す」との各項を議せり。（九月十七日—上海電）

南京政府の新組織　南京中央特別委員會の發會式は九月十六日午後二時に開會され、先づ孫總理の遺囑を朗讀し、各委員宣誓の後、宣言を發し會議に移れり。譚延闓・白崇禧等十九名出席し、何應欽・吳玉章・汪兆銘・唐生智・蔣介石・何香凝・閻錫山・胡漢民・許崇智・吳稚暉・李濟琛等は依然缺席せり。會議は其の進行を速かならしめんが爲め（一）黨務委員會（二）政府組織準備委員會の二小委員會を設け、小委員には中央黨部準備委員として譚延闓・謝持・于右任・蔡元培・張繼・張靜江を推し、政府組織準備委員として譚延闓・朱培德・程潛・白崇禧・覃振・伍朝樞・李烈鈞・李宗仁・李石曾・王伯群・蔡元培を薦め、此の成立式に次いで第一回大會を開き下の如き諸案を決議せり。（一）中央黨部の組織は宣傳・工人・農民・青年・婦女・海外・軍人の八部とす。（二）政府組織に關しては常務員五名を置き內政・外交・財政・司法・農工・實

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

業・交通の七部及大學院・軍人委員會を別に置く。(三)軍事委員會の下に參謀處・秘書處・海軍處・陸軍處・航空處・經理處・革命軍人裁判處・政治訓練を置く。(九月十七日—上海電)

南京中央執行監察委員臨時會議　九月十六日午後に開かれたる中央執行監察委員臨時會議は譚延闓主席の下に在りて「(一)中央執行委員或は候補執行委員にして共産黨に隷する譚平山・林祖涵・鄧演達等十六名と、中央監察委員・候補監察委員にして共産黨員たる二名を擧げて一律に黨籍より除く。(二)徐謙・顧大悲等の跨黨共産黨には中央監察委員會より監査を加ふ。(三)汪兆銘の自ら請へる處分は議するには及ばず。辭職を取消して其の就任せんことを請ふべし。(五)胡漢民・汪兆銘・吳稚暉・蔣介石の四人に就職を請ふべし。(五)李宗仁等三十二名を推して中央特別委員と爲す。(五)張繼・于右任・何香凝・李石曾・蔡元培の五人に命じ・中央監察委員會の職權を執行せしむ。」との各項を議決せり。(九月十五日—南京電)

出席の人物は各派に亘る　南京派の代表は伍朝樞・李石曾・蔡元培・張靜江・李烈鈞・李宗仁にて、武漢派の代表は孫科・譚延闓・朱培德・程潛・徐[illegible]謨・于右任代表、馮玉祥及前任廣州警察長吳鐵城、其の他西山派代表六人なり。

委員の更迭と選任　監察執行委員會新委員を以て國民黨より驅逐したる共産派六人の職を襲がしめ、廣西の黃紹雄は既に選ばれて監察委員となり、同時に又執行委員何應欽等九人を選出し、又徐謙等四人を監察委員會の檢査に委す。蓋し該四人は共産派に傾向せる嫌あればなり。又王寵惠は既に其の國民黨々員の資格を恢復し、並に胡漢民・汪兆銘・吳稚暉及蔣介石を電召し至急に南京に來り、特別委員會委員の職に就かしむることを議決し。又同會議にて會員三十二人を推擧して特別中央國民黨委員會と爲せり。內に汪兆銘・胡漢民・孫科・伍朝樞・李石曾・李宗仁・李烈鈞・馮玉祥・唐生智・蔣介石・程潛・閻錫山・譚延闓・李濟琛・何應欽・白崇禧等の人あり。又該會議にて汪氏が查辦を呈請せる呈文を棄却し、同時に汪氏を召し仍ほ其の國民黨主席職に復らしめたり。以上述ぶる所の國民黨籍を除名せる共産黨員を除くの外、尙ほ恐らくは將來必ず政界を脫離するの人物あらん。卽ち宋子文・蔣介石・汪兆銘・陳公博・顧孟餘・甘乃光等是なり。(九月十六日—上海電)

西山派に對する意見の不一致　特別委員會の規定にては委員たるものは代表を派するを得ず、缺席の時は候補委員を以て補充するの例なり。故に劉驥恐らくは出席する能はず。又實際に馮閻も皆參與し難からん。又國民黨の合作問題に關しては、西山派は人を派して武漢に赴き汪兆銘を迎へて南京に到らしめんとしたる事實あり。蓋し蔣介石は絕對に西山派の存在を認めざるも、西山派と汪とは夙に聯絡あり。武漢派は此の關係を利用して、西山派を合作に參加せしめ、以て蔣派の勢を分たしむ。蔣等の浙江派はこれに對し究めて甘心する能はず、現に正に杭州に在りて會議を開き、武漢西山兩派の策

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

に對抗するの準備中なり。（九月十五日―上海電）

新國民政府の出産　九月十七日の特別委員會にて次の如く議決せり。（一）軍事委員會委員は蔣介石より順次に六十三名を以て之を組織し、其の主席團は蔣介石・胡漢民・譚延闓・何應欽・汪兆銘・李宗仁・白崇禧・馮玉祥・閻錫山・朱培德・程潛・唐生智・李濟琛・楊樹莊を以て之を組織す。（二）國民政府委員會は胡漢民等四十二名を以て之を組織し。胡漢民・汪兆銘・蔡元培・譚延闓・李烈鈞を以て常務委員と爲す。（三）蔡元培を大學委員長、孫科を財政部長、王寵惠を司法部長　王伯群を交通部長、伍朝樞を外交部長とし、九月二十日より事務を取ることゝす。（九月十八日―南京電）

軍事委員會の組織大綱の要　十七日に南京側は軍事委員會の組織大綱十二條を擬し定たるが、其の要素は下の如し。（一）軍事委員會は各軍の最高機關と爲す。（二）委員は中央より經驗あるものを選みて之を任ず。（三）委員中五名或は七名を擧げて常務委員と爲す。（四）各省區行政機關の軍事に關係あるものは軍事委員會の指揮監督を受く。（五）戰時統一を謀るが爲め總司令を設け軍事委員會中より一名を選み政府より之を支持す。總司令の職は別に之を定む。

（九月十九日―上海電）

□ 共産軍の方向轉換

張の歸粵と賀・葉の敗退　九月三日李濟琛の言によれば、（一）張發奎は近く歸粵し、次で江西省南部に在る其の軍隊も入粵の豫定なり。（二）賀龍・葉挺の共産軍は約一萬ありしも、錢大鈞の爲めに福建南西省境に壓迫せられたりといふ。

日本の對滿政策攻撃　廣東に於ける新聞の論調は日本の滿蒙積極的政策に對し漸く攻撃的ならんとしつゝあり。（九月三日―廣東情報）

共産軍の發勢大なり　賀龍・葉挺の共産軍主力は既に韓江上游の大埔・蕉嶺・平遠・梅縣等を完全に占領し、復た附近農民團の彭湃と陳明深諸部の合作とを經て、目下其の先鋒は約四千なり、正に松黃に向ひて集中し、若し民船にして徴發使用を得ば直ちに一躍して韓江を渡りて潮汕に赴かんとするに似たり。之に對し潮梅警備司令何輯伍は早くも兵を率ゐて寧波に向つて去り、後任の王俊は尚ほ未だ著任せず。故に汕頭は九月六日以來已に無警備狀態に陷れり。

廣東當局の對共産軍布置　廣東當局は汕頭形勢の危急に鑑み、已に第四軍第十三師の徐華[illegible]部を召して惠州に赴かしめ、一方飛鷹艦を以て李福林の一部を載せ、七日急に汕頭に向ひ出發せしめたり。

賀・葉等第三勢力を造成せんとす　孫科側近者の言によるに、張發奎の全軍は共に三萬なるが、南昌の役に於て葉挺に其の二萬餘を引き去られ、餘す所は張及朱暉日・黃琪翔部僑に八千なり。黃琪翔は既に葉賀に通じ之をして東江に入らしめ黃自身は北江に入り、其の後に至り

李を倒して第三勢力を造成せんと欲しつゝあり。かくて梅縣各屬は多く賀・葉軍に占領せられ、興寧も亦失せり。李濟琛は陳濟棠を派して東路總指揮と爲し、蔣晳の師をして石龍に赴きて河源各屬に到らしめ、別に軍艦を派して汕頭に赴かしむ。（九月八日－上海・香港電）

唐・賀兩軍の敗退　唐生智は九月十三日漢口に返り直ちに李品仙の第八軍二個師をして、湘鄂鐵道線路に向ひて前進せしめたるが、唐生智軍の張國威師團は賀勝橋附近に在りて賀龍の第二十軍と開戰したるに共産軍敵する能はずして退却したれば、張國威師は賀勝橋停車場を占領したり。然るに共産軍の先鋒隊は湘鄂鐵道線路の警備嚴密なる爲め、忽然として鄂城一帶に侵入し、同地の守備軍二營の武器を押收し遂に鄂城を占領したり。唐生智は急に劉家廟の第七師を召集し、大江を渡り張國威師と協同して進み撃ち、一方武穴の駐軍に電命して黃石港一帶に沿ひ共産軍を夾攻せしめ、遂に之を平定したりといふ。

賀・葉軍の閩省横行　葉挺賀龍軍は九月八日上杭を占領したりといふも確ならず。同軍は前に會昌にて潰退し既に瑞金・汀州に歸し、海豐は十日に共産黨と土匪軍との合作の爲め攻め落され、陸豐も圍まれたれば、廣東軍處は再び二軍艦を派して汕頭に赴かしめたり。（九月十二十三日－漢口・香港電）

福建の賀・葉軍防禦　譚曙卿は賀葉共産軍の敗退軍に備ふる爲め、陳國輝・高義の各軍に命じ、汀州・龍岩方面に向ひて出動せしめ、各軍とも十二日に新生汽船に乘じ廈門より出發して中心地に赴かしめたり。（九月十三日－廈門電）

汕頭の小康と現狀　汕頭は其後小康を保ちつゝあり。但し支那砲艦國端艦長の談によれば、（イ）徐景棠は惠州方面より、陳濟棠は河源方面より數日内に當地に入るべし。（ロ）何輯伍は總司令參議に轉任、寧鎭警備司令王俊其後任となる筈。（ハ）土匪軍は福建省境に於て敗退せるを以て當地に入ることなかるべしといふ。

清黨主任の免職　九月十二日何輯伍の話によれば、清黨部主任何兆淸は已に其職を免ぜられ、去る七日上海に到着せりといふ。

何の出發準備　何輯伍は支那汽船を抑留し出發準備を完成し居れり。

李濟琛の意中　王俊の入粤は李濟琛の好まざるところなれば、何輯伍の後には李の部下居据はるものと觀測せらる。（九月十二日－汕頭情報）

王・錢の來汕　九月十七日、王俊・錢大鈞海路香港より來汕し、王俊は同十八日汕頭警備司令に就任、錢大鈞は不日梅縣に向ふべし。

南京派と廣東派との暗闘　王俊・錢大鈞の來汕は極秘裡に決行されたるものにして、李濟琛派の意表外に出でたるものゝ如く、當分南京派と廣東派との暗闘は免れざるべし。

對日絕交解決近し　對日經濟絕交は二三日中に解決を見るべし。（九月十八日－汕頭情報）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

□天門會匪の慘虐は馮の指金

最近の河南歸客談によるに、近來馮玉祥が彰德を屠れるを以て、紅槍會の各會は相聯合して馮軍と激戰したれば、馮軍支えず遂に力を極めて天門會を獎勵し、只能く馮軍を助けなば、姦淫擄掠放火殺人すと雖も亦其の自由に一任せんのみといふ。是に於て天門會は大に快意なりとし、遂に京漢路より西は太行山に沿ふまで、北は武安の涉縣より南は輝縣・修武・沁陽一帶に至るまで、居民村庄到るところ皆燒殺され數百支里の間殆んど人烟なきに至る。誠に李自成以後の一大浩劫なり。

又聞く河南林縣の天門會は紅槍會の一支派なるも、其の會內は甚悍にして已に年號を建て、其の告示には中華民國と署せずして天祐二年と署し、旗幟を改め儼然として南面帝と稱す。其の一味は又皆地方の莠民にして壇を築き爐を設け人を強ゐて入會せしめ、奸淫擄掠燒殺を恣にし遂に各槍會の容れざる所と爲る。馮玉祥以爲へらく此れ亦以て大に利用し奉天軍の背後を擾さしめ、又山西を擾して山西を牽制すべきなりと。故に春間特に軍官學生多數を派し同會に加入指揮せしむ。山西の晉閻等は曾て一回の擾亂を受け奉天軍亦大に其の亂紛に惱まさる。其の傳單には打倒張作霖の文字を大書し、或は打倒閻錫山などとあり。然るに奉天山西共に之を痛く攻伐したれば遂に少しく跡を斂めたるも、奉天軍退きて馮軍の來るに及び其の勢焰復た盛に張るに至れりといふ。（九月二十日—順天時報）

□馮・靳兩軍の現狀

靳雲鶚は馮に心服せず 馮玉祥と靳との感情は近來愈々惡化しつゝあるが、其の原因を問へば、前に直隸山東聯軍が河南を攻めんとした時、馮より靳氏に向ひ靳軍を率ゐ全部を豫東（河南の東部）に移駐させて直隸山東軍の侵入を防がせることを電令したゝめであるといふ。蓋し馮氏が戰に當り異派の軍隊を先にし嫡系軍隊を後に廻はすことは其の慣用手段である。靳氏は右の電報に接するや直ちに返電を發して「所部の軍隊は曾て久しく奉軍と戰つたので今尙ほ休養をつとめねばならない上に、食糧子彈服裝等皆缺乏の極に達し居れば實に命に遵ひ豫東に移駐して直接に敵軍に當るべからず」と言つた。馮氏は此の返電を得るや否や其の兵糧軍費を求むるに在りと解し使を派し現銀に兌換しない紙幣二十萬元を贈つたが、靳氏は此の紙幣を地に擲つて「かゝる一文に値しない紙幣を贈るは人を騙すことも亦甚しと痛罵し、部下も亦非常に激昂し馮と一戰するさへ辭せないものあるに至つた。幸に陜軍のもの之を詳知し中間に居て調停した

が、靳軍は仍ほ從來の通り偃城から長葛嶺に至るまでの鐵路沿線に散駐して馮玉祥側の動靜を窺ひつゝあると傳へらる。更に靳氏が曾て人に語る所を聞くに「馮は既に田維勤を殺した位なれば我輩を殺すを欲しないものでもない」と言ひ放つたといふ。されば馮軍が今回其の主力を豫西に撤退せしめたのは洛陽を鞏固にする必要からとはいへ、亦幾分か靳軍の動靜に警戒する所があつたからである。

（九月八日—河南消息）

靳・方獨立して馮との關係を絶つ

馮玉祥と靳雲鶚（目下郾城に在り）・方振武（開封に在り）との軋轢は漸く激烈を形し、靳は奉天派と聯絡し、方は力めて靳と接近を謀り、双方の形勢愈々緊張し、靳・方は遂に獨立を宣言したり。其の後信陽の岳維峻部將世傑・胡景銓師團も靳と同一行動を取り、靳雲鶚・岳維峻・方振武等は突然九月九日鄭州に向ひて出發し、馮玉祥に下野を迫るの電報を發したり。馮は此の電報を受くるや否や又急電を發して幹部將領を召集し、鄭州に來りて會議を舉行せしめ、十日、鹿鍾麟・李雲龍・鄧寶珊・鄭金聲・韓復渠の諸氏は各駐防の地より急に來りて列席し、十日夕方馮氏の行營にて會議を舉行せり。席上各重要將領は武力解決を主張し、鹿を總指揮、石友三を副指揮に任じ、許昌に向ひて兵力を集中し征伐を實行することゝしたり。同夜石友三は所部の第十三師及韓復元・王夢周の二個旅を率ゐて許昌に進發したり。然るに靳軍方面にては八日に獨立を宣布せし後陳留の高桂滋・太康の張綸武・鄢陵の方振武第五軍と聯絡して開封に向ひ進逼し、其の先鋒は朱仙鎭に到達し開封の形勢は已に動搖を來せり。（九月十一日—上海・漢口電等）

馮靳兩軍の開戰

馮玉祥・靳雲鶚の爭執は漸く激烈となり、九月八日遂に許州に在りて衝突し、駐馬店確山方面の馮軍孫連仲の部も靳軍との間に亦小戰あり。靳は現に郾城に在りて其の軍隊は駐馬店・許州間に在り。兵力約四萬、奉天派及唐生智とに皆諒解ありて相當の勢力を有せり。（靳の基本軍隊は目下一萬に滿たずと雖も之と行動を共にするものに方振武以外更に任應岐—潢州の固始・光山・商城の一帶に在り。其の數約二萬人—・龐炳勳—信陽に在り。約六千人餘あり。且つ皆武器あるも子彈甚だしくは充足せざる有樣なり）而して馮・靳兩軍前鋒の接戰地點は大石橋に在りて實に十日午後六時に始る。

（九月十二日—徐州電）

方振武開封を占む

靳の馮に叛かんとするや秘密に方振武・高桂滋劉鎭華等と結托し、方亦張宗昌の舊部なるに因り北方某代表の勸説により北歸の意あり。靳・方・高三人の相約して同時に獨立を宣言するに及び、方振武つゐに先づ開封を占領したれば、省政府各委員は紛々として逃散せり。

河北一帶の反馮

目下河北一帶に遍布せる紅槍會は悉く反馮態度を採り、馮軍と激戰して之を大敗せしめたるが陝西亦同一の步調を取り、劉鎭華の鎭嵩軍、嵩縣に駐れる王振柴雲陞の師、鞏縣の武念周師紫雲關の梅發魁師も起ち、九月十一日靳雲鶚に響應して反馮態度を取

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

り、劉鎮華は同時に南陽の除旗頭なる馬文德師及吳佩孚の舊部と聯絡し進んで洛陽を攻めんとす。馮玉祥は之が爲め已に河北の孫良誠・馬鴻逵の各軍を召集して洛陽に返り隴海路西段を警備せしめ、又陝軍李雲龍部 姜鴻模師及陝州鄧寶珊軍を洛陽に集中せしめ嚴密に布置防禦しつゝあり。（九月十二・三日漢口・北京電及其他）

馮・新戰情 馮は新の職を免じ、八日以來兩軍一たび許州、駐馬店等の地に在りて衝突し、十二日更に郾城に在りて衝突したるが、田維勤舊部・岳維峻 唐生智皆新軍に好意を表し居り、郾城の北部に在りし新軍は突然十三日に許昌を占領し、同地に在りし馮軍一個師は退いて新鄭を守る。十三日午前十時韓復榘は援軍二個師を指揮し和尙橋一帶に在りて新軍激戰し、馮玉祥は親しく其の參謀長石敬亭と共に鐵甲車に乘じ新鄭に至りて戰を督せり。新軍の前敵秦德純・馬吉第の兩軍は十三日に許昌停車場を退出せるが、双方損失甚だ重く馮軍戰死者には師團長一名兵五百餘名あり。十四日朝、馮軍決死隊は大石橋の防地を奪回し、目下兩軍共臨穎附近に在りて相持し、新軍は方振武・任應岐各軍の應援を得たるに因り十四日夕馮軍に對し總攻擊令を下せり。隨ひて馮軍は防務の關係に因り專ら明港以北を守りて援を待つの意あるに似たり。されば黃河以北には已に馮軍の踪跡なしと傳へらる。（九月十三日—漢口電）

開封南部の兩軍戰況 新軍三萬已に渦河より、扶溝の北部白潭鎭に赴き尉氏縣南部に在りて鄭金聲の第四軍と開戰し、周家口より北進せる紀某の第十九師は十九日杞縣を占領し、劉鎮華の鎭嵩軍の一部と聯絡して隴海線を攻擊し、馮軍數千名と開封の南十五英里に在りて接觸しつゝあり。前に郾城許昌に在りし新軍の利を失ひしは事實なるも、十四日より後其の主力は漸く周家口扶溝太康の各地に集り目的は開封を占領するに在り。故に馮軍は大部軍隊を以て隴海路を警備し新軍の進襲を防ぐの法を採りつゝあり。（九月十七日—開封電）

岳軍五萬馮の歸路を斷たんとす 馮・新兩軍の衝突により河南局勢忽ちに變じ、陝軍大部の河南に駐れるもの大に兩軍の形勢を昇降せしむるに足るものあり。岳維峻一たび反馮を表示して後、直ちに其の所部の陝軍五萬を率ゐ西向し觀音堂に赴きて駐屯して馮軍の歸路を斷ち、竝に山西・河南交界の山西軍と相聯絡して聲勢を厚うせんと謀る。是に於て馮玉祥は鄧寶珊を派して岳軍と相周旋せしめつゝありといふ。（九月十八日—漢口電）

奉天・山東軍の討馮總攻擊令 奉魯兩軍は九月二十五日を期し討馮總攻擊令を下し、碭山・曹州・大名の三路を分ちて進攻し、各路兵二萬五千人づつを以て一個月內に河南全省の地盤を克復せんと欲しつゝあるが、果して能く實現するや否や未だ詳ならず。（九月二十日—天津消息）

馮軍直ちに豫南に迫る 馮玉祥は豫南の新軍を解決せんとて已に石友三・鄭金聲に電令し、各其の所部を率ゐて豫南に向つて猛進せしめ、前鋒軍二個師は十八日に陳留を克復し、高桂滋部第十九軍の三警

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

を繳械し、十九日右翼たる鄭金發部は亦尉氏縣を占領したれば周家口扶溝の形勢動揺せり。唐生智は新軍が河南に於て利を失へるを以て積極的に實力上の援助を與へんとて、湖北なる唐軍兵力三萬人を以て新軍と聯絡するの準備を爲し居れば、豫南なる馮・唐兩軍も頗る戰はんとするの勢に在り。（九月二十日・某方面消息）

豫東豫西の新討馮策　新雲鶚は馮軍が京漢線に沿ひて猛攻し來るを知れば其の利速戰に在るも、如何せん應援方面の各軍未だ成熟に至らざるを以て、已むを得ず自保の爲め臨穎・郾城・西平の軍隊を周家口へ撤退したり。其の計を推すに二説あり。卽ち一は新が淮陽方面閻日仁の軍と結合し賈魯河を繞り進みて通許に迫り以て開封に迫らんとすといふもの。二は新が龐炳勳・高桂滋の兩軍と師を朱仙鎭に會し中牟を攻めて開封鄭州の聯絡を斷たんと謀るといふものなり。然るに豫東方面の馮軍兵力は僅に鹿鍾麟二個旅の戰ふべきあるのみにて、石友三の所部は僅に開封を扼防するに足るのみといふ。又豫西方面に在りては岳維峻が劉鎭華部に聯絡し、已に洛陽方面に向つて進發せるあり。然るに馮軍は同方面に重兵を駐め居れば劇戰の發生する恐あり。

河南公民郭・丁等馮の罪を數ふ　郭樹德・丁振聲等の河南公民は十五日湖北省に通電を發し馮が第二回北伐後の罪を數へて、（一）反覆常なし。（二）兵を招き利を漁る。（三）金融を破壞す。（四）紅會を愚弄すといふ四大罪を擧げたり。（九月十八・十九日－漢口電）

□廣東情報

廣東中央銀行問題　中央銀行は最初の布告通り九月二日より兌換を開始したるが、一千萬元の公債成立し、殊に銀號業者は數日間に大部分の支拂を爲し、金融界安定したるため、兌換請求者割合に少く、財界に左程影響なく、一先づ落付きたるが、同行副行長林麗生氏は同問題にて免職となり、又廣東銀行は政府要求の中央銀行救濟借款に應ぜず、且つ多額の中央紙幣の兌換を爲したる廉に依り、罰金的に五十萬元（或は三十七萬元と稱す）の公債引受と、五十萬元程度の貸越許容を要求せられ、銀行並に銀號中最も開店後れたり。

同問題の華南銀行に及ぼせる影響　中央銀行問題起ると同時に廣東政府は現銀の省外移出を禁じ、又沙面への持込を禁じ、東西兩橋に巡警及探偵を派し監視したるため、同店（華南銀行廣東支店）の預金は漸増し、安定後と雖も過分の公債引受により銀號の信用を懸念するもの多く、これ等の預金を引出し同店への預け入増加し、事件發生後左記の通り。

一、港紙計算

八月二十五日殘	九月八日殘	増加

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

當座	三、〇〇〇	三、〇〇〇	
小口	二七、〇〇〇	五七、〇〇〇	二〇、〇〇〇
計	四〇、〇〇〇	六〇、〇〇〇	二〇、〇〇〇

一、毫子計算

	八月二十五日殘	九月八日殘	增加
當座	八、〇〇〇	二四、〇〇〇	二六、〇〇〇
小口	六九、〇〇〇	九〇、〇〇〇	二一、〇〇〇
計	七七、〇〇〇	一二四、〇〇〇	四七、〇〇〇

混計六七、〇〇〇の增加を見たるが、猶每日漸增しつゝあり。

財政部長の辭職と政局の不安　財政部長鄒財政廳長區應芬は突然辭職し、六日朝廣東を去り香港へ赴きたるが、其の理由明瞭ならざるも、今回の中央銀行問題に關聯せる事は疑なく、又李濟琛が廣東の財政權を掌握の目的にて壓迫を加へ、身邊の危險を感じ廣東を脫出したるものゝ如く、引續き財政部泉納處長李海雲、印花税處長陸耀文、籌劃局長伍嘉誠等も六日附辭職せられ、司法廳長陳融は香港へ去りたるが、財政廳長後任として農工廳長馮祝萬氏代理任命せられ、中央銀行副行長後任には奥海關監督鄧召蔭就任を命ぜられ、引續き尚多少の波瀾あるものと觀察せらる。（九月二十日－某處情報）

日貨排斥の現狀　七月上旬以來實行せられ居る日貨排斥は同中旬頃終熄すべしとの說なりしも事實上は一向に緩和されず、下旬南京政府より日貨排斥を停止すべしとの電命ありて、省政府主腦部會議の結果對日經濟絶交委員會に對し停止を勸告したるを以て近く終熄すべしとの噂出でたるが、事實は之に反し、漸次惡化の傾向あり。對日經濟絶交實行後と雖も、必要缺くべからざる石炭の如きは、特殊關係（電力公司の如き）に限り通過證を下附し居たるも、十七日附日本北支出兵反抗委員會及對日經濟絶交委員會の連名を以て二十一日以後日本炭の輸入に對する通過證の發行を停止する旨通告を發したるが、裏面には日本炭の杜絶により利益を壟斷せんとする者の計畫ならんとの事なるが、支那炭のみにては使用出來ず。外國炭は運賃の點に於て到底引合はず、勢日本炭を必要とするにつき、悲觀の要なしと邦商側は寧ろ樂觀し居り、綿絲と布其の他の雜貨類も徹底に因り、物價騰貴し、奸商のみ利益を得一般民衆は不利益を蒙り居るも排外國民の愛國運動なりと云ふ美名の下に行動を爲し居るにつき、表面之に反對するものなく、日本が北支撤兵せざる限り當分終熄せざるものと觀測せらる。

關税自由の影響　南京國民政府は九月一日厘金税を廢止すると同時に江蘇・浙江・福建・安徽・廣東・廣西の六省に亘る關税自主の宣言を發表し、之を列國に通告したるが、列國は之に對し如何なる態度に出づるや、日本政府の方針も未だ決定せざる模樣なるが、軍費の捻出に苦心惨憺たる南京政府は、廣東地方に於ては三年後の分まで請負人をして前納せしめ居る由なれば、厘金税廢止には面倒なる問題起り、到底一朝一夕にして解決困難ならんと觀察せられ居るが、收入

增加を目的とせる政府なれば、　厘金稅撤廢は別問題として關稅自主實行の場合結局に於て二分五厘附加稅同樣不同意的默認に終れば問題なきも、民國十年孫文が關稅餘款を强制徵收の爲め廣東稅關占領説傳はり、　列國が武力を以て防遏せんと軍艦二十餘隻集中したる例あり。　數日來英國が又々沙面の防備を嚴重に爲し居るは之に關係あるに非ずやと觀察せらるゝ點あり。　或は一問題起るに非ずやと思はる。

廣東政局の推移　革命軍諸將中反蔣介石の感情は近來餘程濃厚となれる際、　北伐軍の徐州放棄退却は總司令の威信に影響し、　一方南京政府部内に於て武漢派との妥協問題促進し、形勢已によからずと覺たる蔣介石は斷然下野を決心し鄕里に隱遁したるが、武漢派は疑に共產派を驅逐し、南京派との主張接近の結果妥協の氣運に向ひたるものなれば、　一蔣を失ふも國民政府の基礎は一層鞏固となるか、　廣東には未だ何等反響なく動搖の模樣なきが、李濟琛の態度に興味を持つ向あるも、南京武漢兩派の妥協成立したる上は、　大勢に順應して武漢とも握手し、廣東の實權を握ることゝなるべきを以て、　廣東の政局に何等變動なきものと觀測せられ居れり。　（以上九月一日—某處情報）

□江蘇の棉產情態調査

江蘇は我が國（中國）に於ける棉產の最も發達せる省にして、土地肥沃なるに、且つ氣候も甚だ適當せるを以て、　獨り棉產の多量なるのみならず、卽ち其の品質も亦其他の各省に比して優良なり。　棉の產出區は、通崇海一帶最も廣く、　南通一縣にても、　其の栽培畑は十分の七を占め、　崇明・海門兩縣は十分の六を占む。而して滬海蘇常兩道屬、凡そ二十四縣も亦、產棉區域にして、　上海・金山・奉賢・南匯・川沙・嘉定・南翔・太倉・寶山・常熟・江陰　蘇州・無錫・常州等の處の如き、　棉產は均しく多數を占む。金陵一道は、卽ち棉畑は亦十分の五を占む。淮揚道屬の鹽城阜寧等の縣は、產出區稍や小なるも、徐海道屬の宿遷・銅山・錫山・蕭縣は亦棉畑あるを以て、全省の產棉區域は、至極廣大なるものなり。

（一）各縣の產棉情態

生產の多寡は、生產の區域に正比例すれども、　然かも亦各地方を視るに、　年々の豐凶により、生產量は亦差異あり。　此數年間を通覧するに、江蘇の產棉情態は、　殊に悲觀に屬し、　生產方面は增減ありと雖も而かも棉畑は卽ち年々減少せり。　卽ち左表を觀れば、其の大概を明にすべし。

年　次	棉畑面積（畝）	產棉總額（擔）
一九一八年より一九二二年に至る平均數	二、二六七、二六七	二、五二二、二四三
一九二三年	八、一六四、七五一	一、四八九、〇八四
一九二四年	九、七九七、七〇一	二、九四八、七一六
一九二五年	七、一六四、〇〇〇	二、一〇四、〇〇〇

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

上表に依り、江蘇の產棉情態は、顯著なる退步あることを知るべし是れは固より消極農業政策の結果によれども、然かも時局の不安も亦關係無きにあらざるなり。各縣の棉產情態に至りては、一々詳細に且つ精確なる報告を作ること能はずと雖、然かも其の梗概は左表を以て之れを示し得べく、試みに先づ棉畑を記述すべし。

縣別	一九一九年（畝）	一九二〇年（畝）	一九二四年（畝）
南通	七、五八〇、三〇〇	五、〇〇〇、〇〇〇	一、九〇〇、〇〇〇
海門	三、六〇〇、〇〇〇	一、六〇〇、〇〇〇	一、一〇〇、〇〇〇
崇明	一、二〇〇、〇〇〇	一、二〇〇、〇〇〇	一、二〇〇、〇〇〇
如皐	一、六六六、四四七	八六四、〇〇〇	一、二〇〇、〇〇〇
泰州	二八、〇〇〇	九〇、〇〇〇	一二五、〇〇〇
東臺	二〇〇、〇〇〇	三二〇、〇〇〇	一二五、〇〇〇
鹽城	—	七五、〇〇〇	一二五、〇〇〇
阜寧	四〇、〇〇〇	一二一、〇〇〇	一二五、〇〇〇
上海	一一〇、〇〇〇	一〇〇、〇〇〇	四〇六、〇〇〇
寶山	一五〇、〇〇〇	一五〇、〇〇〇	三六〇、〇〇〇
嘉定	三〇〇、〇〇〇	三〇〇、〇〇〇	三〇〇、〇〇〇
太倉	三〇〇、〇〇〇	三五〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇
常熟	四一〇、〇〇〇	四〇〇、〇〇〇	四〇〇、〇〇〇
南匯	七八五、〇〇〇	七五〇、〇〇〇	七〇〇、〇〇〇
奉興	三、二二五、〇〇〇	一九〇、〇〇〇	三五〇、〇〇〇
川沙	一二〇、〇〇〇	一五〇、〇〇〇	一三〇、〇〇〇
江陰	一四〇、〇〇〇	一八〇、〇〇〇	—
總計	九、二七八、三〇七	三、四七四、七〇〇	九、七九七、七〇一

又各縣の產棉情態は左の如し。

縣別	一九一九年（擔）	一九二〇年（擔）	一九二四年（擔）
南通	一、五〇〇、〇〇〇	一、〇三〇、〇〇〇	六〇〇、〇〇〇
海門	二二一、六四〇	三八〇、〇〇〇	三五〇、〇〇〇
崇明	二〇〇、〇〇〇	三七〇、〇〇〇	三三〇、〇〇〇
如皐	二〇四、〇〇〇	二一五、〇〇〇	九〇〇、〇〇〇
泰州	一三、〇〇〇	三一、二〇〇	二五、〇〇〇
東臺	六六、六〇〇	七〇、七〇〇	二五、〇〇〇
鹽城	—	一〇、六〇〇	二五、〇〇〇
阜寧	四、〇〇〇	六、〇〇〇	二五、〇〇〇
上海	四〇、〇〇〇	二九、四四〇	一〇〇、〇〇〇
寶山	一五、〇〇〇	五〇、〇〇〇	一〇五、〇〇〇
嘉定	二四、〇〇〇	七五、六〇〇	八〇、〇〇〇
太倉	三〇、〇〇〇	一〇〇、八〇〇	一七五、〇〇〇
常熟	一三七、〇〇〇	一五三、〇〇〇	一三〇、〇〇〇
南匯	一四〇、〇〇〇	一九八、〇〇〇	一九〇、〇〇〇
奉興	一三〇、〇〇〇	二三、五〇〇	八四、〇〇〇
川沙	二五、九二〇	五四、〇〇〇	三二、〇〇〇
江陰	三五、〇〇〇	六三、三七〇	—
總計	二、七六三、一六〇	三、〇三三、二一〇	二、九四八、七一六

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

南通・如皐海門三縣は、江蘇に於いて棉產の最も發達せる區域なれども、尚分別討論せざるを得ざるなり。茲に通如海棉業公會の發表せる最近二年間の棉產情態及び今年の統計に據れば、左記の如し。

棉畑の面積	南通（畝）	如皐（畝）	海門（畝）	三縣統計（畝）
一九二四年	一、七六〇、三七七	一、四七七、六〇八	七七七、八一八	四、〇一五、八〇三
一九二五年	一、八九三、六〇九	一、四八五、七七二	七三四、六三五	四、一一四、〇一六
一九二六年	一、七三〇、〇四九	一、二七一、二八六	六九九、八一九	三、七〇一、一五四

毎畝の籽棉收量

一九二四年	一三七・〇	一四六・〇	一〇七・〇	一三〇・〇
一九二五年	九六・三	八五・六	八一・〇	八七・六
一九二六年	六一・三	六三・一	六三・七	六三・五

棉產額

一九二四年	七八七、八〇三	七五七、四〇七	二八〇、三三三	一、八二七、六三六
一九二五年	六二一、四〇七	七〇一、四四〇	一九五、五五九	一、三〇八、四〇六
一九二六年	三二五、六四九	二四三、九九九	一三一、七五七	七〇一、四〇五

右表を觀れば、本年度棉畑は三百七十萬一千百五十四畝にして、昨年度の百分の八十七又七に當り、棉產額は七十萬一千四百五擔にして、昨年度の百分の五十三又六に當ることを知るべし。之れを約言すれば、棉畑は昨年の九割弱に當り、棉產額は昨年の五割四分弱に當ることゝなり、若し一昨年と比較すれば、即ち產額は又四割にも不足するなり。

（二）品質及び種類

棉の種類は甚だ多く、南通の如きは最も著しき土種三種あり、一は青莖通棉、二は紅莖通棉、三は鵝脚棉と稱す。南通縣農會農事試驗場は、當地の棉種を試驗せしが、以上の三種を除くの外、尚鷹爪黑核棉、黃花青莖棉、紫莖紫花棉等の數種あり。品質は各異り、三十番手以下の絲を紡ぎ得るもの、三十二番手以下を紡ぎ得るもの、三十六番手以下を紡ぎ得るもの等あり、且つ一種の纖維細長く色白く而かも光澤を有する鵝脚棉と稱し、五十番手及び七十番手の絲を紡ぎ得るものもあり。該縣農會は、又米國棉種の試驗を行ひ、曾て數度に亘り試驗せしが、其の結果品質稍や優良にして、七十番手の絲を紡ぎ得たり。大抵通州以西の盧涇港・牛潮港・三里墩・沙頭・陳家橋・三十里鎮等の處に在りては、多く上等棉を種植し、中等の產棉地は、通州以東の海州崇明新開河等の處に在り。下等の產棉地は、即ち海門・崇明南門港等の處に在り。海門の棉は、青梗黑籽種に屬し、崇門のものは鴨遙種・毛遙種等と稱し、如皐のものは白核寬大衣種・大葉青種と稱し、崐山のものは早花種・晩花種と稱し、江陰・六合・江浦の棉は烏江衛花と總稱し、江陰には尚谷液種・常陰種あり、武進には白棉種・紫棉種あり、太倉には黑籽棉・白籽棉あり、常熟には丁状棉・黑尖棉・中港棉あり、浦東には四種あり、寶山には紫棉・白棉あり、淮揚道屬

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

の江都・東臺には、洲地花・海地花あり、徐海道屬の銅山には、長毛花・紫花あり、蕭縣には鍋花・紫花あり、如皐・泰興の棉は、又通花と總稱し、皆通州・海門の棉に比して遜色あり。各地の棉種は甚だ多種なりと雖、大體は紫白の兩種に外ならざるなり。

（三）棉の消費

棉の消費は、大別五種に分たるべく、一は中國工場の消費、二は民間の消費、三は外國工場の消費、四は其他の製造の消費、五は外國への輸出之れなり。然れども共に其の確數の調査は容易ならざるなり。

如皐・泰興・丹徒・武進・江陰・上海等の如き處は、多量に本地紡織の用に供し、銅山・碭山・宿遷等の諸縣は、亦全部該地方にて消費す。南通・崇明・海門・如皐・太倉・寶山等の諸縣に産する棉は、是等諸縣に消費せらるゝものを除くの外、其餘は均しく上海及び山東省・日本等に輸送消費せられり。上海の一區は、製絲工場最も多きを以て、棉の消費も亦極めて多量なり。一九一一年、上海に於ける各製絲工場の消費せる棉は、八十四萬三千三十三擔に及びたるを以て、最近は卽ち百萬擔を超過すべし。其の消費せらる棉は、十分の四五は南通・太倉及び上海附近より來れるものなり。一九二五年の調査に據れば、上海の中・日・英各製絲工場に於いて消費せられし棉は、計百四十五萬擔に及びしが、而かも内地より輸送し來れる棉は、卽ち百八十七萬擔に達せり。昨年各地より輸送し來れるものは、左の如き情態を示せり。

積出地	數量（擔）	積出地	數量（擔）
陝西・湖北	一、一四四、九〇四	天津・山東	一〇四、八三四
通州	四〇〇、〇〇〇	寧波	一四四、九五五
九江	五八、六〇五	總計	一、八七〇、二四九
上海・太倉	一六、九五一		

此の外尙每年産地に於いて消費せらるゝ額は、若し全省人口三千三百七十餘萬人に就きて言はば、每人の棉の需要二斤として計算し、當に六十萬擔以上に上るべし。

（四）棉花價格の消長

棉花の價格は、品質に從ひて高低あり、上海市上の棉價は、陝西省産最も高く、通州産之れに次げり。日本製絲工場は、往々聯合して團體を結び、大買收を實行するを以て、市價も亦之れに從ひて高低一定せず、中國製絲工場は、往々にして高價なる棉花を購入せざるを得ざる情態に陷入り、或は外國よりの輸入により、市價の低落することあり。玆に最近十餘年以來に亘る通州棉花の市價を列記すれば、左表に示すが如くにして、棉は上等棉を標準と爲し、價格は一擔を以て計算す。

年月	最高（兩）	最低（兩）	差異（兩）
一九一四年五月	二〇・〇〇	一九・〇〇	一・〇〇
八月	二四・〇〇	一九・〇〇	五・〇〇

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

十二月	一八・〇〇	一七・八〇	〇・二〇
一九一五年五月	二一・〇〇	一九・四〇	一・六〇
八月	二三・〇〇	二二・二〇	〇・八〇
十二月	二五・〇〇	二四・〇〇	一・〇〇
一九一六年五月	二三・二〇	二二・〇〇	一・二〇
八月	二五・〇〇	二四・〇〇	一・〇〇
十二月	二五・〇〇	二四・〇〇	一・〇〇
一九一七年五月	三一・五〇	三一・〇〇	〇・五〇
八月	無市	―	―
十二月	三四・〇〇	三〇・〇〇	四・〇〇
一九一八年一月	三六・〇〇	三五・〇〇	一・〇〇
六月	三七・〇〇	三五・〇〇	二・〇〇
十二月	三九・〇〇	二七・〇〇	一二・〇〇
一九二五年全年	四四・七五	三三・六〇	一一・一五
一九二六年四月	三四・七五	二九・六〇	五・一五
七月	三三・五〇	三〇・二〇	三・三〇
九月	三四・二五	三一・二〇	三・〇五

棉花の市價は、中等は常に上等品を超過せり。蓋し商情は瞬息にして萬變し、同月と雖も日を異にすれば、常に此種の現象あり。玆に更に一九二五年度各地棉價の伸縮を表記し、以て比較すべし。

一九二五年	最高（兩）	最低（兩）	差異（兩）
山東棉花	四四・七五	三〇・五〇	一四・二五
通州棉花	四四・七五	三三・六〇	一一・一五
寧波棉花	四一・五〇	二九・六〇	一一・九〇
太倉棉花	四四・七〇	四三・五〇	一〇・二五
上海棉花	四四・二五	三三・七五	一〇・五〇
漢口棉花	四一・九〇	三一・七五	一〇・二五
九江棉花	三八・〇〇	三七・〇〇	一・〇〇

（五）棉花の厘税

棉花の厘税は、大概商民に於いて捐を認め、産地に在りて完全に全納し、全省の運途に當りては、再び重ねて徵收せられざるなり。玆に江蘇財政廳の貨物税捐を詳すれば、現定減收税率は左の如し。

淨白花　毎擔の税銀三角七分
次白花　毎擔の税銀二角七分五厘
黃花衣　毎擔の税銀一角八分五厘
淨白子花　毎擔の税銀一角二分三厘
次白子花　毎擔の税銀一角一分
黃子花　毎擔の税銀七分五厘

（六）江蘇の棉産と其他各省との比較

先に記述せる所を通觀すれば、江蘇の棉産概況を知り得べし。然れども未だ各省との比較情狀は明かならざるなり。中國に於いて棉産の稍や發達せる者は、北部に在りては直隸・山東・山西・陝西あり、中部に在りては即ち江蘇・浙江・安徽・江西・湖北等の諸省あり。尚此外

河南・湖南・甘肅等の諸省も亦棉産の區域にして、沿岸沿海一帶は、土地肥沃に、氣候も温暖なれば、特に棉花の栽培に適せり。北方は氣候寒冷なるを以て、甚だ棉花の栽培に適せず、且つ年々天災人禍ありしにより、棉産は甚だしき損失を受けたり。民國二年より民國八年に至る迄で、我が國(中國)棉花原料の國外貿易は、常に出超を持續せしが、民國九年より以後は、卽ち入超ならざるは無し。是れ固より國内の需要增加し、且つ國内棉産の進歩せざる結果なることは明かなれども、然かも國人にして苟しくも心を盡して改良し、力を盡して整頓を圖りなば、卽ち我が國(中國)の土地氣候共に棉花の栽培に頗る適當せるを以て、猛烈なる進歩を來すこと難きにあらざるべし。玆に各省に於ける棉畑・棉産の統計を表記し、並びに江蘇棉産の權威を示さん。(單位面積千畝・產額千擔)

省別	一九二〇年		一九二四年		一九二五年	
	面積	產額	面積	產額	面積	產額
江蘇	三、四七五	三、〇三三	九、七九八	二、九四八	七、一六四	二、一〇四
浙江	一、二七〇	二五一	二、〇六三	五七六	一、七一九	三八五
直隷	四、三六一	一、〇三三	三、〇六八	七一九	四、〇四三	一、〇一五
山東	四一八	一三六	三、四九三	九二三	二、八六三	七五一
山西	六一五	六五	六一三	一四五	七一七	七六〇
河南	—	—	五、〇九七	五九五	三、五〇〇	七五〇
陝西	一、三八四	三一九	一、八四三	四六三	二、五八七	七二〇
安徽	一、一九六	二九三	一、〇三六	一五四	一、三五五	一七七
江西	三九九	九八	六九九	一七二	八〇七	一五〇
湖北	六、二七〇	一、五八〇	六、四三三	一、〇四九	六六二	一、一三二
總計	二八、三九七	六、六九五	三一、九三三	七、七六三	三一、五六三	七、六二〇

江蘇一省は、棉産に於いて實に其の首位たるを見るべし。唯年々の外退歩を示せり。一九二〇年に在りては、棉畑・棉産に論無く、均しく全國總額の二分の一を占めしが、一九二五年に至り、棉畑は僅かに四分の一を占むるに止り、而して棉産も亦三分の一に足らざる情態となれり。故に今にして之れを昔の如く盛ならしめんと欲すれば、速かに棉畑を改良し、棉種を講求し、一方各省縣地方の農事試驗場に於いて品種の試驗を行ひ、一方又各縣知事紳士より切實に勸導奬勵を實行すれば、卽ち江蘇の棉産は有望となるべし。

(上海總商會月報民國十六年一月號)

比律賓

□ 總督代理の第七囘比島立法部に與へたる教書 (二)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

農業及天然資源

既に指摘せるが如く、一九二六年に於ける農業狀況は大體に於て一九二五年に於けるよりも良好であつた。 砂糖の收穫高は前年に比し稍や劣るとは言へ、其他の農產物に於ける增加は、此不足を補つて尙餘りあるのである。 大規模なる米二期作は奬勵せられつゝあり、今や吾々は食料輸入國より輸出國に轉ずる過渡期に於て、進歩を遂げつゝあるのである。 即ち未耕肥沃なる大面積に亘る土地を有する比島が、結局は其の消費するより多量の食料を生產し得るであらうことは、疑を挾む餘地もないのである。

現在特に努力がされて居り、且その奬勵の爲過去二年間に亘り特別豫算に編入されてゐた數箇の事業がある。 今其の各々に關し、簡單なる言及をなすといふことは適當なりと推慮するのである。

現在の土木事業令は中央呂宋農業學校、トリニダード農業學校其他數多の同種學校の設備及び建築を擴張する爲、其の財政的補助を與ふる特別許與を含んで居り、此等許與の全額は二十五萬四千五百比である。 經濟上生產的である、特に農業及び天然資源の利用に於る教育の形式に則れる教育上の計畫が强調されてゐる。 然し乍ら青年をして勞働せしむるよりも、勞働を離れて教育することの遙か容易なることは認めねばならぬのである。 一般の產業發達が退嬰的であり、且農業は例外として、訓練を習得した後に於てすら、利用せられ得る生產事業といふものが、殆ど無い。 比律賓に於ては、之は愈々困難極まる事である。

マニラ灣の沿岸に在る魚池に、四千五百萬比以上に及ぶ金額が投資されて居ると云はれてゐる。 比律賓漁業の年產額は一億比を超えてゐる。 又比律賓の魚類の種類は知られてゐるものだけで千六百種に及んでゐる。 此の事實あるに拘らず、我々は、鮭と鰯の罐詰何萬箱を輸入して居る狀態である。 去年は漁業助長の爲、十一萬比が振當てられた。 此の金額を以て科學局內に技師一名と助手一團よりなる特別漁業課が新設せられた。 比律賓の漁業資源に關する報告書は發表された。 漁類、殊に鰯の貯藏につき試驗的事業が現在行はれて居る。 然し漁業課には熟練せる職員及び調査並に輸送に適當なる船舶を有せざるため、尙甚しく其の活動を鈍らされて居るのである。

五萬比の特別豫算が再植林及植林の目的にのみ適當してゐる赤裸の土地コゴン草地及其他の土地の植林を奬勵するため編成された此の事業は困難にして、且複雜で其の進捗の程度も緩漫であらう。 土地局及山林局の豫算中に、公有土地の等級別を採らしむる費用の支拂に當てるため、特別の項目がある。 此事業は土地整理の種々の計畫中甚だしく重要なる部分であり、補助に價するものである。

法令三一三一號及三三〇八號により、一萬五千比に達する豫算が科學局をして島內食料品貯藏及島內罐詰の普及の目的のため、特殊の行動を取らしめんとして計上された。 之に關する講演及實際的指導が二十一州に於て實行された。 科學局に於て教育の婦女の爲めに實

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

際に指導をなし、從つて商業的根據に立つ自然果實の貯藏を發達せしむる小端緒が作られたのである。他の重要事業は將來は財政的補助を受け續けねばならぬと思ふのである。

亦昨年十萬五千比が、農務局による護謨生産試驗的事業遂行の爲に支出された。多數の試驗計畫が群島の各所に於て行はれて居る。又護謨の種子は普及せられ、苗木は分配されつゝある。適當なる地域が確めらるゝや否や直ちに護謨試驗所が設立さるゝ豫定である。此の試驗事業も補助を受け續けねばならぬのである。現行土地法の下に於て租借し得る土地で、個人栽培者が大量の護謨を生産し得ることは疑を挾む余地もないのである。同時に、土地法は適當なる安全防備の下に、更に大面積に亙る護謨栽培地域を栽培者をして租借せしめ得る樣改正されねばならぬのであり、此は一般適用の改正若しくは特別許與によつて行はれ得るのである。余は斯樣な改正を勸告する。合理的の獎勵により、比律賓群島は世界主要なる護謨生産地の一となり得るのである。

廣大なる面積に亙る立派な牧草地があるので、比律賓群島は、獸肉供給に要する總ての牛、及び農業上必要なる力役獸を生産し得る筈であるが、併し現在にては資源開發の缺如せるため及び不充分且つ失費多き島内運送上の重大なる障碍の爲之は現在なれては居らぬ。現今は法令第三一五五號の條項により、制限を加へられてゐる。輸入が一時的に許可されて居る。より適當な規則として、島内牧畜業を刺戟せしめ、且不充分なる島内海上運送に伴ふ不便を除去するに充分なる適當な税を賦課しては如何といふ、此の點を立法府が審議する樣、提議されて居る。又農務局が動物血清の製造に便宜を與へるが如き、規定が設けられねばならぬことも、勸告されてゐる。

一般の農業地殊にホームステッド（田宅地）の形式に於ける土地の獲得及發展に關し、一般人民の側に緊切なる增加しつゝある利害が繼續した。一九二五年の終りには、未決の儘の田宅地申請が四五、六二一件を算し、此數に加ふるに、一九二六年には九、四〇〇件以上が未決の儘本年に繰越された。此の事實は土地の申請が政府の處理以上に殺到しつゝあることを意味するのである。現存の機關が余儀なき迄に用ひられつゝあるといふことが判明する迄は、現在の職員及機關を增加することはないであらうが、事實必要なのである。

土地測量事業を容易ならしむる爲、立法府は昨年十萬比を、或條件の下に、私立測量會社に貸付くべき運轉資金に充當し、約其の半額が現在貸付けられてゐる。私立測量家の事業は、斷して政府測量者の足らざるを補ふに至り、一段と進捗を遂げつゝあるのである。然しながら裁判所は、此の形勢に追隨するを得ず、土地所有權の登記は、未だ衡遲滯を見つゝある狀態である。

島内運輸

島内運輸の安全、適當にして、有效且經濟的なる組織といふ問題は、今日比島民の當面する最重要なる問題の一である。之が適當な

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

る解決は、比島氏の安全、愉快、繁榮及幸福に非常に直接且根本的の關係を有して居る。之は數多の行政教育及委員會報告中、立法府により討議せられたる種々の議案中、商業及其他團體の決議中、一般新聞の廣汎なる評論中の考慮及勧告の主題であつた。此問題が、單に健全なる立法のみならず、有效なる行政に依賴する複雜且困難なる問題なる限りは、之は解決され得、又されねばならぬのである。不充分なる獨占的な海運狀態は、島内商業貿易の發達に主要なる障碍の一となるのである。 海上の慘事は、此群島に於る生命財産に過重なる交通税を課する事になる。 去る日の悲むべきニグロス號沈沒の不幸は、單に旅行者の安全愉快の問題のみならず、 物資の容易なる且經濟的なる輸送の問題に對する何等かの行動の必要を痛感せしめられたのである。過去二十五年間に於ては健康及衛生狀態、 教育、道路建設其他土木事業に於て著しき改善を見たるにも拘らず、島内運輸に於ては、 之に相應する改善を見る事を得なかつたのである。

次の諸事は、 時々行政部の留意を促した、より一般的且重大なる批判及缺點の若干である。使用せられつゝある船舶は數に於ても極めて少く、型も一般に舊式なること。運送費が頗る高率であるため、遠隔の地方に於ける經濟的發達が甚だしく障害せらるゝこと。現行法は船舶の運用に非常に多數の職員を要求する故、船舶業を經濟的に經營する事の不可能なる事。 船主及高級船員は、 直接間接に船積人として營業し、 運貨及び荷置場所に關し、優先權を得ることにより、 船積せんとする一般運送業者と爭ひつゝあること。船員は甲板積荷に關し、同一のものを積みながら無賃若くは非常に割引せられたる運賃に於て、船積し得る特殊の利益を享有しつゝあること。 所謂旅行買占人は單獨に、或は船主又は船員と結託して、 あらゆる利用し得べき場所に於ける自由なる選擇權の下に、正當に船積せんとする者をして機會を利用することを得ざらしめ、かゝる買占人に不當にも低廉なる價格に於て、彼等の物資を販賣せしむるに至ること。 附加賃を拂ふに非らざれば、船長が家畜、 材木の如き或種の貨物の積込を拒絕すること。 積荷過剩及船客過剩。 衛生狀態。 貧弱なる食料及設備。 救命艇及帶は用ふべからず且不適當なること。 安全問題としてはボート及火事の訓練及其他の注意の缺乏及無電通信の設備なき事等之である。

若しも之等の批判が立派な根據に立つてゐるものであつたらば、事態は緊要且重大なる考慮を要する。 本島内運輸の問題は、 比島の人民にとつて、 甚だ根本的のものであるが爲、 社會のあらゆる要素の結合せる判斷と智識は、現在最も不滿なる狀態であると認めらるゝものから一箇の道を見出すやう、確固たる決心と共に、 本問題の解決に盡さねばならぬ。

行政部が本問題を立法府に提出する手引として、及び立法府への報告のため、 行政部は島内海運諮問委員會といふ委員會を最近創設した。 此の委員會は島内海運の現狀、 同事項を支配する法律、 現在の狀態に於ける弊害及缺點の眞想を愼重に考究し、亦事態の改善に特

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

別なる献策をするやう要求されて居る。委員會は事實及び意見を吐露すべき充分なる機會を與ふるやう指導された。本委員會の報告は然るべき時に於て立法府に交附さるゝことであらう。亦航海に關する上院の現在委員は、立法府の休會中に島内海運の狀態に關し調査を進め、その狀況の報告を立法府に提出するであらうといふ事を行政部は聞知して居る。此委員會並に諮問委員會の報告が、立法府をして此の重要なる、問題を解決するに充分なる構成的立府を法文に表はさるゝ樣希望するのである。

現在に於て政府は數隻の沿岸警備の船舶を所有して居る。之等の總ては老朽であり、其等の維持費も多額に上つてゐる。政府は、燈臺及び海底電線の事故の際は出動すべき、亦普通の商船が稀にのみ訪れる遠隔の地點へ、郵便物を運送し、運輸設備を供給すべき小數の船舶を要求します。後者の例としてバタネス地方は特に然るのである。現在船舶の高價の維持費を支出し續けるよりも、總督府の特別作業により以上適當してゐる新式の新造船を以て、次第に其等と取換ふることが、より經濟的であらうと思ふ。

島内海運に密接なる關係を有するは、マニラのみならず、其他各地點に於る港灣施設の發達である。ダヴアオ埠頭の完成、サムボアンガ、セブ、イロイロの埠頭及びレガスピーの埠頭工事の豫算の必要には特別なる注意を拂はねばならぬ。

佛領印度支那

□印度支那雜報

交趾支那に於ける栽培企業の概況

米作面積十五萬エクタール、其他の栽培物栽培面積五萬五千餘エクタール

交趾支那に於て歐羅巴式栽培企業の名の下に之を總括すれば、佛蘭西人に屬する農園は元より、土人農園中に於ても歐洲人式農園を經營するものをも之に含ましむる必要がある。斯くすれば、この種の栽培面積は交趾支那總面積の四%に該當する。因に全耕地面積は同じく九%に當る。

米作面積は約十五萬エクタールで、歐人及之に准ずるものゝ拂下許可地の六〇%を占む。最もその大部分は土人農夫をして小作せしめてゐる。

他の歐人式農園をその栽培物別に面積を掲ぐれば次の通りである。

護謨	五一、〇〇〇　エクタール
珈琲	九〇〇　同

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

古々椰子	一、八〇〇	同
油椰子	三〇〇	同
甘蔗	八〇〇	同
シトロネラ	六〇〇	同
棉花	六五	同
カポック	二八〇	同
ヴァニラ	二〇	同
胡椒	一七五	同

歐式農園は殊に交趾支那の東部及極西部に發展を見る。

一九二六年中に於て東部に於ける歐式農園はその假土地拂下げ及確定土地拂下げ面積六萬五千ヘクタールに達してゐる。極西部（カモウ、ラクジヤ、ハティエン諸州）に於ては土地拂下げ面積三十九萬五千ヘクタールに達す。その内譯は安南人三二七、〇〇〇ヘクタール、歐人六八、〇〇〇ヘクタールである。

土人苦力賃銀は農務局調査に據れば四十セント乃至五十セントである。尚モイ地方に於ては六十セント迄に及ぶ。

（七月九日西貢時報所載）

一九二六年度交趾支那の米作

籾收穫前年度に比し三十萬噸の増加、經濟局の努力漸く結實の緒に就く

交趾支那各州よりの報告に據れば、一九二六―二七年の籾收穫は、前年度の一、九七三、〇〇〇噸に對し、二、二九一、三〇〇噸を數ふ。

然れ共米田面積は、前年度に比し稍減少の數字を示す。卽ち一九二五―二六年には一、八八一、〇〇〇ヘクタールであつたものが、一九二六―二七年には一、七七六、〇〇〇ヘクタールとなり、その間一〇五、〇〇〇ヘクタールの減少を示した。

平均收穫量の最高率を示したのはカント（Cantho）州で、卽ち一七五、〇〇〇ヘクタールの米作面積に對し、籾二七二、〇〇〇噸の收穫を擧げた。一ヘクタール當り一、五五四基瓦に當る譯である　次位はサデック（Sadec）州で一ヘクタール當り一、五二八基瓦に該當す。（米作面積七二、〇〇〇ヘクタールに對し、籾收穫量一一、〇〇〇噸）次に順位平均收穫率を各州別に列擧すれば次の通りとなる。

Soctrang	一、三八二	基瓦
Mytho	一、三七〇	同
Vinhlong	一、三五八	同
Cholon	一、三二一	同
Travinh	一、二八二	同
Bentre	一、二三七	同
Gocong	一、一五三	同
Longxuyen	一、一〇七	同
Tanan	一、〇九〇	同
Chaudoc	一、〇四三	同

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

Bachgia	八九一	同
Baclieu	八八三	同
Giadinh	八二一	同
Hatien	七七八	同
Tayninh	七六九	同
Bienhoa	七五七	同
Baria	五三〇	同
Thudaumot	五一六	同

前年度に於てはゴコン州がエクタール當り一、六〇七基瓦の收穫率を示し第一位の成績を擧げ、サデック一、五三〇基瓦で次位となつてゐる。以下はカントー(一、四九〇)、バントエル(一、三八六)、ヴアンロン(一、三一二 トラヴアン(一、二七八)、ショロン(一、二四〇)チアダン(一、二一七)、タイナン(一、〇〇〇)等々の順序である。

更に交趾支那全般の米田に於ける收穫率はエクタール當り一、二九〇基瓦に當り、前年度の一、〇五〇基瓦に比すれば二四〇基瓦の增加率を示してゐる。

之を大體に於て見るに、米作狀況は非常な好成績を收めてゐると言ひ得る。更に亦一方より見れば農務局の努力が漸次其の實を結び始めたものとも言ひ得らるゝのである。

又佛人技師と安南人栽培者との間に、直接の融和接觸關係が出來上つた事も十分想像し得ることである。

西部監督所の技師と米作試驗場の技手達が巡視の際、土人の栽培法、收穫變動の原因、栽培法改良の可能性、及收穫の增加等の點を調査研究し、土人米作者から有益な意見を與へられてゐる。然し殘念な事には人數が足りなかつたため、土人栽培區域の全部を調査し得なかつた。僅かな技術家が十分なる智識を得るには調査區域が餘りに擴大に過ぎてゐたのである。

けれどもこの職員を全米作者に認めしめることは必要な事があらう。又西部監督所の衛監區を新設することも必要である。この問題は永らく提議されてゐた問題であるが、その一はヴアンロン州を中心とした北部監區で米作は勿論バサック州以北(ショウドック、ロンシユヤン州を含む)に在る各州に於ける米以外の栽培物を監督せしめるのである。他は南部監區でカント州のカントを中心にソクトラン、バツクリアウ、ラツクヂヤ、及ハチイエン各州を含ましむるのであるが、是等各州に於ける或地方等は極く最近拓殖事業の起された所であり且又交通の便は殆んど通じてゐないといふも過言ではない、從つて耕作者の行動には非常な障害の存在することを察知し得らるゝもこの仕事は非常に良い仕事であり且引いては全世界を利する仕事であらう。

(七月二十三日西貢時報所載に據る)

土地拂下規定に關せる新法令

官報は印度支那に於ける農作を目的とする、一時的土地拂下新規定に關する法令を發表してゐる。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

之に據れば一千エクタール以下の土地拂下は知事及總理事官之を許可し得。

一千エクタール以上二千エクタール迄は總督府評議員會に於て總督之を許可し。

二千エクタール以上は植民地土地拂下委員會の結果植民大臣の報告により大統領令によつて發布さる旨を規定してゐる。

（七月八日西貢時報所載）

□印度支那主要輸出入市場調査

A 輸出の部

一、米 二千萬の人口を自給自足する以外年額約百六十萬噸、價額十七億法の米を海外に輸出してゐる 消費市場の主なるものは香港二割九歩（中繼市場）支那二割七歩、日本二割六歩、佛本國一割、新嘉坡四歩（中繼市場）等である。

二、魚類（罐詰・乾魚・燻魚・鹽漬） 輸出年額（一九二六年）一億千八百萬法でその半分は新嘉坡在住の支那人に供給し、他の半分は暹羅及支那市場に輸出す。

三、石炭 輸出年額（一九二六年）八十八萬噸、價額九千二百萬法で主なる消費地は佛領植民地三萬噸、香港十五萬噸・支那及日本の三十五萬噸つゝ等である。

四、セメント 年產額六萬二千二百九十噸、價額二千三百六十七萬法で香港三割、新嘉坡二割四歩、殘りは支那及暹羅に輸出する。

五、護謨 年輸出額は八千七百七十七噸・價額一億一千萬法で全部佛本國に於て消費す。

六、胡椒 年產額（一九二六年）二百七十九萬一千基瓦、價額二千五百八十二萬三千法で消費地は日佛兩國である。

七、漆 年輸出額（一九二六年）固形漆八百萬法・漆油二千百二十五萬法で主なる消費地は日本及佛本國である。

八、木材（リム、チック・その他） 年輸出額一萬噸、價額千三百七十三萬法である。

九、亞鉛 年產額四萬七千六百噸で殆んどその全部を白耳義に輸出す。

B 輸入の部

一、金 一九二六年に於ける印度支那の金輸入額は地金三千三百五十四萬七千六百法、金貨千三百十三萬六千六百法計四千六百六十八萬四千二百法で殆んど全部が香港より輸入せらる。

二、綿布 一九二六年に於ける輸入總額は四億三千六百萬法である

三、自轉車 一九二六年に於ける輸入總額は七千五百萬法で伊太利

よりの輸入一割二歩を除き他は殆んど全部佛國である。自動車の外佛國は年額二千八百萬法の自働車を輸入してゐる。

四、鐵、鋼板・金物及機械類　一九二六年の輸入額鐵及鋼板二千百十四萬八千七百法、金物二千五百六十五萬三千九百法、機械類千百三十萬四千三百法で主たる輸入國は佛本國である。

五、酒類　年輸入額十萬六千エクトリツトル、價額四千五百十九萬九千四百法で殆んど全部佛本國より輸入す。

六、陶磁器　一九二六年の陶器輸入額三千九百七十七萬三千八百法でその五割五歩は支那、二割七歩は日本、一割は香港、二歩は佛國の割合である。反之磁器の五割七歩は佛國、二割六歩は支那よりの輸入である。

七、煙火及爆竹　年額八百四十五萬八千三百法で香港を介し主として支那より輸入す。

八、活字　年額三百餘萬法で二割三歩は支那より殘りは佛國より輸入す。

九、祭典用色紙　年額九百萬法主として香港を介し支那より輸入す

一〇、瀝青及船用油脂　瀝青の輸入年額は八百三十七萬千法でその九割五歩は日本より輸入す船用油脂の五割も亦日本よりの輸入とす。

英領馬來

□一九二六年のジョホール概況

最近新嘉坡フリー・プレス紙に現れたジョホール州年報を摘譯すれば次の樣である。

先づ同年度歳入は一八、七八一、五六五弗で、前二箇年はそれ〴〵一九二五年一五、八八四、五九二弗、一九二四年一〇、九四七、九六〇弗の數字を示して、年々著々増大してゐる。尚ほ實際の歳入額は豫算より七、二四九、八六五弗を凌駕したのである。

昨年に比し歳入二、八九六、九七三弗の増額は主として關税、免許料、市、土地賣買稅金、郵便電信收入の各項目の增收による。

歳入總額（土地賣買稅金を除く）に對する主要歳入の百分率を擧ぐれば次の通りとなる。

土地及森林	一二・八	關税	三九・八
免許料	三五・七	其他の歳入	一一・七

一九二六年度總歳出は、前年の九、七八〇、三三二弗に對する一八、〇九九、二三二弗で、其の豫算は一六、九三九、四一三弗であつた。（以下省略）

同年貿易總額は前年一六七、五九〇、三一四弗に比較して一七三、二

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

六六、八二〇を示した、其の内譯は輸入三五、七八二、七五八弗、輸出一三九、二六一、四五一弗、再輸出一、七七七、三八九弗となる。

前記總輸出額中、護謨が一一九、五八〇、〇六九弗の巨額を示すのは同州が如何に此の栽培食料に負ふこと大かを如實に物語つて居るものである。錫鑛の量は同年中高値を押通したが、一九二五年二三、一六〇擔から、一九二六年一七、四五五擔に減退した。新産地が開かれるので無ければ、大して輸出の激減はない見積りである。コプラの輸出量は確實而も好成績に増加を續けて居る。パイナップル事業は振はなかつたけれども、罐詰工場は引續き増築された。

同年内新植付面積は一萬二千英反で、スマトラからの選種が或る所では採用された。年末に於ける栽培面積は約五十二萬六千英反と記錄されて、輸出數量は一、〇一〇、六七九擔、價額一一九、五八〇、〇六九弗を算した。

椰子の栽植面積は大約九萬英反に上つて居る。産額は頓に増大して、五七六、〇〇〇擔、六、三四四、〇〇〇弗を示した。此の栽培は殆んど全部農家の手で爲され、果實の採集、加工並にコプラの輸出は按配よく行はれてゐる。最近外皮から紡績用纖維を製造する可能性が若干の注意を喚起する樣に成つた。

水田の面積は三、八六六英反、其の産米は三八四、一八七ガンタン、之れに對して乾田は一、四六二英反、産米一二、六五二四ガンタンを擧げてゐる。茲にジョホールでは籾の植付けは下り阪にあると云つても好い。適當した土地は存在するが、護謨を始め椰子の栽培がより多く着目される以上又灌漑設備と優良種の輸入によつて産米が増量せぬ限り到底發展の見込みはない。現に是等に關する調査は進行中で、政府は有望と思はれる計畫にはどし／＼財政的援助をすると云つて居る。無論勞働者の問題も大事であるが、移民を呼び寄せなければ、前途は樂觀覺束ない。

パイナップルの植付面積は約一萬五千英反と報告されてゐる。鳳梨罐詰の製産高は六四三、五三四罐で、前年の數字に微して九千罐の低下である、此の外約二七、〇〇〇、〇〇〇のパイナップル果實が輸出された。同年中作業工場は七で、罐詰製造業には非常な興味が掛けられて居る。其の中特筆大書すべきものは地方生産業者の成立に就いてゞある。内容品を統一し、委託運送制度を整一する手續が專ら考中の問題であつて、後者即ち委託貨物は一等品（[illegible]）及び可良品（good average quality）とに限られて居る。

アフリカ油椰子の栽培は非常に進捗して、一千二百英反の新植付地が出來、年末には通算二千二百三十五英反に昇つた。此の外伐木燒毀された土地九百英反あつて、更に伐木作業は進行して居る。油椰子の新規大規模栽培に關する照會は澤山あつて、夫が爲め確定地域を定むる所有地を表はす記號に關する問題に就いても審議中である。

勞働監督官の提供した報告によれば、同年就役勞働者數は人種別に左の通りである。印度人三一、二七一。支那人一九、〇〇六。爪哇人

六、二四八。其の他一、一二一。

エステートの保健狀態は可良で、印度人間の死亡率が僅かに前年よりも多くなつた丈けである。監督官の報告では、歐洲人並に日本人經營のエステートに於ける住宅、衞生の狀態は槪して良好であるが、他のエステートでは責任を回避する傾向多く、近來法律の規定を遵守する念が餘程進んだのにも拘らず、容易には行はれない。

又錫鑛の輸出額は一七、四五三擔(一九二五年は二三、一六〇擔)で、何れも皆エンダウ地方から來たものである。減産の理由は既往の産地が掘り盡され、新産地を發見することも出來なかつたこと又勞銀高に基づいて産出地方に運輸設備を缺くこと、及び護謨園に對抗して勞働者を吸收すること困難な爲めとに由る。同年中平均錫價は一擔當り一四四弗で、最高値は未だに記錄されてない。

ブキト・メダンの日本人經營鑛山は鐵鑛二五〇、一〇〇噸(一九二五年は二七一、九九三噸)を産した、其の輸送は全く海運に依つてゐる。

高嶺土(磁土)はスンガイ・プラパーから三三七噸程の輸出があつて新嘉坡護謨製品の製造業者から需要が寄せられて居る。

（新嘉坡フリー・プレス八月二十六日）

□ 印度人勞働者の一九二六年度狀況

勞働監督官ギルマン(E. W. F. Gilman)の年報を抄譯すれば次の樣である。

一九二六年南方印度からペラ州への陸揚港、且つ馬來聯邦州移住民の最初の寄港地ピナンに到着した移民者總數は一七四、七九五人で、前年の九〇、七〇八人に比べると實に八四、〇八七人の增加を示してゐる。移民者を大別すると次の如くとなる。

補助移民 （即ちエステート、鑛山又は其他に就役する勞働者で移民基金の費用で輸入する所謂自由勞働者）	一四九、四一四
其他の移民 （運賃一切を自己の負擔で來る商人、勞働者及び其他の者）	二五、三八一

此の數字は印度移民開始以來の最大レコード年を示すもので、從前のレコードは一九一三年の一一八、五八三人で、就中補助移民は九一、二三六人であつた。

前記補助移民中には十二歲以下の幼兒二一、六二二及び其の他の移民者中には二、二九一の幼兒があつて、合計二三、九一三(前年一一、七〇五)である。又所謂「其他の移民」の中一五、九六三卽ち六割二分餘は勞働者階級に屬するもので、殘りの九、四一八が商人其の他の勞働者である。

同年ピナンから南印度へ歸還したデッキ・パセンジャーの數は六

五、七八六人（大人六二、〇九二、小人三、六九四）で、前年は四三、一四四人（大人四一、〇一九、小人二、一二五）であつた。此の中、四四、〇〇〇は聯邦州から來たもので、一九二五年度の超過推定約二六、八〇〇に比較して約六四、一〇〇を示すものである。

歸國者中、大人五九、四五〇及び小人三、一三一は自費を以て歸還したが、病弱又は廢人の大人二、六四二、小人五六三は勞働局を經由して歸還せしめたものである。

一九二一年の國調による馬來聯邦州内印度人は三〇五、二一九人で此の中タミール、テルグ及マレイヤリ計二八一、五三九を含んでゐる。一九二六年度末之れに相當する人には通算約三六〇、〇〇〇人と稱へられて居る。

現在是等南方印度人間の主なる傾向は男女數が略々平衡に接近しつゝあると云ふ點である。是れは一九一一年及一九二一年兩回の國勢調査の結果を比較するに、エステートでは女一に對する男三、女一人に對する男一・八に進んでゐる。更に本年は前國調年度より數箇年經過せるを以て、より以上接近せるものと思惟される。

一九二六年末聯邦州郵便貯金銀行に貯蓄せる金額は二、〇二七、一〇五弗に達してゐる。預金總額は一九二五年以來五一七、七八〇弗卽ち三割四分以上を增し、預金者數は三、六八一卽ち約三割四分を增加して居る。勞働者の預金者數は同期間五、六五七より八、二七九に、預金高は二五七、七二四弗に殖えた。印度への送金高は合計六、五九五、三四〇留比卽ちマドラス迄平均一人當り七一・三留比に達する。

聯邦州内のエステート及鑛山に從事する印度人勞働者の死亡率は、期別報告書によれば、平均人口一六四、六五一人に對し千人當り一五・六二を示した。前年（一九二五年）は平均人口一二四・九三七人に對し千人當り一二・五五、一九二三年及一九二二年はそれぞれ一四・九四及び一七・七一であつた。

聯邦州内一帶に就役する印度人勞働者は自由であつて、彼等は借金無しで上陸又は一箇月の猶豫を以て何時でも自由に離去する事が出來る。從つて、如何なる移民も勞働者として證書契約に入ること不可能である。

（新嘉坡フリー・プレス八月二十四日）

□一九二六年度馬來聯邦州貿易

馬來聯邦州長官ピール氏から發表された、一九二六年度に於ける馬來聯邦州報告によれば、昨年卽ち一九二六年度の貿易額は六億一千九百四十八萬七千九百二十七弗であつて、前年度に比して七千四十九萬三千三百十弗卽ち十三%の增加である。是は概して護謨の輸出增加と錫の高値であつたことに基因して居るのであつて、之を人口一人當りに割當てゝ見ると、前年の四十六磅に比し二六年は五十二磅となつ

て居る。之を母國の大英國及アイルランドの人口四千七百萬に對する昨年度の貿易總額二十億二千萬磅に對比すれば一人當り四十三磅に當り殆ど母國を凌駕して居るのである。 過去六箇年間に於ける我輸出入表の額を通覽すれば明かである通り、輸出の如き一九二一年度に於ては僅かに一億三千五百四十八萬五千三百七十六弗であつたものが、一九二六年度に至つて其約三倍強の四億四千五百六十萬二百三弗の巨額に上つて居るのである。 殊に一九二四年より一九二五年にかけては、二億一千二百八十八萬四千七百四十弗より一躍四億一千一百八十七萬八千六百十弗に達して居るのである。 而して昨年は當約三千三百萬弗の増加を見たけれども、輸入の方は之に反して増額はしなかつた。 輸入の方では一九二一年の一億三百一萬二千六百六弗より一九二二年は七千八百八十二萬二千三百四十九弗に低下したことはあるが、それ以降は、ずつと上騰して、一九二五年から一九二六年に懸けては、一億七千三百八十八萬七千七百二十四弗の躍進をなして居るのである。

之を要するに過去六箇年間を通じての我貿易差額は誠に順調に進んで居るのであつて、一九二一年度の三千二百四十七萬二千七百七十弗より一九二五年度に於ける、二億七千四百七十六萬二千四百三弗の巨額に迄達して居るのである。 然るに昨年度は二億七千一百七十一萬二千四百七十九弗で極く僅かの減少であつた。

而して叙上の繁榮は實に税關收入、消費税竝に阿片收入に基くものであるが、特に阿片税收の増大は五千四百萬弗に上り、一九二五年の有高記錄額より更に一千萬弗の増加となつて居るのである。 輸入税は一百五十萬弗より八百五十七萬二千九百六十二弗に上り、 輸出税は四百萬弗差より實に三千七百五萬三千二百六十一弗に上つて居るのである。

昨年(一九二六年)度は阿片許可證の個人によるものは許可されず且つ監督は嚴重になされたにも拘はらず、三百萬弗より一千五百十一萬八百九十七弗の増收となつたのである。 此阿片と云ふ特別な税收は實に英領馬來繁榮のバロメーターと看做すことが出來るものである。

護謨の脫税は下火となつたけれども、之は昨年二月一日以降各國共に標準生產量の十割を輸出許可されることゝなつたものゝ、之が乾季に入つても大體の査定見積が過大であつた爲に多くの國に於ては、到底其標準高を生產し得なかつたからであると言ふことに歸して居る。かくて一九二五年には二百八十四隻の脫税船を捉へ、七百十五人の囚人を出し、其四割金額は實に三百四萬八千八百五十弗に上り尙六千六百四十六擔の護謨を沒收したものが、一九二六年度には僅かに五十八隻の脫税船を捉へたに過ぎず、人數も半數以下の百三十人の囚人となり罰金を課せられた金額も五十四萬四千四百二十一弗に減じ、沒收護謨も亦僅かに一千四百十九擔であつた。 而して之が大體に於て間違ないものとすれば本年は昨年度よりも一般に脫税者多く、或は一九二

五年の表に顯ることゝはならないであらうか。

尙本年に入つて眞面目に投資をして居る人も多々ありし中には、投機的のものもあるが、既に五十六の地方會社の設立を見、之が投資額三千五百七十六萬四千五百弗に及んで居るが、一九二六年には僅かに三十八件であつた。之は一つの記錄ではなからうか。其主なるものは護謨栽培、鑛業、竝に一般貿易で、他は古々椰子、油椰子の栽培、活動寫眞、病院銀行業、栽經業及び新聞經營等である云云。

（新嘉坡商品陳列館々報第三百十一號）

□護謨價の下落と護謨株の消長

護謨の市價が六十仙を割り初めてから約二箇月になる。但制限は依然として最低の六割である。昨年初めの市價一弗五十七仙といふ相場からすれば、今日の相場は一度一弗丈け置き忘れた樣な感がある。一九二四年は生産制限實施後の最も不良の年であつた。同年の優良株といふのは十社位に過ぎない。二四年末のゴム市價は今日より約十仙高であるが、制限率から考へて最小限度の五割に落ちてゐるのはどうしても四圍の事情が、今日より不味であつた事は言ふ迄もなく周知の所であらう。而も現在では株價に表はれた上から見た不良會社は十社餘に過ぎない。そしてそれらの不良會社は到底拾收する能はざる仲間であつたといふ直感を持たせるが、他の多くのゴム會社は二五、六年の兩年に受けた好況に土臺をしつかり立て直してゐる。それ等の理由には色々あらうが、その根本理由は

(1) 過去不況時の制限令により、園そのものが必然的に保護された結果各樹の精力涵養となつたこと。

(2) 濫採の不得策なることが、充分知悉され、採集樹令制限に依る若木切付が、可及的に遲れてゐたこと。

(3) 致命傷的不況の結果、園經營上に驚くべき進歩を爲し從來の大まかな經營が、極めて組織的科學的になつて、採集方面では期間採集が、普通化された事など、園經營の改革が必然的に行はれより經濟的になつた事。

是等の事がその理由として擧げられる。最低の經費を以てより多く收穫すべく一面消極的に、他面積極的に、マネージングが一面科學的技術が組織化されたと他面非常にコンマーシャライズされ鋭意當面の困難切拔けと將來に處する大策が、樹立された。それ等の行動に漸く愁眉を開いた頃二五、二六年の好況に出會した。然も此機に際して立て直しを容易ならしめた理由として次のものが擧げられる。

(1) 輸出制限の制限率が二五年の後半より市價の高騰に伴ひ高率となり二六年には最高率を三期に渡つて持續された事。

(2) 制限年數の加はるに從ひ若木の採集林が増加され、又制限當時の若木が二五、六年に稍圓熟され來つた事等。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

兎に角以上列記の理由より見て、只管この好機會を逸せず土臺の立て直しが作意された事は見逃せない事實である。護謨市場今日の四圍の情勢からゆけば、ゴム株はもつと下落すべきだのに落ちぬ所はつまり各エステートが、前述の理由で夫々利益を擧げてゐるといふ強い根據がある。然しなんと言つてもゴム價の高低に支配されるものであるから、目下の相場が尙當分續くものとすれば人氣はゴム株を引下げずには置くまい。果してこの相場がどう動くか、それは巷間の謎である。

尙參考の爲め護謨價の上下と倫敦ストックの消長を調べて見やう。

一九二二年一月末	七六、五五九噸	同年十二月末	八二、〇八一噸
一九二三年同	八三、一一四	同	六六、五六六
一九二四年同	六六、八三三	同	三三、四四五
一九二五年同	二九、九八三	同	六三、三一八

二五年十一月末は四、六二〇噸にて最少量なり

一九二六年同	二、二二一	同	五一、三三〇
一九二七年七月末	六三、八一九		

一九二二年はゴム市價三十仙はおろか二十仙を割つた事さへあつた。オーパー・ストックの聲は市場を埋めてゐた。二二年十一月から制限が開始され、同年末の倫敦ストックは兎に角八萬噸を越えてゐた。それが二五年の十一月にはタッタ四千六百噸になり、二五年にはゴム饑饉と言つて騷いだ。米國は最少限度の八九萬噸のストックは持つてゐなければならん。倫敦でも二萬噸位は保有してゐてゴム工業が漸く圓滑に原料難から逃れると言つた。米國の好況と自動車の增加に兎も角ブーム出現が呼ばれた。二六年後半になつてから風向きが、ガタと變つて來て、米國の景氣も一寸惡向きとなり、それに制限は三期を通じて最高率を持續し、制限率と實際の市況が、間隙を生じ、二六年の末には五萬噸からのストックが、倫敦の倉につまつて終つた。それが現在では遂に六萬三千噸になつてゐる。ストック高からすれば丁度二四年一月と同じであるが、量が同量であつても市場の人氣は決して同樣でない。世界消費高の增加の關係からして、二四年の六萬三千噸よりは幾分多くなくては實質的のバランスが、合はない譯けである。從つて目下の人氣は二三年乃至二四年初めよりはいゝ譯になるが、何れにしてもオーバー・ストックの聲を失ふことは出來ない。倫敦ストックはゴム市場の一つのバロメーターであるが、兎に角倫敦ストックの反影する市況は一寸浮ぶ率が薄い樣である。最も目下の市價は數字で計れぬ行き過ぎ相場で、全く人氣で動かされたといふ一般の觀察からすれば、米國のバイヤーが少し目立つて買進めは反撥するだらうとの說も高い。

ミスター・スチノハの護謨饑饉說も今は市場から影を消してゐる。

新嘉坡商品陳列館々報（第三二二號）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

英領北ボルネオ

□ 英領北ボルネオ農業統計

（面積單位＝英反）

米（水稻）＝單位ギャロン

州名	一九二〇年 面積	一九二〇年 生産	一九二一年 面積	一九二一年 生産	一九二二年 面積	一九二二年 生産	一九二三年 面積	一九二三年 生産	一九二四年 面積	一九二四年 生産	一九二五年 面積	一九二五年 生産	一九二六年 面積	一九二六年 生産
西海岸	一四、〇一三		一九、一〇〇	三、三六〇、〇〇〇	二九、七四〇	九、二〇五、〇〇〇	三〇、九六六	八、五七八、〇〇〇	二九、九七〇	五、七一九、六三〇	三六、〇八〇	[illegible]	三二、八二七	七、〇八一、一六七
中部	七、〇七〇		六、六〇〇	一、三五六、〇〇〇	七、三〇〇	一、三九〇、〇〇〇	一三、四〇〇	二、〇〇〇、〇〇〇	八、〇〇〇	二、〇〇〇、〇〇〇	八、〇〇〇	二、〇〇〇、〇〇〇	七、五〇〇	二、三〇〇、〇〇〇
サンダカン	一、〇〇〇	三〇〇、〇〇〇	一、五〇〇	二〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇	一〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇	一五〇、〇〇〇	一、〇〇〇	八五、〇〇〇	一、一〇〇	一九九、九八〇	九六六	九四、六〇〇
東海岸	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	三三	三、八五六
合計	二二、〇八三	三、三九〇、四九〇	二七、二〇〇	四、九一六、〇〇〇	三八、〇四〇	一〇、六九五、〇〇〇	四五、三六六	一〇、七二八、〇〇〇	三八、九七〇	七、八〇四、六三〇	四五、一八〇	[illegible]	四〇、三八六	九、七八〇、〇〇〇

米（陸稻）＝單位ギャロン

州名	一九二〇年 面積	一九二〇年 生産	一九二一年 面積	一九二一年 生産	一九二二年 面積	一九二二年 生産	一九二三年 面積	一九二三年 生産	一九二四年 面積	一九二四年 生産	一九二五年 面積	一九二五年 生産	一九二六年 面積	一九二六年 生産
西海岸	二、三〇六	三六〇、〇〇〇	五、三〇〇	三六八、〇〇〇	三七、七〇〇	六三一、〇〇〇	五、二五〇	六〇九、〇〇〇	五、六一二	五一五、三六〇	六、四一五	七六三、五四四	五、七四八	七四一、一五〇
中部	二、八九〇	二、一五〇、〇〇〇	二、五〇〇	九九六、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	八、二一〇	一、〇〇〇、〇〇〇
クダット	五、〇〇〇	四五〇、〇〇〇	七、〇〇〇	七四〇、〇〇〇	一、五〇〇	一五〇、〇〇〇	一、五〇〇	九六〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一三五、五〇〇	九五〇	一七一、九五〇	一〇、五〇〇	三一〇、〇〇〇
サンダカン	三、〇〇〇	三〇〇、〇〇〇	三、五〇〇	三一〇、〇〇〇	一、〇〇〇	一〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇	一六〇、〇〇〇	二、二九二	二二四、一五五	三二九	二二一、八八〇	一、八二二	一、〇〇〇、一〇〇
東海岸	五〇〇	三五、〇〇〇	五〇〇	三七、〇〇〇	五〇〇	五〇、〇〇〇	—	—	一、一六九	五〇、〇〇〇	一三五	四一、六八〇	一三〇	五三、〇〇〇
合計	二二、六九五	三、三〇〇、〇〇〇	三七、〇〇〇	三、一八一、〇〇〇	一六、七〇〇	一、九三一、〇〇〇	一七、八五〇	二、六四九、〇〇〇	二八、二七三	一、九四六、二五五	一八、四七五	二、〇六七、三一四	二六、五一九	三、一〇〇、四〇〇

コプラ＝單位噸（二二四〇封度）

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

護謨=封度

西海岸	中部	クダット	サンダカン	東海岸	合計
七、五九四	—	三、九三三	五、六九一	一一、四〇二	二八、六一九
五五	—	一七二	四九〇	二九一	一、〇〇七
七、七六六	—	三、九八〇	五、七四三	一一、四七九	二八、九六八
一九二	—	四二七	一、一一九	六八八	二、四二五
七、七〇〇	—	四、〇〇〇	五、二〇〇	一二、〇〇〇	二八、九〇〇
一四一	—	六八六	一、一五七	八三九	二、八二三
九、二二八	—	五、三三九	六、五五六	一五、九一七	三七、〇二〇
二五三	—	七八六	九二八	一、一〇八	三、〇七五
九、三九九	—	六、〇〇四	七、〇〇六	一六、八〇五	三九、二一四
三三〇	—	九八七	一、三二〇	一、三二〇	三、八二七
八、三六七	—	五、四〇〇	七、二四九	一七、四三八	三八、四五四
二九九	—	一、二八九	一、〇七三	二、二三六	四、八八七
八、三五六	—	五、九五九	七、九六九	一六、二六〇	三八、五四四
二九三	—	一、六五四	六七二	一、七二七	四、三四五

サゴ=粉=單位噸

西海岸	中部	クダット	サンダカン	東海岸	小所有園	合計
三〇、九三二	三、五七〇	二、九七七	四、七二四	九、六六三		五一、八六五
六、四五五、三七一	一、二二三、二四六	四八八、八五四	八三四、六七三	一九三、二九一		九、一九五、四三四
三三、九四四	三、六六六	三、三五八	四、八一七	一一、三八六		五七、三七一
四、七三二、八三八	九九三、一五九	三九六、〇七四	七七九、〇二一	八九、五四〇		六、九九〇、六二六
二八、〇七三	三、七〇六	二、八六八	三、三〇四	一三、三〇〇		四九、二五一
五、七一六、八一九	一、〇六二、二九三	五五五、一一九	七三三、八五八	三四〇、六四六		八、三九八、七三五
二八、〇八七	三、七二二	三、一〇六	三、三三〇	一四、七七〇	九、三六一	六二、三六六
六、五六〇、六三八	一、二五〇、一三三	五六二、八一八	六八五、一九一	四三六、四三九		九、四九五、一九八
二九、二六七	三、七二二	二、四四〇	三、九六六	一四、一五一	八、七五〇	六二、二八六
五、七二七、六四一	一、三四〇、九四四	六四一、六七三	九二九、八二〇	四二三、九七三	一、三九七、二〇三	一〇、五五〇、二五一
三〇、一三一	三、八三六	二、四四〇	五、三三一	一四、三〇一	一四、四三七	七〇、四六六
八、四六〇、一一一	一、三〇七、〇九〇	五七五、三四二	一、〇七六、二六九	七三三、五三七		一二、一五二、三四九
三二、九二〇	四、五一一	二、七三四	六、三八一	一三、七〇九	二〇、七五八	八一、〇一三
六、六二一、五三三	一、〇五五、五二八	五八〇、六八一	一、一八八、八九一	九三四、九六四	二、八二九、〇七三	一五、二一〇、六六九

煙草=單位封度

西海岸
—
二、八〇三
一、一三三
二、一四五
七、二〇〇
二、八二七
七、二〇〇
三、三二八
三、三六七
二、八〇二
三、九二一
六、一三〇

筆數	英段	收穫
一、〇五六	一、七九一	—
—	—	一、二六二、五八三
九〇九	一、四四四	—
—	—	一、一五七、三九〇
九二二	一、四六五	—
—	—	一、二〇八、一三三
九九八	一、四九六	—
—	—	一、二五〇、五九八
九三〇	一、五五三	—
—	—	一、三四三、七〇三
一、〇五五	一、七四三	—
—	—	一、四二八、三三三
一、〇六八	一、八六三	—
—	—	一、二三四、〇五〇

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

蘭領東印度

□爪哇マヅラに於ける古々椰子物產の生產、輸出入及び消費（一）

第一章　一九二六年の古々椰子生產

爪哇マヅラよりのコプラの輸出額が激減せることに關連して、農業評議會は、一九二六年に於ける古々椰子の收穫狀態を調査するに至つた。

入手せる回答に據れば、一九二六年度の古々椰子收穫は、一般に到る所乾燥せる東ムンスーンに危せられて標準下に留まり、本年度の收穫も亦不作に終るであらうと云はれて居る。

バンタム―バタビヤ州

本地方に於ける古々椰子の收穫は著しく豫期に反し、其の主な地方は北部バンタムのチレゴン、北部バタヴイア及び北部クラヲン等の降雨の尠なかつた地方である。

又同時に一九二五年に於ける旱魃の餘影が惡影響を及ぼして居る向もあり、其れに因り、開花狀態惡しく、從つて結實數も自然尠なかつたのである。殊にコプラ生產地たるチレゴンの如きは、土人生產額は以前の五〇％にしか達しなかつた。又チレゴンに於ける支那人のコプラ取引高も同樣に尠なかつた。

プリアンガン州

本地方に於ける古々椰子栽培の二大中心地たる、チヤンジヨール及びタシクマラヤに於ける一九二六年度の古々椰子生產高は、一九二五年のそれより非常に尠なかつた。

本減產の原因は主として一九二五―一九二六年の猛烈な旱魃によるのであつて、結實數を減少せしめたのみならず、果實の大さにも影響を及ぼしたのである。一商人の報ずる所に據れば、一九二六年度に於けるコプラの總買上高は、一九二五年のそれの半分にしか過ぎず、旱魃の影響は尙一九二七年度の收穫にも波及し、見積に據れば、一九二七年度のコプラ買上高は一九二五年度より約四〇％方尠ないであらうと。

一面に於ては、コプラの市價は差程の動搖を見せず、一九二五年度に於ては擔當り一四盾、一九二六年に於ては一四、五〇盾及び一九二七年に於ては一五―一五五〇盾である。

チエリボン州

一九二五年度末の旱魃は古々椰子の栽培に餘り重きを置いて居ない本地方の大部分に於ては、住民の被害は差したるものではなかつた。單に場所に依り、高い丘陵地に於けるものが其の影響を蒙つたのみであつた。

一九二六年度の古々椰子の收穫は、概して普通の狀態に在つた。

ペカロンガン州

本地方に於ては、一九二五年末に既に古々椰子の生産減退の徵候が見受けられた。之は猛烈な、長く續いた東モンスーンに原因するものであつて、且つ濕潤期が通例より早く始まつたことにも原因して居るのである。又被害の大部分は、一九二五年の氣候に因るものである。

此處に注意すべきことは、此の影響に依り開花の成績頗る惡しく、花の枯死せるものは到る處に見受けられた。又若い果實の腐敗落下するものも非常に多かつた。其他諸種の病害、災害等も平年よりは著しかつた。故に、場所によつては被害は非常に甚だしかつた。調査の結果に依れば、生産減少は平年作の約五〇%とすることが出來る。

スマラン州

乾濕の度宜しきを得たサラチガ地方を除いては、本州に於ける一九二六年度の古々椰子收穫は一般に亙つて不作であつた。而して、當地に於ても亦一九二五年の旱魃の結果開花狀態思はしくなく、開花より結實に至るまで十箇月乃至十二箇月もかゝる樣な狀態にあつた故に、一九二六年度には多くの收穫を爲すことが出來たことは當然の話である。一九二七年度に於てさえも、開花狀態が猶引續き異狀を呈して居る故に、收穫は平年作より著しく尠なかつた。

デマタ郡の如きは、一九二五年の旱害の結果多數の古々椰子樹は枯死し、生産は極く僅少に過ぎなかつた。斯くする内に降雨來り、樹木は蘇生し初めたが、同時に今度は品不足の現象現はれ、其の結果多數の未熟果實を採集販賣するに至り、市價が高値を維持すればする程益々盛んに行はれた。斯る大量採集は、旱魃に因つて衰弱した樹木の降後の生産に非常に惡影響を及ぼした。

ケヅー及びバンジヨマス州

古々椰子栽培地として重きを爲す本地方の狀態は次の樣である。

一九二四年(濕潤な東ムンスーンのあつた年)に於ては、總ての地方に亙つて、ブルールーク(鶏卵大の果實 の腐敗落下するもの夥しく、從つて、一九二五年のクラパ(熟せる果實)の收穫は尠なかつた。

仍ち一九二五年(乾燥東ムンスーン)に於ては

A 紅土質地に於ける一房當りの着花數は減少し、從つて一九二六年に於けるクラパの生産高は減少した。又果實は一九二六年の乾燥東ムンスーンに因り水分の供給不充分の結果普通よりは小さかつた。

B 粘土質地に於ては、一九二五年の乾燥東ムンスーン期に開花したものゝ果實は水分の吸收不充分の爲其の粒に於て小さかつた。

又一九二六年の東ムンスーン期に於ては

A 紅土質地に於ては多數の樹木は其の葉を失ひ、本種土地の生産高は非常に尠なかつた。又一九二七年の東ムンスーン期に開花せるものは一般に結實しない模樣である 又氣候上の被害が差程甚だしくなかつたものも、其の開花狀態に於て平年より五〇%六尠なく、猶花房の柄もより小さい故に果實も特に小さいであらうと豫想出來る。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

B 平地に於ける樹木の花は、今の所平年より尠なく且つ花房柄も細く、其の上花の密度も平年より[illegible]で、其の間若い果實落下するものが相當ある見込である。故に之等の樹木も一九二七年に於ては平年より成績が惡いと見越されて居る。

以上の事實を綜合するに、一九二七年に於ては、古々椰子果實の生産は約二五%六尠なく、且つ土人が常に盛んに消費して居るコプラの生産も、數量及び大きさとに於て著しく減退するであらうと云ふことは、何等不思議とするに足らないのである。

而して其の結果、萬一コプラの市價が昂騰した場合には、砂糖の産額は多少減少するであらうと思はれ、よつて、コプラの數量の不足はそんなに著しくなくなるであらうと思はれる。

古々椰子の收穫狀態は、一九二六年に於ては平年作であつた。一九二五年の旱害は、單に一九二六年に成熟する果實の開花及び大さに影響を及ぼしたのみである。コプラの生産には、普通結實九箇月のものが採集されるのである。

スラカルタ州

スラカルタ州には別に古々椰子栽培園なるものはなく、平時に於ても規則的に外部から移入して居るのである。一九二六年度の收穫は見積に依れば平年作より約二五%六尠ない樣である。

ジヨクジヤカルタ州

古々椰子の收穫狀態は平年作と稱することが出來、一九二五年よりは良好である。從つて、當地に於ては、一九二五年末の旱害の影響は殆んどなかつたと云つてよい。然し乍ら場所によつては多少の水害はあつた。

マヂウン州

本州に於ても古々椰子の收穫は亦順調であつて、單に東西兩部ポノロゴ地方の一部に於て一九二五年の旱害の餘影を受けたのみである。樹木は、一九二六年の降雨宜しきを得た爲、概して迅速に復活して來て居る。

ケヂリ州

本州に於ては、住民は一九二七年に於ては一九二五年より良好の收穫を爲すことが出來ると期待され、一九二六年より成績良好であることは確實である。二、三の支那人コプラ製造家は、一九二六年の供給高は他の年より約三〇%六減少し、且つ亦未熟果實の供給率は著しく激增し、時に依つては八〇乃至九〇%他の年に於ては三〇—四〇%に及んだことがあると云つて居る。又他の二、三の椰子油製造業者は、コプラの供給高は三〇乃至四〇%六減少して居り、且つ含油率が尠いと云つて居る。泗水地方に於ては、一九二六年の生産は他の年よりも成績良好であつた。

レンバン州

トウバン郡下の各部落に於て蒐集した報告に據れば、一九二六年の古々椰子の收穫は一九二五年のそれより三〇乃至四〇%尠ない模樣

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

であつて、一九二七年初めの各月に於ける生產も僅少である。

一九二五年及び二六年に於ては多數の果實は時期尚早にも拘らず收穫されると共に賣却され、多數の樹木は製糖用呑口栓として使用された。

スラバヤ並にマヅラ州

本兩州に於ては、一九二五年の東ムンスーンは一九二六年の古々椰子生產に非常に惡及影響を及ぼした。

ベスキ州

一九二六年に於ては、古々椰子の生產高は他の何れの年よりも甚だ僅少であつた。

上述の報告を以つてしては、爪哇全體に於ける古々椰子の生產が幾%減少して居るやの結論を下すことが出來ない。これを爲すには報告の漏れて居るところもあり、且つ一九一七年に行はれた古々椰子樹數調査に依れば、總數の四分の一はプリアンゲル、ケツの兩州にあるのである。而して、若し樹數に關する新報告を得る時は、一定年に於ける生產見積りも困難であらう。

第二章　古々椰子物產の輸出入

古々椰子は一體何に使用されるのであるか。

簡明に云はば、之れは、土人又は製油工場が油の製造に使用するものであつて、其他コプラ、椰子油並にコプラ油等も出來る。外領地方よりは多量のコプラを諸外國に又果實及び椰子油を爪哇に輸移出して居る。

若し外領諸地方との交易を除外して見る時は、全く反對の結論に逢するのである。

近年に於ける爪哇より諸外國へのコプラの輸出指數は次の樣である。（單位噸）

一九二二年	五〇、八九六
一九二三年	五三、二六一
一九二四年	五八、九七〇
一九二五年	二九、九五七
一九二六年	一四、一〇九（總噸數）
一九二七年（六月まで）	一、一三六（純噸數）　一、一五八（總噸數）
一九二六年（同　）	九、〇九二（同　）

本指數は激減を示して居る。一九二七年に於ては今日迄極く僅かしか輸出して居のみである。外領とのコプラの交易狀態を見るに次の樣である。

	外領より爪哇への輸出（噸）	外領に於ける爪哇よりの輸入（噸）
一九二二年	一〇、三九二	三〇
一九二三年	六、六六四	二三
一九二四年	五　二〇九	三二
一九二五年	八、六九四	三二
一九二六年	一一、七五二	四

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

一九二七年（上半期假想指數移出地方別）	一五、七三七	四六
パリ及びロムボクより	五、二三七	
ベンクーレン　同	三一〇	
ビリトン　同	二一八	
ボルネオ西部　同	四、一六九	
セレベス及び其屬領同	二、八〇〇	
ランポン地方　同	三九五	
メナド　同	二、一八二	

叙上の如く、一九二七年に於ては領内移出は非常に增加して居る。

椰子油の對外國輸出入狀況は左に示す通りである。

年次	輸出（千立單位）	コプラ等量（噸）
一九二二年	一六	一四
一九二三年	一、四四三	二、一七三
一九二四年	七、九三五	二、九四八
一九二五年	一〇、三八七	一五、六四〇
一九二六年	一六、五〇二	二四、八四七
一九二六年（一月—六月）	九、五三八	一四、三四六
一九二七年（同　）	二、七四四	四、一三二

年次	輸入（千立）	コプラ等量（噸）
一九二二年	—	—
一九二三年	七八	一二七
一九二四年	—	—
一九二五年	—	—
一九二六年	一〇三	一五九
一九二六年（一月—六月）	—	—
一九二七年（同　）	一六九	二五五

對外領爪哇の椰子油輸出

年次	千立	コプラ等量（噸）
一九二二年	五七四	八六四
一九二三年	八三三	一、三五三
一九二四年	一、八四五	二、七七八
一九二五年	二、九一九	四、三九五
一九二六年	二、四八三	三、七三九
一九二七年（上半期假指數）	一、〇三三	一、五三九

對爪哇外領の椰子油輸出

年次	千立	コプラ等量（噸）
一九二二年	二、六六六	四、〇一四
一九二三年	九四八	一、四二七
一九二四年	六四三	九六八
一九二五年	九三六	一、四〇九
一九二六年	九四五	一、四二一

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

一九二七年（上半期假指數）　七六　一〇九〇

コプラ搾糟の對外輸出量は次に示す樣である。（噸）

一九二二年　一五、三七五　一九二三年　一八、七八四

一九二四年　二三、六三三　一九二五年　三四、一五一

一九二六年　三七、九四二（總噸數）

一九二六年（一月—六月）　一五、八四三　總噸數

一九二七年（一月—六月）純噸數一九、二一〇　總噸數一九、五六七

外領より爪哇への古々椰子背果の輸出は、年によつては輕視出來ぬものがある。

		コプラ等量（噸）
一九二二年	三、二六八、〇〇〇箇	七六〇
一九二三年	四、三四八、〇〇〇箇	一、〇一一
一九二四年	一、七八九、〇〇〇箇	四一六
一九二五年	二、〇一七、〇〇〇箇	四七〇
一九二六年	二、三八四、〇〇〇箇	五五四

外國への輸出は

一九二六年	一八、〇〇〇箇	コプラ等量四噸

外領に於ける爪哇よりの椰子の輸入數量は

一九二四年	三四、〇〇〇箇	コプラ等量八噸
一九二五年	一〇、〇〇〇箇	二噸

外國よりの輸入數量は

一九二五年	一〇、〇〇〇箇	コプラ等量二噸

種々の狀態に於て、爪哇より外國並に外領に輸出される爪哇產椰子果の數量は如何程のものであるかの概念を得る爲に、上述の各表中の椰子油及、果實の數量をコプラ等量に計算して置いた。而して計算に當つては、一噸のコプラ油は一・六七三噸のコプラより製造（六〇％出來高であるとされるものと勘定したのである　故に一立の油を製造するには一・五〇五七瓩即ち〇・〇二四四擔のコプラを必要とするのである。斯くして次に揭げる樣な表を作成することが出來る。

一九二二年乃至一九二六年に於ける爪哇マヅラの椰子物產移輸出量のコプラ等量に換算する時は次の如くである。（單位噸）

	一九二二年	一九二三年	一九二四年	一九二五年	一九二六年
輸出					
コプラの對外國輸出數量	五〇、八九六	五五、三六一	五六、八九〇	三九、九五七	一四、二〇九
外領に於ける爪哇コプラの輸入數量	三〇	三三	三三	三三	四
油の對外國輸出數量	二四	三、一七三	一二、九四八	一五、六四〇	二四、八四七
外領に於ける爪哇油の輸入數量	八六四	一、三五三	三、七七八	四、三九九	三、七三九
椰子果の對外國輸出數量	—	—	—	—	四
外領に於ける爪哇果の輸入數量	—	—	八	二	—
輸出合計	五一、八一四	五八、七二〇	七三、七七六	六〇、〇三六	四二、八〇三
輸入					
外國よりのコプラ輸入數量	—	—	—	—	—
外領より爪哇へのコプラ輸出數量	一〇、三七二	六、六六四	五、二〇九	八、六九〇	一二、[illegible]

外國よりの油の輸入數量	—	一七	—	—	一五五
外領より爪哇への油輸出數量	四、〇一四	一、四三七	九六八	一、四〇九	一、四三二
外國よりの椰子果の輸入數量	—	—	—	二	—
外領より爪哇への椰子果輸出數量	七〇〇	一、〇一二	四二六	四七〇	五六四
輸入合計	一五、一六六	九、三二九	六、五九二	一〇、七七〇	一三、八八〇
爪哇輸出純數量	三六、六四八	四七、四九一	六七、一四五	七二、四五一	二八、八三二
エステート産品コプラ等量	一、六〇八	一、八一九	一、九一二	二、五四七	二、〇〇〇
純輸出中土人栽培の占むる分	三五、〇四〇	四五、六七二	六五、二三三	六九、九〇四	三六、七四五

右指數は甚だしく上下して居り、一九二四年に於て絶頂點に達して居る。

純輸出指數は、島内に於て多量消費さる爲め爪哇のコプラ生産指數とは甚だ相違して居るものである。

最後に示す表は、一九二二年以降一九二六年に至る間輸出されたるコプラ、コプラ油、コプラ搾糟及び輸出油のコプラ等量を各輸出港別に明細に示すものである。

第三章　椰子油の工場式製造

コロニアル・フェルスラハ（Koloniaal Verslag）中に掲げてある製油工場の統計は不完全なものであるから、本統計の完備を期すべく努力した。

先づコプラ搾糟の輸出から始めるが、輸出搾糟が幾何のコプラ等量となるかを見るには、輸出搾糟を三倍せねばならない。其他小量の搾糟はミルク製造所に於て使用されて居る。

各方面よりの報告に徴するに、コプラ搾糟の島内消費の大部分は、主として支那人工場よりのものであつて、其の量は輸出の約一五％とされて居る。以上の如くして計算する時は、爪哇及びマヅラにある製油工場に於て使用せられたコプラの數量及びそれより得る油及び搾糟の數量は次の如く見積られる。

見積表（單位千噸）

年次	コプラ搾糟（輸出十五％）	製油工場に使用量（搾糟の約三倍）	搾出工場製油（原料の六〇％）
一九二二年	一七・七	約　五三・〇	約　三一・八
一九二三年	二一・六	同　六四・八	同　三八・九
一九二四年	二七・二	同　八一・五	同　四八・九
一九二五年	三九・三	同　一一七・八	同　七〇・七
一九二六年	約　四二・六	同　一二七・八	同　七六・七
一九二六年七月一日　一九二七年七月一日まで	約　四七・九	同　一四三・七	同　八六・二

上記の表は絶對に正確のものと云ふことが、出來ないが製油工業が著しく重要視されて來て居ることは確かであつて、殊に近年に於ては古々椰子の收穫が少ないにも拘らず尚増加して居り、本現象は外領産コプラの移入に頼つて居るものである。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

第四章　爪哇に於けるコプラの生産見積

前表中のコプラ使用料及びコプラ輸出に關する數字を以つてする時は、爪哇に於けるコプラ生産の概略的見積を爲すことが出來る（即ちコプラ採集に使用されない椰子果實を含まない）。外領より移入されたコプラの幾何が當地に於て製油用に供せられたか、或は幾何が再輸出されたかは確なところは解らない（一九二六年に於ては對爪哇外領のコプラ輸出數量は一一、六〇二噸であつて、内五、〇〇〇噸は爪哇の製油工場に於て使用せられ、他は外國へ再輸出された）。故に爪哇産コプラの幾何が製油用に使用せられ、且つ幾何が輸出されたかは明細に決定することは出來ない。然し乍ら、工場に於て製油用に使用された數量に海外へ輸出された、コプラの數量を加へ、且つ本合計數より外領より移入した數量及び農園産高を引差る時は、爪哇に於けるコプラ生産高に稍々近い數字を得ることが出來、側らは外領より移入した椰子の果實は、爪哇に於ては食用に供せられ、又エステート産品は或は工場に於て使用せられ或は輸出されると云ふことを念頭に置かねばならない。

爪哇マヅラに於ける土人植付よりのコプラの生産見積（千噸）

一九二二年	九一・九	一九二三年	一〇九・六
一九二四年	一三三・四	一九二五年	一三六・五
一九二六年	約　一三一・二		
一九二六年七月一日—一九二七年七月一日まで	約　一二八・八		

本指數よりする時は、一九二四年及び一九二五年のコプラ生産高は殆んど同じであつて、一九二六年度に於ても前年の産額よりは大して尠ないことはなく、生産の尠なかつた一九二六年に於ては、他の年よりも非常に多くの椰子果を、コプラ採集用に使用せねばならなかつた。（未完）

二　蘭領印度に於ける油椰子竝に土人護謨栽培業

一　蘭領印度に於ける油椰子栽培業

一九二六年九月に行れた調査に關聯して、農商工務部農業經濟課のアッシステント A. Luijtjes 氏は「スマトラ東海岸竝にアッチエに於ける油椰子栽培状況」と題する報告書を發表した。

著者は最初に、前世紀の中頃に四本の油椰子がボイテンゾルホの栽培園に初めて輸入されたと油椰子栽培の歴史的概略を述べて居る。油椰子種子は、小面積の植付殊に裝飾用の目的を以つてスマトラ東海岸に送られた。

其後本地方に於ては油椰子樹は追次増加し、大栽培業に非常に適して居り、所謂テリ種油椰子として世間に知られるに至つた。

スマトラ東海岸に於ては最初の油椰子園は一九一一年に設立せら

れ、一九一四年には既に二、三〇〇「ヘクタール」の面積が植付られるに至つた。

而し乍ら一九一九年後に於て初めて實際上の大擴張が行はれ、一九二五年未現在に於ては、全蘭領印度に於ける油椰子の合計植付面積は三二、〇〇〇「ヘクタール」に達した。

一九一八年の初めに、油椰子は土質及び手入に相當考慮掛酌せねばならないものであると云ふことが、一般に認められるに至つた。而して、單に栽培のみならず産物の加工製造法も急速の進歩を見せた。

一九二二年頃二、三の栽培業者は、殺菌、完全なる壓搾或は搾取に依つて、無害脂肪酸(二%—三%)含有率の尠ないヨリ多くの油を獲得する目的を以つて歐洲から機械を取寄せた。スマトラ椰子油は人造バター及び其の類似品の製造に非常に適して居るらしく、脂油市場に於て獨特の地位を占めるに至るであらうと言はれて居る。

蘭領印度よりの椰子油の輸出は、一九一九年の數百噸より一九二五年の七、一〇〇噸に急增し、若し現在の植付が生産の域に達する一九三一年には、椰子油の輸出量は三〇、〇〇〇噸乃至四〇、〇〇〇噸に達するであらうとされて居る。

著者は其の著書の中に、油椰子の發育に對する氣候及び地質の影響、栽培、スマトラ東海岸に於ける製造、輸出、生産、財政的に見た經營案、事業の結果等に關する詳細な報告を爲し、最後に、油椰子栽培業は莫大な利益を與へるものでないと云ふ結論を下して居る。

生産品は比較的價格變動の尠ないものであるから、若し人造バター工場にでも固定した販路を見出す時は、本栽培業は非常に確實性を有して居るものであるから大會社は、例へば護謨の樣なヨリ多積に危險性を帶びて居るもの、栽培に依つて蒙る損失を輕減する爲に、本種栽培にも資本を投下するであらうと著者は言つて居る。

二 蘭領印度に於ける土人護謨栽培業

左に掲げるものは、最近發行された農商工務部農業經濟課のアッシステント A. Luijtjes の編纂に係る「蘭領印度に於ける土人護謨栽培業」の結論編中より抜粹したものである。

土人護謨は、數年前までは殆んど顧られなかつたものであるが、最近に於ては多くの地方に於ける主要輸出物産の一となつた。其の結果短期間の内に住民は多額の金を儲け、殊に土人の手に多額の金が舞込んだのである。

一九一五年乃至一九二〇年間には多量の護謨が追加植付せられ、栽培の大宗地はジャンビーからパレムバンに移つた。即ちパレムバンに於ては此の間殊に護謨が植付られたのである。インドラギリ、ベンカリス、南部アサハン及びランカット等に於ける護謨樹は馬來から輸入されたものである。タパヌリに於ては歐人農園に倣つて栽培が行はれる樣になつて來た。

一九二五年に於ける蘭印群島の土人護謨輸出高「ウエットラバー」一二八、四二五噸の内ジャンビーは三〇、五一一噸を以つて數量に於

て第一位を占めて居る。

一九二〇年後に於ける栽培の擴張は主としてスマトラ東海岸、アッチエ、タパヌリ、スマトラ西海岸、ベンクーレン、ランポン地方、パレムバン、ジャンビー、リオー及び其の屬領、バンカ、ビリトン、ボルネオ西部及びボルネオ南東部にのみ限られて居る。

栽培は殆んど一般に、若し土地が之れを許すときは乾燥米田に植付けられ、其の間に米の間作を行つて居る。園の一部は所有者の家族に依つて採液されるが、主として自由採集者に依つて行はれる。此等の採集者は採取又は分配制度に依つて賃金を支拂はれ、即ち採集者は給金として彼等が採集したものゝ半分を貰ひ受けるのである。

護謨價の安い時或は勞働者の不足を來して居る場合に於ては、時としてヨリ多く貰ふが、護謨價が高い時は半分以下となることがある。

固定給金制度の下に勞働者を使用して居るものは、大農園所有者或は勞働者を充分に獲得出來る諸地方にのみであつて、本制度が實施されて居る主な地方はリオー及び西部ボルネオである。

周知の如く、土人護謨園には有ゆる病氣類に災害が見受けられるが、何れも全般に亙つて蔓延さる樣なことなく、從つて農園の存立には何等差支ない。

土人護謨の品質は農園護謨のそれに劣つて居る。

土人護謨の大部分は蘭領印度より未加工未精製のまゝ新嘉坡に輸出せられ、又其の一部はタパヌリ及びスマトラ西海岸より直接歐洲に輸出せられ、其の間蘭領印度内で加工精製せられるものは數千噸に過ぎない。

最近土人護謨は世界護謨市場に於ける一大要素となるに至り、一九二一年には單に世界産額の二%を生産したのみであつたが、一九二二年より一九二五年までの比率は各々四・五%、九%一三%及び一七%に上騰した。

最後に著者は次の樣な結論を下して居る。即ち

生産植付面積は一九二七年には増加せず、一九二八年には相當増加し、一九二九、一九三〇及び一九三一年には著しく増加するであらう。

又以後約五箇年内外の内に、主要護謨生産地に於ては輸入採集者を使用して採液せねばならないことになるであらう。

樹數が増加すれば、それにつれて移民をも採液者の内に加へて採液せねばならない樣になり、斯くする時は本來の週期採集を爲す樣になるであらう。斯る狀態は既にジャンビに於て見受けられ、栽培の擴張に依り、他の護謨栽培地方に於ける土人護謨の經濟的地位も漸進的に向上せられるであらう。

土人護謨業が、將來に於て二〇〇、〇〇〇噸の乾燥護謨を生産するに至るであらうと云ふことは考へられ得ないことではない。

(Soerabajasch Handelsblad, June 14, '27)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

英領印度

□印度に於けるラックに就て

ピアノや自動車の美麗な光澤ある仕上げをなし、蓄音器のレコードとなつては數百萬の家庭に音樂を送り込むラックが、印度の少さな昆蟲の生涯の仕事であると云ふ事を知らぬ者もあるであらう。

ラック又はシエラック—精製品を商業上シエラックと云ふ—とは Tachardia Lacca 即ちラック介殻蟲が吸收し食料とした或種植物の液汁から作つた樹脂質の凝結物である。

ラックなる語は十萬と云ふ意味のサンスクリットの "Laksha" 又はヒンヅー語の "Lac" から轉來したものらしく、ラック製造に缺くべからざる微小なる無數の昆蟲の意である。ラックに關しては印度の古代文學にあらはれてゐる。歐洲に知られたのは遙に後であり、十六世紀の終には、モンゴリア大帝 Akbar はワニス製造に於けるラックの使用に對してある規定を設けてゐる。

現今ではラック又はシエラックは、殆ど數へきれない程の用途がある。即ち飛行機、家具及ピアノ用の精製ワニス、石版刷用インク、電氣器具、寫眞用品、假漆及最重要なる蓄音器レコードの製造である。

ラックの種類

スティック・ラックとは、少しも製造過程を受けてゐない天然の儘のラックを云ふ。

シエラックとは製造又は精製された後薄板に延し、細かく碎いた者を云ふ。然し大概はシエラックと云へば、ボタン・ラック（Button lac）、種ラック（Seed lac）、粒ラック（Grain lac）を含む總ての形の精製ラックを引くるめて使用されてゐる。

ガーネット・ラック（暗紅色ラック）は其暗紅色からつけた名で Wood naphtha を使用し機械行程によつて製造したものである。

産地

ラックを産する昆蟲 Tachardia Lacca は、支那、佛領印度支那、暹羅及海峽植民地の各所に生育してゐるが、實際にラック製造を獨占してゐる印度に於けるものが繁殖最も良好である。是迄濠洲同埃及に於て、ウガンダに於て、又トランスバールや錫蘭に於て、印度で手に入れた種ラックの移植を圖つたが失敗に終つた。

ラック昆蟲は廣く印度及隣接諸國に分布されてゐるが、世界ラックの大部分が生産される主要區域は、僅にコタ・ナノアール、オリッサ、セントラル・プロビンスの北半部、ベンガルの四地方の各部、

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

及聯合州のミルサプール地方である。優良ラックは總て此の主要地で生産されるので、他の劣質の地方は商業的には比較的重要でない。

幼蟲死亡率

Tachardia Lacca は介殼蟲科(Coccidae)に屬し、コチニール(Coccus Cacti)其他赤色染料を産する昆蟲によく似てゐる。其の他皮殼は非常に薄く大きく、琥珀色の樹脂質からなつてゐる。生れた當時は長さ約一吋の二十五分の一位で、濃厚なる赤色か暗紫色を呈してゐる。往時アニリン染料の發見以前は、ラックは主に洋紅の代用物として尊重せられた。

ラック介殼蟲は年に二回づつ繁殖する。新しく生れた昆蟲は數時間そこらをうろつきまはつて、これから寄生しようとするつきやすい枝に落着く。若し生れた日に頃合ひの枝を見つける事が出來なかつたら大抵は死んで仕舞ふ。そしてもし又其の日が雨の日か霜の日か若しくは非常に風の吹く日であつたならば、彼等は大部分死滅してしまふ。であるから幼蟲の死亡率は、種の約二五%とされてゐる。

昆蟲がラックを作り出す生理的の方面はよくわかつてゐないが、皮膚にある色々の線から浸出したもので、最初は可成り透明なのを少量づつ作り出すのである。

寄主植物及寄生方法

ラック昆蟲が寄生する寄主樹は多種あるけれども、重要なのは約七種に過ぎない。

最も品質優良で寄主樹一本當りの産額の最も多いのは、ビハール、オリッサ及セントラル・プロビンスに主としてある Kusum tree に生ずるものである。Kusum tree は、ラック昆蟲を寄生させても充分に耐え得る樣になる迄には、十六年から十八年程かゝる、尚其上、寄生させた後も二、三年間は休ませておかなければならない。Kusum ステック・ラックは、Palas や Ber tree から採つたスティック・ラックより一マウンドに付五乃至一〇留比高く賣れる。之は上等シエラックの製造に使用される。

Ber tree は、印度に於て各所に發見せられる野生の樹である。成長速で五年乃至一〇年間にラック昆蟲の寄生が出來る。注意して手入すると、毎年ラックの收穫がなし得られると同時に、一方高價な果實の收穫も出來る。

Pipal tree は、回教徒及佛教徒どちらにも聖木となつてゐるから、印度中あらゆる所に栽培され、成長も早く良い色のラックを生産するが、品質は良くない。其上此木は、寄主樹として使用する事に對しては宗教上の偏見もあり、寄主樹としての使用は廣い範圍には渡つてゐない。

其他ラック生産地方にある寄主樹としては、Ghont, Batul, Arhar, Tur 等の各種がある。

ラック製造業の初めに於ては、培養の人工的方法は一つも使用さ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

れず。野生ラックを採集してゐた。採集の時木に少し許りの昆蟲を殘して置くと、數年の内に充分に成熟して又少量の收穫が得られた。或地方に行はれてゐる現代的な方法は、昆蟲が脱巣する前に、種ラックの爲約十分の一程木の一部に殘して置いて、ラックの大部分を切り取つて仕舞ふ。そして種ラックが脱巣しさうになつた時それをはなして、前年寄生させなかつた木に移すのである。

寄主木に傳種する理想的な方法は、種ラックが付いてゐる木切れを二本の小枝の間に、木切れの兩端がどちらもくつついて種が寄生する樣に割り込まして縛るやり方である。こうすると出て來た昆蟲は眞直ぐに新しい枝へ這つて行く事が出來る。然しながら此の方法は實際やるには餘りに手がかゝり過ぎるので、最も普通の方法は種ラックの付いてゐる數本の枝を嫩枝の出てゐるすぐ下に藁でばら／＼に縛りつけるのである。も一つ種ラックの枝を竹の容物に入れ枝にぶらさげておく方法もある。

政府所有林若しくは大栽培業者の借入地からは、ほんの少しばかりしか生産されてゐない。生産の大部分は副業として各自四、五本の木を培つてゐる教育の無い村人の手でなされてゐる。價格が低落すると彼等は興味を失つて木を等閑にして仕舞ふ。そしてこうなると、政府や其他のエーゼンシィが、改良された新しい栽培の方法をすゝめても駄目である。

原料ラックは此等小規模な培養者に採集せられ工場に賣られ、工場に於て精製して商業的産物にする。粗製品はそれが製造者の手許に屆いた時、よごれて多量の木屑を含んでゐる事がある。現に行はれてゐる現代的な方法はほんの二、三であつて、他のやり方ではラックはシェラックの形で市場に出される前に餘りに冗長な行程を經て來てゐる。然し勞力が廉く手に入るのと器械精製ラックは事實取引上歡迎されない爲に、精製行程の多くは手で行はれてゐる。

生産費

生産費は、ラックが培養される狀況が異る爲に非常な差違がある。大地主が百姓の培養者に寄主樹を貸した場合（ラック生産地の大部分はかゝる地主か又は封建的な首領の手にあるのであるが）百姓の費用は收穫物の品質によつて異る。卽 Palas tree なれば一本毎に〇・五アンナから三アンナ迄、Kusum tree ならば二アンナから八アンナ時には一留比から二留比もかゝる事がある。收穫が全くの失敗である時は借樹料は少しも拂はれない。

種ラックの價格は、普通の年で四本の新木に充分に傳種させるには約一留比かゝるけれども、市場の景氣か其の他の事情に依つて亦非常に差違がある。一人の培養者で一日一ぱいかゝつて約二アンナの費用で八本から十本の木に傳種することが出來る。それからラックが成長する間保護する爲に若干の費用が要る。一本の木からラックを採集し餘分な枝を取除くのに一日はたつぷりかゝる。

どの木からも不純物を取り除いたステック・ラックを二シーア（四

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

封度)づつ收穫すると、一〇〇本の培養者は普通の年で平均七五留比手に入る事になり可成の利益を得られる。稀ラックが少くその價格が比較的高い時は勿論利益も減る、然しシェラックが並外れの高い相場を呼ぶ時は全收益は七五留比から二〇〇留比、時には三〇〇留比にも達する事がある。

工業的用途

殆どあらゆる大工業で、ある程度迄ラックが使つてゐない處はない。そしてある組織ではラックは使用される主要原料品の一つである。既述の用途の外、ラックは塗料、自動ピアノのロール、蓄音機、帽子、護謨タイア、塗料、硝子、顏料、刷毛や箒、さては運動用具及玩具の製造に使用される。

漂白したシェラックは各種白色電氣絶縁物の製造、紙及皮の光澤出し、象牙の模造、歯ブラッシの製造に使はれる。

仕向國及輸出

ラックの最大消費國は北米合衆國であつて、毎年印度輸出の約六〇%を占め、他は英國、獨逸、日本及佛蘭西に仕向けられる。

一九二六年の各種ラックの輸出はラック貿易史上一レコードを作つた。稅關統計によれば同年輸出された各種ラックの合計は次の通りである。但し輸出數量は增加してゐるが價格は反對に減少してゐる。

年次	數量(ハンドレッドウエート)	價格(弗)
一九二四年	四三六、四〇〇	二七、九一〇、二七七
一九二五年	四八六、四二三	二五、三八〇、五九六
一九二六年	六三六、六六〇	二一、〇五二、五二〇

印度に於て消費される少許のラックは、飾り環(腕環及脚環)、假漆、及ミルク搾乳器の製造の樣な、大して必要でない目的に使用される。

印度ラックの將來

ラックが貴重なものとなつた特性は、水中では不溶性であるが他の廉價な溶劑で容易に溶解する事、護謨と混ずれば比較的堅い事、空中に曝すも變化せざる事及電氣抵抗の力等である。

ラック業は合成物質の發見可能の爲に脅やかされ、此の合成に關しては歐洲の或國では既に若干の進捗をなしたと傳へられてはゐるが、ラックの用途が增加した爲にラックに對する需要も著々と增加しつゝある。ラックの代用物が一產業に摘要さるれば又新しい用途が他の方面に見出される事であらうと思はれる。

(Commerce Reports, No. 31, Aug. 1, 1927)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

The Chinese Library of Columbia University. By J. C. Kwei (C. W. R. Vol. XLII, No. 1, Sept. 3, '27)

Rubber Needs of America. Experiments in the P. I. (S. F. P. Sept. 12, '27)

De kinasituatie in Peru (I. N. e. H. No. 35, Sept. 2, '27)

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

Emigratie van Nederlandeders Naar Zuid-Afrika (S. Hb. Aug. 30, '27)

Kolonie of volkplanting (S. Hb. Aug. 30, '27)

Bevloeiings werken in Bantam (H. N. v. d. D. Aug. 30, '27)

Business Methods in N. E. I. (S. F. P. Aug. 31, '27)

Vaststelling van het uitvoerrecht voor rubber (L. N. e. H. No. 35, Sept. 2, '27)

Extremists in D. E. I. (S. F. P. Sept. 3, '27)

De dessaschool in het economisch leven der dessa (S. Hb. Sept. 3, '27)

Minderwaardige tegenstanders (H. N. v. d. D. Sept. 5, '27)

De indisch Tentoonstelling te Arnhem in 1928 (S. Hb. Sept. 7, '27)

Amerika, Indië en Nederland (S. Hb. Sept. 7, '27)

Arbeidstoestanden in de Metaal-industrie te Soerabaia (S. Hb. Sept. 8, '27)

Overvloed van rijst (H. N. v. d. D. Sept. 8, '27)

De Springstoffen bewaking (H. N. v. d. D. Sept. 8, '27)

De raad van Indië (H. N. v. d. D. Sept. 9, '27)

Vrouwen-handel (H. N. v. d. D. Sept. 10, '27)

Enkele gegevens betreffende den landbouw der inheemsch bevolking in de residentie Tapanoeli (L. N. e. H. No. 37, Sept. 15, 16, '27)

De Verkoop van den Sumatra-Tabaksoogst 1926 (L. N. e. H. No. 37, Sept. 16, '27)

英 領 印 度

The Lac Industry of India (Com. R. No. 31, Aug. 1, '27. P. 259)

The Jute Industry of India (Com. R. No. 33, Aug. 15, '27. P. 390)

Prohibition in Bombay (S. F. P. Aug. 25, '27)

Censure Motion on Ceylon Government (S. F. P. Sept. 2, '27)

□歐 羅 巴□

英國及佛蘭西

British Petroleum Trade, first half of 1927 (Com. R. No. 33, Aug. 15, '27. P. 420)

L oeuvre d'un an (F. I. Aug. 21, '27. P. 1)

其 他

De buitenlandsche handel van Nederland, gedurende het eerst half jaar van 1927 (L. N. e. H. No. 37, Sept. 16, '27)

Soviet Russia in the Wireless World (S. F. P. Sept. 9, '27)

□阿 弗 利 加□

De Sisalcultuur in de Kenya-kolonie (L. N. e. H. No. 35, Sept. 2, '27)

Handel in tabak en tabaks-producten in Egypte in 1926. (L. N. e. H. No. 37, Sept. 16, '27)

□南 米 大 陸□

北米合衆國及南米

Foreign Trade in the Fiscal Year 1926-27. (Com. R. 33, Aug. 15, '27. P. 451.)

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

Chronique des Mines (F. E. I. No. 533, Aug. 28, '27. P. 14)

Les troubles de Haiphong. (le C. H. Aug. 31, '27. P. 1)

暹　　　羅

The Budget Report (B. T. Aug. 25, '27)

The Report on the Budget for B. E. 2470 (1927-28) (B. T. Aug. 26, 27)

英　領　馬　來

Air Work in Malaya (S. F. P. Aug. 22, '27)

Singapore Fire Department. Report for 1926 (S. F. P. Aug. 24, '27)

Indian Labour. The 1926 Report (S. F. P. Aug. 24, '27.)

Our Cattle Supply. Australian Cattle for Malaya (S. F. P. Aug. 25, '27)

Town Administration. Report on 1926 (S. F. P. Aug. 26, '27)

Johore in 1926. The Annual Report (S. F. P. Aug. 26, '27)

Education in the Colony. (S. F. P. Aug. 27, '27

Aspects of Trawling. Fisheries Department Pt I. (S. F. P. Aug. 31, '27)

Aspects of Trawling. Pt II. (S. F. P. Sept. 2, '27

British Malaya Rubber. Sugust Statistics (S. F. P. Sept. 5, '27)

Trengganu Report. (S. F. P. Sept. 9, '27)

A Hundred Years of Trade. Guthrie and Co's Success (S. F. P. Sept. 10, '27)

Malayan Trade (S. F. P. Sept. 11, '27)

蘭　領　東　印　度

Flores from East to West. By M. Hamerster (I. O. VIII, No. 7, July '27. P. 417)

The Lot of the Balinese Eve (I. O. VIII, No. 7, July '27. P. 393)

Marketing Cotton Piece Goods in Netherlands East Indies (Com. R. No. 31. Aug. 1, '27. P. 283)

Nieuwe welvaarts aspecten voor Madioen (S. Hb. Aug. 15, 16, '27)

Verloren Vertrouwen, Verbroken Contact (H. N. v. d. D. Aug. 17, '27)

Poenale Sanctie voor Europeanen (H. N. v. d. D. Aug. 19, '27)

De plantentuin te Sibolangit (S. Hb. Aug. 20, '27)

Gevaarlijk Publicaties (S. Hb. Aug. 20, '27)

Het Indische bedrijfsleven en de huidige politieke koers (H. N. v. d. D. Aug. 20, '27)

De landsmiddelen in het eerste halfjaar 1927 (S. Hb. Aug. 22, '27)

Nieuwe gedragslijn (S. Hb. Aug. 23, '27)

Dr Aage Krarup Nielsen, over de Communisten Kolonie op Nieuw-Guinea (S. Hb. Aug. 24, '27)

Uitvindingen en de Suikerindustrie (S. Hb. Aug. 24, '27)

De Indische reorganisatie woede (H. N. v. d. D. Aug. 24, '27)

Klapper-producten op Java en Madoera (H. N. v. d. D. Aug. 26, '27)

Economische en Sociale aangelegenheid. De Suiker (S. Hb. Aug. 27, '27)

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

(P. H. Sept. 8, '27)

Sees Good Orange Industry in P. I. (P. H. Sept. 8, '27)

Nearing Warns That "Impreialist America" Will Give P. I. Nothing (P. H. Sept. 10, '27)

Speeches of Gilmore, Fernandez and Alunan in Sugar Convention (P. H. Sept. 13, '27)

佛領印度支那

La Budget du Tonkin pour 1928. (F. I. Aug. 5, '27. P. 1)

M. Varenne veut donner au Laos un impulsion nouvelle (le C. S. Aug. 5, '27. P. 1)

L'Indochine et l'Afrique du Nord (E. E. I. No. 530, Aug. 7, '27. P. 1)

Nécessité de relations maritimes directes entre l'Afrique du Nord et l'Indochine Française (F. F. I. 530, Aug. 7, '27. P. 2)

Causeries sur l'histoire d'Annam (E. E. I. No. 530, Aug. 7, '27. P. 6)

Rapport du Conseil d'administration de la Banque de l'Indochine (E. E. I. No. 530, Aug. 7, '27. P. 7)

La Sculpture dans l'art khmer primitif. (E. E. I. No. 530, Aug. 7, '27. P. 10)

La Mort de M. le directeur général P. I. des Douanes et Regies (A. T. Aug. 8, '27. P. 1)

Les Concessions en Indochine (le C. S. Aug. 10, '27. P. 1)

La Mort de Sa Majesté Sisowath (Roi de Cambodge) A. T. Aug. 11, '27. P. 1)

La France reconnaît le prince Monivong comme successeur du roi Sisowath (le C. S. Aug. 12, '27. P. 1)

S. M. Monivong, roi du Cambodge (le C. S. Aug. 13, '27. P. 1)

Chronique des Mines (E. E. I. No. 531, Aug. 14, '27. P. 14)

La Cochinchine s'enrichit chaque année de Cent Millions de piastres (le C. S. Aug. 16, '27. P. 1)

L'ouverture de la session du Conseil Colonial de Cochinchine (le C. S. Aug. 17. '27. P. 1)

Voyage au Laos de M. le Gouverneur général Alexandre Varenne (A. T. Aug. 18, '27. P. 1)

Les événements d'Extrême-Orient et la déferce de l'Indochine (le C. H. Aug. 18, '27. P. 1)

Pour la Défense de l'Indochine (F. I. Aug. 19, '27. P. 1)

Causeries sur l'histoire d'Annam (F. E. I. No. 532, Aug. 21, '27. P. 3)

Le port de Tourane (E. E. I. No. 532, Aug. 21, '27. P. 5)

Nos relations postales avec le Laos (E. E. I. No. 532, Aug. 21, '27. P. 6)

L'émeute Gronde à Haiphong (F. I. Aug. 22, 23, '27. P. 1)

L'Industrie de la Pêche en Indochine (F. I. Aug. 25. '27. P. 1)

Un jardin des Hésperides en Indochine (le C. H. Aug. 26. '27. P. 1)

Notre politique du Caoutchouc (F. I. Aug. 27, '27. P. 1)

Annamites Contre Chinois ou les troubles Haiphong (le C. S. Aug. 27, '27. P. 1)

Le Cabotage le long des Côtes d'Annam (E. E. I. No. 533, Aug. 28. '27. P. 5)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

Sheep Skin Dealers in Kalgan (C. E. B. Vol. XI, No. 341, Sept. 3, '27. P. 128)

The New Map of China. By Henry C. Fenn. (C. W. R. Vol. XLIII, No. 1, Sept. 3, '27)

General Sun Chuan-Fang's Attempt to Come-Back'. By J. B. P. (C. W. R. Vol. XLII, No.I, Sept. 3, '27)

Chinese Methods at Tientsin (C. E. T. Vol. LXIX, No. 3342, Sept. 8, '27. P. 665.)

Manchurian Railways. Their Part in the Industrial Future (F. E. Vol. Vol. XVIII, No. 9. Sept. 8, '27. P. 247.)

Chinese Groundnuts on Foreign Markets (C. E. B. Vol. XI, No. 342, Sept. 10, '27. P. 135)

Fish Trade in Foochow (C. E. B. Vol. XI, No. 342, Sept 10, '27. P. 142)

China's Hour of Trial. By Dr. W. A. Young (N. C. D. N. Sept. 13, '27)

The Kuomintang Conferences. By George E. Sokolsky (N. C. D. N. Sept. 16, '27)

The Three Principles—From Dr. Sun Yat-sen's Sixteen Lectures (N. C. D. N. Sept. 19, 20, 21, 23, 26, 27, '27)

Nationalist Declaration of Policy (N. C. D. N. Sept. 24, '27)

Government Loan of $5,000,000 (H. D. P. Aug. 29, '27)

Review of the Past Thirty Years. Hongkong's Wonderful Record of Progress (H. D. P. Sept. 2, '27)

Budget for 1928 Passed (H. D. P. Sept. 16, '27)

比律賓

Mindanao Inquiry Body to Rerfute Wood's Claims in Report to be Out Soon (P. H. Aug. 3, '27)

Customs Figures Show Huge Trade Surpluses (P. H. Aug. 4, '27)

Sending of Delegates Coming Up (P. H. Aug. 7, '27)

Presence of Governor Wood in America Stirs Comment (P. H. Aug. 7, '27)

"Military Cabinet" to Stay for Indefinite Period Yet, Say Dorey and Langhorna (P. H. Aug. 10, '27)

Policy of Reconciliation Followed by Gov. Gilmore Satisfactory to Coolidge (P. H. Aug. 11, '27)

Philippine Lumbermen Organize Own Society (P. H. Aug. 11, '27)

2 American Capitalists Planning to Invest in Coconuts in Cagayan (P. H. Aug. 14, '27)

Coolidge to Appoint New G. G. Next Fall (P. H. Aug. 18, '27)

Lack of Interest in P. I. Economics Hit by Wood (P. H. Aug. 18, '27)

Gilmore Stresses Importance of Business in Statement of Policy (P. H. Aug. 21, '27)

Governor in Defeated by Dean Bocobo (P. H. Aug. 27, '27)

What Imperialists See in P. J. Is Subject of Hayden Article (P. H. Aug. 27, '27)

Industrialize Abaca, Captain Heath Urges. (P. H. Sept. 1, '27)

P 200,000 For Wrapper Tobacco Production Asked by Youngberg. (P. H. Sep3, '27)

Senate Cuts P80,000 of 1928 Budget (P. H. Sept. 4, '27)

Hawaiian Planters Bar Filipino Child Labor

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

The British Proposels in China. By Arthur Ransome (C. W. R. Vol. XLI, No. 12, Aug. 20, '27)

China's Economic Future. Reprinted from the Berliner Tageblatt Translation from the 'Living Age', Boston. (C. W. R. Vol. XLI, No. 12, Aug. 20, '27)

Manchuria for the Chinese Japans Changing Policy (S. F. P. Aug. 26, '27)

Cloth Weaving Factories in Wusih (C. F. B. Vol. XI, No. 340, Aug. 27, '27. P. 110)

Gold Bar Market in Shanghai During Second Quarter of 1927. (C. E. B. Vol. XI, No. 340, Aug. 27, '27. P. 113)

Silver Stock in Shanghai During Second Quarter of 1927 (C. E. B. Vol. XI, No. 340, Aug. 27, '27. P. 114)

Summary of of Strokes in Shanghai (C. E. B. Vol. XI, No. 340, Aug. 27, '27. 117)

Why Chiang Kai-shek Retired. By C. Y. W. Meng (C. W. R. Vol. XL', No. 13, Aug. 27, '27)

What is Japan Doing in Manchuria? By Albert Y. Hugh (C. W. R. Vol. XLI, No. 13, Aug. 27, '27)

Three Choices for U. S. in China Policy. By Edward H. Hume (C. W. R. Vol. XLI, No. 13, Aug. 27, '27)

Who's Who in China. Dr. S. C. Ho (何世楨字思毅) Ho Shih-chen (C. W. R. Vol. XLI, No. 12, Aug. 20, '27)

The Dramatic Gesture of General Chiang Kai-shek. By J. B. P. (C. W. R. Vol. XLI, No. 12, Aug. 20, '27)

Who's Who in China. Mr. T. K. Ching (程天固) Cheng Tien-Ku (C. W. R. Vol. XLI, No. 13, Aug. 27, '27)

The Efforts to Reunify the Kuomintang Party. By J. B. P. (C. W. R. Vol. XLI, No. 13, Aug. 27, '27)

Japan, Russia, and Britain in China. By Dr. Suehiro Shigeo (C. W. R. Vol. XLI, No. 13, Aug. 27, '27)

The Glazed Kid-Leather Industry. By Geo. W. Missemer (C. W. R. Vol. XLI, No. 13, Aug. 27, '27)

The Imperial Religions of Ch'in and Han. By C. Waidtlow (C. R. Vol. LVIII, No. 9, Sept. '27)

The Christian Mission to Buddhists. By Notto Normann Thelle (C. R. Vol. LVIII, No. 9, Sept. '27)

Li Hsioh (理學) of the Sung Philosophers as Interpreted by Chu Hsi (朱熹) By Frank R. Millican (C. R. Vol. LVIII, No. 9, Sept. '27)

Seasonality in Silver Prices and Exchange Rates (C. E. J. Vol. I, No. 9, Sept. '27. P. 773)

Economic Conditions in Ningpo (C. E. J. Vol. I, No. 9, Sept. '27. P. 783)

Customs and Practices of Nanking Shops (C. E. J. Vol. Vol. I, No. 9, Sept. '27. P. 796)

China's Foreign Trade in 1926. (C. E. J. Vol. I, No. 9, Sept., '27. P. 804)

Shanghai's Trade a Record Year. (C. E. T. Vol. LXIX, No. 3341, Sept. 1, '27. P. 651)

De Economische toestand van noordelijk Mandsjorije (L. N. e. H. No. 35, Sept. 2, '27)

De situatie van enkele chineesche exportproducten in 1926. (L. N. e. H. No. 35, Sept. 2, '27)

Chinese Goods Bazaar in Shanghai (C. E. B. Vol. XI, No. 341, Sept. 3, '27. P. 122)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

De statistische positie van rubber aan het einde van het eerst halfjaar van 1927 (I. N. e. H. No. 37, Sept. 16, '27)

□亞 細 亞□

日 本

Imitatie van handelsmerken in Japan (S. Hb. Sept. 5, '27)

支 那 及 香 港

China's Minerals. By William H. Scheifley (F. E. R. Vol. XXIII, No. 8, Aug. '27. P. 370)

Communications in China By Hardy Jowett (F. E. R. Vol. XXIII, No. 8, Aug. '27. P. 371)

Gold Mining in Heilungkiang (黑龍江) Province. By V. A. Kormazoff (F. E. R. Vol. XXIII, No. 8, Aug., '27. P. 375)

Notes on the Teachings of Meh-Tse and Christianity. By L. Tomkinson (C. R. Vol. LVIII, No. 8, Aug., '27)

The Confucian Attitude to the Worship of Ancestors. By Homer H. Dubs (C. R. Vol. LVIII, No. 8, Aug., '27)

Festivals and Religious Education. By K. K. T. Chung (C. R. Vol. LVIII, No. 8, Aug., '27)

China and Christian Education. By Henry H. Sweets (C. R. Vol. LVIII, No. 8, Aug., '27)

Up the China Coast (C. E. T. Vol. LXIX, No. 3337, Aug. 4, '27. P. 587)

The Military-Political Panorama in China (N. C. D. N. Aug. 4, '27)

Business Practices of Native Banks (C. E. B. Vol. XI, No. 337, Aug. 6, '27. P. 69)

Railway Conference in Peking (C. E. B. Vol. XI, No. 337, Aug. 6, '27. P. 75)

Woollen Piece Goods Merchants in Shanghai (C. E. B. Vol. XI, No. 337, Aug. 6, '27. P. 77)

Wheat and Flour Market in Shanghai during Second Quarter of 1927 (C. E. B. Vol. XI, No. 338, Aug. 13, '27. P. 834)

Tea Market in Shanghai during Second Quarter of 1927 (C. E. B. Vol. XI, No, 338, Aug. 13, '27. P. 87)

Cotton and Yarn Market in Shanghai during Second Quarter of 1927 (C. E. B. Vol. XI, No. 338, Aug. 13, '27. P. 91)

The Confusion in China. Recent Changes. "Red" Influence (C. E. T. Vol. LXIX, No. 3339, Aug. 18, '27. P. 620)

British Banks in China. How They Finance the Country's Trade (C. E. T. Vol. LXIX, No. 3339, Aug. 18, '27. P. 623.)

Traffic on the Min (閩) River (C. E. B. Vol. XI, No. 339, Aug. 20, '27. P. 27)

Likin and Its Abolition. By Dr, Kan Lee (C. W. R. Vol. XLI, No. 12, Aug. 20, '27)

Veilde British Attack on American Missionaries in China. By Charles Dailey (C. W. R. Vol. XLI, No. 12, Aug. 20, '27)

What's Happened to the "Seething Revolution?" By Jui Fu-san (C. W. R. Vol. XLI, No. 12, Aug. 20, '27)

Present Tendencies in British Politics (C. W. R. Vol. XLI, No. 12, Aug. 20, '27)

Tariff Autonomy and Likin Abolition. By T. K. Ching (C. W. R. Vol. XLI, No. 12, Aug. 20, '27)

Soda in the Far-East. (Concluded from Last Week) (C. W. R. Vol. XLI, No. 12, Aug. 20, '27)

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

支那南洋其他海外
重要記事索引

臺灣總督官房調査課

◆ 新聞雜誌略號一覽表 ◆

A. T.	L'avenir du Tonkin (Aug. 1-31, '27)
B. T.	Bangkok Times (Aug. 13-Sept. 13, '27)
C. E. B.	Chinese Economic Bulletin (Vol. XI, No. 337, Aug. 6-No. 343, Sept. 17, '27)
C. E. J.	Chinese Economic Journal (Vol. 1, No. 9, Sept., '27)
C. E. T.	China Express and Telegraph (Vol. LXIX, No. 3339, Aug. 18-No. 3341, Sept. 1, '27)
Com. R.	Commerce Reports (No. 31, Aug. 1-No. 33, Aug. 15, '27)
C. R.	Chinese Recorder (Vol. LVIII, No. 8, Aug-No. 9, Sept., '27)
C. W. R.	China Weekly Review (Vol. XLI, No. 12, Aug. 20-Vol. XLIII, No. 1, Sept. 3, '27)
E. E.	Eastern Engineering (Vol. XVIII, No. 8, Sept. 1-No. 9, Sept. 8, '27)
E. E. I.	L'éveil économique de l' Indochine (Aug. 7-28, '27)
F. E. R.	Far Eastern Review (Vol. XXIII, No. 8, Aug., '27)
F. I.	France-Indochine (Aug, 1-30, '27)
H. D. P.	Hongkong Daily Press (Aug. 22-Sept. 14, '27)
H. N. v. d. D.	Het Nieuws van den Dag (Aug. 14-Sept. 13, '27)
I. O.	Inter Ocean (Vol. VIII, No. 7, July, '27)
leC. H.	Le Courrier d'Haiphong (Aug. 1-31, '27)
leC. S.	Le Courrier Saigonnais (Aug. 1-31, '27)
L. N. e. H.	Landbouw, Nijverheid en Handel (Aug. 19-Sept. 16, '27)
N. C. D. N.	North China Daily News (Aug. 31-Sept. 27, '27)
P. H.	Philippine Herald (July 29-Sept. 13, '27)
S. F. P.	Singapore Free Press (Aug. 21-Sept. 15, '27)
S. Hb.	Soerabajasch Handelsblad (Aug. 13-Sept. 9, '27)
S. i. N. I.	Suikerindustrië in Ned-Indië (No. 36, Sept., '27)

※ ※ ※

口 世 界 口
General

Schatting der Wereldsuikerproductie (S. i. N. I. No. 36, Sept., '27)

Tropical Temperature at the Zoo (S. F. P. Sept. 9, '27)

The World's Merchatn Fleets (N. C. D. N. Sept. 14, '27)